科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	01
担当教員	浅田　義久	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3132	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，専門研究（一），卒業論文を通じて，経済学，特にミクロ経済学と計量経済学を社会に出で活用できる能力を取得することを目的とします。そのために，専門研究（二）では専門研究（一）を踏まえたやや専門的な研究ができるようにする。 対応 DP 及び CP：5,6,7,8
授業概要（教育目的）
学主目標で記したように，本講義は社会で用いられるように日常をミクロ経済学で検討し，それをデータを元に検証していきます。 そのため，ミクロ経済学，計量経済学以外にも GIS や機械学習などを授業外でも学習していきます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	どのように授業を進めるか，どのような自習が必要かを学びます。 【事後学習】2 時間 専門研究（一）の自主研究を復習しておく。 【事後学習】2 時間 各自報告内容を検討する。
第 2 回	専門研究（二）の各自の研究テーマを検討する（1）	各回 4 人が各自の研究テーマの方向性を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で自主研究の方向性を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 3 回	専門研究（二）の各自の研究テーマを検討する（2）	各回 4 人が各自の研究テーマの方向性を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で自主研究の方向性を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 4 回	専門研究（二）の各自の研究テーマを検討する（3）	各回 4 人が各自の研究テーマの方向性を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で自主研究の方向性を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 5 回	専門研究（二）の各自の研究テーマを検討する（4）	各回 4 人が各自の研究テーマの方向性を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で自主研究の方向性を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 6 回	専門研究（二）の各自の研究テーマを検討する（5）	各回 4 人が各自の研究テーマの方向性を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で自主研究の方向性を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 7 回	各自研究の報告Ⅰ（1）	各回 3 人が理論的背景，先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 8 回	各自研究の報告Ⅰ（2）	各回 3 人が理論的背景，先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 9 回	各自研究の報告Ⅰ（3）	各回 3 人が理論的背景，先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 10 回	各自研究の報告Ⅰ（4）	各回 3 人が理論的背景，先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】2 時間

		報告者に対してフィードバックする。
第 11 回	各自研究の報告Ⅰ（５）	各回３人が理論的背景，先行事例を報告する。 【事前学習】２時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 12 回	各自研究の報告Ⅰ（６）	各回３人が理論的背景，先行事例を報告する。 【事前学習】２時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 13 回	各自研究の報告Ⅰ（７）	各回３人が理論的背景，先行事例を報告する。 【事前学習】２時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 14 回	前期の総括（１）	前期の全報告に対してゼミ生全員で総括を行う。 【事前学習】２時間 各自は他報告者の報告を再検討する。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 15 回	前期の総括（２）	前期の全報告に対してゼミ生全員で総括を行う。 【事前学習】２時間 各自は他報告者の報告を再検討する。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 16 回	各自研究の中間報告（１）	各回３人が実証分析も含めた報告する。 【事前学習】２時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 17 回	各自研究の中間報告（２）	各回３人が実証分析も含めた報告する。 【事前学習】２時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 18 回	各自研究の中間報告（３）	各回３人が実証分析も含めた報告する。 【事前学習】２時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 19 回	各自研究の中間報告（４）	各回３人が実証分析も含めた報告する。 【事前学習】２時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 20 回	各自研究の中間報告（5）	各回３人が実証分析も含めた報告する。 【事前学習】２時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 21 回	各自研究の中間報告	各回３人が実証分析も含めた報告する。

	（６）	【事前学習】２時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 22 回	各自研究の中間報告 （７）	各回３人が実証分析も含めた報告する。 【事前学習】２時間 各自も理論的背景と先行事例を調べる。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 23 回	自主研究の最終報告 （１）	各回３人が専門研究（二）の最終報告を行う。 【事前学習】２時間 各自も専門研究（二）の最終報告を作成する。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 24 回	自主研究の最終報告 （２）	各回３人が専門研究（二）の最終報告を行う。 【事前学習】２時間 各自も専門研究（二）の最終報告を作成する。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 25 回	自主研究の最終報告 （３）	各回３人が専門研究（二）の最終報告を行う。 【事前学習】２時間 各自も専門研究（二）の最終報告を作成する。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 26 回	自主研究の最終報告 （４）	各回３人が専門研究（二）の最終報告を行う。 【事前学習】２時間 各自も専門研究（二）の最終報告を作成する。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 27 回	自主研究の最終報告 （５）	各回３人が専門研究（二）の最終報告を行う。 【事前学習】２時間 各自も専門研究（二）の最終報告を作成する。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 28 回	自主研究の最終報告 （６）	各回３人が専門研究（二）の最終報告を行う。 【事前学習】２時間 各自も専門研究（二）の最終報告を作成する。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 29 回	自主研究の最終報告 （７）	各回３人が専門研究（二）の最終報告を行う。 【事前学習】２時間 各自も専門研究（二）の最終報告を作成する。 【事後学習】２時間 報告者に対してフィードバックする。
第 30 回	まとめ	各自の専門研究（二）の最終報告書を議論する。 【事前学習】２時間 他の報告者の最終報告書を復習する。 【事後学習】２時間 各自の報告に対してフィードバックする。

授業形式
演習形式，毎回他の学生の報告の評価も行いフィードバックする。 なお，授業は③部分対面型とする。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
様々な自習の到達度も評価に加味します。					

テキスト
適宜授業で提示する。
参考文献
適宜授業で提示する。
オフィスアワー
オフィスアワーは適時変更します。事前に下記の WEB を参考にアポイントを取ること。 https://sites.google.com/a/nihon-u.ac.jp/asada/
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ミクロ経済の理解ができており，PC 操作もある程度習得している学生が望ましい。該当しない学生の履修は難しい。
授業用 URL
https://sites.google.com/a/nihon-u.ac.jp/asada/
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	02
担当教員	有馬　守康	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では以下の能力を身につけることを目標としています。 １．経済学の基本的な考え方を身につけることができる。 ２．経済学の考え方に基づき、問題発見・解決能力を身につけることができる。 ３．グループワークを通じ、自分にはない考え方を理解し尊重し、協働する精神を養うことができる。 対応 DP 及び CP：5,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では、専門研究㈠の学習を継続する同時に、そこで養われた基礎学力を基にして、個人や組織、社会や世界で起きている様々な経済現象から自ら問題を発見し、経済理論を分析道具として活用し、問題解決へ導く能力を身につけていきます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	本講義の目的・内容・進め方の確認、研究発表者の順番決め 【事前学習】2 時間 あらかじめ EcoLink で配られたガイダンスに目を通しておくこと。 【事後学習】2 時間 改めて今後の自分の研究計画を練り、研究発表のテーマを考えておくこと。
第 2 回	１７章　シグナリング	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 3 回	１７章　さまざまなシグナリング	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 4 回	インターゼミテーマ決め	年末に行われるインターゼミのテーマ決めを行う。 【事前学習】2 時間 自分の興味のあるテーマを１つ以上考えておく。 【事後学習】2 時間 決定した４つのテーマのうち、自分が参加したい内容を順番をつけて選択しておく。
第 5 回	インターゼミグループ分け	年末に行われるインターゼミのグループ分けを行う。 【事前学習】2 時間 自分の興味ある順にあらかじめテーマの内容を調べておく。 【事後学習】2 時間 決定したチームと連携し、今後のスケジュールを検討する。
第 6 回	インターゼミグループワーク ①：構想と構成の確立	テーマをブレーンストーミングなどを用い、掘り下げ、研究する方向性を決定する。 【事前学習】2 時間 あらかじめ各自で方向性のアイデアを出し合っておく。 【事後学習】2 時間 出し合って決めた方向性に沿って研究の準備をする。
第 7 回	インターゼミグループワーク ②：資料集め	各チームごとに分かれ、研究の方向性に沿った資料集めを行う。 【事前学習】2 時間 あらかじめ各自で資料に関して調査を行っておく。 【事後学習】2 時間 持ち寄られ、分担された資料を熟読していく。
第 8 回	インターゼミグループワーク ③：資料の精査１	各チームでそれぞれが集めてきた資料をもとに判明したことを一人ずつ発表しあう。 【事前学習】2 時間 自分が報告する内容をまとめ，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。次の順番の者はレポートをまとめる。
第 9 回	インターゼミグループワーク ④：資料の精査２	各チームでそれぞれが集めてきた資料をもとに判明したことを一人ずつ発表しあう。

		【事前学習】2 時間 自分が報告する内容をまとめ，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。次の順番の者はレポートをまとめる。
第 10 回	インターゼミグループワーク ⑤：資料の精査３	各チームでそれぞれが集めてきた資料をもとに判明したことを一人ずつ発表しあう。 【事前学習】2 時間 自分が報告する内容をまとめ，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。次の順番の者はレポートをまとめる。
第 11 回	インターゼミグループワーク ⑤：資料の精査４	各チームでそれぞれが集めてきた資料をもとに判明したことを一人ずつ発表しあう。 【事前学習】2 時間 自分が報告する内容をまとめ，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。次の順番の者はレポートをまとめる。
第 12 回	インターゼミグループワーク ⑥：発表の構成の確立 個人研究の順番決め	グループワーク：資料の精査から、課題を浮き彫りにし、発表構成を確立する。 個人研究：各自が１５分ほどで身近な疑問を経済学で考察する発表をする順番を決める。 【事前学習】２時間 グループ：今までの報告をまとめ、自分なりの発表構成の方向性を打ち出す。 個人：研究内容を考察する。 【事後学習】２時間 グループ：発表構成に基づき、さらに文献収集と経済理論への落とし込みを考察しておく。
第 13 回	インターゼミグループワーク ⑦：中間発表の準備 個人研究１	グループワーク：次週からの中間発表のための準備を行う。 個人研究：担当者が発表を行う。 【事前学習】２時間 中間発表の準備。個人研究担当者は発表準備。 【事後学習】２時間 翌週発表の班は内容確認、その他の班は発表内容の下調べ。 翌週の個人研究担当者は発表準備。
第 14 回	インターゼミグループワーク ⑧：中間発表１，２ 個人研究２	１，２班のインターゼミ中間発表、個人研究発表 【事前学習】２時間 グループ、個人とも発表の事前練習、それ以外は発表内容の下調べ。 【事後学習】２時間 発表で寄せられた意見をもとに発表内容の改善を図る。その他の人は自分の発表に活かす。
第 15 回	インターゼミグループワーク ⑨：中間発表３，４ 個人研究３	３，４班のインターゼミ中間発表、個人研究発表 【事前学習】２時間 グループ、個人とも発表の事前練習、それ以外は発表内容の下調べ。 【事後学習】２時間 発表で寄せられた意見をもとに発表内容の改善を図る。その他の人は自分の発表に活かす。

第 16 回	インターゼミグループワーク ⑩：中間発表１，２ 個人研究４	夏休み中の研究に関する１，２班のインターゼミ中間発表、個人研究発表 【事前学習】2 時間 グループ、個人とも発表の事前練習、それ以外は発表内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられた意見をもとに発表内容の改善を図る。その他の人は自分の発表に活かす。
第 17 回	インターゼミグループワーク ⑪：中間発表３，４ 個人研究４	夏休み中の研究に関する３，４班のインターゼミ中間発表、個人研究発表 【事前学習】2 時間 グループ、個人とも発表の事前練習、それ以外は発表内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられた意見をもとに発表内容の改善を図る。その他の人は自分の発表に活かす。
第 18 回	インターゼミグループワーク ⑫：発表のブラッシュアップ１ 個人研究５，６	中間発表に対するコメントを参考に、研究内容をさらに深堀りする。 【事前学習】2 時間 グループ内で分担し、最終的な問題点の洗い出しと解決を図る。 【事後学習】2 時間 グループで寄せ集められた情報を参考に、論旨にずれないように調整を図る。
第 19 回	インターゼミグループワーク ⑬：発表のブラッシュアップ２ 個人研究７，８	前週の議論を参考に、研究内容のまとめを進める。 【事前学習】2 時間 グループ内で分担し、最終的な問題点の洗い出しと解決を図る。 【事後学習】2 時間 グループで寄せ集められた情報を参考に、各人の発表が論旨にずれず、一貫性を持った発表になるよう調整を図る。
第 20 回	個人研究９，１０，１１ インターゼミグループワーク ⑭：調整作業	いったん個人研究を中心にシフト。余った時間にインターゼミの調整作業を行う。 【事前学習】2 時間 個人研究を進める。グループワークは引き続き問題点の洗い出しを進める。 【事後学習】2 時間 個人研究は受けた質問への回答、およびいただいたコメントを反省材料に今後に活かす方法を探る。
第 21 回	個人研究１２，１３，１４ インターゼミグループワーク ⑮：調整作業	いったん個人研究を中心にシフト。余った時間にインターゼミの調整作業を行う。 【事前学習】2 時間 個人研究を進める。グループワークは引き続き問題点の洗い出しを進める。 【事後学習】2 時間 個人研究は受けた質問への回答、およびいただいたコメントを反省材料に今後に活かす方法を探る。
第 22 回	インターゼミグループワーク ⑯：授業内最終発表１ 個人研究１５	インターゼミ大会前の第１班の最後の発表、および個人研究。 【事前学習】2 時間 第１班は発表内容の最終チェック。その他は１班の内容の調査。個人は研究発表の準備。 【事後学習】2 時間 発表後の他の学生のコメントを参考に、最終調整。個人もコメントを参考に今後に活かす。
第 23 回	インターゼミグループワーク ⑰：授業内最終発表２ 個人研究１６	インターゼミ大会前の第２班の最後の発表、および個人研究。 【事前学習】2 時間 第２班は発表内容の最終チェック。その他は２班の内容の調査。個人は研究発表の準備。 【事後学習】2 時間 発表後の他の学生のコメントを参考に、最終調整。個人もコメントを参考に今後に活かす。
第 24 回	インターゼミグループワーク	インターゼミ大会前の第３班の最後の発表、および個人研究。

	⑱：授業内最終発表３ 個人研究１７	【事前学習】2 時間 第３班は発表内容の最終チェック。その他は３班の内容の調査。個人は研究発表の準備。 【事後学習】２時間 発表後の他の学生のコメントを参考に、最終調整。個人もコメントを参考に今後に活かす。
第 25 回	インターゼミグループワーク ⑲：授業内最終発表４ 個人研究１８	インターゼミ大会前の第４班の最後の発表、および個人研究。 【事前学習】2 時間 第４班は発表内容の最終チェック。その他は４班の内容の調査。個人は研究発表の準備。 【事後学習】２時間 発表後の他の学生のコメントを参考に、最終調整。個人もコメントを参考に今後に活かす。
第 26 回	卒業論文の準備 個人研究１９	卒業論文とは何か。卒業論文の書き方等の説明。 【事前学習】２時間 あらかじめ卒業論文で書きたいテーマについて考えておく。 【事後学習】２時間 卒業論文の書き方等の内容の復習をする。
第 27 回	卒業論文テーマおよび構成発表①	ゼミ生４～５人が現時点での卒業論文の構想について発表する。 【事前学習】２時間 発表の準備を行う。 【事後学習】２時間 講義で受けたコメント等を通して卒業論文の構成固めを行う。また、発表者以外も発表者の内容を参考にし、自分の研究に活かす。
第 28 回	卒業論文テーマおよび構成発表②	ゼミ生４～５人が現時点での卒業論文の構想について発表する。 【事前学習】２時間 発表の準備を行う。 【事後学習】２時間 講義で受けたコメント等を通して卒業論文の構成固めを行う。また、発表者以外も発表者の内容を参考にし、自分の研究に活かす。
第 29 回	卒業論文テーマおよび構成発表③	ゼミ生４～５人が現時点での卒業論文の構想について発表する。 【事前学習】２時間 発表の準備を行う。 【事後学習】２時間 講義で受けたコメント等を通して卒業論文の構成固めを行う。また、発表者以外も発表者の内容を参考にし、自分の研究に活かす。
第 30 回	卒業論文テーマおよび構成発表④	ゼミ生４～５人が現時点での卒業論文の構想について発表する。 【事前学習】２時間 発表の準備を行う。 【事後学習】２時間 講義で受けたコメント等を通して卒業論文の構成固めを行う。また、発表者以外も発表者の内容を参考にし、自分の研究に活かす。

授業形式
基本的にオンライン形式で行います。 テキストを終えた後は、主にグループワークで進めます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	10%	60%	0%	100%

評価の特記事項
遅刻や他の受講生に迷惑になる行為は行わないでください。 やむを得ぬ理由で欠席・遅刻する場合は必ず連絡をしてください。

テキスト
神戸伸輔著『入門ゲームの理論と情報の経済学』，日本評論社，2004 年，2500 円(税抜)
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
金曜 6 限（18:00～19:30）
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
この講義はグループワークを中心とした自由な研究が主となります。他のメンバーに迷惑をかけないように、無断での遅刻欠席は厳禁とします。 また、講義外でのグループ間、個人の研究も求められますので、事前事後学習もしっかり行ってください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	03
担当教員	安藤　至大	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月４	単位区分	選
講義室	3122	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
このゼミでは，うまい仕組みの作り方を学びます。具体的には，まずゲーム理論と契約理論について学習した上で，契約や組織，制度のデザイン方法を検討します。うまい仕組みとは，人々が自分の欲求にしたがって素直に行動するだけで，望ましい結果が得られるような制度やルールを意味しています。 対応 DP 及び CP：5、6、7、8
授業概要（教育目的）
３年次では，まず契約と組織の理論についての理解を深めます。続いて、全員で共通のテーマを決めて調査研究を行います。共同名義での書籍を出版するための原稿を完成させることを目標とします。 対応 DP 及び CP：5、6、7、8

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミでの研究内容について確認し、理解を深める。利用する教科書等の紹介と輪読の方法について議論する。 【事前学習】2 時間 ゼミシラバスの内容を確認する。また昨年度に学んだゲーム理論の内容を復習しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 2 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 1 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 3 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 2 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 4 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 2 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 5 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 3 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 6 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 3 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 7 回	教科書の輪読：情報とイン	教科書の第 4 章の輪読を行う。

	センティブの経済学	【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 8 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 4 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 9 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 5 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 10 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 5 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 11 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 6 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 12 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 6 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 13 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 7 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。

		【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 14 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 7 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 15 回	前期のまとめ	前期に扱った内容を確認する。後期の進め方について議論する。 【事前学習】2 時間 これまでの学習内容を整理しておく。 【事後学習】2 時間 前期のゼミ活動で得た知識を他人に説明できるようになることを目標として、復習する。
第 16 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 8 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 17 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 8 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 18 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 9 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 19 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 9 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 20 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 10 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は

		事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 21 回	教科書の輪読：情報とインセンティブの経済学	教科書の第 10 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 22 回	共同での調査研究と書籍原稿の執筆	共同研究のテーマを決定する。またグループ分けを行い、担当作業について協議する。 【事前学習】2 時間 過去の共同研究について内容を把握し、自分たちが実施したい調査研究のテーマについて考えておく。 【事後学習】2 時間 テーマの選択について検討を進め、ゼミのコミュニケーションツール内で意見をまとめる。
第 23 回	共同での調査研究と書籍原稿の執筆	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 24 回	共同での調査研究と書籍原稿の執筆	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 25 回	共同での調査研究と書籍原稿の執筆	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 26 回	共同での調査研究と書籍原稿の執筆	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 27 回	共同での調査研究と書籍原稿の執筆	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間

		前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 28 回	共同での調査研究と書籍原稿の執筆	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間 発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 29 回	報告会	調査研究の結果をグループ毎に発表する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 他グループから発表された内容を理解するために、報告資料を確認する。
第 30 回	一年間のまとめ	一年間の活動内容を振り返る。 【事前学習】2 時間 ゼミで行ってきた活動内容を個人で振り返っておく。 【事後学習】2 時間 次年度に行いたい活動について考えておく。

授業形式
原則として対面式で行う。特別な事情がある場合にはオンラインでの参加を許可する。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%

評価の特記事項
報告等を担当する際の取り組みだけでなく、他の学生による報告等に関する議論への積極的な関与を評価の対象とする。

テキスト
神取道宏（2016）『ミクロ経済学の力』（日本評論社）のゲーム理論のパート 神取道宏（2018）『ミクロ経済学の技』（日本評論社）のゲーム理論のパート（練習問題） 大竹文雄（2019）『行動経済学の使い方』（岩波新書）
参考文献
ゼミにおいて指示する。
オフィスアワー
ゼミの初回に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
具体的な仕組みづくりなどを考える前に、まずは分析ツールとしてのゲーム理論等をよく理解することが求められます。自分が報告を担当する部分だけ勉強するのではなく、ゼミで扱われるすべての内容を理解できるように、主体的に学ぶことが必要です。 「ここは理解した」と言えるためには、その内容を何も見ずに再現できることが前提となります。自信を持って理解していると言える内容を増やしていきましょう。
授業用 URL
https://munetomoando.net/seminar/
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	04
担当教員	池本　修一	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月 5	単位区分	選
講義室	7043	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
現代の世界には様々な経済システムが存在する。アメリカ型資本主義，日本型資本主義，大陸欧州型資本主義，中国型社会主義などさまざまである。本専門研究では当該課題に関する経済関連文献の輪読，発表などを通じて世界の現状を理解し説明する能力を身につけ，同時に論理的・批判的思考力，問題発見・解決能力をも体得できるよう指導する。 対応ＤＰ及びＣＰ：5,6,7,8
授業概要（教育目的）
年度ごとに注目すべきテーマを選択し，それに該当する文献の輪読と発表を，単独あるいはグループに分けて行う。本年度はノーベル経済学賞に最も近いといわれるダロン・アセモグル＆ジェイムズ・ロビンソン著『自由の命運』を取り上げる。なお同著『国家はなぜ衰退するのか』は専門研究（一）で取り上げている。本授業ではその続編で最新刊であり，世界的に注目されている。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	課題図書『自由の命運』 第 1 章　歴史はどのようにして終るのか　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 2 回	第 1 章　歴史はどのようにして終るのか　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 3 回	第 2 章　赤の女王　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 4 回	第 2 章　赤の女王　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 5 回	第 3 章　力への意志　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 6 回	第 3 章　力への意志　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 7 回	第 4 章　回廊の外の経済　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 8 回	第 4 章　回廊の外の経済　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 9 回	第 5 章　善政の寓意　前	当該節の輪読と発表。

	半	【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 10 回	第 5 章　善政の寓意　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 11 回	第 6 章　ヨーロッパのハサミ　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 12 回	第 6 章　ヨーロッパのハサミ　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 13 回	第 7 章　天命　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 14 回	第 7 章　天命　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 15 回	第 8 章　壊れた赤の女王　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 16 回	第 8 章　壊れた赤の女王　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 17 回	第 9 章　悪魔は細部に宿る　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深め

		る。
第 18 回	第 9 章　悪魔は細部に宿る　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 19 回	第 10 章　ファーガソンはどうなってしまうのか？　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 20 回	第 10 章　ファーガソンはどうなってしまうのか？　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 21 回	第 11 章　張り子のリヴァイアサン　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 22 回	第 11 章　張り子のリヴァイアサン　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 23 回	第 12 章　ワッハーブの子供たち　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 24 回	第 12 章　ワッハーブの子供たち　　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 25 回	第 13 章　制御不能な赤の女王　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 26 回	第 13 章　制御不能な赤の女王　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する

		【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 27 回	第 14 章　回廊の中へ　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 28 回	第 14 章　回廊の中へ　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 29 回	第 15 章　リヴァイアサンとともに生きる　前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 30 回	第 15 章　リヴァイアサンとともに生きる　後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。

授業形式
授業は，原則的に対面方式で実施する。場合によってはリモートでの参加も可能である。授業では輪読のほか，関連する課題のビデオや画像などを使った解説も行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	1
評価の特記事項					
原則的に授業への出席と発表によって評価する。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
ダロン・アセモグル＆ジェイムズ・ロビンソン『国家はなぜ衰退するのか』早川書房，2016 年
オフィスアワー
火曜日 4 時限
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業に必ず出席し，発表，質疑応答などを積極的に行ってほしい。テキストは内容が豊富で難解であるので，学生は十分に予習をしてほしい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	05
担当教員	石川　恵子	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火４	単位区分	選
講義室	3124	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
業界分析・企業不正の事例について調べ、健全なコーポレート・ガバナンスのあり方をについて議論をすることを学習目標としています。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
学生が調べた業界分析・企業不正の事例についてグループディスカッションを行い、健全なコーポレートガバナンスのあり方を学びます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の内容・講義形式・評価方法・履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 資料をよく復習し、講義中に出てきたキーワードを理解すること。
第 2 回	レポートの書き方について（1）	レポートの書き方について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 レポートの書き方について説明する。 事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 資料をよく復習し、講義中に出てきたキーワードを理解すること。
第 3 回	レポートの書き方について（2）	レポートの書き方について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 4 回	レポートの書き方について（3）	レポートの書き方について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間
第 5 回	業界分析について（1）	業界分析の方法を説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 6 回	業界分析について（2）	業界分析の方法を説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 7 回	業界分析について（3）	業界分析の方法を説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 8 回	レポートの発表	第 1 回～第 7 回までの講義に基づいて、レポートを発表してもらう。 【事前学習】2 時間
第 9 回	企業不正の事例（1）	企業不正の事例について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。

第 10 回	企業不正の事例（2）	企業不正の事例について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 11 回	企業不正の事例（3）	企業不正の事例について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 12 回	コーポレートガバナンス（1）	健全なコーポレートガバナンスについて議論する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 13 回	コーポレートガバナンス（2）	健全なコーポレートガバナンスについて議論する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 14 回	コーポレートガバナンス（3）	健全なコーポレートガバナンスについて議論する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 15 回	レポートの発表	第 9 回～第 14 回までの講義に基づいて、レポートを発表してもらう。 【事前学習】2 時間
第 16 回	グループディスカッション（1）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 17 回	グループディスカッション（2）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 18 回	グループディスカッション（3）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 19 回	グループディスカッション（4）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間

		Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 20 回	グループディスカッション（5）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 21 回	グループディスカッション（6）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 22 回	グループディスカッション（7）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間
第 23 回	グループディスカッション（8）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 24 回	グループディスカッション（9）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 25 回	グループディスカッション（10）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 26 回	グループディスカッション（11）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 27 回	グループディスカッション（12）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 28 回	グループディスカッション（13）	各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間

		授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 29 回	グループディスカッション（14）	グループディスカッションの振り返りを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 30 回	まとめ	第 1 回～第 29 回までのまとめ。 【事前学習】2 時間

授業形式
授業形態は「①同時双方向」とする。 質問等のフィードバックは講義内で行う。 質問は Ecolink・GoogleClass・Gmail からも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
	60%		40%		100%
評価の特記事項					
GoogleForms を使用して、当日の意見・質問をとるので、期限内に提出すること。					

テキスト
山浦久司『監査論テキスト第 7 版』中央経済社,2019 年，2200 円.
参考文献
吉見宏『ケースブック監査論第 5 版』新世社,2013 年，2500 円.
オフィスアワー
月曜日 13 時～14 時 面会を希望される場合は、事前に連絡をし、相談内容を伝えて下さい。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	06
担当教員	石田　教子	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3133	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
制度派経済学についての理解を深めながら、特に、以下の項目に関わるオーラルスキルを身につけます。 1）制度派経済学が経済学史上どのように位置づけられるかを説明できる。 2）制度派経済学の諸理論の特徴を捉え、現代の経済社会との接点を実感できる。 3）市場や価格の動きだけではなく、社会における思考習慣、規範、制度、法などが経済活動に及ぼす影響を考察できる。 対応 DP 及び CP: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本授業はゼミナールです。制度派経済学の理論について解説します。19 世紀末から 20 世紀初頭の T. B. ヴェブレン、W. C. ミッチェル、J. R. コモンズらの創成期の制度派経済学者、戦後の J. K. ガルブレイス、G. ミュルダール、K. W. カップらの新制度派経済学者の理論や思想が中心となります。これらの経済学の理解を通じて、現代の経済社会が抱える問題群の発生に関して考察します。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	本年度のゼミナールの進め方を説明します。発表の順番やテキストの輪読の分担を決めます。 【事前学習】2 時間 テキストに採用したいと考える図書のピックアップ、意義についてのプレゼンテーションの準備を行う。 【事後学習】2 時間 決定事項をよく復習しておく。
第 2 回	春休みの共同研究　発表会	春休みの課題（自由なテーマにもとづく共同研究／個人研究）の成果について発表を行う。 【事前学習】2 時間 前日までに発表スライドを提出し、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 振り返りを提出する。
第 3 回	制度派経済学の位置について（はじめに）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 4 回	新古典派経済学の系譜と異端派経済学の視角①（序章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 5 回	新古典派経済学の系譜と異端派経済学の視角②（序章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 6 回	新古典派経済学の系譜と異端派経済学の視角③（序章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。

第 7 回	新古典派経済学の系譜と異端派経済学の視角④（序章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 8 回	古典派経済学の系譜と異端派経済学の視角⑤（序章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 9 回	現代経済学の方法論的問題①（第 2 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 10 回	現代経済学の方法論的問題②（第 2 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 11 回	現代経済学の方法論的問題③（第 2 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 12 回	現代経済学の方法論的問題④（第 2 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。

		【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 13 回	現代経済学の方法論的問題⑤（第 2 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 14 回	制度派経済学とはなにか？①（第 2 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 15 回	制度派経済学とはなにか？②（第 2 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 16 回	2-3 年生合同　書評レポート発表会	夏休みの課題（制度派経済学に関する図書を自ら選び、書評を執筆する）の成果について発表を行う。 【事前学習】2 時間 前日までにレポートを提出し、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 振り返りを提出する。
第 17 回	制度派経済学とはなにか？③（第 2 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 18 回	制度派経済学とはなにか？④（第 2 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間

		新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 19 回	制度派経済学とはなにか？⑤（第 2 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 20 回	フェアトレードと市場の「正義」①（第 12 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 21 回	フェアトレードと市場の「正義」②（第 12 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 22 回	フェアトレードと市場の「正義」③（第 12 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 23 回	フェアトレードと市場の「正義」④（第 12 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 24 回	フェアトレードと市場の「正義」⑤（第 12 章）	テキストを精読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者はリジョインダー・ペーパーを作成し、問題提起を行う。司会者は指定範囲の内容についての要約を 30 秒スピーチによって行う。ニュース解説担当者は時事問題のピックアップを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲の精読。プレゼンテーションの担当があたっている場合はそ

		の準備を行う。 【事後学習】2 時間 新出概念についてノートにまとめ理解する。討論内容についても復習する。
第 25 回	ヴェリタス杯プレゼンテーション・コンテスト①（準備）	ヴェリタス杯プレゼンテーション・コンテストの準備を行う。共通テーマに関してどのような問題提起が可能か、ブレインストーミングを行う。その後、テーマが確定し次第、スライド作成、スピーチ原稿執筆、質疑応答対策に取り組む。 【事前学習】2 時間 関連する情報、図書、論文、記事等の収集、読解。 【事後学習】2 時間 グループ討論の内容についても復習し、自らで設定した次回の課題に取り組む。
第 26 回	ヴェリタス杯プレゼンテーション・コンテスト②（準備）	ヴェリタス杯プレゼンテーション・コンテストの準備を行う。共通テーマに関してどのような問題提起が可能か、ブレインストーミングを行う。その後、テーマが確定し次第、スライド作成、スピーチ原稿執筆、質疑応答対策に取り組む。 【事前学習】2 時間 関連する情報、図書、論文、記事等の収集、読解。 【事後学習】2 時間 グループ討論の内容についても復習し、自らで設定した次回の課題に取り組む。
第 27 回	ヴェリタス杯プレゼンテーション・コンテスト③（準備）	ヴェリタス杯プレゼンテーション・コンテストの準備を行う。共通テーマに関してどのような問題提起が可能か、ブレインストーミングを行う。その後、テーマが確定し次第、スライド作成、スピーチ原稿執筆、質疑応答対策に取り組む。 【事前学習】2 時間 関連する情報、図書、論文、記事等の収集、読解。 【事後学習】2 時間 グループ討論の内容についても復習し、自らで設定した次回の課題に取り組む。
第 28 回	ヴェリタス杯プレゼンテーション・コンテスト④（準備）	ヴェリタス杯プレゼンテーション・コンテストの準備を行う。共通テーマに関してどのような問題提起が可能か、ブレインストーミングを行う。その後、テーマが確定し次第、スライド作成、スピーチ原稿執筆、質疑応答対策に取り組む。 【事前学習】2 時間 関連する情報、図書、論文、記事等の収集、読解。 【事後学習】2 時間 グループ討論の内容についても復習し、自らで設定した次回の課題に取り組む。
第 29 回	ヴェリタス杯プレゼンテーション・コンテスト⑤（振り返り）	ヴェリタス杯プレゼンテーション・コンテストの振り返りを行う。 【事前学習】2 時間 自分たちのプレゼンテーションに対する反省点をまとめておく。他大学のプレゼンテーションに学んだ点をまとめておく。 【事後学習】2 時間 振り返りレポートを提出する。
第 30 回	4 年生 卒業論文発表会	4 年生の卒論発表会に参加し、自らの研究課題について模索します。 事前学習】2 時間 卒業論文要旨に目を通し、予習を行う。 【事後学習】2 時間 振り返りを行う。

授業形式
授業形式は「③部分対面型」です。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	40%	0%	60%	0%	100%

評価の特記事項
プレゼンテーション、指定範囲の予習、積極的な発言やコメント、討論の論理の緻密さなど。

テキスト
岡本哲史・小池洋一編著，『経済学のパラレルワールド：入門・異端派総合アプローチ』，新評論，2019 年.
参考文献
授業内で適宜指示する。
オフィスアワー
水曜日 4 限。希望者はメールでアポイントを取ること。 ishida.noriko@nihon-u.ac.jp
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻や無断欠席は一切認めません。退ゼミとなります。バイトやサークルを優先する人には向きません。他者の違いを寛容に受け入れ、共に学び合い、それぞれが自主的に研究を進めることを期待します。 ゼミの見学はいつでも大歓迎です。希望者は参加希望日などを下記のフォームからお知らせください。 https://forms.gle/XfZ9bFPE555KysWi7
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	07
担当教員	井尻　直彦	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水２	単位区分	選
講義室	7061	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは，ゼミナール受講生が国境を越える経済取引によって発生する諸問題を理解するために必要な基礎的理論を身につけることを目的にします。主なテーマとして国際貿易、海外直接投資および多国籍企業を取り上げ，受講生はこれらの発生要因や経済効果に関して理論的な理解を深め，各国経済の相互依存関係を分析する力を養うことを期待しています。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
グローバル化の進展のなかで複雑化する各国の相互依存関係を知り，その上で国際的経済取引の重要性の高まりの意義を解説します。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	初回；はじめに	ゼミナール全体の概要の説明 経済の国際化の意義 【準備学習】2 時間 事前に示された課題に取り組む（提出） 【事後学習】2 時間 CH1 の予習
第 2 回	第 1 クール：企業の国際化：実証的事実	テキスト CH.1 を輪読する 【準備学習】2 時間 Fact3 までを予習 【事後学習】2 時間 Fact3 までの内容を復習
第 3 回	第 1 クール：企業の国際化：実証的事実	テキスト CH.1 を輪読する。 【準備学習】2 時間 Fact4 から 7 までを予習 【事後学習】2 時間 Fact4 から 7 までの内容を復習
第 4 回	第 2 クール：企業の国際化：今後の研究課題	CH.1 を輪読する 【準備学習】2 時間 Issue 1 から 3 を予習 【事後学習】2 時間 Issue1 から 3 の内容を復習：多国籍企業の研究課題を理解する
第 5 回	第 2 クール：企業の国際化：今後の研究課題	CH.1 を輪読する 【準備学習】2 時間 Issue 4 から 7 を予習 【事後学習】2 時間 Issue 4 から 7 の内容を復習：多国籍企業の研究課題を理解する
第 6 回	第 3 クール：多国籍企業に関する先行研究の理解	Ch.2 を輪読する 【準備学習】2 時間 P24 から P34 までを予習 【事後学習】2 時間 多国籍企業の生産活動に関わる先行研究の分析方法とその結果を理解する
第 7 回	第 3 クール：多国籍企業に関する先行研究の理解	Ch.2 を輪読する 【準備学習】2 時間 P24 から P34 までを予習 【事後学習】2 時間 多国籍企業の生産活動に関わる先行研究の分析方法とその結果を理解する
第 8 回	第 3 クール：多国籍企業に関する先行研究の理解	Ch.2 を輪読する 【準備学習】2 時間 P24 から P34 までを予習 【事後学習】2 時間 多国籍企業の生産活動に関わる先行研究の分析方法とその結果を理解する
第 9 回	第 3 クール：多国籍企業に関する先行研究の理解	Ch.2 を輪読する 【準備学習】2 時間 P24 から P34 までを予習 【事後学習】2 時間 多国籍企業の生産活動に関わる先行研究の分析方法とその結果を理解す

		る
第 10 回	第 3 クール：多国籍企業に関する先行研究の理解：内部化	Ch.2 を輪読する 【準備学習】2 時間 P35 から P38 までを予習 【事後学習】2 時間 多国籍企業の内部化に関わる先行研究の分析方法とその結果を理解する
第 11 回	第 3 クール：多国籍企業に関する先行研究の理解：内部化	Ch.2 を輪読する 【準備学習】2 時間 P35 から P38 までを予習 【事後学習】2 時間 多国籍企業の内部化に関わる先行研究の分析方法とその結果を理解する
第 12 回	第 3 クール：多国籍企業に関する先行研究の理解：企業の境界	Ch.2 を輪読する 【準備学習】2 時間 P35 から P38 までを予習 【事後学習】2 時間 多国籍企業の境界に関わる先行研究の分析方法とその結果を理解する
第 13 回	第 3 クール：多国籍企業に関する先行研究の理解：FDI の経済効果	Ch.2 を輪読する 【準備学習】2 時間 P35 から P47 までを予習 【事後学習】2 時間 FDI の経済効果に関わる先行研究の分析方法とその結果を理解する
第 14 回	理解度の確認	これまでの要点のまとめ 【準備学習】2 時間 これまでのゼミで学修した先行研究を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 これまでのゼミで学修した多国籍企業の先行研究のインプリケーションを理解する
第 15 回	中間のまとめ	まとめ 【準備学習】2 時間 グループ研究の報告 【事後学習】2 時間 夏季休暇中にグループ研究を進める
第 16 回	第 3 クール：多国籍企業に関する先行研究の理解：FDI の経済効果	Ch.2 を輪読する 【準備学習】2 時間 P35 から P47 までを予習 【事後学習】2 時間 FDI の経済効果に関わる先行研究の分析方法とその結果を理解する
第 17 回	第 3 クール：多国籍企業に関する先行研究の理解：FDI の経済効果	Ch.2 を輪読する 【準備学習】2 時間 P35 から P47 までを予習 【事後学習】2 時間 FDI の経済効果に関わる先行研究の分析方法とその結果を理解する
第 18 回	第 3 クール：多国籍企業に関する先行研究の理解：FDI の経済効果	Ch.2 を輪読する 【準備学習】2 時間 P35 から P47 までを予習 【事後学習】2 時間 FDI の経済効果に関わる先行研究の分析方法とその結果を理解する
第 19 回	第 4 クール：　海外直接投資と多国籍企業の理解 理論的な考察	海外直接投資と国際貿易の理論 海外直接投資の発生が国際貿易のパターンに及ぼす影響を国際貿易理論に基づいて解説します。 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。

		【事後学習】2 時間 海外直接投資のタイプと国際貿易パターンの関係を説明できるようにすること
第 20 回	第４クール： 海外直接投資と多国籍企業の理解	多国籍企業の理論 ここからは企業の視点からみた企業の海外進出活動を考察します。従来国際経営において扱われていた論点をミクロ経済学により分析を進められ、経済学における多国籍企業理論が確立されてきました。今回はその理論的な系譜を解説します。 【準備学習】2 時間 参考書（ヘルプマン著第５,第６章）で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 企業特殊優位性と多国籍企業化の関連を説明できるようにすること
第 21 回	第４クール： 海外直接投資と多国籍企業の理解	多国籍企業の理論 企業が多国籍化する要因をミクロ経済学的視点から解説します。 【準備学習】2 時間 参考書（ヘルプマン著第５,第６章）で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 企業特殊優位性と多国籍企業化の関連を説明できるようにすること
第 22 回	第４クール： 海外直接投資と多国籍企業の理解	新「新貿易理論」と多国籍企業の理論 企業の異質性が企業のグローバルな進出戦略に影響を及ぼすという新しい貿易理論を解説します。 【準備学習】2 時間 参考書（ヘルプマン著第６章）で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 企業の異質性と多国籍企業化の関連を説明できるようにすること
第 23 回	第５クール： 水平的海外直接投資の理論分析	Ch. 3 を輪読する 【準備学習】2 時間 P49 から P78 までを予習 【事後学習】2 時間 水平的 FDI の理論分析による経済効果を理解する
第 24 回	第５クール： 水平的海外直接投資の理論分析	Ch. 3 を輪読する 【準備学習】2 時間 P49 から P78 までを予習 【事後学習】2 時間 水平的 FDI の理論分析による経済効果を理解する
第 25 回	第５クール： 水平的海外直接投資の理論分析	Ch. 3 を輪読する 【準備学習】2 時間 P49 から P78 までを予習 【事後学習】2 時間 水平的 FDI の理論分析による経済効果を理解する
第 26 回	グループ研究の発表	各研究グループの研究結果を発表する 【事前学習】2 時間 【事後学習】2 時間
第 27 回	第５クール： 水平的海外直接投資の理論分析	Ch. 3 を輪読する 【準備学習】2 時間 P49 から P78 までを予習 【事後学習】2 時間 水平的 FDI の理論分析による経済効果を理解する
第 28 回	第５クール： 水平的海外直接投資の理論分析	Ch. 3 を輪読する 【準備学習】2 時間 P49 から P78 までを予習 【事後学習】2 時間

		水平的 FDI の理論分析による経済効果を理解する
第 29 回	理解度の確認	１６回以降の要点のまとめ 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 16 回以降で議論した多国籍企業の経済学的効果を説明できるようにすること
第 30 回	まとめ	まとめ 【準備学習】2 時間 事前に指定する参考書等で予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 国際貿易、多国籍企業の経済学的効果を説明できるようにすること

授業形式
①同時双方向型により講義を進めていきます。ゼミナール中にわからないことがあれば，積極的に質問をするようにしてください。で

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0	20%	0	60%	20%	100%

評価の特記事項
指定された箇所のプレゼンテーションを責任持って完了するようにしてください。

テキスト
G.Navaretti & A. Venables,2004, Multinational Firms in the World Economy, Princeton University Press.
参考文献
1.若杉隆平著『国際経済学(第３版)』岩波書店,2730 円. 2.ケイブス,フランケル，ジョーンズ著『国際経済学入門①国際貿易編』日本経済新聞社,3780 円. 3.浦田秀次郎『国際経済学入門』日経文庫,903 円. 4.ヘルプマン著『グローバル貿易の針路をよむ』文眞堂，2730 円
オフィスアワー
月曜 2 時限目 必ずメール等で事前に予約をとること
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールは，ただ聞いているだけでは退屈です。ですから，積極的に質問をするようにしてください。 ゼミナールに「出席する」というのではなく，「参加する」という意識，姿勢を期待しています。ただし、私語は慎んでください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	08
担当教員	大内　雅浩	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金４	単位区分	選
講義室	3134	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミでは，以下の能力を身につけることを目指します。 １．資料・文献（専門書・新聞・論文・データ等）の本質を理解することができたり，批判的に考察したりすることができる＜論理的読解力＞ ２．他者の意見に対して論理的に把握でき，建設的な意見を言う事ができたり，真摯に意見を受け止めたりすることができる。＜論理的読解力・聴解力＞ ３．社会に関心を持ち，根底に潜む原因への接近に興味を持って取り組むことができる。 ４．相手に自分の言葉で分かりやすく丁寧に，客観的な根拠を持って解決策や改善策を提言することができる。 対応 DP 及び CP:5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本ゼミでは，様々な「マクロ経済」問題・現象を研究の対象としていきます。 現実の世界には多くの問題が山積し，私たちの生活に大きな問題に発展しています。広い視野で物事を考えられることはとても重要な生きる力の一つです。マクロ経済現象の本質（共通点や教訓）を考え，議論を通じて「自分の言葉」で原因や解決策を自信をもって説明できるようになることです。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 2 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 3 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 4 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 5 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 6 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 7 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 8 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 9 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 10 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間

		知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 11 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 12 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 13 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 14 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 15 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 16 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 17 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 18 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 19 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 20 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 21 回	文献の輪読と発表，経済	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。

	分析	【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 22 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 23 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 24 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 25 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 26 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 27 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 28 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 29 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。
第 30 回	文献の輪読と発表，経済分析	ゼミ受講生と相談の上，内容を決める。 【事前学習】2 時間 事前にテキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 知識と論点についての繋がりを確認して，全体の内容について復習する。

授業形式
①同時双方向型（オンライン）

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	1
評価の特記事項					
初回の授業時に指示する。					

テキスト
・福田慎一『21 世紀の長期停滞論』 ・中谷巌・下井直毅・塚田裕昭『入門 マクロ経済学 第 6 版』日本評論社 ・ジョン・ケネス・ガルブレイス『新版 バブルの物語】ダイヤモンド社
参考文献
・各種経済新聞 ・J.M.ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』東洋経済新報社 ・ローレンス・サマーズ，ベン・バーナンキ，ポール・クルーグマン，アルヴィン・ハンセン著 『景気回復が感じられないのはなぜか：長期停滞論争』世界思想社。 ・岩田規久男『世界同時不況』ちくま新書 ・その他、様々な文献など独学用にリーディング・リスト等を配布する。
オフィスアワー
質問等には適宜対応する。事前にメールでアポイントを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
独学力・自己駆動力を発揮し，自己成長するよう望む。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	09
担当教員	大槻　明	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金４	単位区分	選
講義室	7091	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します． (1)　ビッグデータを統計的に処理して経営学的な意思決定を行うために必要な，R 統計及び Python を用いた AI 系技術（ニューラルネットワーク）を自らのコンセプトに基づいて使うことができるようになる． (2)　自ら設定した研究コンセプトに基づき研究を遂行することができるようになる． (3)　Deep Learning の概念を理解し，Deep Learning とはどのような技術なのかを説明できるようになる． 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義は，専門研究一で学んだ内容をベースとして，前期では R 統計について演習形式で学び，その後に分析結果を地図上に可視化する技術としてオープンストリートマップや HTML+CSS の技術を演習形式で学びます．後期では Python のプログラミング基礎から始まり，AI 系技術（ニューラルネットワーク）を用いて手書き数字の推論処理について演習します．そして最後に Deep Learning の基礎概念や Deep Learning のビジネスへの応用事例について講義形式で学びます．

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ビッグデータサイエンス応用ことはじめ	・中心性分析の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「中心性分析」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで，「中心性分析」の計算が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 2 回	R 統計 1	・「平均」，「標準偏差」，「分散」，「ヒストグラム」，「二項分布」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「平均」と「標準偏差」，「分散」，「二項分布」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで，「二項分布」の計算が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 3 回	R 統計 2	・「離散値と連続値」，「正規分布」，「正規分布の確率密度」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「離散値と連続値」と「正規分布」，「正規分布の確率密度」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで「正規分布の確率密度」を計算できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 4 回	R 統計 3	・「相関分析」，「回帰分析」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「相関分析」と「回帰分析」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・自らのコンセプトによりデータを取得して，「相関分析」と「回帰分析」が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 5 回	R 統計 4	・「重回帰分析」，「ロジスティック回帰分析」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「重回帰分析」と「ロジスティック回帰

		分析」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・自らのコンセプトによりデータを取得して，「重回帰分析」と「ロジスティック回帰分析」が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 6 回	R 統計 5	・「複数データの一括予測」，「主成分分析」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「主成分分析」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・自らのコンセプトによりデータを取得して「主成分分析」が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 7 回	R 統計 6	・「コンジョイント分析」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「コンジョイント分析」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・自らのコンセプトによりデータを取得して「コンジョイント分析」が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 8 回	R 統計 7	・「因子分析」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「因子分析」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで「因子分析」が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 9 回	Open Street Map 1	・「Leaflet の基本構造」，「デフォルトの視点をセット」，「プロットレイヤー」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「Leaflet の基本構造」と「デフォルトの視点をセット」，「プロットレイヤー」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで，「デフォルトの視点をセット」でき，「プロットレイヤー」の操作等が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告
第 10 回	Open Street Map 2	・「集客分析」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間

		Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「集客分析」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで，Open Street Map の応用的な操作等が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 11 回	HTML＋CSS 1	・「HTML 基礎」，「HTML タグ」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「HTML 基礎」，「HTML タグ演習」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで教材レジメで学んだ全ての HTML タグを操作等できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 12 回	HTML＋CSS 2	・「HTML と CSS をつなげる」，「div で作る CSS レイアウト」，「HTML タグへ個別にスタイルを指定」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「HTML と CSS をつなげる」と「div で作る CSS レイアウト」，「HTML タグへ個別にスタイルを指定」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・本日学んだ CSS 関係技術を用いて，自らのテーマに基づいて Web ページの作成を進めること ・研究進
第 13 回	HTML＋CSS 3	・「div による HTML オブジェクトの配置」，「Web ページの横幅を指定」，「「float」により崩れたレイアウトを修正」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「div による HTML オブジェクトの配置」と「Web ページの横幅を指定」，「「float」により崩れたレイアウトを修正」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・本日学んだ CSS 関係技術を用いて，自らのテーマに基づいて Web ペ
第 14 回	HTML＋CSS 4	・「枠線でレイアウトを区切る」，「レイアウトの背景を指定」，「「見出し」と「本文」でコンテンツを作成」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「枠線でレイアウトを区切る」と「レイアウトの背景を指定」，「「見出し」と「本文」でコンテンツを作成」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・本日学んだ CSS 関係技術を用いて，自らのテーマに基づいて Web ページの作成を進めること ・研究進捗報告会
第 15 回	HTML＋CSS 5	・「サイドメニューの作成」，「padding と margin」，「auto で Web ページ

		を中央表示」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「サイドメニューの作成」と「padding と margin」，「auto で Web ページを中央表示」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・本日学んだ CSS 関係技術を用いて，自らのテーマに基づいて Web ページを完成させること ・研究進捗報告会でもらった
第 16 回	Python プログラミング基礎 1	・Spyder 及び Jupyter を用いて Python プログラミングの基礎演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「Spyder による Python プログラミング基礎」と「Jupyter による Python プログラミング基礎」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくても Jupyter の基本操作が行えるように良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自
第 17 回	Python プログラミング基礎 2	・「データ型」，「基本文法（if 文，for 文）」，「独自関数の作成」，「Python スクリプトの実行」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「データ型」，「基本文法（if 文，for 文）」，「独自関数の作成」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで if 文や for 文が実行できるようになるまで，さらに自らのコンセプトに基づいて独自関数が作成できるようになるまで良
第 18 回	Python ニューラルネットワーク演習 1	・NumPy を用いた算術演算や配列要素へのアクセスについての演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「NumPy(簡単な算術演算)」，「NumPy(配列要素へのアクセス)」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで NumPy の算術演算や配列要素へのアクセスが行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的
第 19 回	Python ニューラルネットワーク演習 2	・Matplotlib による可視化の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「Matplotlib(グラフ描画)」，「Matplotlib(画像描画)」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメとは別のデータで Matplotlib による可視化が行えるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること

第 20 回	Python ニューラルネットワーク演習 3	・パーセプトロンの演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「パーセプトロン」，「パーセプトロンにバイアスを導入」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくてもパーセプトロンを実装できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 21 回	Python ニューラルネットワーク演習 4	・多層パーセプトロンの演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「多層パーセプトロン」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくても多層パーセプトロンを実装できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 22 回	Python ニューラルネットワーク演習 5	・シグモイド関数の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「NN(シグモイド関数)」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくてもシグモイド関数を実装できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 23 回	Python ニューラルネットワーク演習 6	・「多次元配列の実装」，「行列の内積演算」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「1 次元,2 次元配列の実装」，「NN のための行列の内積演算」，「ニューラルネットワークの内積演算」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくても「ニューラルネットワークの内積演算」が実装できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体
第 24 回	Python ニューラルネットワーク演習 7	・「3 層 NN の実装(第 0 層→第 2 層)」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「3 層 NN の実装(第 0 層→第 1 層)」，「3 層 NN の実装(第 1 層→第 2 層)」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくても，第 0 層→第 2 層までの 3 層 NN を実装できるよ

		うになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 25 回	Python ニューラルネットワーク演習 8	・「3 層 NN の実装(第 2 層→出力層の実装)」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「3 層 NN の実装(第 2 層→出力層の実装)」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくても 3 層 NN を実装できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 26 回	Python ニューラルネットワーク実践 1	・「MNIST データセットのロード」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「手書き数字の認識（はじめに）」，「MNIST データセットのロード」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくても MNIST データセットをロードできるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 27 回	Python ニューラルネットワーク実践 2	・「MNIST 画像の表示」，「NN の推論処理 1 」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「MNIST 画像の表示」，「NN の推論処理①-⑥」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくても MNIST 画像を表示することができるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 28 回	Python ニューラルネットワーク実践 3	・「NN の推論処理 2 」の演習を行う ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「NN の推論処理⑦-⑩」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくても「NN の推論処理」を実装できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを参考に，自身の研究を主体的に進めること
第 29 回	Deep Learning 基礎 1	・「Deep Learning 概要や原理」について講義する ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「Deep Learning 入門（隠れ層

		4 以上）」,「Deep Learning 入門（誤差逆伝搬法，勾配降下法）」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくても Deep Learning 概要や原理について説明できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなど
第 30 回	Deep Learning 基礎 2	・「Deep Learning の産業へのインパクト」について講義する ・研究進捗報告会で自身の研究進捗について報告し，ゼミ生を含めたディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 Ecolink に掲載する教材レジメのうち，「Deep Learning 入門（AI の産業へのインパクト）」について予習する. 【事後学習】2 時間 ・教材レジメを見なくても，現状 Deep Learning が産業界にどのようなインパクトを与えているかについて説明できるようになるまで良く復習すること ・研究進捗報告会でもらったコメントなどを

授業形式

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
40%	40%	0%	20%	0%	1

評価の特記事項
/ ・1 年間の研究成果を授業期間試験に換算して評価します ・毎回の授業課題をレポートとして提出いただきます ・無断欠席 2 回で退ゼミとします

テキスト
毎回の授業の前日までに，授業レジュメを Ecolink に掲載します.
参考文献
必要があれば授業の中で適宜紹介します.
オフィスアワー
・日時：水曜日の 3 時限 ・場所：日本大学経済学部 8 号館 3-24，若しくは ZOOM ・注意事項：事前にアポイントを取り，指示された時間帯に上記の場所若しくは ZOOM で相談を受けます.
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・授業計画は目安であり、受講者の習熟度や興味等により変更する場合があります. ・「研究は一日にして成らず」ですので，日々主体的に研究を進めてください.
授業用 URL
https://us02web.zoom.us/j/85661261231?pwd=blRFamo1eVFzRmdLR2N5NlY1U1Npdz09
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究（二）	クラス	
担当教員	大場　允晶	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目（専門ゼミ）
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	3083	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，生産管理・経営情報論をベースとした知識を活用し、現代企業経営が抱えている諸問題を解決するための基本的な取り組み方，自主的解決方法についてグループの一員として取り組み，行動できるようになることを目標とする。また，組織の中で、自分のビジョンを持ち、自分で問題点を見つけ、自分で解決策を決められるリーダーとなれる人材として活躍できるようになる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5,6,7.8
授業概要（教育目的）
生産管理・経営情報の基本（言葉）と現代の物販モデルを理解する。また、IoT サービス課金モデルを研究する。図書館，インターネットの活用し、調査の基本を理解できるようにする。ショートケーススタディによる課題の整理法・解決法を習得する。ビジネスケーススタディによる企業分析，ビジネスゲームを体験し、経営の意思決定方法を習得し、ひな形を使った企業分析法を体験により理解し、生産マネジメントの基礎を身に着けられるようにする。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第　1回	イントロダクション：生産管理・経営情報をベースとした特別専門ゼミ授業の概要，授業の進め方	授業開始に当って、特別専門ゼミ授業の概要，授業の進め方を理解する。【事前学習】2 時間 EcoLink 等から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行できるようにしておくこと。
第　2回	ゼミ活動の年間予定、ゼミにおける役割分担（役員内容）の決定、アイスブレーキングとしてのアクティビティの実行	ゼミのグループ学習の役割分担、意思決定のルールを理解し、メンバー間の親睦を図る。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行できるようにしておくこと。
第　3回	投資体験ゲームによりグループ学習体験	グループ活動中心のゼミの学習方法を学習ゲームによって体験する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第　4回	ショートケース・スタディ③（日大インパル社の事業環境分析と経営戦略策定）の解説と学習準備	グループ活動中心のゼミの学習方法を学習ゲームによって体験する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第　5回	ショートケース・スタディ③のグループ学習１　　課題０についてグループ発表 課題１，２，３についてグループ討議	ショートケース・スタディ③（日大インパル社の事業環境分析と経営戦略策定）の内容と課題について理解する。グループ分けを行い役割分担を決める。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第　6回	ショートケース・スタディ③のグループ学習２ 課題１，２，３についてグループ発表 課題４，５，６についてグループ討議	ショートケース・スタディ③の課題１，２，３について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第　7回	ショートケース・スタディ③のグループ学習３ 課題４，５，６についてグループ発表 全体のまとめ討議	ショートケース・スタディ③の課題４，５，６について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第　8回	ショートケース・スタディ③のグループ学習まとめ　　全体のまとめの発表	ショートケース・スタディ③のグループまとめ内容を理解し、グループディスカッションを行って発表する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第　9回	企業研究の解説と学習準備	企業研究のやり方、財務諸表・財務分析について理解する。グループ分けを行い、各自の役割分担について理解する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業内容をよく復習し，必要な資料収集、企業研究テンプレートに担当部分を記述し、説明できるようにしておくこと。
第１０回	企業研究の学習１ 研究対象候補企業の分析資料説明と討議と決定	企業研究の対象選定作業、SWOT 分析を行い研究対象企業選定シートをグループで作成する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第１１回	企業研究の学習２ 研究対象企業選定シートによる選定結果の発表	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調

	事前学習レポートの検討１	査分担した内容を実行しておくこと。
第１２回	企業研究の学習３ 事前学習レポートの検討１のグループ発表 事前学習レポートの検討２	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第１３回	企業研究の学習４ 事前学習レポートの検討２のグループ発表 事前学習レポートの検討３	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第１４回	企業研究の学習５ 事前学習レポートの検討３のグループ発表 事前学習レポートの検討４と発表	事前学習レポートの内容について理解し、調査した分担内容を発表してグループ討議できるようにする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第１５回	企業研究のまとめ 完成した事前学習レポートの提出　事前学習レポートの検討２のグループ発表	企業研究でまとめた事前学習レポートの提出と内容を加味したパワーポイントを作成して発表し。講評を受ける。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に受けた講評内容を提出物に反映し修正版を作成する。
第１６回	ショートケース・スタディ⑫（日大食品社の経営革新）の解説と学習準備	ショートケース・スタディ⑫（日大食品社の経営革新）の内容と課題について理解する。グループ分けを行い役割分担を決める。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業内容をよく復習し，必要な資料収集、ショートケース・スタディ⑫の発表シートに担当部分を記述し、説明できるようにしておくこと。
第１７回	ショートケース・スタディ⑫のグループ学習①	ショートケース・スタディ⑫の課題０，１について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第１８回	ショートケース・スタディ⑫のグループ学習②	ショートケース・スタディ⑫の課題２，３について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第１９回	ショートケース・スタディ⑫のグループ学習③	ショートケース・スタディ⑫の課題４について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第２０回	ショートケース・スタディ⑫のグループ学習④	ショートケース・スタディ⑫の課題５について内容を理解し、グループディスカッションを行って回答を作成し、発表の準備をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第２１回	ショートケース・スタディ⑫のグループ学習まとめ	ショートケース・スタディ⑫の全課題のグループ回答をまとめ発表する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第２２回	ケース・スタディ B（ビジネス・シミュレーションゲーム）の解説と学習準備	ケース・スタディ B における経営環境、役員の役割、ケースの流れ、作成帳票の仕組みを理解する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第２３回	ケース・スタディ B の企業設	ケース・スタディ B のグループごとの企業設立、役員就任を決め、対象企業の

	立、役員就任と定款の制定	定款を決め、制定する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておく
第２４回	ケース・スタディ B：経営練習用実施、長期経営計画の作成	ケース・スタディ B における経営意思決定の流れの練習期を実施し、お金の流れと帳票の作成方法を理解する。また、長期経営計画を企業単位で作成する。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておく
第２５回	ケース・スタディ B：経営１～４期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営１～４期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておく
第２６回	ケース・スタディ B：経営５～８期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営５～８期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第２７回	ケース・スタディ B：経営９～１２期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営９～１２期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第２８回	ケース・スタディ B：経営１３～１８期実施、経営の意思決定表の作成	ケース・スタディ B における経営１３～１８期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第２９回	ケース・スタディ B：経営１９～２４期実施、経営の意思決定表の作成	経営１９～２４期を実施し、経営の意思決定表を作成する。企業単位の経営結果の諸表作成と分析をする。２年分の経営結果をまとめ、経営成績の反省をレポートにまとめる。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。
第３０回	ケース・スタディ B：各社経営成績の発表とまとめ、振り返り	２年間の成績とグループのレポートを発表し、講評を受ける。【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。【事後学習】2 時間授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。

授業形式
・質問等のフィードバックは，講義内で行う。 ・質問等は EcoLink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
０％	２０％	０％	８０％	０％	１００％

評価の特記事項
・遅刻せずゼミ授業に出席することがゼミ単位取得の前提とする。 ・前後期で 2 回の Report を課す。

テキスト
指定しない
参考文献
・大場允晶、藤川裕晃編著「生産マネジメント-戦略編」，文眞堂，2010 年，2,500 円(税抜) ,・大場允晶、藤川裕晃編著「生産マネジメント-技術編」，文眞堂，2009 年，2,500 円(税抜),・大場允晶、藤川裕晃編著，『経営情報とビジネスプロセス管理』，創成社，2012 年，2,500 円(税抜)
オフィスアワー
随時。事前にメールでアポを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
講義中の私語は最低限のモラルとして慎むこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	10
担当教員	大森　信	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3102	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
学生が自分の担当する箇所についての報告資料を作成して，それを全員に配付し，報告・討議を重ねて理解を深めていきます。「専門研究㈠」【2 年】では，加護野忠男『1 からの経営学』碩学舎を，「専門研究㈡」【3 年】では，金井一賴ほか『経営戦略』有斐閣をテキストとして使用する予定です。テキストの輪読や報告，討議を通じて，経営学についての知識の獲得とともに読解力・文章力・プレゼンテーション力を高めていくことも目標としています。「卒業論文」【4 年】では，【2 年】【3 年】のゼミで習得した知識に基づきながら，調査対象企業の経営戦略とマネジメントについて調査・分析していきます。 対応ＤＰ及びＣＰ：5,6,7.8
授業概要（教育目的）
企業の戦略とマネジメントについて研究・調査するゼミナールです。「専門研究㈠」【2 年】と「専門研究㈡」【3 年】では，経営学および経営戦略論の基本的な理論や考え方を身に付けることを目標にします。「卒業論文」【4 年】では，調査対象企業を各自が選択して，その実態を調査・分析していきます。【2 年】【3 年】のゼミで習得した知識に基づきながら，分析をしていきます。3 年間のゼミを通じて，社会に対する関心を高めて，洞察力を深めていけるようになることをねらいとしています。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 前期の輪読のスケジュールと担当者の割り当てを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと
第 2 回	指定した文献の輪読①	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 3 回	グループワークの実践①	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 4 回	指定した文献の輪読②	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 5 回	グループワークの実践②	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 6 回	指定した文献の輪読③	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 7 回	グループワークの実践③	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 8 回	指定した文献の輪読④	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 9 回	グループワークの実践④	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間

		前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 10 回	指定した文献の輪読⑤	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 11 回	グループワークの実践⑤	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 12 回	指定した文献の輪読⑥	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 13 回	グループワークの実践⑥	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 14 回	指定した文献の輪読⑦	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 15 回	グループワークの実践⑦	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 16 回	指定した文献の輪読⑧	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 17 回	グループワークの実践⑧	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 18 回	指定した文献の輪読⑨	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポ

		ート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 19 回	グループワークの実践⑨	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 20 回	指定した文献の輪読⑩	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 21 回	グループワークの実践⑩	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 22 回	指定した文献の輪読⑪	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 23 回	グループワークの実践⑪	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 24 回	指定した文献の輪読⑫	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 25 回	グループワークの実践⑫	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 26 回	指定した文献の輪読⑬	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 27 回	グループワークの実践⑬	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 28 回	指定した文献の輪読⑭	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 29 回	グループワークの実践⑭	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 30 回	全体のまとめ	全体のまとめ・1 年間の振り返り 【事前学習】4 時間 これまでの内容を振り返っておく。

授業形式
・質問等のフィードバックは，講義内で行う。 ・質問等は EcoLink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	1
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
＊受講学生は、第 1－2 回目の非対面型講義の案内（URL など）をしますので、ohmori.shin@nihon-u.ac.jp に 4 月 10 までにメールにて連絡をしてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	11
担当教員	岡根　秀規	実務経験のある教員による授業科目	○
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水２	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
我が国の税制や税務行政に関する基本的知識を習得した上で，諸外国の租税制度の動向なども参考にしながら，租税政策全般についての理解を深め，今後の租税制度の在り方について研究を行い，提言を行うことができるようになる。 対応ＣＰ及びＤＰ：５，６，７，８
授業概要（教育目的）
我が国の税制や税務行政に関する基本的知識について，学生自らテーマを選定し，調査研究を行い，プレゼンを通じたグループ討議の実施により，租税に関する理解や問題意識を深め，租税に精通し，広く社会で貢献できる人材を育成することを目的とします。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミナールの目的や進め方について周知徹底を図り次週からのゼミの準備を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミナールガイドを読んでおく。 【事後学習】2 時間 自分が担当するプレゼンの日を確認し，資料準備を行う。
第 2 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 3 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 4 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 5 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 6 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 7 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 8 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 9 回	税に関する個別のテーマにつ	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日

	いてのプレゼンと討論の実施	までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 10 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 11 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 12 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 13 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 14 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 15 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 16 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 17 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間

		ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 18 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 19 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 20 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 21 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 22 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 23 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 24 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 25 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 26 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間

		事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 27 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 28 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 29 回	税に関する個別のテーマについてのプレゼンと討論の実施	租税に関する各自が選定したテーマについて資料を作成し，プレゼンの前日までに他のゼミ生と教員に事前送付し，当日はプレゼンを行った上で討議を行う。【事前学習】2 時間 事前送付資料について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミの議論を復習し，更に理解を深める。
第 30 回	まとめ	１年間のゼミナールでの議論を総括するとともに，今後の研究テーマについての検討を行う。 【事前学習】2 時間 １年間のゼミ生全体の資料を復習しておく。 【事後学習】2 時間 １年間のゼミナールでの議論を踏まえ、卒業論文の研究テーマの選定準備をする。

授業形式
・授業形態は「①同時双方向型」とする。 ・質問等の受付けとフィードバックは，授業内で行う。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	100%

評価の特記事項
各自が作成したプレゼン資料は，プレゼンの前日までに必ず他のゼミ生と教員に事前送付すること。

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
租税に関するテーマについて自由闊達に議論を行い，今後の我が国の税制の在り方について多方面から研究を行いたいと思います。 特に後期授業においては，来年度の卒業論文のテーマを意識した調査研究を行ってもらいたいと思います。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	12
担当教員	小滝　一彦	実務経験のある教員による授業科目	○
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火４	単位区分	選
講義室	3112	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この科目では、経済政策の理解のため、経済政策及びその基礎となるミクロ経済、マクロ経済、ファイナンス、マーケティング、人的資本、ＩＴ活用といった諸分野を実習によって学ぶ。受講生は、経済政策のために必要な知識や理解を、学外のインターンでの実習によって得る。専門研究２では、実習で経験した多くの事例を抽象し、情報の非対称性、外部効果、デファクトスタンダードなどの経済政策とビジネスにとって重要な知識を理解していく。 対応ＤＰ及びＣＰ　５．６．７．８
授業概要（教育目的）
教室では、主にグループワークによって、経済政策及びその基礎となるミクロ経済、マクロ経済、ファイナンス、マーケティング、人的資本、ＩＴ活用といった諸分野のエッセンスを伝える。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の進め方。ゼミの目標について。長期、短期のインターンについて。
第 2 回	インターンについて	グループワークで、各受講生が関心あるインターン先を発表し議論する。 【事前学習】2 時間　関心あるインターン先候補を調査する 【事後学習】2 時間　議論を踏まえインターン先候補を選定する
第 3 回	情報の非対称性について①	情報の非対称性について受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した情報の非対称性についてふりかえる 【事後学習】2 時間　情報の非対称性の理論を整理する
第 4 回	情報の非対称性について②	情報の非対称性について受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した情報の非対称性についてふりかえる 【事後学習】2 時間　情報の非対称性の理論を整理する
第 5 回	情報の非対称性について③	情報の非対称性について受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した情報の非対称性についてふりかえる 【事後学習】2 時間　情報の非対称性の理論を整理する
第 6 回	行動経済学的なバイアスについて①	消費者が陥るバイアスについて、マーケティングのインターン経験に基づき受講生が報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した選択のバイアスについてふりかえる 【事後学習】2 時間　行動経済学の理論を整理して学ぶ
第 7 回	行動経済学的なバイアスについて②	消費者が陥るバイアスについて、マーケティングのインターン経験に基づき受講生が報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した選択のバイアスについてふりかえる 【事後学習】2 時間　行動経済学の理論を整理して学ぶ
第 8 回	行動経済学的なバイアスについて③	消費者が陥るバイアスについて、マーケティングのインターン経験に基づき受講生が報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した選択のバイアスについてふりかえる 【事後学習】2 時間　行動経済学の理論を整理して学ぶ
第 9 回	コーポレートガバナンスについて①	コーポレートガバナンスの問題点が企業活動に与える影響について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験したコーポレートガバナンスの実情や実務についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 10 回	コーポレートガバナンスについて②	コーポレートガバナンスの問題点が企業活動に与える影響について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験したコーポレートガバナンスの実情や実務についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 11 回	コーポレートガバナンスについて③	コーポレートガバナンスの問題点が企業活動に与える影響について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験したコーポレートガバナンスの実情や実務についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 12 回	契約の不完全性について①	キャンセルの扱いや品質表示など契約の不完全性の問題が企業活動に与える影響について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う

		【事前学習】2 時間　インターンで経験した契約の不完全性の実情や実務についてのについてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 13 回	契約の不完全性について②	キャンセルの扱いや品質表示など契約の不完全性の問題が企業活動に与える影響について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した契約の不完全性の実情や実務についてのについてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 14 回	契約の不完全性について③	キャンセルの扱いや品質表示など契約の不完全性の問題が企業活動に与える影響について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した契約の不完全性の実情や実務についてのについてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 15 回	短期インターンの説明	グループワークで、各受講生が関心あるインターン先を発表し議論する。 【事前学習】2 時間　関心あるインターン先候補を調査する 【事後学習】2 時間　議論を踏まえインターン先候補を選定する
第 16 回	短期インターンの報告	各受講生が短期インターンの報告をする。 【事前学習】2 時間　関心あるインターン先候補を調査する 【事後学習】2 時間　議論を踏まえインターン先候補を選定する
第 17 回	競争と協調について①	企業間の価格競争と「協調」の発生について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した価格競争と協調の発生についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 18 回	競争と協調について②	企業間の価格競争と「協調」の発生について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した価格競争と協調の発生についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 19 回	競争と協調について③	企業間の価格競争と「協調」の発生について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した価格競争と協調の発生についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 20 回	人的資本について①	企業内の教育訓練について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した企業内教育訓練についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 21 回	人的資本について②	企業内の教育訓練について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した企業内教育訓練についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 22 回	人的資本について③	企業内の教育訓練について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した企業内教育訓練についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 23 回	デファクトスタンダードについて	デファクトスタンダードのビジネスへの影響について、受講生がインターン報告を

	①	行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験したデファクトスタンダードのビジネスへの影響についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 24 回	デファクトスタンダードについて②	デファクトスタンダードのビジネスへの影響について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験したデファクトスタンダードのビジネスへの影響についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 25 回	デファクトスタンダードについて③	デファクトスタンダードのビジネスへの影響について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験したデファクトスタンダードのビジネスへの影響についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 26 回	働き方改革について①	働き方改革について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した働き方改革についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 27 回	働き方改革について②	働き方改革について、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験した働き方改革についてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 28 回	ＳＤＧｓ、ＥＳＧについて①	ＳＤＧｓ、ＥＳＧについて、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験したＳＤＧｓ、ＥＳＧについてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 29 回	ＳＤＧｓ、ＥＳＧについて②	ＳＤＧｓ、ＥＳＧについて、受講生がインターン報告を行い、それに基づきグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間　インターンで経験したＳＤＧｓ、ＥＳＧについてふりかえる 【事後学習】2 時間　インターン報告とグループディスカッションを受けての復習
第 30 回	今年度のまとめ	春休みのインターン参加予定の発表を行う 【事前学習】2 時間　春休みのインターン参加報告の準備 【事後学習】2 時間　ゼミでの指摘を受けて春のインターン参加計画の策定

授業形式
教室での対面とＷｅｂオンライン（リアルタイム）を併用した実習とする。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%

評価の特記事項
ゼミのディスカッションへの貢献と、インターンの成果によって評価する。

テキスト
特になし
参考文献
講義中に指示する。
オフィスアワー
火曜３限，８号館研究室（事前にアポイントをとること）。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
自らの発表でない週においても、グループディスカッションを有意義に行うため、事前に十分な調査をすること。 また事後学習においては、ゼミで示された問題意識を元に、Ｗｅｂ等を活用して十分に理解を深めること。
授業用 URL
https://classroom.google.com/c/MzE1NTI1OTE2ODM4?cjc=h6rfcwf
参考 URL１
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	13
担当教員	小棚　治宣	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水２	単位区分	選
講義室	7093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
社会保障制度の現状や課題を考察し、社会保障のあるべき姿を考えていくとともに、社会保障の理念・制度の形成及び発展過程を考察することにより、社会保障の本質や意義を問い直す。 対応ＤＰ及びＣＰ：５，６，７，８
授業概要（教育目的）
高齢社会の発展とともに、社会保障は目下、制度的な転換点を迎えている。医療・年金・介護さらには障害者福祉問題など、抜本的な改革が急務とされている状況である。授業では現代日本及び先進諸国の抱える社会保障をめぐる諸問題について考察していく一方、社会保障の原点に立ち返り、現代の諸問題を解決する糸口を求めていく。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	社会保障とは何か？	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 2 回	社会保障の給付と負担の在り方について	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 3 回	医療保険制度①	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 4 回	医療保険制度②	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 5 回	医療保険制度③	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 6 回	高齢者医療制度	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 7 回	介護保険制度①	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 8 回	介護保険制度②	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 9 回	介護保険制度③	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 10 回	ドイツ介護保険	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 11 回	年金制度①	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 12 回	年金制度②	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 13 回	年金制度③	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 14 回	年金制度④	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 15 回	前期まとめ	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 16 回	生活保護①	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 17 回	生活保護②	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 18 回	生活保護③	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 19 回	社会福祉制度	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 20 回	少子化対策①	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 21 回	少子化対策②	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 22 回	少子化対策③	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 23 回	雇用保険	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 24 回	介護休業制度と育児休業制度	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 25 回	社会保障の歴史	事前学習：２時間

		指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 26 回	社会保障の財政	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 27 回	海外の社会保障	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 28 回	社会保障の課題と今後の展望	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 29 回	理解度の確認	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。
第 30 回	まとめ	事前学習：２時間 指示するテキストの該当部分を読んでおくこと。

授業形式
授業形態は「③部分対面型」とします。 出席者は年に数度のレジュメ作成及びレポートの提出が義務づけられます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	40%	0%	30%	30%	100%
評価の特記事項					

テキスト
授業時に指示します。
参考文献
伊藤周平『社会保障史・恩恵から権利へ』青木書店，1994. 足立正樹『各国の社会保障』（新版）法律文化社，1993. 小塩隆士『社会保障の経済学』日本評論社，1998. 小棚治宣『社会保障の源流』朝文社，2004. 小棚治宣『社会保障の潮流』朝文社，2007.
オフィスアワー
授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
受身の姿勢で授業の出ないこと。ただ座って聴いているだけでなく、積極的に授業に参加し、自分たちの問題として、社会保障がどうあるべきかを常に考えて欲しいと思います。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	78
担当教員	オルシニ フィリップ	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月４	単位区分	選
講義室	3133	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，国際経営学で使用されている概念と用語を理解し，企業の海外展開を説明できるようになることを目標とします。 また，私たちの身近な業界とそうでもない業界がを経営学的な視点から捉えることで，新聞やニュースなどの社会・経済問題を理解できるようになることを目指します。 このような学習を通じて，経営学的な考え方を理解し，経営学とはどのような学問なのかを説明できるようになる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では，経営学を本格的に学修する準備として，本国市場，業界，企業，同業他社，外資系企業，海外展開，海外市場，海外子会社，海外生産，海外仕入，国際的人的資源管理など，海外展開している企業が使用している経営的概念・用語について研究します。これによって，国際経営学とはどのような学問なのかを理解してもらい，専門的な学修に向けた基礎を身につけてもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 身近な問題を経営学的な視点から捉えてみよう。 【事前学習】2 時間 EcoLink 又は Google Classroom から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておく こと。
第 2 回	業界と企業	興味のある業界・企業を選ぶ。発表（報告）は個人で行う。業界・企業の調べ方・出典を説明する（二年生ゼミのまとめ）。個人ファイルを作って共有する。 【事前学習】2 時間 興味のある業界・企業を事前に考える。 【事後学習】2 時間 興味のある業界・企業の概要の下調べを始める。
第 3 回	業界と企業：進行報告	業界・企業の概要をグループで発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 興味のある業界・企業の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 4 回	同業他社（国内）	同業他社（国内）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 同業他社（国内）を事前に考える。 【事後学習】2 時間 同業他社（国内）の概要の下調べを始める。
第 5 回	同業他社（国内）：進行報告	同業他社（国内）について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 同業他社（国内）の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 6 回	国内市場	国内市場の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 国内市場を事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内市場の概要の下調べを始める。
第 7 回	国内市場：進行報告	国内市場：発表について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 国内市場：発表の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 8 回	国内顧客	国内顧客の調べ方を説明する。一緒に調べる。

		【事前学習】2 時間 国内顧客を事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 9 回	国内顧客：進行報告	国内顧客について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 10 回	海外展開のタイムライン	海外展開のタイムライン（進出した海外の国の順番）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外展開のタイムラインを事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外展開のタイムラインの下調べを始める。
第 11 回	海外展開のタイムライン：進行報告	海外展開のタイムラインについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外展開のタイムラインの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 12 回	海外売上率	海外売上率（国内売り上げとの比較）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外売上率を事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外売上率の下調べを始める。
第 13 回	海外売上率：進行報告	海外売上率について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外売上率の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 14 回	主な海外市場の規模	主な海外市場の規模（順位、比較）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 主な海外市場の規模を事前に考える。 【事後学習】2 時間 主な海外市場の規模の下調べを始める。
第 15 回	主な海外市場の規模：進行報告	主な海外市場の規模について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 主な海外市場の規模の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 16 回	海外市場の競争相手（ローカル）	海外市場でのローカルな競争相手の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外市場の競争相手（ローカル）を事前に考える。

		【事後学習】2 時間 海外市場の競争相手（ローカル）の下調べを始める。
第 17 回	海外市場の競争相手（ローカル）：進行報告	海外市場の競争相手（ローカル）について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外市場の競争相手（ローカル）の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 18 回	海外市場の競争相手（グローバル）	海外市場でグローバル展開している競争相手の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 国内顧客を事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 19 回	海外市場の競争相手（グローバル）：進行報告	海外市場の競争相手（グローバル）について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外市場の競争相手（グローバル）の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 20 回	主な海外市場の顧客	主な海外市場の顧客（国内顧客、グローバル客層等との相違点）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 国内顧客を事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 21 回	主な海外市場の顧客：進行報告	海外市場の顧客について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外市場の顧客の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 22 回	海外進出のモード	海外進出のモード（輸出、ライセンス、合弁企業、子会社等）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外進出のモードを事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 23 回	海外進出のモード：進行報告	海外進出のモードについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外進出のモードの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 24 回	海外進出の現地パートナー	海外進出の現地パートナー（選び方、プロファイル等）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外進出の現地パートナーを事前に考える。

		【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 25 回	海外進出の現地パートナー：進行報告	海外進出の現地パートナーについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外進出の現地パートナーの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 26 回	海外生産と仕入れ	海外生産と仕入れ（絵画販売に対して）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外生産と仕入れを事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外生産と仕入れの下調べを始める。
第 27 回	海外生産と仕入れ：進行報告	海外生産と仕入れについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外生産と仕入れの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 28 回	海外展開と人事	海外展開と人事（海外派遣者、ローカル人材の育成等）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外展開と人事事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外展開と人事の下調べを始める。
第 29 回	海外展開と人事：進行報告	海外展開と人事について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外展開と人事の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 30 回	まとめ：ファイナル報告	今までの発表（テーマ）をまとめて短い発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 今までの発表にもう一回目を通す。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。

授業形式
・授業形態は「①同時双方向型」とする。 ・毎週又は一週間置きに学生の発表を行う。 ・報告は個人発表のみである。（グループ発表は二年生の時のみ） ・アクティブ・ラーニングを実施する。（実施方法の詳細は初回講義で説明する。） ・質問等のフィードバックは，講義内で行う。

・質問等は Gmail からも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	1
評価の特記事項					
報告（=レポート），参加（発言），率先。					

テキスト
なし
参考文献
国際ビジネス 3 チャールズ・W.L. ヒル (著) 楽工社 2014 年 ISBN-10 ： 4903063615 ISBN-13 ： 978-4903063614
オフィスアワー
授業時に指示する 連絡先：ecfu80096@g.nihon-u.ac.jp
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
企業の海外展開に興味のある学生。特に、すでにある業界に興味を持っている学生。調べ物が好きな学生。自発的に研究を進む学生。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	14
担当教員	加藤　恭子	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月 5	単位区分	選
講義室	42	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1．組織において「どのように人が管理されているのか」、人事労務管理の諸制度を理解できる。 2．人事労務管理の諸制度が「どのような背景から生まれてきたのか」、歴史、産業・組織心理学、労働経済学など学際的な視点から理解できる。 3．人事労務管理の知識を付けることによって、「将来の自分がどのようなキャリアを歩みたいのか」について様々な視点から考えることができる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
企業や役所などで働くには、まず採用試験を受けます。採用されると、仕事を割り当てられ、それができるよう教育されます。その後、働きぶりを評価され、賃金が支払われます。このような管理が人事労務管理です。 【前期】は人事労務管理の諸制度を学ぶことを目的としております。具体的には、人事労務管理の様々な施策について、実際の企業例を挙げつつ研究します。 【後期】は人事労務管理のベースとなる産業・組織心理学について学ぶことを目的としています。各制度の学問的な背景として、産業・組織心理学の理論について学びます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	人事労務管理とは何か	Lecture1 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture1 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 2 回	日本の現代人事労務管理	Lecture2 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture2 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 3 回	黒井千次『働くということ』	黒井千次『働くということ』について討論する。 【事前学習】5 時間 黒井千次『働くということ』を読み、内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 討論した内容について振り返る。
第 4 回	若手社員の早期離職・定着	左記のキーワードについて発表する。 【事前学習】2 時間 関連資料を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 5 回	早期退職優遇制度・希望退職制度	左記のキーワードについて発表する。 【事前学習】2 時間 関連資料を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 6 回	日本企業に勤める外国人のキャリア	左記のキーワードについて発表する。 【事前学習】2 時間 関連資料を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 7 回	テレワーク	左記のキーワードについて発表する。 【事前学習】2 時間 関連資料を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 8 回	同一労働同一賃金	左記のキーワードについて発表する。 【事前学習】2 時間 関連資料を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 9 回	中根千枝『タテ社会の人間関係』	中根千枝『タテ社会の人間関係』について討論する。 【事前学習】5 時間

		中根千枝『タテ社会の人間関係』を読み、内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 討論した内容について振り返る。
第 10 回	ハラスメント	左記のキーワードについて発表する。 【事前学習】2 時間 関連資料を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 11 回	テレワーク下のリーダーシップ	左記のキーワードについて発表する。 【事前学習】2 時間 関連資料を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 12 回	組織風土	左記のキーワードについて発表する。 【事前学習】2 時間 関連資料を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 13 回	インクルージョン	左記のキーワードについて発表する。 【事前学習】2 時間 関連資料を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 14 回	ギグワークとギグワーカー	左記のキーワードについて発表する。 【事前学習】2 時間 関連資料を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 15 回	ワーク・エンゲイジメント	左記のキーワードについて発表する。 【事前学習】2 時間 関連資料を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 16 回	研究成果の報告（報告者①）	報告者①の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 17 回	研究成果の報告（報告者②）	報告者②の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。

		報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 18 回	研究成果の報告（報告者③）	報告者③の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 19 回	研究成果の報告（報告者④）	報告者④の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 20 回	研究成果の報告（報告者⑤）	報告者⑤の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 21 回	研究成果の報告（報告者⑥）	報告者⑥の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 22 回	研究成果の報告（報告者⑦）	報告者⑦の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 23 回	研究成果の報告（報告者⑧）	報告者⑧の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 24 回	研究成果の報告（報告者⑨）	報告者⑨の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 25 回	研究成果の報告（報告者⑩）	報告者⑩の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間

		報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 26 回	研究成果の報告（報告者⑪）	報告者⑪の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 27 回	研究成果の報告（報告者⑫）	報告者⑫の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 28 回	研究成果の報告（報告者⑬）	報告者⑬の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 29 回	研究成果の報告（報告者⑭）	報告者⑭の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 30 回	研究成果の報告（報告者⑮）	報告者⑮の研究成果の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。

授業形式
・授業形態は「①同時双方向型」を基本とするが、状況に応じて「③部分対面型」とする。 ・ゼミ生によるプレゼンテーションを中心に、アクティブ・ラーニングを実施する。 ・質問などのフィードバックは、講義内で行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	50%	30%	100%

評価の特記事項
・成績評価は、レポート（学期末に提出する論文）、授業への参画度（本ゼミの発表、質問など）、その他（インナー大会への参画度、係の仕事の働きぶり、など）により決定する。

テキスト
・岩出博著『LECTURE 人事労務管理』泉文堂，4410 円. ・黒井千次『働くということ』講談社現代新書，814 円. ・中根千枝『タテ社会の人間関係』講談社現代新書，880 円.
参考文献
・日本経団連労働政策本部編『人事労務用語辞典』日本経団連出版，2520 円. ・岩出博（編）『従業員満足のための人的資源管理』中央経済社，2970 円. ・田尾雅夫（編）『組織行動の社会心理学』北大路書房，2750 円.
オフィスアワー
・金曜日の 15：00～16：00 をオフィスアワーとします。 ・事前にアポを取っていただけると助かります。 ・アポやその他質問についてはメール（kato.kyoko@nihon-u.ac.jp）でご連絡ください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・本ゼミの発表準備、卒業論文の執筆など、研究は個人でやるものです。しかし、組織内に「あの人みたいになりたい」とか、「あの人には負けたくない」という人がいるだけで、自分が思っていた以上に成長することがあります。このゼミはこれまでも、そしてこれからも、そういう人たちが集まるゼミであって欲しいと思います。 ・また、3 年生はゼミの幹事学年でもあります。組織をうまく運営するにはどうしたら良いのか？を考えながら、1 年間係の仕事もお願いします。
授業用 URL
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/eco_kyouin/kato/seminar.html
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	15
担当教員	金谷　貞男	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	7061	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、人類の超長期の経済発展の現実を知るものとして、ジャレット・ダイアモンドの「銃・病原菌・鉄」下巻を輪読する。 対応 DP 及び CP：５，６，７，８
授業概要（教育目的）
近年、従来の枠組みを超えた超長期の分析が経済成長論の対象として進んでいる。超長期の経済分析をなすためには、経験科学の常として、その実態としての家計の経済行動が、過去にどのようなものであったのかを知る必要がある。そこで、ジャレット・ダイアモンドの「銃・病原菌・鉄」下巻を読んで、その実態を知る。具体的には、（１）狩猟採集経済、（２）部族社会、（３）首長社会、（４）国家という発展過程で、人類がどのような生産関数に面していたのかを理解したい。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第１回	序	講義の内容、講義の形式、評価方法、履修上の注意点について説明する。ゼミ運営上の時間・場所・その他について説明する。「銃・病原菌・鉄」上巻を入手する。 【事後学習】２時間。講義内容の説明のメモをとって、よく理解しておく。
第２回	１４章：ファユ族と宗教	１４章の序論が解説される。 【事前学習】２時間。教科書１０３－１０６ページを読んでくる。 【事後学習】２時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第３回	１４章：小規模血縁集団（１）	土地が自由財と見なせるほど人口密度が極度に低いと、人類は小規模血縁集団となって行動する。一つの小規模血縁集団の人々は互いに平等である。 【事前学習】２時間。教科書１０６－１０８ページを読んでくる。 【事後学習】２時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第４回	１４章：小規模血縁集団（２）	小規模血縁集団は食料を狩猟採集によって得る。必要な食料を獲得するの都合上、集団の規模は小さい。 【事前学習】２時間。教科書１０６－１０８ページを読んでくる。 【事後学習】２時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第５回	１４章：小規模血縁集団（３）	食料の制約のために、小規模血縁集団は移動生活をおくる。物品の輸送を避けるため、資本がない。また、移動するために土地を非常に多く要する。 【事前学習】２時間。教科書１０８－１１１ページを読んでくる。 【事後学習】２時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第６回	１４章：部族社会（１）	小規模血縁集団が増えて、空いた土地がなくなる。人類は定住生活を始め、農耕牧畜によって食料を得る。一つの部族社会における人々は互いに平等である。 【事前学習】２時間。教科書１１１－１１３ページを読んでくる。 【事後学習】２時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第７回	１４章：部族社会（２）	農耕牧畜生活では、食料生産に必要な土地は小規模血縁集団の場合より小さくなる。 【事前学習】２時間。教科書１１３－１１５ページを読んでくる。 【事後学習】２時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第８回	１４章：部族社会（３）	農耕牧畜生活では、定住生活のため、住居・日用品などへ需要が生じる。つまり、工業が必要とされる。このため、集団の規模が大きくなり、かつ一人あたりの農耕牧畜の時間は増える。 【事前学習】２時間。教科書１１５－１１７ページを読んでくる。 【事後学習】２時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第９回	１４章：首長社会（１）	集団の規模が大きくなると、集団の意思決定が困難になる。このために、社会のうちにリーダーが生まれる。このリーダーを首長と呼ぶ。首長は世襲制である。首長は情報を独占する。他の成員とは異なって、より良い待遇を得る。首長社会間で初めて組織的な戦闘がおこなわれる。 【事前学習】２時間。教科書１１７－１１９ページを読んでくる。 【事後学習】２時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第 10 回	１４章：首長社会（２）	首長社会では、一般成員と貢物とその返礼の形で報酬が首長に支払われる。一般成員間でも、互いの贈与の形式をとって、財サービスが交換される。工業がますます必要とされ、一人あたりの農耕牧畜の時間は増える。 【事前学習】２時間。教科書１１９－１２０ページを読んでくる。 【事後学習】２時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第 11 回	１４章：首長社会（３）	首長社会では、一般成員とは別に、政治・宗教に特化した成員が生まれる。これらの成員は、一般成員の財サービスによって、報酬を受ける。これを余剰食料と呼ぶ。 【事前学習】２時間。教科書１２０－１２２ページを読んでくる。

		【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第12回	１４章：専制国家（１）	首長社会の規模が大きくなると、専制国家が出現する。専制国家のリーダーを国王と呼ぼう。専制国家は、租税を成員に課す。専制国家間では戦闘がおこなわれる。 【事前学習】2時間。教科書１２６－１２９ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第13回	１４章：専制国家（２）	専制国家では、規模の大きい集団を平等に制御するために、法律が発達する。租税・法律・裁判を記録するために、文字が使用される。 【事前学習】2時間。教科書１２９－１３１ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第14回	１４章：専制国家（３）	国王は世襲によって決定される。政治・宗教に特化した成員が高度に発達する。 【事前学習】2時間。教科書１３２－１３４ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第15回	民主国家	工業が農業に比して大きくなると、民主革命が起き、民主国家が誕生する。民主国家では、全構成員によって、リーダーが選出される。リーダーを大統領と呼ぼう。大統領は大きな租税と大きな公共支出を行う。 【事前学習】2時間。参考書 North & Thomas１４６－１５６ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第16回	産業革命（１）	民主国家において、私的財産権が確立すると、成員の間に発明発見の誘因が働く。これが産業革命の本質である。 【事前学習】2時間。参考書 Allen３５－４０ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第17回	産業革命（２）	なぜ、産業革命の初期、多数の産業で同時に発明発見が起きたのか、これが説明する。 【事前学習】2時間。参考書 Allen５７－５９ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第18回	１８章：アメリカ先住民の食料生産	アメリカ先住民の食料生産を調べておくことが以下の発展に必須。 【事前学習】2時間。教科書２７１－２７７ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第19回	１８章：免疫・技術の違い	旧大陸では、病原菌が蔓延していて、このためにそれらの病原菌に対して免疫を持っていた。新大陸では、病原菌がなく、それに初めて接した新大陸の先住民は９５％が死亡した。 【事前学習】2時間。教科書２７７－２８２ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第20回	１８章：政治機構の違い	旧大陸では、国家の段階まで達しているのが、普通。新大陸では、ごく一部が国家に達するのみ。 【事前学習】2時間。教科書２８２－２８４ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第21回	１８章：主要な発明・技術の登場	旧大陸では、人類発生以来、発明を行うには十分な時間があった。新大陸では、人類の移住が起きてから、およそ１３０００年しかなく、発明に時間が不足していた。 【事前学習】2時間。教科書２８４－２９０ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第22回	１８章：地理的分断の影響（１）	旧大陸では、野生動植物が互いに伝播しあったのに対し、新大陸ではその形態から野生動植物の伝播が妨害された。 【事前学習】2時間。教科書２９０－２９３ページを読んでくる。 【事後学習】2時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第23回	１８章：地理的分断の影響（２）	旧大陸では、発明発見のための時間が十分あり、しかもそれが容易に伝播できた。新大陸では、発明発見のための時間がなく、しかもそれが地理的障壁のため妨害された。

		【事前学習】2 時間。教科書２９４－３０４ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第 24 回	１８章：旧世界と新世界の遭遇	旧大陸と新大陸はコロンブス以前にも、遭遇していた。しかし、適切なタイミングと位置を欠いたため、失敗した。 【事前学習】2 時間。教科書３０４－３０９ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第 25 回	１８章：アメリカ大陸への入植の始末	コロンブスのアメリカ発見以来、旧大陸の子孫が新大陸の先住民を駆逐した。 【事前学習】2 時間。教科書３０９－３１４ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第 26 回	エピローグ：環境上の四つの要因	大陸間の環境の違いが、今日の各大陸の住民を決定した。 【事前学習】2 時間。教科書３６５－３７１ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第 27 回	エピローグ：なぜ中国でなくヨーロッパが主導権を握ったか（１）	太古、先進地帯であった肥沃三日月地帯や中国はなぜヨーロッパに遅れをとったか。肥沃三日月地帯は環境的に弱かった。では、中国は？ 【事前学習】2 時間。教科書３７３－３７６ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第 28 回	エピローグ：なぜ中国でなくヨーロッパが主導権を握ったか（２）	中国の場合、ヨーロッパを凌駕する可能性はあった。しかし、地理的にヨーロッパが小国に分裂したのに対し、中国は一国になる。すると、中国の皇帝が 【事前学習】2 時間。教科書３７６－３８５ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第 29 回	エピローグ：なぜ中国でなくヨーロッパが主導権を握ったか（３）	【事前学習】2 時間。教科書３８５－３８９ページを読んでくる。 【事後学習】2 時間。授業内容をよく復習しておくこと。
第 30 回	討議	【事前学習】2 時間。教科書の内容を今一度覚えてくること。 【事後学習】2 時間。授業内容をよく復習しておくこと。

授業形式
輪読の後に、内容について質疑・討論。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%

評価の特記事項

テキスト
ジャレッド・ダイアモンド著「銃・病原菌・鉄」、草思社文庫。
参考文献
Douglass C. North and Robert Paul Thomas、The Rise of the Western World、Cambridge University Press。 Robert C. Allen、THE INDUSTRIAL REVOLUTION、Oxford University Press。
オフィスアワー
ゼミの直前の時限。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	16
担当教員	上村　能弘	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本授業では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．自己の学問的な興味を再発見し，それを研究テーマに昇華させて，その学問的な意義を説明できる。 ２．自己の研究テーマにしたがって研究資料を探索し，それを利用して真理を探究し，その内容を研究レポートにまとめることができる。 ３．自己のまとめた研究レポートを基礎に，その内容を発表し議論することができる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
昨年度までに確立した研究テーマに沿って，各自の研究を発展させていくことを大いに期待いたします。昨年度においては，自分の研究テーマや研究スタイルを見いだしていく際に大変苦しんだことと思いますが，今年度は同じ苦しみを下級生が経験することになるでしょう。上級生として，いたずらに自己の研究に閉じこもるのではなく，自分の苦しみを踏まえて下級生に研究上のアドバイスをしてあげてください。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミの内容，進め方，形式，評価方法，履修上の注意点などについて説明する。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 2 回	当面の研究テーマの発表〔Ⅰ〕	昨年度までの研究を踏まえながら，ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）当面の研究テーマの発表し，それに関する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 当面の研究テーマと研究方法等を決定し，その発表に備えて資料（レジュメ）を作成する。 【事後学習】2 時間 質疑・討論を通じて発見された問題点を整理し，それにもとづいて，先に作成した資料（レジュメ）の修正をおこなう。
第 3 回	当面の研究テーマの発表〔Ⅱ〕	昨年度までの研究を踏まえながら，ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）当面の研究テーマの発表し，それに関する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 当面の研究テーマと研究方法等を決定し，その発表に備えて資料（レジュメ）を作成する。 【事後学習】2 時間 質疑・討論を通じて発見された問題点を整理し，それにもとづいて，先に作成した資料（レジュメ）の修正をおこなう。
第 4 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 5 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 6 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 7 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間

		授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 8 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 9 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 10 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 11 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 12 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 13 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 14 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 15 回	振り返りと，今後の研究の	これまでの研究発表をふまえ，ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研

	展望〔Ｉ〕	究テーマや方法等を再検討し，今後の研究を展望する。 【事前学習】2 時間 これまでに配付した資料（レジュメ）を整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 16 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 17 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 18 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 19 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 20 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 21 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 22 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 23 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 24 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 25 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 26 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 27 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 28 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 29 回	報告と討論の実践	ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマにそって，報告者が研究の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。

第 30 回	振り返りと，今後の研究の展望〔Ⅱ〕	これまでの研究発表をふまえ，ゼミ生各自の（あるいは研究グループの）研究テーマや方法等を再検討し，今後の研究を展望する。 【事前学習】2 時間 これまでに配付した資料（レジュメ）を整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。

授業形式
・授業形態は「②オンデマンド型」とする。 ・質問等のフィードバックは，講義内（配付資料）で行う。 ・質問等は EcoLink からも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
自分の研究発表はもちろん，他のゼミ生の研究発表に対して質問やコメントをおこなうこともあわせて重視する。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・研究発表に当たっては，必ず資料（レジュメ）を作成して，事前に各ゼミ生に配布できるように準備しておくこと。 ・自分の研究発表に対して他のゼミ生から寄せられた質問やコメントを，それ以降の研究に反映できるように研究メモに整理しておくこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	17
担当教員	河越　正明	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3115	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 ・様々な日本経済の課題について，他の学生と協力しながら調べて，現状と課題を理解し，自分で説明できる。 ・これらの認識に基づき，解決策を経済学的に考察し発表できる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では，グループ学習により，課題とする本の発表や，自分たちで選んだテーマに関して調査を行い，その結果発表を行う。また他のグループの発表を聴いて論評を加える。これにより，授業終了時には，身近な日本経済の事象を経済学的に考察する態度を身につけてもらいたい。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の内容，評価の形式，履修上の注意点について解説。 【事前学習】2 時間 EconLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 よく復習し，キーワードを使えるようにすること。
第 2 回	グループワーク（議論 1）	ウィンター『人でなしの経済理論』の主張について，グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み，不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について，その根拠や妥当性を検討し，自分の当初の主張を再考してみる。
第 3 回	グループワーク（議論 2）	ウィンター『人でなしの経済理論』の主張について，グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み，不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について，その根拠や妥当性を検討し，自分の当初の主張を再考してみる。
第 4 回	グループワーク（議論 3）	ウィンター『人でなしの経済理論』の主張について，グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み，不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について，その根拠や妥当性を検討し，自分の当初の主張を再考してみる。
第 5 回	グループワーク（議論 4）	中島隆信『経済学ではこう考える』の主張について，グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み，不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について，その根拠や妥当性を検討し，自分の当初の主張を再考してみる。
第 6 回	グループワーク（議論 5）	中島隆信『経済学ではこう考える』の主張について，グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み，不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について，その根拠や妥当性を検討し，自分の当初の主張を再考してみる。
第 7 回	グループワーク（発表準備）	次回の発表会に向けて，グループで資料の作成などの準備を行う 【事前学習】2 時間 これまで取り上げた教材の復習。 【事後学習】2 時間 グループワークで決めた方針にそって資料を完成させる。
第 8 回	グループ別発表	これまで学んだ内容を他の人にわかるようにまとめて，グループ別に発表する。 【事前学習】2 時間 作成した資料を用いて，発表の準備をする。 【事後学習】2 時間 自分のグループの発表のよかった点，今後の改善点について検討する。
第 9 回	エクセル演習	website からデータをダウンロードし，エクセルを用いてそれを分析するという一連の作業に慣れる。 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして予習する。

		【事後学習】2 時間 もう一度授業で学んだ手順に従い，内閣府・財務省・日本銀行などからデータをダウンロードして，グラフを描いて復習する。
第 10 回	グループワーク（コロナ禍の影響と今後１）	特定の産業や企業に注目し，コロナ禍の影響と今後の課題について，グループで議論や分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして予習する。 【事後学習】2 時間 自分のグループの議論を振り返り，次回以降の課題は何かを考える。
第 11 回	グループワーク（コロナ禍の影響と今後２）	特定の産業や企業に注目し，コロナ禍の影響と今後の課題について，グループで議論や分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして予習する。 【事後学習】2 時間 自分のグループの議論を振り返り，次回以降の課題は何かを考える。
第 12 回	グループワーク（コロナ禍の影響と今後３）	特定の産業や企業に注目し，コロナ禍の影響と今後の課題について，グループで議論や分析を行い，簡単な中間報告を行う。 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして予習する。 【事後学習】2 時間 自分のグループと他のグループの中間報告を比較し，自分のグループの改善点を検討する。
第 13 回	グループワーク（コロナ禍の影響と今後４）	特定の産業や企業に注目し，コロナ禍の影響と今後の課題について，グループで議論や分析を行い，簡単な中間報告を行う。 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして予習する。 【事後学習】2 時間 自分のグループと他のグループの中間報告を比較し，自分のグループの改善点を検討する。
第 14 回	グループワーク（コロナ禍の影響と今後５）	前回の中間報告会を踏まえ，次回の最終報告会にむけた資料作成をグループで進める。 【事前学習】2 時間 自分の考える改善点を 3 つまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業中の作業を踏まえ，最終報告会用の資料をまとめる。
第 15 回	グループ別発表	これまで 5 回のグループワークで作成した資料に基づき，発表を行う。 【事前学習】2 時間 作成した資料を用いて，発表の準備をする。 【事後学習】2 時間 自分のグループの発表のよかった点，今後の改善点について検討する。
第 16 回	ガイダンス 2	後期の講義の内容等について解説。最初に取り上げる本を検討し決定する。 【事前学習】2 時間 EconLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 取り上げる本の中身を大まかにみて，どこを分担するかを考える。
第 17 回	グループワーク（輪読１）	選ばれた本を分担して輪読し，グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み，不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ，理解を確かなものにする。
第 18 回	グループワーク（輪読２）	選ばれた本を分担して輪読し，グループに分かれて議論

		【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み，不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ，理解を確かなものにする。
第 19 回	グループワーク（輪読 3）	選ばれた本を分担して輪読し，グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み，不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ，理解を確かなものにする。
第 20 回	グループワーク（輪読 4）	選ばれた本を分担して輪読し，グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み，不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ，理解を確かなものにする。
第 21 回	グループワーク（議論 5）	選ばれた本を分担して輪読し，グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み，不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ，理解を確かなものにする。
第 22 回	グループワーク（発表準備）	次回の発表会に向けて，グループで資料の作成などの準備を行う 【事前学習】2 時間 これまで輪読した内容の復習。 【事後学習】2 時間 グループワークで決めた方針にそって資料を完成させる。
第 23 回	グループ別発表	これまで学んだ内容を他の人にわかるようにまとめて，グループ別に発表する。 【事前学習】2 時間 作成した資料を用いて，発表の準備をする。 【事後学習】2 時間 自分のグループの発表のよかった点，今後の改善点について検討する。
第 24 回	グループワーク（個人エッセイ準備 1）	期末に作成する個人エッセイのため，似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマについて検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーの意見も参考に，自分のテーマを再考する。
第 25 回	グループワーク（個人エッセイ準備 2）	期末に作成する個人エッセイのため，似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマの具体的な内容を検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーの意見も参考に，自分のテーマの具体的な内容を再考する。
第 26 回	グループワーク（個人エッセイ準備 3）	期末に作成する個人エッセイのため，似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマに関する具体的な作業内容を検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーと行う共同の作業を検討する。
第 27 回	グループワーク（個人エッセイ準備 4）	期末に作成する個人エッセイのため，似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 グループの他のメンバーと行う共同の作業を検討する。

		【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーと行う共同の作業で，残された作業を点検する。
第 28 回	グループワーク（個人エッセイ準備 5 ）	期末に作成する個人エッセイのため，似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 グループの共同作業としてどこまで行うかを検討する。 【事後学習】2 時間 次回の共同作業内容の報告会に向けた準備を行う。
第 29 回	グループ別発表	各グループから共同作業内容について発表。 【事前学習】2 時間 作成資料に基づき発表の準備。 【事後学習】2 時間 発表会を振り返って改善点を検討し，個人エッセイとして深める内容を検討する。
第 30 回	振り返り	年間を通じた授業の振り返りを行い，これからまとめる個人エッセイについての個別の相談に応じる。

授業形式
・授業形態は「①同時双方向型」とする。 ・質問等のフィードバックは授業内で行う。なお，授業後の質問は EcoLink 及び Gmail により受付け，次回の講義で回答する。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0%	40%	0%	100%

評価の特記事項
期末に提出してもらう個人エッセイの評価が主ですが，そのほかにグループワークの発表も評価に加えます。

テキスト
以下の教材の一部を使いますが，必要な部分は Google Classroom に掲載します。 ・ハロルド・ウィンター　(山形浩生訳)『人でなしの経済理論-トレードオフの経済学』,バジリコ, 2009 年, 1500 円（税別） ・中島隆信『経済学ではこう考える』,慶應義塾大学出版会, 2014 年, 1500 円（税別）
参考文献
授業の時に指示します。
オフィスアワー
水曜日 15～16 時に相談・質問をオンラインで受けますので，メールで事前にアポを取ってください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
現実の日本経済が抱える問題解決の糸口を探る学問としての経済学を追究します。 毎日，新聞・雑誌の経済記事を一つでよいので精読してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究（二）	クラス	
担当教員	川崎　茂	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目（専門ゼミ）
曜日・時限	月3	単位区分	選
講義室	3083	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この科目では、学生が次の知識・能力を修得することを目標とします。 ① 多様なグローバルな社会経済課題の中から影響度の大きい重要なものを調べ、情報を整理して発表できること。 ② グローバルな課題の背景にある多面的な側面を理解し、可能な限り客観的な事実に基づいて解釈・説明できること。 ③ 資料の取りまとめ・ディスカッションを通じて、自らの考えを適切に発表し、議論に活かすこと。 これらを踏まえ、次年度には卒業論文の作成に進みます。 対応 DP 及び CP：５，６，７，８
授業概要（教育目的）
このゼミでは，私たちが日々のニュースで見聞するグローバルな社会・経済の課題を中心に、自分の関心を持ったテーマについて自らの力で調べ、統計データを用いながら経済学的視点で研究します。学生は、新聞、外国のニュースサイト、国際機関の情報サイト等を通じてグローバルな課題を自ら探し、それについて調べてプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションに基づいて、学生同士で議論を行い、理解を深めます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第　1回	導入	専門研究（一）で学んだ課題を振り返り、今年度のゼミにおける学修目標を立てる。 事前学習：前年度のゼミナールで学んだことの感想をまとめる。 事後学習：今後の発表テーマ候補をリストアップする。
第　2回	テーマに即した発表（1）	発表の当番に当たった学生は、予め決めたテーマについて発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：２時間。予め選んだテーマについて予習する。 事後学習：２時間本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第　3回	テーマに即した発表（2）	発表の当番に当たった学生は、予め決めたテーマについて発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：２時間。予め選んだテーマについて予習する。 事後学習：２時間本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第　4回	テーマに即した発表（3）	発表の当番に当たった学生は、予め決めたテーマについて発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：２時間。予め選んだテーマについて予習する。 事後学習：２時間本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第　5回	テーマに即した発表（4）	発表の当番に当たった学生は、予め決めたテーマについて発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：２時間。予め選んだテーマについて予習する。 事後学習：２時間本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第　6回	テーマに即した発表（5）	発表の当番に当たった学生は、予め決めたテーマについて発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：２時間。予め選んだテーマについて予習する。 事後学習：２時間本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第　7回	テーマに即した発表（6）	発表の当番に当たった学生は、予め決めたテーマについて発表・解説を行い、それについて全員で質疑応答を行い、理解を深める。 事前学習：２時間。予め選んだテーマについて予習する。 事後学習：２時間本日の議論を復習し、課題への理解を深める。
第　8回	グループ研究（1）	これまでの発表テーマの中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：２時間。これまでのゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：２時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第　9回	グループ研究（2）	これまでの発表テーマの中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：２時間。これまでのゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：２時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第１０回	グループ研究（3）	これまでの発表テーマの中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：２時間。これまでのゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：２時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第１１回	グループ研究（4）	これまでの発表テーマの中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：２時間。これまでのゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：２時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第１２回	グループ研究（5）	グループごとに順番に発表を行う。

		事前学習：２時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：２時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第１３回	グループ研究（6）	グループごとに順番に発表を行う。 事前学習：２時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：２時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第１４回	グループ研究（7）	グループごとに順番に発表を行う。 事前学習：２時間。発表資料を取りまとめる。 事後学習：２時間。グループ発表の際に出た質問・論点等についてさらに調べて検討する。
第１５回	前期のまとめ	前期のグループ研究の議論を振り返り、ディスカッションの際に出た疑問点について解明し、取りまとめる。 事前学習：２時間。これまでの発表内容を振り返り、疑問点を整理する。 事後学習：２時間。本日の議論を整理し、理解を深める。
第１６回	導入	夏季休暇中における読書・活動等についてお互いに報告する。後期のゼミの進め方について説明する。 事前学習：２時間。ゼミでの発表に備える。 事後学習：２時間。次回以降の発表に備え、課題資料を概観する。
第１７回	資料発表（1）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：２時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：２時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第１８回	資料発表（2）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：２時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：２時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第１９回	資料発表（3）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：２時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：２時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第２０回	資料発表（4）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：２時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：２時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第２１回	資料発表（5）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：２時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：２時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第２２回	資料発表（6）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：２時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。） 事後学習：２時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第２３回	資料発表（7）	与えられた課題資料の中から各自に興味のあるものを選び、その内容を取りまとめて発表する。発表は予め決められた順に交代で行う。 事前学習：２時間。課題資料の予習（発表者は発表資料の作成。）

		事後学習：２時間。発表後のディスカッションにおける疑問点について調べる。
第２４回	グループ研究（1）	資料発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：２時間。後期のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：２時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第２５回	グループ研究（2）	資料発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：２時間。後期のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：２時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第２６回	グループ研究（3）	資料発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：２時間。後期のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：２時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第２７回	グループ研究（4）	資料発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：２時間。後期のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：２時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第２８回	グループ研究（5）	資料発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：２時間。後期のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：２時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第２９回	グループ研究（6）	資料発表のテーマ等の中からさらに研究を深めるべきものを選び、グループに分かれて研究を行う。 事前学習：２時間。後期のゼミで議論した内容を整理する。 事後学習：２時間。自分の所属するグループのテーマについて情報収集を行う。
第３０回	ゼミナールの振り返り	前期・後期を通じて行った研究を振り返り、今後、卒業論文で取り上げたいテーマを整理する。 事前学習：２時間。前期・後期の研究について疑問点を整理する 事後学習：２時間。疑問点について分かったこと、さらに研究・考察が必要なことを整理する。

授業形式
各回のゼミでは、予め発表する当番を決めておき、その当番からの発表に対してディスカッションを行います。履修者は、疑問点を提起したり、他の履修者の疑問点に答えるなど、議論に積極的に参加してください。教員から研究テーマの候補を提示しますが、必ずしもそれにとらわれず、自分で何かのテーマに興味のある人は、それを選んで研究してください。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
０％	５０％	０％	５０％	０％	１００％

評価の特記事項
各自の研究発表及びグループごとの研究発表をレポートとみなし、その成果を評価の対象とします。また、授業への積極的な参加、ディスカッションの内容の発展・深化への貢献の高さに応じて評価します。

テキスト
授業内で随時紹介します。
参考文献
オフィスアワー
火曜日　16:30～18:00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールでは、能動的かつ積極的に取り組む姿勢が必要です。自分で課題を探し、それについて自分で調べ、それをまとめて発表することが必須です。また、ゼミ生同士での議論を通じて自分の理解の妥当性をチェックし、それを通じてお互いに学びあうことが必要です。ゼミナールを通じて幅広い視野、対話・討論の能力を培うとともに、よい学友を見つけてください。
授業用 URL
参考 URL１
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	18
担当教員	川出　真清	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水４	単位区分	選
講義室	A12	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．身の回りの社会現象を経済的側面から調査・分析できる。 ２．社会が抱える問題を経済学，財政学，公共経済学の観点から分析し，解決策を考えられる。 ３．現実の問題にグループで問題解決を試みる中で，固有の能力を確認し，発揮することができる。 対応ＤＰ及びＣＰ： 5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では，ゼミナール科目として，受講生自身ならびにゼミ全体で設定した社会課題について，調査や研究を通じて解決策を模索し，報告や討論を通じて，それらの研鑽を図ります。他者からの批判を伴う討論や複雑な要因により解決が困難な地域支援活動に従事することで，資料調査だけでは実現できない様々な観点からの要請について考慮を深め，多くの観点に配慮した総合判断力を養成することを目的としています。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ゼミ運営の説明	初回はゼミの運営ルールの説明と２年生を含めた自己紹介を行う。 【事前学習】ゼミ運営規程を熟読する；２時間 【事後学習】前年度のゼミの運営と今後のあり方を検討する；２時間
第 2 回	ゼミ発表の準備について	２年生のゼミの報告資料の作成について，教員と協力して指導を行う。 【事前学習】各班の報告資料を準備してくる；２時間 【事後学習】各班の報告資料の改善点について考える；２時間
第 3 回	発表・討論　１回目（１）	第１班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 4 回	発表・討論　１回目（２）	第２班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 5 回	発表・討論　１回目（３）	第３班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 6 回	地域支援活動調査報告会（１）	現地で行う地域支援活動のために必要な調査研究の発表を行う 【事前学習】各自で研究や提案の準備をする；２時間 【事後学習】報告会を受けて，調査や提案について改善する；２時間
第 7 回	発表・討論　２回目（１）	第１班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 8 回	発表・討論　２回目（２）	第２班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 9 回	発表・討論　２回目（３）	第３班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 10 回	見学研究	見学委員会が提示した見学先に行き，見聞を深める。 【事前学習】見学先の情報を収集し，見学を通じて学ぶべきことを考察する；２時間 【事後学習】実際の見学を踏まえて，見学を通じて学んだことを振り返る；２時間
第 11 回	発表・討論　３回目（１）	第１班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 12 回	発表・討論　３回目（２）	第２班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 13 回	発表・討論　３回目（３）	第３班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 14 回	地域支援活動調査報告会（２）	現地で行う地域支援活動のために必要な調査研究の発表を行う 【事前学習】各自で研究や提案の準備をする；２時間 【事後学習】報告会を受けて，調査や提案について改善する；２時間
第 15 回	前半講義のまとめ	前期の講義を全体的に概観し，ゼミナールにおける学修とは何かについて問い直す。 【事前学習】各自の発表は討論を踏まえ，今後の取り組み方について考察する；２時間 【事後学習】他の学生の振り返りや学生間議論を通じて，今後の取組につ

		いて方向性を確認する；２時間
第 16 回	個別研究テーマの選択と班再編成	２年生の各自の個別研究テーマを設定を支援する。 【事前学習】各自の個別研究テーマについて，簡単に説明する準備をする；２時間 【事後学習】２年生のテーマ選択から振り返りを行い，今後の研究の改善を検討する；２時間
第 17 回	地域支援活動調査報告会（３）	現地で行う地域支援活動のために必要な調査研究の発表を行う 【事前学習】各自で研究や提案の準備をする；２時間 【事後学習】報告会を受けて，調査や提案について改善する；２時間
第 18 回	発表・討論　４回目（１）	第１班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 19 回	発表・討論　４回目（２）	第２班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 20 回	発表・討論　４回目（３）	第３班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 21 回	地域支援活動調査報告会（４）	現地で行う地域支援活動のために必要な調査研究の発表を行う 【事前学習】各自で研究や提案の準備をする；２時間 【事後学習】報告会を受けて，調査や提案について改善する；２時間
第 22 回	発表・討論　５回目（１）	第１班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 23 回	発表・討論　５回目（２）	第２班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 24 回	発表・討論　５回目（３）	第３班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 25 回	見学研究	見学委員会が提示した見学先に行き，見聞を深める。 【事前学習】見学先の情報を収集し，見学を通じて学ぶべきことを考察する；２時間 【事後学習】実際の見学を踏まえて，見学を通じて学んだことを振り返る；２時間
第 26 回	発表・討論　６回目（１）	第１班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 27 回	発表・討論　６回目（２）	第２班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 28 回	発表・討論　６回目（３）	第３班の資料報告と他班による討論を行う。 【事前学習】報告資料を精読し，討論の準備をする；２時間 【事後学習】報告資料を踏まえて，自己の討論について振り返る；２時間
第 29 回	地域支援活動調査報告会（５）	現地で行う地域支援活動のために必要な調査研究の発表を行う 【事前学習】各自で研究や提案の準備をする；２時間 【事後学習】報告会を受けて，調査や提案について改善する；２時間
第 30 回	後半講義のまとめ	講義を全体的に概観し，ゼミナールにおける学修とは何かについて問い直す。 【事前学習】各自の発表は討論を踏まえ，今後の取り組み方について考察する；２時間 【事後学習】他の学生の振り返りや学生間議論を通じて，今後の取組につ

		いて方向性を確認する；２時間

授業形式
・授業形態は「①同時双方向型」とする ・同時双方向授業では，報告と討論を行う ・授業に関する全ての情報は，管理サービス Google Classroom で提供され，初回講義までに EcoLink からクラスコードリンクをメッセージ送信する ・議論や課題に関してのフィードバックは原則として授業中に行う ・報告会などはゲスト参加の可能性があるため，授業計画が変更されることがある ・授業実施方法の変更については，授業中に伝達する

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					
報告討論などの参加態度と地域支援活動の参加態度で評価する。					

テキスト
テキストはありません。
参考文献
井堀利宏（2013）「財政学（第４版）」，新世社，2300 円（税別）． 上村敏之(2007)「コンパクト 財政学」，新世社. ジョセフ・スティグリッツ（2003）「公共経済学 上・下（第２版・藪下史郎翻訳）」，東洋経済新報社. 井堀利宏(2009)「日本の財政・税制（３訂版）」，税務経理協会. 土居丈朗（2002）「入門公共経済学」，日本評論社.
オフィスアワー
火曜日５限（１６：２０～１７：５０）で，希望者は電子メールで事前に予約すること。方法や場所は Zoom，学生面談室または研究室とする。電子メールアドレスは講義初回に伝える。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
１年を通じて専門研究１の後期で設定した個別研究の発表を通じた討論の練習を行います。地域支援活動を通じて，ゼミ全体での共同作業を行い，現実社会の課題解決の困難を体感し，各自の学修成果を社会に還元します。
授業用 URL
参考 URL１
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	19
担当教員	岸田　真	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水 5	単位区分	選
講義室	3114	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この授業では、ゼミナール活動を通じて以下の能力を身につけることを目指す。 １．文献調査を通して様々な課題を認識し、それらを整理する能力 ２．課題について資料やデータをもとに分析し、その結果を考察する能力 ３．プレゼンテーションを通して自分の考えを他者に分かりやすく伝える能力 ４．討論を通して相手の考えを理解し、自分の考えと照らし合わせて深く考察する能力 対応 DP および CP： 5・6・7・8
授業概要（教育目的）
この授業では、日本経済史に関する基本的な知識を学ぶとともに、過去から現代の日本のマクロ経済・企業・政策などのテーマについて深く探究する。また、プレゼンテーションや競技ディベートの実践を通じて、学習目標に掲げた能力を身に着けることを目指す。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	オリエンテーション	自己紹介・ゼミナール活動の説明など 【事前学習】1 時間　自己紹介およびゼミでの学習目標を考える。
第 2 回	テキスト輪読（１）	日本経済史に関する基本的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 3 回	テキスト輪読（２）	日本経済史に関する基本的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 4 回	テキスト輪読（３）	日本経済史に関する基本的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 5 回	テキスト輪読（４）	日本経済史に関する基本的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 6 回	テキスト輪読（５）	日本経済史に関する基本的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 7 回	情報検索の方法についての実践	図書館の資料やデータへのアクセスの方法、新聞・雑誌などの検索の方法、基本的なオンラインデータベースの利用方法などについて実習を行う。 【事前学習】1 時間　配布したプリントを事前に精読する。 【事後学習】2 時間　情報検索に関する課題に取り組む
第 8 回	ゼミ内討論会についての報告（１）	ゼミ内討論会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間　報告資料の準備

		【事後学習】2 時間　討論・指導のフィードバックを行う。
第 9 回	ゼミ内討論会についての報告（２）	ゼミ内討論会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間　報告資料の準備 【事後学習】2 時間　討論・指導のフィードバックを行う。
第 10 回	ゼミ内討論会についての報告（３）	ゼミ内討論会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間　報告資料の準備 【事後学習】2 時間　討論・指導のフィードバックを行う。
第 11 回	ゼミ内討論会についての報告（４）	ゼミ内討論会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間　報告資料の準備 【事後学習】2 時間　討論・指導のフィードバックを行う。
第 12 回	ゼミ内討論会の実施	第８回～第 11 回までの成果をもとに、ディベート形式によるゼミ内討論会を実施する。 【事前学習】4 時間　討論会の準備 【事後学習】2 時間　討論会の内容について振り返る。
第 13 回	ゼミ内討論会の振り返り	前回のゼミ内討論会の振り返りと反省会を行う。 【事前学習】2 時間　討論会の内容に関する自己評価シートを作成。 【事後学習】1 時間　振り返りをもとに自己評価シートを加筆する。
第 14 回	インゼミ大会についての説明および事前学習	秋に行われるインゼミ大会についての説明および大会テーマに関する事前学習を行う。 【事前学習】なし 【事後学習】5 時間　大会テーマに関する文献調査を行う。
第 15 回	前期のまとめ	前期の内容を振り返り、夏季休暇中の課題や活動予定について確認する。 【事前学習】なし 【事後学習】2 時間　夏休みの学習計画を作成する。
第 16 回	インゼミ大会についての報告（１）	インゼミ大会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間　報告資料の準備 【事後学習】2 時間　討論・指導のフィードバックを行う。
第 17 回	インゼミ大会についての報告（２）	インゼミ大会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間　報告資料の準備 【事後学習】2 時間　討論・指導のフィードバックを行う。
第 18 回	インゼミ大会についての報告（３）	インゼミ大会のテーマについて、班ごとに調査・議論した結果を報告し、その内容について全体で討論し、教員による指導を受ける。 【事前学習】3 時間　報告資料の準備 【事後学習】2 時間　討論・指導のフィードバックを行う。
第 19 回	インゼミ大会の準備	インゼミ大会について、討論にむけた準備を行う。 【事前学習】3 時間　討論の準備 【事後学習】2 時間　指導のフィードバックを行う。
第 20 回	インゼミ大会（１）	他大学とのインゼミ大会（ディベート大会）に参加し成果を発表する。 【事前学習】４時間　討論の意準備 【事後学習】２時間　討論のフィードバック
第 21 回	インゼミ大会（２）	他大学とのインゼミ大会（ディベート大会）に参加し成果を発表する。 【事前学習】４時間　討論の意準備 【事後学習】２時間　討論のフィードバック
第 22 回	インゼミ大会の振り返り	インゼミ大会の振り返りと反省会を行う。 【事前学習】2 時間　討論会の内容に関する自己評価シートを作成。 【事後学習】1 時間　振り返りをもとに自己評価シートを加筆する。
第 23 回	資料館・博物館見学会	経済史・経営史に関係する博物館や資料館の見学を行う。

		【事前学習】なし 【事後学習】2 時間　見学レポートを作成する。
第 24 回	テキスト輪読（６）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 25 回	テキスト輪読（７）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 26 回	テキスト輪読（８）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 27 回	テキスト輪読（９）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 28 回	テキスト輪読（１０）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 29 回	テキスト輪読（１１）	日本経済史に関する応用的なテキストを輪読する。報告者はワードかパワーポイントに指定範囲の内容をまとめ、報告する。討論者は報告者に対するコメント問題提起を行う。その後、全体討論を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定範囲を精読する。プレゼンテーションの担当があたっている場合はその準備を行う。 【事後学習】2 時間 再度テキストを読み、報告内容や討論内容について復習する。
第 30 回	後期の振り返り	後期の授業を振り返るとともに、教員と個人面談を実施する。

授業形式
・授業形態は「③部分対面型」とする。 ・質問などのフィードバックは講義内で行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30	0%	70	0%	1
評価の特記事項					
・成績評価は、報告・資料など提出物の内容、授業への参画度、討論やインゼミ大会への貢献度などをもとに総合的に評価する。					

テキスト
・テキストは初回授業時に指示する。
参考文献
オフィスアワー
・オフィスアワーは水曜日とする。事前にメール等でアポを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・ゼミナール科目は、出席だけでなく、サブゼミなども含むゼミ活動全体への参加と貢献が求められる。 ・無断欠席やゼミ活動に対する十分な貢献がないと判断された場合は、学期の途中であっても退会となる場合がある。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	20
担当教員	権　赫旭	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水３	単位区分	選
講義室	3113	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
ゼミナールでは、以下の能力を身につけることを目指します。 1．現実経済社会問題を経済学の考え方と方法論に基づいて分析できる。 2．自ら分析した結果に基づいて問題解決策を提示できる。 3．自ら提示した問題解決策と他の解決策を比較し、議論できる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
ゼミナールでは、最新の経営理論と実証分析に必要な計量経済学の基礎知識を習得するのみならず、その経済理論の視点に立って、実際データを用いて企業行動、企業戦略や意思決定が企業パフォーマンスに与える効果について研究します。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミナールの基本的な運営方式について説明する。 SCP フレームワークについて説明する。 【事前学習】2 時間 産業組織論の基本である SCP フレームワークについて復習する。 【事後学習】2 時間 講義した内容を整理する。
第 2 回	ポーターのファイブフォース	ポーターのファイブフォースについて説明する 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 3 回	ポーターの共有価値の創造（CSV）	ポーターの共有価値の創造（CSV）について説明する 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 4 回	共有価値の創造（CSV）と巣鴨信用金庫ビジネスケース	巣鴨信用金庫ビジネスケースを用いて共有価値の創造（CSV）についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループは巣鴨信用金庫ビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、共有価値の創造（CSV）について理解する。
第 5 回	単回帰分析	単回帰分析について説明する 【事前学習】2 時間 『実証分析入門』の 4 章と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 6 回	ダイナミック・ケーパビリティ	ダイナミック・ケーパビリティについて説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 2 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 7 回	両利きの経営	両利きの経営について説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 3 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 8 回	ダイナミック・ケーパビリティとスルガ銀行ビジネスケース	スルガ銀行ビジネスケースを用いてダイナミック・ケーパビリティについてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはスルガ銀行ビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、ダイナミック・ケーパビリティについ

		て理解する。
第 9 回	両利き経営とりそな銀行ビジネスケース	りそなビジネスケースを用いて両利き経営についてプレゼンとディスカッションを通じて学習する。 【事前学習】4 時間 プレゼンを担当するグループはりそな銀行ビジネスケースをよく読んで、プレゼン資料を作成する。他のグループはよく読んで、質問事項を準備する。 【事後学習】2 時間 ゼミナールでディスカッションした内容を整理し、両利き経営について理解する。
第 10 回	重回帰分析と決定係数	重回帰分析と決定係数について説明する 【事前学習】2 時間 『実証分析入門』の 5 章、6 章と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 11 回	オープンイノベーション	オープンイノベーションについて説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 4 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 12 回	社会的インパクト投資：ESG	社会的インパクト投資：ESG について説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 6 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 13 回	ステークホルダー理論	ステークホルダー理論について説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 7 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 14 回	さまざまな計量モデルとバイアス	さまざまな計量モデルとバイアスについて説明する 【事前学習】2 時間 『実証分析入門』の 9 章と 10 章と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 15 回	リーダーシップの経営心理学	リーダーシップの経営心理学について説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 9 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 16 回	起業マネジメント	起業マネジメントについて説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 10 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 17 回	ネットワーク効果とプラットフォ	ネットワーク効果とプラットフォーマーについて説明する

	ーマー	【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 11 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 18 回	目的変数が質的変数の場合の分析手法	目的変数が質的変数の場合の分析手法について説明する 【事前学習】2 時間 『実証分析入門』の 12 章と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】 2 時間 授業内容をよく復習すること
第 19 回	デジタルトランスフォーメーション	デジタルトランスフォーメーションについて説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 12 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 20 回	AI と雇用の未来	AI と雇用の未来について説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 13 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 21 回	AI とアルゴリズムの進化論	AI とアルゴリズムの進化論について説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 14 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 22 回	パネルデータ分析	パネルデータ分析について説明する 【事前学習】2 時間 『実証分析入門』の 19 章と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】 2 時間 授業内容をよく復習すること
第 23 回	日本のイノベーション力	日本のイノベーション力について説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 15 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 24 回	デジタルマーケティング	デジタルマーケティングについて説明する 【事前学習】2 時間 『世界最高峰の経営教室』の第 16 講と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習すること
第 25 回	操作変数法	操作変数法について説明する 【事前学習】2 時間 『実証分析入門』の 20 章と Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】 2 時間

		授業内容をよく復習すること
第 26 回	専修大学経済学部、東洋大学経済学部とのインターゼミナールプレゼン準備	グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察したものを他大学とのインターゼミナールナールにてプレゼンする内容を披露し、ディスカッションする 【事前学習】20 時間 グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察した内容を取りまとめる。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの内容を整理して、プレゼン内容を理解すること。
第 27 回	学習院大学経済学部、慶應大学商学部、慶應大学経済学部とのインターゼミナールプレゼン準備	グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察したものを他大学とのインターゼミナールナールにてプレゼンする内容を披露し、ディスカッションする 【事前学習】20 時間 グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察した内容を取りまとめる。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの内容を整理して、プレゼン内容を理解すること。
第 28 回	慶應大学経済学部、一橋大学商学部、早稲田大学政治経済学部とのインターゼミナールプレゼン準備	グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察したものを他大学とのインターゼミナールナールにてプレゼンする内容を披露し、ディスカッションする 【事前学習】20 時間 グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察した内容を取りまとめる。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの内容を整理して、プレゼン内容を理解すること。
第 29 回	埼玉大学とのインターゼミナールプレゼン準備	グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察したものを他大学とのインターゼミナールナールにてプレゼンする内容を披露し、ディスカッションする 【事前学習】20 時間 グループ別に独自のテーマを決め、分析・考察した内容を取りまとめる。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの内容を整理して、プレゼン内容を理解すること。
第 30 回	ゼミナール学習内容を総括する。	最新の経営理論と計量経済学に関する学習内容を確認する。また、インターゼミナールを通じて学んだ内容について議論し、整理する。

授業形式
授業形態は①同時双方向型とする。 質問等のフィードバックは、講義内で行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	60%	10%	100%
評価の特記事項					

テキスト
森田果（2014）『実証分析入門』、日本評論社、3000 円＋税
参考文献
ゼミナールの時間中に紹介する。
オフィスアワー
木曜日 12 時から 13 時まで。ゼミナールラインでアポをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールで配布する企業のビジネスケースと講義資料をよく読んで、ディスカッションできるように準備すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	21
担当教員	呉　逸良	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火４	単位区分	選
講義室	3102	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．ミクロ経済学の基礎知識を理解した上で，地域経済学や空間経済学の視点から社会における諸問題を思考できる。 ２．私たちの身近にあるさまざまな問題を地域経済学や空間経済学的な視点から捉えることで，新聞やニュースなどの社会・経済問題を理解できる。 ３．経済学的な考え方を理解し，経済学の研究の基本方法を理解できる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本ゼミでは，地域経済学や空間経済学的な視点から私たちの身近にあるさまざまな問題を思考・分析できるために，まず立地選択を含めた経済学の基本知識・専門知識を学修する。次に，グループ研究を通じて，学習した専門知識の応用ををを身につけてもらい，経済学の研究方法や研究論文の作成方法ををを身につけてもらう。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション クラス コード：xtxx7f4 Meet のリンク： https://meet.google.com/lookup/gtdny3ekmo	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 身近な問題を経済学的な視点から捉えてみよう。 【事前学習】2 時間 EcoLink のこの授業の掲示板の指示に従い，事前学習準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 2 回	「日本の地域と都市」	「日本の地域と都市」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 3 回	「地域の産業構造①」	「地域の産業構造①」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 4 回	「地域の産業構造②」	「地域の産業構造②」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 5 回	「地域間人口移動」	「地域間人口移動」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 6 回	「集積の経済と都市化」	「集積の経済と都市化」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成す

		る。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 7 回	「住宅市場」	「住宅市場」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 8 回	「都市内土地利用の分析」	「都市内土地利用の分析」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 9 回	「都市システムモデルと最適人口規模」	「都市システムモデルと最適人口規模」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 10 回	「地域間交易」	「地域間交易」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 11 回	「企業立地」	「企業立地」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 12	「空間経済学①」	「空間経済学①」について輪読

回		指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 13 回	「空間経済学②」	「空間経済学②」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 14 回	「交通サービス」	「交通サービス」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 15 回	「地域政府の役割」	「地域政府の役割」について輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 16 回	グループ研究	グループ研究チームを組み，各チームの研究テーマや研究方向を報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 17 回	グループ研究実践	「研究論文の書き方」を輪読し，討論する。各チームの研究計画と分担を作成し，報告する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 18 回	グループ研究実践	各チームの研究進展内容を報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出してお

		く。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 19 回	グループ研究実践	各チームの研究進展内容を報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 20 回	グループ研究実践	各チームの研究進展内容を報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 21 回	グループ研究実践	各チームの研究進展内容を報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 22 回	グループ研究実践	各チームの研究進展内容を報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 23 回	グループ研究実践	各チームの研究進展内容を報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 24 回	グループ研究の中間発表	各チームの中間発表を行い，討論する。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 25 回	グループ研究実践	各チームの研究修正内容を報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 26 回	グループ研究実践	各チームの研究進展内容を報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

第 27 回	グループ研究実践	各チームの研究進展内容を報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 28 回	グループ研究成果発表会	インターゼミを利用して，グループ研究成果発表会を開催する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 29 回	グループ研究成果の小論文作成	グループ研究成果の小論文を作成する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 30 回	グループ研究論文提出	グループ研究成果の小論文を提出し，内容を講評する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

授業形式

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	50%	30%	100%

評価の特記事項
グループ研究やインターゼミのグループ研究発表会を積極的に参加すること。

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
火曜日９：００～１０：００。事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/eco_kyouin/go/
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	22
担当教員	児玉　直美	実務経験のある教員による授業科目	○
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	A35a	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
中小企業、ベンチャー企業のビジネス・ケースや論文を使って討論する能力、事業計画を作るために必要なプレゼン能力、分析能力、質問・議論する能力を養う。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
この授業では、グループで討論、調査、データ分析、発表資料作成、プレゼンテーションを行う。後期には、合同ゼミで発表をする。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方の説明 係決め 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 2 回	統計分析の方法	回帰分析 1 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 3 回	統計分析の方法	回帰分析 2 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 4 回	統計分析の方法	検定 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 5 回	統計分析の方法	重回帰分析 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 6 回	統計分析の方法	二値モデル 1 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 7 回	統計分析の方法	二値モデル 2 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 8 回	グループワーク	グループ毎に論文を読んでまとめる 【事前学習】4 時間 テーマについて下調べ
第 9 回	グループワーク	グループ毎に論文を読んでまとめる 【事後学習】4 時間 発表資料作成
第 10 回	グループワーク	発表準備 【事後学習】4 時間 発表資料作成
第 11 回	グループワーク発表	発表 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 12 回	グループワーク発表	発表 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 13 回	合同ゼミテーマ案発表	研究計画の作り方、プレゼンの方法について学ぶ 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 14 回	合同ゼミテーマ案発表	研究計画の作り方、プレゼンの方法について学ぶ 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 15 回	合同ゼミテーマ案発表、決定	研究計画の作り方、プレゼンの方法について学ぶ 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 16 回	ガイダンス、グループワーク	合同ゼミ準備 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す

第 17 回	就活報告会	4 年生による就活報告会 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す
第 18 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 19 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 20 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 21 回	中間報告会	ここまでの成果を報告し、議論する 【事前学習】4 時間 発表準備
第 22 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 23 回	中間報告会	ここまでの成果を報告し、議論する 【事前学習】4 時間 発表準備
第 24 回	予行練習	週末に予定されている合同ゼミの練習 【事前学習】4 時間 発表準備
第 25 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 26 回	予行練習	週末に予定されている合同ゼミの練習 【事前学習】4 時間 発表準備
第 27 回	グループワーク	班毎に分析方法の指導 【事前学習】4 時間 グループワークの下調べ
第 28 回	予行練習	週末に予定されている合同ゼミの練習 【事前学習】4 時間 発表準備
第 29 回	発表の反省会	グループ毎に議論 【事前学習】4 時間 グループワークの下準備
第 30 回	まとめ	春休みの宿題、来年度の予定、卒論について 【事後学習】4 時間 配付資料を読み直す

授業形式
対面双方向

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					
授業での発言、発表を重視します。					

テキスト
なし
参考文献
なし
オフィスアワー
火曜日 12:00-12:55。事前にアポを取ってください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
必ず毎回、発言をしましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	23
担当教員	小林　信治	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水４	単位区分	選
講義室	3073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
ミクロ経済理論およびゲーム理論の基礎を修得する。 １.制約条件付最適化問題の定式化および解の導出を行うことができる。 ２.ミクロ経済理論における数学的方法について理解し，説明できる。 ３.ゲーム理論について理解し，説明できる。 ４.多数の例題を解くことを通じて，経済学の学習に必要な数学の基礎を理解し，経済学における各分野への応用に必要となるスタンダードな分析ツールを修得することができる。 対応 DP 及び CP：5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義は，ミクロ経済理論およびゲーム理論の基礎について解説することにより，経済分析のための数学の有用性およびミクロ経済学に関する理解を深めることを目的とする。 １.制約条件付最適化問題に関する定式化と解の導出並びに比較静学について詳細に解説する。 ２.ミクロ経済理論の基礎について解説する。 ３.ゲーム理論について解説する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義内容、講義形式、および評価方法等の概略について説明する。 【事前学習】2 時間 教科書第 5~8 章をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 2 回	消費者行動 1	選好関係について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 3 回	消費者行動 2	需要について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 4 回	消費者行動 3	双対性について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 5 回	生産者行動 1	利潤最大化について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 6 回	生産者行動 2	供給について解説する。 【【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 7 回	生産者行動 3	双対性について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 8 回	市場均衡 1	ワルラス均衡について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 9 回	市場均衡 2	均衡存在問題について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 10 回	理解度の確認	報告とディスカッション ワルラス均衡に関する報告とディスカッション 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 11 回	経済厚生 1	パレート効率性について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 12 回	経済厚生 2	公共財について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 13 回	ゲーム理論 1	戦略形ゲームについて解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 14 回	ゲーム理論 2	ナッシュ均衡について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 15 回	ゲーム理論 3	展開形ゲームについて解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 16 回	ゲーム理論 4	サブ・ゲーム完全均衡について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 17 回	ゲーム理論 5	不完備情報について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 18 回	ゲーム理論 6	ベイジアン均衡について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 19 回	ゲーム理論 7	バーゲニング理論について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 20 回	理解度の確認	報告とディスカッション ナッシュ均衡に関する報告とディスカッション 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間

		授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 21 回	メカニズム・デザイン 1	標準的オークションについて解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 22 回	メカニズム・デザイン 2	収入同等定理について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 23 回	メカニズム・デザイン 3	マッチング理論について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 24 回	メカニズム・デザイン 4	マッチング・アルゴリズムについて解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 25 回	非線形計画	非線形計画について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 26 回	動学 1	経済動学について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 27 回	動学 2	ダイナミック・プログラミングについて解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 28 回	凸解析 1	凸集合について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 29 回	凸解析 2	分離定理について解説する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 30 回	理解度の確認	報告とディスカッション ダイナミック・プログラミングに関する報告とディスカッション 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。

授業形式
授業形態は「②オンデマンド型」とする。 質問等に関するフィードバックは、翌週の講義において行う。 理解度の確認のため，演習を行う。演習に関するフィードバックは、原則として、翌週の講義において行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	20%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
W．ノヴシェク『 経済数学』多賀出版，2001，価格（出版社のＨＰを参照）。
参考文献
特になし。
オフィスアワー
木曜日１６：１５～１６：３５，本館２Ｆ講師室。 アポイントメントが必要である。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
教科書(必須）および配布資料を利用して，自主的に復習することが必要である。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	24
担当教員	齋藤　哲哉	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金４	単位区分	選
講義室	3122	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
専門研究(一)(2 年) 数学とミクロ経済学の基礎を造るためのテキストの輪読を主体に進めていきます 専門研究(二)(3 年) 専門研究(一)で習得した知識を様々な社会活動の分析に応用するため、幾つかのテーマに分けて調査・報告を行なっていきます 卒業論文(4 年) 専門研究(一)と専門研究(二)で得た知見をもとに各自のテーマを選び、そのテーマについての調査・研究と研究報告を中心に進めていきます 対応 DP 及び CP： 5， 6， 7， 8
授業概要（教育目的）
経済学的な分析手法は、一般に考えられている経済活動以外にも、社会現象のほぼすべての分析に適用することができます。ゼミではミクロ経済学を用いてどのようにして社会現象を分析できるのか、実際の事例を紹介しながら、その分析手法を身につけてもらいたいと思っています。自身の専門は国際貿易や犯罪の経済学、貨幣理論（暗号資産を含む）ですが、ゼミで取り扱う内容は対応できる範囲で出来るだけ広くと考えています

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 前期の輪読のスケジュールと担当者の割り当てを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと
第 2 回	指定した文献の輪読①	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 3 回	グループワークの実践①	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 4 回	指定した文献の輪読②	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 5 回	グループワークの実践②	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 6 回	指定した文献の輪読③	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 7 回	グループワークの実践③	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 8 回	指定した文献の輪読④	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 9 回	グループワークの実践④	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間

		前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 10 回	指定した文献の輪読⑤	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 11 回	グループワークの実践⑤	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 12 回	指定した文献の輪読⑥	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 13 回	グループワークの実践⑥	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 14 回	指定した文献の輪読⑦	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 15 回	グループワークの実践⑦	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 16 回	指定した文献の輪読⑧	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 17 回	グループワークの実践⑧	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 18 回	指定した文献の輪読⑨	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポ

		ート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 19 回	グループワークの実践⑨	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 20 回	指定した文献の輪読⑩	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 21 回	グループワークの実践⑩	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 22 回	指定した文献の輪読⑪	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 23 回	グループワークの実践⑪	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 24 回	指定した文献の輪読⑫	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 25 回	グループワークの実⑫	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 26 回	指定した文献の輪読⑬	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 27 回	グループワークの実践⑬	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 28 回	指定した文献の輪読⑭	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 29 回	グループワークの実践⑭	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 30 回	全体のまとめ	全体のまとめ・1 年間の振り返り 【事前学習】4 時間 これまでの内容を振り返っておく。

授業形式
・質問等のフィードバックは，講義内で行う。 ・質問等は EcoLink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	25
担当教員	齋藤　宏之	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月４	単位区分	選
講義室	3114	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
いわゆる「正統派経済学」とは全く異なる知的志向性をもつアメリカ制度学派の本質について，分析し解明することを目指します。その準備として，適切なテキストあるいは研究資料を選定のうえレジュメを作成し，それに基づく発表・討論を行います。また，このような過程を通して，経済学の考え方の多様性を自覚し，偉大な経済学者の生き方・ものの見方・基本的な考え方を学ぶことができます。 対応 DP 及び CP: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
パワーポイントを使いながら，制度学派のプレゼンテーションを行ってもらいます。プレゼン終了後には，皆で質疑応答をしながら理解を深めていきます。また，グループワークを行うこともあります。このような形で制度学派を研究することにより，経済学的なものの考え方はもちろん，経済社会という組織を理解する尺度や思考習慣も身に付けてもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	はじめに	ゼミの進め方について説明する。 【事前学習】2 時間 シラバスを読んで，疑問点等があればメモしておくこと。 【事後学習】2 時間 ガイダンスを踏まえて，専門研究（二）の進め方を確認しておくこと。
第 2 回	制度学派台頭の背景（1）	制度学派が台頭してきた当時の社会・時代背景を学ぶ意味について考える。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 3 回	制度学派台頭の背景（2）	南北戦争から第 1 次世界大戦にかけてのアメリカ資本主義の輝かしい様相を学ぶ。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 4 回	制度学派台頭の背景（3）	南北戦争から第 1 次世界大戦にかけてのアメリカ資本主義の悲惨な様相を学ぶ。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 5 回	制度学派台頭の背景（4）	アメリカ資本主義の悲惨な様相について，具体例を挙げながら掘り下げる。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 6 回	制度学派台頭の背景（5）	1870 年代以降のアメリカ資本主義の「独占」について理解を深める。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 7 回	制度学派台頭の背景（6）	1870 年代以降の恐慌，生産と資本の集中・集積，トラストなどについて学ぶ。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 8 回	制度学派台頭の背景（7）	独占に対する国家，連邦政府の態度を検討する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 9 回	制度学派台頭の背景（8）	1890 年代以降の独占の新しい形態を論じる。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。

第 10 回	制度学派台頭の背景（9）	1890 年代以降の経済状況に対する経済学者の考えについて理解を深める。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 11 回	制度学派台頭の背景（10）	独占に対して，当時の限界主義経済学の仮説事項の妥当性を議論する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 12 回	制度学派台頭の背景（11）	社会統制・改革の気運が高まってきたなかで，制度学派が成長していった事実を確認する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 13 回	制度学派台頭の背景（12）	19 世紀末から 20 世紀初頭のアメリカ資本主義の状況において，ソースタイン・B・ヴェブレン，ジョン・R・コモンズ，ウェズレー・C・ミッチェルらが演じた役割を概観する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 14 回	制度学派台頭の背景（13）	1929 年の恐慌以降のアメリカ制度学派が，紆余曲折を経ながら発展してきた過程を辿る。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 15 回	制度学派台頭の背景（14）	制度学派の存在意義を，現代の「正統派経済学」との関連で検討する。 【事前学習】2 時間 輪読用ノートを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 ノートを加筆・修正し，整理し直しておくこと。
第 16 回	後期ゼミナールのガイダンス	後期のゼミの進め方について説明する。 【事前学習】2 時間 シラバスを読んで，疑問点等があればメモしておくこと。 【事後学習】2 時間 ガイダンスを踏まえて，専門研究（二）の後期の進め方を確認しておくこと。
第 17 回	研究テーマの発表（1）	個人テーマを発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 個人テーマを考えておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，個人テーマを再検討しておくこと。
第 18 回	研究テーマの発表（2）	個人テーマを発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 個人テーマを考えておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，個人テーマを再検討しておくこと。
第 19 回	研究テーマの発表（3）	個人テーマを発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間

		個人テーマを考えておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，個人テーマを再検討しておくこと。
第 20 回	研究発表（1）	個人テーマの研究内容を発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 発表の準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，発表内容を再検討しておくこと。
第 21 回	研究発表（2）	個人テーマの研究内容を発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 発表の準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，発表内容を再検討しておくこと。
第 22 回	研究発表（3）	個人テーマの研究内容を発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 発表の準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，発表内容を再検討しておくこと。
第 23 回	研究発表（4）	個人テーマの研究内容を発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 発表の準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，発表内容を再検討しておくこと。
第 24 回	研究発表（5）	個人テーマの研究内容を発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 発表の準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，発表内容を再検討しておくこと。
第 25 回	研究発表（6）	個人テーマの研究内容を発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 発表の準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，発表内容を再検討しておくこと。
第 26 回	研究発表（7）	個人テーマの研究内容を発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 発表の準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，発表内容を再検討しておくこと。
第 27 回	研究発表（8）	個人テーマの研究内容を発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 発表の準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，発表内容を再検討しておくこと。
第 28 回	研究発表（9）	個人テーマの研究内容を発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 発表の準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答を踏まえて，発表内容を再検討しておくこと。
第 29 回	研究発表（10）	個人テーマの研究内容を発表し，それに関する意見交換をする。 【事前学習】2 時間 発表の準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間

		質疑応答を踏まえて，発表内容を再検討しておくこと。
第 30 回	研究発表概観	アメリカ制度学派出現の時代背景ならびに個人テーマについて，いかにして卒業論文の作成に生かしていくかを議論する。 【事前学習】2 時間 1 年間のゼミナールを全体として振り返っておくこと。 【事後学習】2 時間 卒業論文作成に向けての手順を確認しておくこと。

授業形式
授業形態は同時双方向型とする。 アクティブ・ラーニングを実施する。（実施方法の詳細は初回ゼミナールで説明する。）

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
Stanley L. Brue, Randy R. Grant, The Evolution of Economic Thought, South-Western, 2013.
参考文献
ソースタイン・ヴェブレン著，村井章子訳『有閑階級の理論』筑摩書房，2016 年，1,200 円（税抜）． その他の文献は，必要に応じて随時紹介する。
オフィスアワー
Web 会議サービスを利用して対応する。適宜メールでも対応する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
事前学習および事後学習を十分に行い，能動的にゼミナールに臨むこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	26
担当教員	酒巻　俊之	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火４	単位区分	選
講義室	3122	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身に付けることを目指します。 １.会社法やその関連法規の規制内容・判例に興味を持ち、常に最新の情報を得る姿勢を身に付けることができる。 ２.その事件の対象となった企業の歴史や不祥事の内容等を知ることが出来る。 ３.プレゼンテーションの為のワード・パワーポイント等のソフトの使用能力が向上する。 ４.レジュメ・パワーポイントの作成を通うじて文章の校正能力が身につく(紙媒体の場合は校正記号も覚える)。 ５.期限までに作業を終える為のスケジュール管理等のコミュニケーション能力が向上する。 ６.WEB における発表や対面における発表の能力・経験値が向上する。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では、企業・業界・社会現象・特定の現象・時事問題について、会社法や関連法規の判例等の観点から、個人研究し、WEB 又は対面でプレゼンテーションを行います。これにより、期限までに作業を終える為の采配・就職活動や業務に対する基礎能力や卒論作成の際の構成・校正力を養います。授業の終盤には、先輩や社会人の講演を含む就職活動指導や卒論指導を予定しており、この際に他学年や社会人・識者の方々との交流を図ります。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	授業ガイダンス	授業ガイダンス 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備
第 2 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 3 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 4 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 5 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 6 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 7 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 8 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 9 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 10 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 11 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 12 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 13 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 14 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 15 回	振返り・ガイダンス	インターン・シップ、夏休み中の学習に対する指導
第 16 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 17 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。

第 18 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 19 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 20 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 21 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 22 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 23 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 24 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 25 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 26 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 27 回	個人発表	個人発表 【事前学習】個人発表準備 【事後学習】個人発表準備。既発表者はコメントにより発表内容修正。
第 28 回	就職指導・体験談・講演 (日程調整による順変動あり)	就職指導・OB・先輩・識者による講演等(日程調整の可能性あり) 【事前学習】振返り学習。2 時間以上 【事後学習】個人発表準備。2 時間以上
第 29 回	就職指導・体験談・講演 (日程調整による順変動あり)	就職指導・OB・先輩・識者による講演等(日程調整の可能性あり) 【事前学習】振返り学習。2 時間以上
第 30 回	就職指導・体験談・講演 (日程調整による順変動あり)	就職指導・OB・先輩・識者による講演等(日程調整の可能性あり) 【事前学習】振返り学習。2 時間以上

授業形式
原則、オンラインによる同時双方向型(グループ発表)又はオンデマンド型(指導・連絡等)。ただし、新型コロナの感染状況及びゼミ生の希望により、対面授業を数回行う予定です(ガイダンス・グループ発表・デモ・講演等)。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%

評価の特記事項
その他は、個人発表の内容・出来などの評価です。発表作成には短くとも 2 週間程度の時間がかかります。早めの作成を心掛けてください。

テキスト
酒巻俊雄=尾崎安央=川島いづみ=中村信男/編『会社法重要判例』の最新版(執筆時は第三版 2019.10 発行)(成文堂)(税抜き 2,000 円)
参考文献
日本大学図書館経済学部分館の酒巻俊之の棚に開架。
オフィスアワー
授業の前後及び連絡により随時対応。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
個人発表は先生が最終的に個人指導をしていますが、それ以前に既発表者や理解力が高い方は学友のフォローをお願いします。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	27
担当教員	佐久間　隆	実務経験のある教員による授業科目	○
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3112	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
３年制ゼミの２年目として、グループワークによる研究を通じて、次のような分析力とプレゼンスキルを身に付けることができます。 ①関心を持った問題について関連する統計データや文献資料を自分で探し出して入手できる。 ②入手した統計データや文献資料に基づいて論理的な内容を示す図表や解説を作成できる。 ③伝えたい内容をパワーポイントにし、大勢の前で説明し、質疑応答に柔軟に対応できる。 ④批判的な意見を建設的なやり方で指摘することができる。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
日本経済に関する共通テーマについて３～４名のグループに分けて研究します。 ①日本経済が抱える課題について幅広くリストアップします。 ②日本経済に抱える課題をひとつ選び、グループに分かれて多角的な視点から検討します。 ③検討結果をパワーポイントにまとめます。 ④ゼミ内、他学年を含む合宿中、学内の公開ゼミや他大学とのインターゼミで繰り返し報告し、ブラッシュアップします。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	ゼミでの学修の進め方について説明し、名簿により 2 年生の新メンバーを紹介します。 [事前学習]初回と 2 回の授業資料と Zoom の Meeting への招待は個別にメッセージで連絡します。シラバスに目を通してください。：2 時間 [事後学習]再度シラバスに目を通してください。ゼミでの役割について再確認してください。：2 時間
第 2 回	グループワークの共通テーマと研究課題の検討	日本経済が抱える課題について、その重要性、タイムリーさ、多角的な検討の可能性や若い世代へのアピール度などを評価し、共通テーマとして取り上げる価値を検討します。 [事前学習]日本経済が抱える課題についてニュース、書籍、白書など政府の報告書からリストアップしてください。：2 時間 [事後学習]他のメンバーからの提案でリストアップされた日本経済が抱える課題について調べてください。：2 時間
第 3 回	テーマ設定とグループ分け	日本経済が抱える問題をひとつテーマとして選び、いくつかの観点を設定します。それに応じてグループに分け、中間報告へ向けてグループ内での分担を決めます。 2 年生のゼミ長など役割分担を伝えます。 [事前学習]自分ならどのテーマについて、どのような観点からアプローチするか考えてください。：2 時間 [事後学習]自分の分担を確認し、中間報告会へ向けての作業計画を立ててください。：2 時間
第 4 回	グループワークⅠ	グループに分かれ、各自が収集した統計データ、対応策の提案や白書など政府の報告書を共有し、論点を整理します。 [事前学習]担当部分に関する統計データ、資料を入手してください。：2 時間 [事後学習]担当部分の統計データを図表化し、政策などの要約を作成してください。：2 時間
第 5 回	グループワークⅡ	第 4 回と同じです。 [事前学習]第 4 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 4 回と同じです。：2 時間
第 6 回	グループワークⅢ	図表や政策のポイントなどをパワーポイントにまとめます。 [事前学習]図表や政策のポイントなどをスライドにしてください。：2 時間 [事後学習]パワーポイントに表紙、目次などを付けてください。：2 時間
第 7 回	中間報告会Ⅰ	半分のグループが発表し、質疑応答を行います。 [事前学習]パワーポイントを使ったプレゼンのリハーサルを行ってください。発表しないグループの人は発表するグループのテーマについて調べてください。：2 時間 [事後学習]発表の際に説明しにくかったところや受けた質問、コメントなどを踏まえて補う点を整理してください。：2 時間
第 8 回	中間報告会Ⅱ	残りの半分のグループが発表し、質疑応答を行います。 [事前学習]パワーポイントを使ったプレゼンのリハーサルを行ってください。発表しないグループの人は発表するグループのテーマについて調べてください。：2 時間 [事後学習]発表の際に説明しにくかったところや受けた質問、コメントなどを踏まえて補う点を整理してください。：2 時間
第 9 回	グループワークⅣと夏合宿の打ち合わせⅠ	グループに分かれ、各自作成したスライドを一つにまとめ、説明に重複がないか、順序の入れ繰りがないかチェックします。 合宿の宿泊先候補、交通手段の選択肢、見学先、スポーツなどのアイデアを募集し、各人の合宿における役割を確認します。

		[事前学習]担当部分のスライドを作成してください。：2 時間 [事後学習]必要に応じてパワーポイントを修正してください。：2 時間
第 10 回	グループワークⅤ	ノートの文案を読み上げ、読みにくいところ、聞き取りにくいところがあったら修正し、時間がかかりすぎの場合はスライドの内容と文案のカットを検討してください。 [事前学習]担当部分のノートの文案を作成してください。：2 時間 [事後学習]修正した文案をノートに入力してください。：2 時間
第 11 回	グループワークⅥ	グループに分かれ、パワーポイントに表紙、目次、参考文献を追加し、デザインの統一やフォントの大きさ調整などを行います。 [事前学習]担当部分のスライドを完成させてください。：2 時間 [事後学習]パワーポイントを完成させてください。：2 時間
第 12 回	ゼミ内報告会Ⅰ	半分のグループが発表し、質疑応答を行います。 [事前学習]パワーポイントを使ったプレゼンのリハーサルを行ってください。発表しないグループの人は発表するグループのテーマについて調べ質問を用意してください。：2 時間 [事後学習]発表の際に説明しにくかったところや受けた質問、コメントなどを踏まえて、担当部分のスライドの内容や口頭説明の改善すべき箇所を確認してください。：2 時間
第 13 回	ゼミ内報告会Ⅱと夏合宿の打ち合わせⅡ	残りの半分のグループが発表し、質疑応答を行います。 夏合宿のスケジュールと準備を確認します。 [事前学習]パワーポイントを使ったプレゼンのリハーサルを行ってください。発表しないグループの人は発表するグループのテーマについて調べ質問を用意してください。：2 時間 [事後学習]発表の際に説明しにくかったところや受けた質問、コメントなどを踏まえて、担当部分のスライドの内容や口頭説明の改善すべき箇所を確認してください。4 年生、2 年生に夏合宿のスケジュールや準備について連絡をしてください。：2 時間
第 14 回	ゼミ内報告会の振り返り	グループに分かれて改善する点を検討し、その結果を報告します。 [事前学習]担当部分のスライドの内容やノートの文案を修正してください。：2 時間 [事後学習]パワーポイントをブラッシュアップしてください。：2 時間
第 15 回	前期のまとめと夏合宿の打ち合わせⅢ	前期の学修成果について講評を行います。 夏合宿の際に行う他学年への説明について打ち合わせをします。 [事前学習]グループワークの作業内容を振り返ってメモにまとめてください。：2 時間 [事後学習]夏合宿の際に 2 年生に対して自分達の経験を踏まえてグループワークに備えて心得ておくよう伝えることをまとめてメモにしてください。：2 時間
第 16 回	夏合宿の振り返りと後期の予定の確認	夏合宿での学修、準備や運営について講評します。 公開ゼミ、インターゼミの予定など後期の日程を確認します。 [事前学習]夏合宿で学修したこと、準備や運営で努力したことなどについて振り返ってください。：2 時間 [事後学習]夏合宿の際の写真などを共有し、ゼミの広報資料として活用してください。：2 時間
第 17 回	グループワークⅦ	公開ゼミに合わせ、発表内容を重点化し、1 年生向けに解説を分かりやすくし、目立つデザインやイラストを採用するなどパワーポイントを見直します。 [事前学習] 1 年生にアピールするポイントや修正点を検討してください。：2 時間 [事後学習]担当部分のスライドに修正を加えてください。：2 時間
第 18 回	グループワークⅧ	第 17 回と同じです。 [事前学習]第 17 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 17 回と同じです。：2 時間
第 19 回	グループワークⅨ	グループに分かれ、見やすさを重視してパワーポイントのデザインやフォントの大

		きさに修正を加えます。 [事前学習]担当部分のスライドを完成させてください。：2 時間 [事後学習]パワーポイントがきちんと修正されているかチェックしてください。：2 時間
第 20 回	公開ゼミへ向けての確認Ⅰ	半分のグループが発表し、質疑応答を行います。 [事前学習]パワーポイントを使ったプレゼンのリハーサルを行ってください。発表しないグループの人は発表するグループのテーマについて調べ質問を用意してください。：2 時間 [事後学習]発表の際に説明しにくかったところや受けた質問、コメントなどを踏まえてパワーポイントをブラッシュアップしてください。：2 時間
第 21 回	公開ゼミへ向けての確認Ⅱ	残りの半分のグループが発表し、質疑応答を行います。 [事前学習]パワーポイントを使ったプレゼンのリハーサルを行ってください。発表しないグループの人は発表するグループのテーマについて調べ質問を用意してください。：2 時間 [事後学習]発表の際に説明しにくかったところや受けた質問、コメントなどを踏まえてパワーポイントをブラッシュアップしてください。：2 時間
第 22 回	グループワークⅩ	インターゼミに向けて、発表チームを 1 ないし 2 チーム構成します。これまでの研究の成果を集約してパワーポイントを構成し直し、それに応じて分担を決めます。 [事前学習]自身の得意な点を踏まえてインターゼミで担当したい役割を考えてください。：2 時間 [事後学習]自分の分担を確認し、インターゼミへ向けての作業計画を立ててください。：2 時間
第 23 回	グループワークⅪ	ノートの文案を読み上げ、読みにくいところ、聞き取りにくいところがあったら修正し、時間がかかりすぎの場合はスライドの内容や文案のカットを検討してください。 [事前学習]担当部分のスライドとノートの文案を作成してください。：2 時間 [事後学習]修正した文案をノートに入力してください。：2 時間
第 24 回	グループワークⅫ	パワーポイントに表紙、目次、参考文献を追加し、見やすさを重視してパワーポイントのデザインやフォントの大きさに修正を加えます。 [事前学習]作成したスライドをひとつにまとめてください。：2 時間 [事後学習]デザインやフォントの変更が問題を起こしていないか担当部分のスライドをチェックしてください。：2 時間
第 25 回	インターゼミに向けての最終確認	インターゼミに向けて、パワーポイントを使ったプレゼンのリハーサルを行います。 [事前学習]担当部分のスライドやノートを完成させてください。：2 時間 [事後学習]リハーサルで説明しにくかったところや受けた質問、コメントなどを踏まえてプレゼン全体をブラッシュアップしてください。：2 時間
第 26 回	インターゼミの振り返り	他のゼミのプレゼンのなかで興味を惹かれたもの、見習いたい点を報告します。 [事前学習]他のゼミのプレゼンのなかで興味を惹かれたもの、見習いたい点について意見をまとめてください。：2 時間 [事後学習]インターゼミを通じて成長できた点を確認してください。：2 時間
第 27 回	学術論文読み会Ⅰ	学術論文の様式や文章スタイルに触れるために経済学者による論文を読みます。 [事前学習]指定された論文に目を通してください。：2 時間 [事後学習]論文の構成、文章のスタイル、図表の番号付けやデータの出所の記載、参考文献の記載項目に注意を払って論文に目を通してください。：2 時間
第 28 回	学術論文読み会Ⅱ	第 27 回と同じです。 [事前学習]第 27 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 27 回と同じです。：2 時間
第 29 回	前年度までの卒業研究のテ	佐久間ゼミで前年度までに提出された卒業論文のテーマの一覧を紹介しま

	ーマ紹介	す。 [事前学習]事前に配布された卒業論文のテーマ一覧に目を通し、自分の関心に近いテーマの例をピックアップしてください。：2 時間 [事後学習]てください。：2 時間
第 30 回	全体のまとめと翌年度へ向けての説明	通年での学修について講評を行います。 翌年度のゼミの予定について説明します。 [事前学習]発表に使用したパワーポイントやノートを使って振り返ってください。：2 時間 [事後学習]翌年度の卒業研究のテーマについて考えてください。：2 時間

授業形式
教員からの解説も行いますが、基本的に学生がグループワークで学修を進めて報告する演習形式で行います。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	70%	30%	100%
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
オフィスアワーはゼミのある月曜日の 5 限です。この時間帯にゼミの全学年が参加可能な定期的な Zoom meeting を設定し、招待します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業計画表は夏合宿を行うことを想定したものですが、中止の場合は順序や内容を変更する場合があります。 グループワークはメンバーが分担して行うので、他のグループメンバーと連絡を密にし、特に、体調不良や家の用事による欠席はできるだけ早く知らせてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	28
担当教員	櫻井　研司	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水４	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．産業・組織心理学で扱われる主要な理論の内容を理解し，説明できる。 ２．社会科学研究の方法，および研究倫理の基礎について理解する。 ３．産業・組織心理学的に関わる尺度設計，測定，およびデータ解析の基礎について理解し，実践できる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6, 7, 8
授業概要（教育目的）
このゼミでは，労働者が生産的かつ健全に働くための諸条件を探っていきます。この目的を中心に，産業・組織心理学が扱う人的資源管理（例：職務適正審査），働く人々の心理（例：職務モチベーションや仕事のやりがい），行動(例：組織市民行動)，労働安全衛生(例：ストレス)など様々なテーマについて理解を深めていきます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	前期イントロダクション	"ゼミの学習内容，形式，評価方法，注意点について説明する。 [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 2 回	観察データの扱い方 ①	"データの分散について学ぶ. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 3 回	観察データの扱い方 ②	"相関と単回帰分析について復習する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 4 回	観察データの扱い方 ③	"重回帰分析について復習する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 5 回	観察データの扱い方 ④	"重回帰分析の様々な応用と，基準変数への効果を視覚化する方法を学ぶ. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 6 回	産業・組織心理学の応用研究 ①	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 7 回	産業・組織心理学の応用研究 ②	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 8 回	産業・組織心理学の応用研究 ③	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 9 回	産業・組織心理学の応用研究 ④	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 10 回	産業・組織心理学の応用研究 ⑤	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく.

		[事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 11 回	産業・組織心理学の応用 研究 ⑥	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 12 回	産業・組織心理学の応用 研究 ⑦	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 13 回	産業・組織心理学の応用 研究 ⑧	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 14 回	産業・組織心理学の応用 研究 ⑨	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 15 回	学習内容の確認と解説	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 16 回	産業・組織心理学の応用 研究 ⑩	"前期の振り返り，後期の学習計画について説明する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでおく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 17 回	産業・組織心理学の応用 研究 ⑪	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 18 回	産業・組織心理学の応用 研究 ⑫	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 19 回	産業・組織心理学の応用 研究 ⑬	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 20 回	産業・組織心理学の応用 研究 ⑭	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."

第 21 回	産業・組織心理学の応用研究 ⑮	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 22 回	産業・組織心理学の応用研究 ⑯	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 23 回	産業・組織心理学の応用研究 ⑰	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 24 回	産業・組織心理学の応用研究 ⑱	"グループで決めたテーマについて議論する. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 25 回	産業・組織心理学の応用研究 ⑲	"グループで決めたテーマについて，発表資料をまとめる. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 26 回	産業・組織心理学の応用研究 ⑳	"グループで決めたテーマについての発表資料を完成させ，発表の予行演習を行う. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 27 回	プレゼンテーション ①	"グループで決めたテーマについて発表する。 [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 28 回	プレゼンテーション ②	"グループで決めたテーマについて発表する。 [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 29 回	プレゼンテーション ③	"グループで決めたテーマについて発表する。 [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."
第 30 回	後期の振り返りと解説	"研究テーマについての確認と後期の振り返り. [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでおく. [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し，授業内容の理解を深める."

授業形式
授業形態は「③部分対面型」とする. 質問などのフィードバックは講義内で行う. 質問などは g-mail から受け付ける.

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	40%	60%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし					

テキスト
特になし
参考文献
授業時に指示する.
オフィスアワー
水曜 11~12 時. 事前にメールで連絡して下さい。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	29
担当教員	澤田　充	実務経験のある教員による授業科目	○
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火４	単位区分	選
講義室	3133	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身に着けることを目指します。 1.基本的の金融理論や金融システム論を理解し、経済学的な視点から金融にかかわる現象について説明できる。 2.日本経済や企業のイノベーション活動の現状を理解し、概要を説明できる。 3.日本経済や金融システムにかかわるデータから経済主体の行動を理解し、解釈することができる。 4.グループワークを通じて、チームの中で役割を理解し、主体的に調査・報告活動を行うことができる。 ５.研究の成果を論文にまとめ、わかりやすく報告することができる。 対応 DP および CP：5、6，7，8
授業概要（教育目的）
本ゼミではグループワークを通じて日本の金融システムや日本経済の様々な課題について調査し、学生自ら経済学的な視点から考察を行い、学生間および教員との議論を通じ、論文にまとめてもらいます。また、その研究成果を第 3 者に報告し、フィードバックをもらいさらに研究の内容を高めてもらいます。 対応 DP および CP：5、6，7，8

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	スタートアップ	本講義の目標および教育目的を明確にし、今後の講義流れを理解する。 【事前学習】2 時間 授業のレジュメを読み、授業の目標や目的の概要を理解する。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、本講義の特色や今後の流れについて整理しておくこと。
第 2 回	プレゼンテーションの仕方	第 3 回以降でパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行うため、必要な知識やポイントを説明する。 【事前学習】2 時間 授業のレジュメを読み、プレゼンテーションの仕方の概要を把握しておく。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、プレゼンテーションの仕方ついて整理しておくこと。
第 3 回	先行研究分析 1	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は指定文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 4 回	先行研究分析 2	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は指定文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 5 回	先行研究分析 3	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は指定文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 6 回	先行研究分析 4	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は指定文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 7 回	テーマ決め 1	グループでの話合いの内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 8 回	テーマ決め 2	グループでの話合いの内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 9 回	分析方法の検討 1	グループでの話合いの内容を順番にパワーポイントで報告する。

		【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 10 回	分析方法の検討 2	グループでの話合いの内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 11 回	分析方法の検討 3	グループでの話合いの内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 12 回	課題の現状分析 1	グループでの話合いの内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 13 回	課題の現状分析 2	グループでの話合いの内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 14 回	グループワークの調査・報告のまとめ方	秋学期に行うグループワークの説明の論文へのまとめ方 事前学習】2 時間 授業のレジュメを読み、グループワープの概要を把握しておく。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、グループワークの進め方整理しておくこと。
第 15 回	春学期授業のまとめ	春学期の授業の振り返りと今後の授業についての概要を説明 【事前学習】2 時間 春学期の授業のレジュメを読み、春学期授業の概要を把握しておく。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、春学期に習得した知識をどのような生かしていくか整理しておくこと。
第 16 回	政策提言の検討 1	政策提言についてのグループでの話合いの内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 17 回	政策提言の検討 2	政策提言についてのグループでの話合いの内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。

		【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 18 回	政策提言の検討 3	政策提言についてのグループでの話合いの内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 19 回	論文への執筆 1	論文執筆状況について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 20 回	論文の執筆 2	論文執筆状況について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 21 回	論文の執筆 3	論文執筆状況について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 22 回	論文の執筆 4	論文執筆状況について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 23 回	研究成果の報告 1	研究成果について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 24 回	研究成果の報告 2	研究成果について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 25 回	研究成果の報告 3	研究成果について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 26 回	研究成果の報告 4	研究成果について順番にパワーポイントで報告する。

		【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 27 回	研究成果の報告 5	研究成果について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外はを話し合いの結果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 28 回	グループワークの実践 1	日本経済の課題についてのグループワークをする 【事前学習】2 時間 当該課題とは何かについて調べておく。 【事後学習】2 時間 当該課題について問題点を整理する。 報告用のパワーポイントを用意する
第 29 回	報告と討論の実践 2	日本経済の課題についてグループで報告し討論する。 【事前学習】 2 時間 課題について要点を整理し， 疑問点を抽 出しておく。 【事後学習】 2 時間 資料等により理解を深める。
第 30 回	秋学期講義のまとめ	秋学期の授業の振り返りと要点をまとめる 【事前学習】2 時間 秋学期の授業のレジュメを読み、秋学期授業の概要を把握しておく。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、秋学期に習得した知識をどのような生かしていくか整理しておくこと。

授業形式
少人数型ゼミ方式

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%

評価の特記事項
評価方法の「その他」はグループワークの報告内容を評価したものである。

テキスト
特になし
参考文献
授業内で適宜指示する。
オフィスアワー
月曜日 4 時限
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
自分の報告だけでなく、ほかの学生やグループの報告の際にも積極的に議論に参加し、ゼミ全体の知識向上や技能の習得につながるように貢献してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	30
担当教員	新海　宏美	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，食料，食料の流通そして食料の生産を担う農業，農村に関わる問題について，実態を踏まえたうえで経済学的な視点から考え，自分の意見を主張できるようになることが目標です。また，ゼミを通じてレポートやレジュメの書き方，報告や討論の仕方などを習得することを目指します。 対応 DP 及び CP：５，６，７，８
授業概要（教育目的）
本講義では，フードシステムにおける課題を経済学的な視点から分析します。食料が消費者に提供されるまで，つまり生産や流通などの過程におけるすべての経済主体の働きを総合的なシステムとして考え，経済学を応用してそれらの課題を捉えられるようにしていきます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点などについて説明する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，フードシステムの課題について考えておく。
第 2 回	グループワーク①	グループでテーマを決め，情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 3 回	新聞発表とテキスト報告①	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 4 回	新聞発表とテキスト報告②	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 5 回	新聞発表とテキスト報告③	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 6 回	新聞発表とテキスト報告④	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 7 回	新聞発表とテキスト報告⑤	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。

		【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 8 回	グループワーク②	グループで決めたテーマについて，情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 9 回	新聞発表とテキスト報告⑥	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 10 回	新聞発表とテキスト報告⑦	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 11 回	新聞発表とテキスト報告⑧	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 12 回	新聞発表とテキスト報告⑨	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 13 回	新聞発表とテキスト報告⑩	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 14 回	グループワーク③	グループで決めたテーマについて，情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。

第 15 回	振り返り	これまでの学修の成果を振り返る。 【事前学習】2 時間 これまでの授業を振り返り，内容をまとめておく。 【事後学習】2 時間 今後の学修に還元できる点を考えてみる。
第 16 回	グループワーク④	グループで決めたテーマについて，情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 17 回	新聞発表とテキスト報告⑪	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 18 回	新聞発表とテキスト報告⑫	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 19 回	新聞発表とテキスト報告⑬	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 20 回	新聞発表とテキスト報告⑭	前半は，フードシステムに関連する新聞記事もしくはニュースについて報告する。 後半は，テキストの内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み，発表者は報告準備をし，発表者以外は課題や意見を考える。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 21 回	グループワーク⑤	グループで決めたテーマについて，情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 22 回	グループワーク⑥	グループで決めたテーマについて，情報共有や意見交換などを行っていく。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。

第 23 回	グループワーク⑦	グループで決めたテーマについて，報告する。 【事前学習】2 時間 グループワークに必要な作業や役割分担を整理しておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 24 回	グループワーク⑧	グループ報告について振り返り，成果を整理する。 【事前学習】2 時間 それぞれのグループの報告を振り返っておく。 【事後報告】2 時間 グループワークで得られた結果を整理する。
第 25 回	個人発表①	各々が決めたテーマについて報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて，調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 26 回	個人発表②	各々が決めたテーマについて報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて，調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 27 回	個人発表③	各々が決めたテーマについて報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて，調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 28 回	個人発表④	各々が決めたテーマについて報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて，調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 29 回	個人発表⑤	各々が決めたテーマについて報告する。 【事前学習】2 時間 担当テーマについて，調べてまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 30 回	総括	授業全体の学修の成果を振り返る。 【事前学習】2 時間 これまでの授業を振り返り，内容をまとめておく。 【事後学習】2 時間 今後の学修に還元できる点を考えてみる。

授業形式
・授業形態は「②オンデマンド型」とします。ただし状況に応じて，「③部分対面型」とします。 ・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は Ecolink または Gmail からも受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	70%	30%	1

評価の特記事項
・授業内で提示した課題は全て提出してください。 ・報告，授業内での意見，グループワークでの寄与度，課題，レポートなどを総合的に評価します。

テキスト
時子山ひろみ・荏開津典生・中嶋康博著『フードシステムの経済学　第 6 版』医歯薬出版，2019 年，2,500 円（税抜）
参考文献
授業時に提示します。
オフィスアワー
授業時に提示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・遅刻や私語など，ほかの学生に迷惑のかかる行為は厳禁とします。 ・無断欠席には厳しく対処します。特に，報告の担当となっている場合はなおさらです。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	31
担当教員	曽根　康雄	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金４	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
日本の経済成長や我々の生活にとって重要性の高まる東アジア地域を研究対象として，経済学に基礎を置きつつ学際的なアプローチを用いて，この地域の経済と社会の実像を深く理解します。そして，日本と東アジア諸国・地域との間にある問題の本質を探究し，国際的な教養を備えた人材の育成を目指します。 成長できる分野＝豊かな教養・知識に 基づく高い倫理観；世界の現状を理解し説明する力；論理的・批判的思考力；問題発見・解決力；挑戦力；コミュニケーション力；リーダーシップ ・協働力；省察力 対応 DP および CP: 5， 6， 7， 8
授業概要（教育目的）
このゼミナールは，日本を含む東アジアを対象地域とした地域研究（Area Studies）のゼミナールです。地域研究とは，現代の生きたグローバル社会を分析の対象とし，既成の学問領域（ディシプリン＝discipline）の枠を超えた外国研究ないしは異文化研究のことを指します。国家や地域の成り立ちや発展プロセスの本質を理解するためには，それらの歴史的背景や固有の社会的・文化的要因を知ることも不可欠です。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	春休みのレポート課題の提出	【事前学習】10 時間 課題文献を精読して，春休み中にレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 前期の学習計画，発表の順番，ゼミナールでの連絡方法などを確認する。
第 2 回	マックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』（岩波文庫）の読後ディスカッション	【事前学習】2 時間 春休みのレポート内容の報告およびディスカッションの準備を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート 作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	『現代アジア経済論』第 1 章（変貌するアジア）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	『現代アジア経済論』第 1 章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 5 回	補足についての発表と討議（1）	【事前学習】2 時間 自分が報告する課題について情報を集め，パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	『現代アジア経済論』第 2 章（アジア化するアジア）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	『現代アジア経済論』第 2 章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 8 回	補足についての発表と討議（2）	【事前学習】2 時間 自分が報告する課題について情報を集め，パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	『現代アジア経済論』第 3 章（中国が変えるアジア）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	『現代アジア経済論』第 3 章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 11 回	補足についての発表と討議（3）	【事前学習】2 時間 自分が報告する課題について情報を集め，パワーポイントを作成する。

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	『現代アジア経済論』第４章（生産するアジア）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	『現代アジア経済論』第４章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 14 回	グループワークの実践（１）準備	【事前学習】2 時間 グループワークのテーマ案を検討し，報告を準備する 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，グループワークにおいて注意すべきことをまとめる。
第 15 回	グループワークの実践（２）準備	【事前学習】2 時間 グループ毎に報告内容を検討し，準備過程の役割分担を決定する。 【事後学習】１０時間 グループ毎に報告のためのパワーポイントを作成する。
第 16 回	グループワークの実践（３）発表	【事前学習】5 時間 グループ毎に報告内容を検討し，最終的な準備を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	前期レポートの提出と後期の授業計画	【事前学習】2 時間 レポート内容について報告を準備する。 【事後学習】2 時間 後期の学習計画，発表の順番，ゼミナールでの連絡方法などを確認する。
第 18 回	『現代アジア経済論』第６章（移動するアジア）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，パワーポイントを作成する 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	『現代アジア経済論』第６章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等によって理解を深める。
第 20 回	補足についての発表と討議（４）	【事前学習】2 時間 自分が報告する課題について情報を集め，パワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	『現代アジア経済論』第８章（都市化するアジア）の発表	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，パワーポイントを作成する 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	『現代アジア経済論』第８章の補足	【事前学習】2 時間 前週の内容について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間

		資料等によって理解を深める。
第 23 回	補足についての発表と討議（５）	【事前学習】２時間 自分が報告する課題について情報を集め，パワーポイントを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	『現代アジア経済論』第９章（インフォーマル化するアジア）の発表	【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み，パワーポイントを作成する 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	『現代アジア経済論』第９章の補足	【事前学習】２時間 前週の内容について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】２時間 資料等によって理解を深める。
第 26 回	補足についての発表と討議（６）	【事前学習】２時間 自分が報告する課題について情報を集め，パワーポイントを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	『現代アジア経済論』第１１章（不平等化するアジア）の発表	【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み，パワーポイントを作成する 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	『現代アジア経済論』第１１章の補足	【事前学習】２時間 前週の内容について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】２時間 資料等によって理解を深める。
第 29 回	補足についての発表と討議（７）	【事前学習】２時間 自分が報告する課題について情報を集め，パワーポイントを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	後期のまとめとレポート課題の説明	【事前学習】２時間 後期の学習内容を振り返り，レポートの論点を整理する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

授業形式
東アジア経済・社会研究の基礎となる開発経済論などに関する基本的文献を講読し，その内容について各人が報告を準備し，発表を行います。また，東アジア諸国・地域に関連する時事問題などを取り上げ，基本的文献を講読しながら，議論や検討を行います。文献は原則として日本語のものを使用しますが，英語文献を講読することもあります。授業の一部は 3 年生と合同で行います。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	30%	20%	1

評価の特記事項
授業の課題（発表，グループ・ワーク等），レポート（ゼミ論文・年 2 回）を総合的に評価します。 ゼミ活動に対する姿勢，社会人としての基本動作（礼儀・マナー等）も評価に含めます。

テキスト
遠藤環他（2018）『現代アジア経済論：「アジアの世紀」を学ぶ』，有斐閣ブックス
参考文献
後藤健太（2019）『アジア経済とは何か：躍進のダイナミズムと日本の活路』，中公新書
オフィスアワー
原則として金曜 5 限。必要に応じメールで日時を調整します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
学生には経常的に「新聞」（紙媒体のもの）を読むことを求めます。 海外留学希望者（短期・長期を問わず）については，できる限り支援したいと考えています。 当ゼミナールでは無断欠席は厳禁です。無断欠席 3 回または同連続 2 回の場合，ゼミナールを辞めたものとみなします。 また，ゼミナールのあらゆる活動（授業や各行事，およびゼミ内でのコミュニケーション）において社会人としての基本動作が実践できない学生には，退ゼミを命じます（いずれの場合も，単位取得資格を喪失します）。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	32
担当教員	孫　徳峰	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水５	単位区分	選
講義室	3124	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この講義では，①企業経営を考える上で基礎となる概念，視点，枠組みなどを理解すること，②具体的な事例を取り上げ，本講義で学習した基本的なツールや分析視点を用いて企業に纏わる経営現象を実際に分析する能力を身につけることを目指します。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
この講義では，企業の経営を理解するための，経営戦略，アントレプレナーシップ，イノベーション，国際経営などの専門領域で企業経営を理解する様々な枠組みについて学習していきます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 2 回	「イノベーションのジレンマ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 3 回	「イノベーションのジレンマ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 4 回	「イノベーションのジレンマ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 5 回	「イノベーションのジレンマ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 6 回	「イノベーションのジレンマ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 7 回	「イノベーションの理由」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 8 回	「イノベーションの理由」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 9 回	「オープン・イノベーションのマ	指定した文献の内容を順番に報告する。

	ネジメント」について輪読	【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 10 回	「オープン・イノベーションのマネジメント」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 11 回	「オープン・イノベーションのマネジメント」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 12 回	「オープン・イノベーションのマネジメント」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 13 回	「オープン・イノベーションのマネジメント」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 14 回	産業分析の中間発表	産業分析について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 分析対象となる産業を取り上げ，PPT 資料を準備する。 【事後学習】2 時間 この発表はあくまでも中間発表なので，この段階で，皆さんと議論しコメントなどを受けて，修正を行う。
第 15 回	産業分析の中間発表	産業分析について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 分析対象となる産業を取り上げ，PPT 資料を準備する。 【事後学習】2 時間 この発表はあくまでも中間発表なので，この段階で，皆さんと議論しコメントなどを受けて，修正を行う。
第 16 回	産業分析の最終発表	産業分析について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 分析対象となる産業を取り上げ，PPT 資料を準備する。夏休みを利用して，高い完成度を目指す。 【事後学習】2 時間 皆さんと議論しコメントなどを受けて，最終バージョンに仕上げて提出する。
第 17 回	産業分析の最終発表	産業分析について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 分析対象となる産業を取り上げ，PPT 資料を準備する。夏休みを利用して，高い完成度を目指す。 【事後学習】2 時間

		皆さんと議論しコメントなどを受けて，最終バージョンに仕上げて提出する。
第 18 回	「アントレプレナーシップ入門」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 19 回	「アントレプレナーシップ入門」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 20 回	「アントレプレナーシップ入門」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 21 回	「リーン・スタートアップ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 22 回	「リーン・スタートアップ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 23 回	「リーン・スタートアップ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 24 回	「リーン・スタートアップ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 25 回	「スマート・プライシング」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 26 回	「スマート・プライシング」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章

		を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 27 回	「スマート・プライシング」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 28 回	「ワイドレンズ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 29 回	「ワイドレンズ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。
第 30 回	「ワイドレンズ」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告担当者は報告のための PPT 資料を用意する。他の学生は事前に各章を読んだ上で講義に出席し，ディスカッションに参加する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告した内容について理解を深める。

授業形式
授業は，同時双方向型で実施する。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%

評価の特記事項
特になし。

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ディスカッションにおける積極的な発言が求められる。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	33
担当教員	竹中　康治	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水４	単位区分	選
講義室	3133	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミでは、常微分を習得し、それを基本的な経済現象に応用し、経済政策を考える能力を身につけることを目指します。経済問題を考えるということは、その問題の原因と結果を数量的にとらえることに他なりません。数量的にとらえるためには最低限の数学知識が必要となります。こうした数量的把握ができて初めて経済政策を考えることができます。本ゼミでは３年次に「競争と独占」、それに「経済的規制」を初等数学を使ってきちんと表現できることを目指します。そうした基本的な数学的議論を本学内他ゼミとの研究発表会で発表する。さらに、それを卒論として発展的に展開する。 対応するＰ及びＣＰ：5,6,7,8
授業概要（教育目的）
経済学は数学なしには理解できないはずです。上で述べたように、本ゼミは経済の基本的問題に常微分を使って分析できることを目指します。2 年次で勉強した常微分の初歩段階にさらに追加的知識を加えて、経済学で扱ういくつかの基本的議論を数学的表現を使って、さらに正確に議論できるようにします。数学的に表現するテーマは、具体的に、「完全競争市場均衡の成立要件と数学的表現」、「平均費用曲線の構造と経済的規制」である。 対応するＰ及びＣＰ：5,6,7,8

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	微分 1	曲線の傾き（接戦の傾き）、微分の種類、常微分、常微分の定義、常微分と何か、微分の表し方。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 2 年次の微分を中心に授業資料の復習 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 2 回	微分 2	常微分とは何か、1 階微分、微分係数、微分係数の符号と関数の変化導関数、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 3 回	微分 3	べき乗変数の微分、多項式の微分、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 4 回	微分 4	べき乗変数の微分、多項式の微分、べき乗根の微分、1／x タイプの微分、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 5 回	微分 5	極大、極小、経済学での応用：限界費用。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 6 回	微分 6	微分を使って曲線を描く。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 7 回	微分 7	微分の経済学での応用、完全競争企業の利潤最大化条件、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 8 回	微分 8	合成関数の微分 1。 練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間

		家庭学習用の練習問題に取り組む
第 9 回	微分 9	合成関数の微分 2。 練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 10 回	合成関数の微分の復習	練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 11 回	微分 10	関数の積の微分 1、前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 12 回	微分 11	関数の積の微分 2、練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 13 回	関数の積の微分の復習	練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 14 回	合成関数の積の微分	合成関数の積の微分。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む。
第 15 回	関数の積の微分の平均用曲線の作図への応用	平均費用関数に関数の積の微分を応用。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 16 回	高階微分	2 回の微分：微分の微分の意味。総費用関数を考える。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 17 回	極大・極小の条件 1	必要条件と十分条件。2 階微分。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 18 回	極大・極小の条件 2	完全競争企業の利潤最大化条件。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。

		【事前学習】2 時間 学習前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 19 回	完全競争市場均衡の成立要件 1	完全競争市場均衡の成立要件を短期的な視点から考える。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 20 回	完全競争市場均衡の成立要件 2	完全競争市場均衡の長期的な視点から考える。参入・退出と長期均衡。均衡（価格、産出量、企業数）の導出。。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 21 回	規模の経済性の数学表現 1	独占企業の利潤最大化条件。。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 22 回	規模の経済性の数学表現 2	独占の成立要件：規模の経済性。市場需要をすべてカバーしても、規模の経済性が消滅しないようなケースを考える。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 23 回	規模の経済性と経済的規制 1	規模の経済性が非常に大きい場合の、最適価格。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 24 回	規模の経済性と経済的規制 2	最適価格の問題点と次善の価格の導出。練習問題を中心として行うと同時に、家庭学習用に練習問題を課す。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む
第 25 回	研究発表の準備 1	研究テーマ：「完全競争市場均衡の数学的表現」、「平均費用曲線の構造と経済的規制」、テーマごとに内容をまとめる。発表。 【事前学習】2 時間 発表グループ別にディスカッション。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果をまとめる。 【事前学習】2 時間 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 参加テーマの決定：レポートにまとめる。

第 26 回	研究発表の準備 2	テーマごとに内容をまとめる。発表。 【事前学習】2 時間 発表グループ別にディスカッション。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果をまとめる。
第 27 回	研究発表の準備 3	テーマごとに内容をまとめる。発表。 【事前学習】2 時間 発表グループ別にディスカッション。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果をまとめる。
第 28 回	研究発表の準備 4	テーマごとに内容をまとめる。発表。 【事前学習】2 時間 発表グループ別にディスカッション。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果をまとめる。
第 29 回	研究発表の準備 5	章構成ごとに内容をまとめる。発表。 【事前学習】2 時間 発表グループ別にディスカッション。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果をまとめる。
第 30 回	研究発表の反省	研究発表の反省と発表内容の記録を作る。 【事前学習】2 時間 研究発表の反省と発表内容の記録を作る。 【事後学習】2 時間 研究発表の反省と発表内容の記録を作り、提出。

授業形式
オンデマンド型と双方向型の併用：ゼミ実施日によって、zoom を使った双方向型で実施。その場合、前週までに連絡をする。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%

評価の特記事項
共同研究発表内容の作成への参加の積極性。

テキスト
授業後に指示
参考文献
高校の教科書（ただし、常微分について記述があるもの）、経済数学のテキスト（ただし、常微分について記述があるもので、安価で、薄い冊子を選ぶこと）
オフィスアワー
金曜日 10:40~11:40。事前に授業後またはメールでアポイントメントをとること。なお、メールは入室時に知らせてある。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
全国的に見ても、経済学部学生には入学前の段階において、数学の学習が全く不十分である。数学に若干の知識なくして、経済学の習得はあり得ないことを肝に銘じること。毎日、継続的に学習すること以外に習得の手段はない。簡単な図のみによる経済学の理科ではなく、簡単な数式を使っていくつかの経済言っ勝を説明できるようにしたい。
授業用 URL
https://nihon-u-ac-jp.zoom.us/j/6727923868
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	34
担当教員	橘　光伸	実務経験のある教員による授業科目	○
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3123	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
社会人として仕事をしていく上で,税金の問題にふれずにすますことはできません。本ゼミでは，テキストの輪読や個人研究を通じて，次のような能力の修得を目指します。 1．現行の税制の特徴及び論点について理解できる。 2．税と企業（個人・法人を問わず）の経済活動や社会との関わりについて問題意識をもって考察し，自分の意見を述べることができる。 対応 DP 及び CP：5,6,7,8
授業概要（教育目的）
本ゼミは，広い意味で税に関わる仕事（税務職員,税理士,公務員,企業の財務部門等）を目指す学生や税の観点から経済・社会を研究する意欲のある学生を対象として,主な税目の特徴や論点について議論を行いながら,税が企業（個人・法人を問わず）の経済活動や社会に対してどのように関わっているかを,事例も考察しながら研究していきます。専門研究（二）（３年）では，参考文献の輪読を継続しつつ，各自がテーマを選択して個人研究を併行して行い、税についてより深い理解と考察が可能になるようにします。 対応 DP 及び CP：5,6,7

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	ゼミの進め方等について説明する。 発表の分担（一巡目）を決める。
第 2 回	税で促す個人の自立①	森信先生のテキストの指定した部分について担当者が概要を説明し，意見交換を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を読み、担当者は概要について発表用レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 学んだ内容を復習し、出された意見を踏まえ自分の考えを深める。
第 3 回	税で促す個人の自立②	同上
第 4 回	税で女性パワーを引き出す①	同上
第 5 回	税で女性パワーを引き出す②	同上
第 6 回	資産・所得格差と税制①	同上
第 7 回	資産・所得格差と税制②	同上
第 8 回	個人研究テーマ案の発表	各自の個人研究のテーマ案について発表し，意見交換を行う。 【事前学習】2 時間 自分が取り組む個人研究のテーマ案を考えてメモにまとめる。 【事後学習】2 時間 授業での議論を基にテーマ案の内容について検討を加える。
第 9 回	少子高齢化社会の税制モデル①	第 2 回と同じ
第 10 回	少子高齢化社会の税制モデル②	同上
第 11 回	資本主義とともに変わりゆく税制	諸富先生のテキストの指定した部分について担当者が概要を説明し，意見交換を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を読み、担当者は概要について発表用レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 学んだ内容を復習し、出された意見を踏まえ自分の考えを深める。
第 12 回	グローバル化と国民国家の相克①	同上
第 13 回	グローバル化と国民国家の相克②	同上
第 14 回	個人研究テーマに係る論点整理①	各自の個人研究テーマについて，考えられる論点に即してより具体的な議論を行う。 【事前学習】2 時間 取り組む個人研究のテーマの論点を整理してメモにまとめる。 【事後学習】2 時間 授業での議論を基にテーマの内容について検討を加える。
第 15 回	個人研究テーマに係る論点整理②	第 14 回と同じ
第 16 回	多国籍企業の壁	第 11 回と同じ
第 17 回	デジタル課税の波	同上
第 18 回	新たな国際課税ルールの模索①	同上
第 19 回	新たな国際課税ルールの模	同上

	索②	
第 20 回	個人研究の中間報告①	個人研究の進捗状況（論点等）について中間報告を行い，意見交換を行う。 【事前学習】2 時間 個人研究の進捗状況について発表用のメモを準備する。 【事後学習】2 時間 授業での議論を基に個人研究の内容について検討を加える。
第 21 回	個人研究の中間報告②	第 20 回と同じ
第 22 回	ネットワーク型課税権力の誕生①	第 11 回と同じ
第 23 回	ネットワーク型課税権力の誕生②	同上
第 24 回	ポスト・コロナの時代のグローバル・タックス①	同上
第 25 回	ポスト・コロナの時代のグローバル・タックス②	同上
第 26 回	租税民主主義を問う	同上
第 27 回	個人研究の発表①	個人研究の成果について順に発表を行い，質疑・意見交換を行う。 【事前学習】2 時間以上 各自の個人研究の内容を取りまとめ，発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間以上 授業での議論を踏まえ個人研究のレポートを完成させる。る。
第 28 回	個人研究の発表②	同上
第 29 回	個人研究の発表③	同上
第 30 回	個人研究の発表④	同上

授業形式
・授業形態は「①同時双方向型」（原則として Zoom によるオンライン授業）とする。 ・質問等は授業内のほかメール等でも随時受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%

評価の特記事項
ゼミへの参画状況（討議への参加，クラス発表）及び課題レポート等により総合的に評価する。

テキスト
森信茂樹著「税で日本はよみがえる」,日本経済新聞出版社, 2015 年
参考文献
授業で必要に応じて紹介します。
オフィスアワー
事前にメール等でアポをとった上で対応します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミは出席して議論に参加することが大事ですので，他メンバーの意見を傾聴し，積極的に自分の考えを述べることを期待します。意見・知見の交換を通じて，共に成長していく場にしたいと考えています。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究（二）	クラス	
担当教員	塚本　隆夫	実務経験のある教員による授業科目	
学年	３年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目（専門ゼミ）
曜日・時限	火４	単位区分	選
講義室	3123	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
3 年次履修の「専門研究(二)」は、4 年次において「卒業論文」を受講し、卒業論文の作成を目標とする。2 年次での学習した、グルーチーの所説に基づき、「アメリカ制度派経済学」を引き続き研究する。すなわち、19 世紀末から 20 世紀前半のアメリカで展開された「アメリカ制度派経済学」がどのような背景から産み出され、どのような主張を展開したかを考察する。アメリカ資本主義経済体制は、19 世紀末から 20 世紀にかけて、「独占段階」に突入した。この発展段階に到達するや、アメリカ国民経済の状況は、大企業の動向によって左右されるに至った。景気循環・失業・所得分配・資源配分等をめぐりる問題は誰が見ても明らかであった。しかるに「小規模企業」を基礎に置き、「競争市場」を前提にする伝統的経済学では、今や大企業体制に基づくアメリカ資本主義経済を十分に分析することも、有効な解決策の提示もできなかった。ここに至り、ヴェブレン、コモンズ、ミッチェルらの手によって「経済学の再建運動」が提唱されるに至った。この運動は「アメリカ制度派経済学」として結集されていった。こうしたアメリカ制度派経済学を、A.G.Gruchyn の著書 Modern Economic Thought(1964)に基づいて、考察を進める。この授業を通じて受講生は、アメリカ制度派経済学の枠組みを理解し、その現代的価値を認識できるようになるばかりでなく、主体的に学習・研究を進めることができるようになる。 対応 DP 及び CP：５，６，７，８
授業概要（教育目的）
上述の「学習目標」でも説明したように、本授業は、4 年次において「卒業論文」を作成できるようにすることを目的とする。受講生が「専門研究(二)」の履修を通じ、アメリカ制度派経済学の基本的特質とその経済理論の基本的枠組を理解できるようになることを目指す。主要なテキストとして英文原書を用いる。英語文献を精読することで、日本語に翻訳された表現では分からなかった内容を、より厳密に理解できることを目指す。アメリカ制度派経済学の特質は、アダム・スミス以降に展開された「伝統的経済学」（古典派・新古典派経済学）と比較することで、より明確に浮かび上がる。このため、古典派経済学・新古典派経済学の時代背景となる 19 世紀の経済社会や当時の「科学思想」についても、考察を広げていく。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第　1回	オリエンテーション：新型コロナのため、本年度のゼミは、On-Line 授業で行う。どのように On-Line 授業進めていくのかを説明する。	授業の進め方：On-Line 授業に慣れるために、On-Demand 授業とする。ネット接続の状況を確認する。そのうえで、Google-Classroom の使い方をはじめアクセスの確認、Google-Meet の使い方を修得する。 【事前学習　2 時間】On-Line 授業へのアクセス手法を修得する。 【事後学習　2 時間】授業で提示された文献をダウンロードし、読了する。
第　2回	制度派経済の概要：新古典派との比較ヴェブレンらの制度派経済学と、正統派経済学（新古典派経済学）を比較し、双方の経済学の特質を考察する。	邦文先行研究論文を検討する。 【事前学習　2 時間】Google-Classroom で指定した文献資料をダウンロードし、精読する。不明な用語等は、ネット検索等で、調べる。 【事後学習　2 時間】授業での説明に基づき、再度指定文献を精読し、要点を整理する。次回の指定文献をダウンロードし、通読する。
第　3回	ヴェブレンの制度派経済学とその思想　制度派経済学の提唱者であるヴェブレンの経済学説とその思想を考察する。	ヴェブレン経済学の基本的特質：進化概念と人間性の概念 【事前学習　2 時間】Google-Classroom で指定した文献資料をダウンロードし、精読する。不明な用語等は、ネット検索等で、調べる。 【事後学習　2 時間】授業での説明に基づき、再度指定文献を精読し、要点を整理する。次回の指定文献をダウンロードし、通読する。
第　4回	ヴェブレン以降の制度派経済学の展開　ヴェブレンが提示した「進化論」に基づく「科学方法論」と「本能概念」がどのように継承・発展されたのかを考察する。	邦文先行研究論文を検討する。 【事前学習　2 時間】Google-Classroom で指定した文献資料をダウンロードし、精読する。不明な用語等は、ネット検索等で、調べる。 【事後学習　2 時間】授業での説明に基づき、再度指定文献を精読し、要点を整理する。次回の指定文献をダウンロードし、通読する。
第　5回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "The Scholl of Holistic Economists,"その 1 ：制度経済学者たちの「学派」①	制度派経済学者たちの「学派」その 1 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第　6回	Gruchy, *Modern Economic Thought,* "The Scholl of Holistic Economists,"その 2：制度経済学者たちの「学派」②	制度派経済学者たちの「学派」その 2 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第　7回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "Cultural vs. Formal	経済学の 2 つの「型」：その 1 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。

	Economics," その 1 ：経済の 2 つの「型」①	【事後学習 2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第 8回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "Cultural vs. Formal Economics,"その 2 ；経済の 2 つの「型」②	経済学者の 2 つの「型」：その 2 【事前学習 2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習 2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第 9回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "Holistic Economics as a Culutural Economics,"その 1 ：文化科学としての制度派経済学①	文化科学としての制度派経済学：その 1 【事前学習 2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習 2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第10回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "Holistic Economics as a Culutural Economics,"その 2：文化科学としての制度派経済学②	文化科学としての制度派経済学：その 2 【事前学習 2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習 2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第11回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "Holistic Economics as a Culutural Economics,"その 3：文化科学としての制度派経済学③	文化科学としての制度派経済学：その 3 【事前学習 2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習 2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第12回	Gruchy, *Modern Economic Thought,* "Holistic Economics as a Culutural Economics,"その 4 ：文化科学としての制度派経済学④	文化科学としての制度派経済学：その 4 【事前学習 2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習 2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第13回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "The Emergence of a 20th – CenturyPolitical Economy,”その 1 ：20 世	20 世紀の政治経済学の出現：その 1 【事前学習 2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習 2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。

	紀の政治経済学の出現①	
第１４回	Gruchy, Modern Economic Thought, "The Emergence of a 20th – CenturyPolitical Economy,"その２：20 世紀の政治経済学の出現②	20 世紀の政治経済学の出現：その２ 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第１５回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "Economic Theory and the Growth of Monopoly," その１：独占の展開と経済理論①	独占の展開と経済理論：その１ 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第１６回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "Economic Theory and the Growth of Monopoly," その２：独占の展開と経済理論②	独占の展開と経済理論：その２ 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第１７回	Gruchy, *Modern Economic Thought,* "Economic Theory and the Growth of Monopoly," その３：独占の展開と経済理論③	独占の展開と経済理論：その３ 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第１８回	Gruchy, *Modern Economic Thought,* "The Definition of Holistic Economics," その１：制度経済学の規定①	制度派経済学の規定：その１ 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第１９回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "The Definition of Holistic Economics," その２：制度経済学の規定②	制度派経済学の規定：その２ 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第２０回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "The Basic	制度派経済学の基本仮定：その１ 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。

	Assumptions of Holistic Economics,"その１：制度派経済学者の「基本仮定」①	【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第２１回	Gruchy, *Modern Economic Thought,* "The Basic Assumptions of Holistic Economics," その２：制度派経済学の「基本仮定」②	制度派経済学者の基本仮定：その２ 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第２２回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "The Theory of the American Economic Order,"その １：アメリカ資本主義体制の経済秩序①	アメリカ資本主義体制の経済秩序：その１ 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第２３回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "The Theory of the American Economic Order,"その ２：アメリカ資本主義体制の経済秩序②	アメリカ資本主義体制の秩序：その２　三層構造 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第２４回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "The Theory of the American Economic Order,"その ３：アメリカ資本主義体制の経済秩序③	アメリカ資本主義体制の秩序：その ３　独占と競争の中層 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第２５回	Gruchy, *Modern Economic Thought,* "The Price Theory of the Holistic Economists,"その１：制度経済学者たちの価格理論①	制度派経済学者たちの「価格理論」：その１ 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習する。
第２６回	Gruchy, *Modern Economic Thought*, "The Price Theory of the Holistic	制度派経済学者たちの「価格理論」：その２ 【事前学習　2 時間】Gruchy の英文原書を繰り返し音読する。訳出を行う。不明な用語をネット等で調べる。 【事後学習　2 時間】授業での議論を整理する。次回の予定範囲を予習す

	Economists,"その 2：制度経済学者たちの価格理論②	る。
第２７回	グルーチーの所説の整理・検討　その１	2 年間にわたるグルーチーの原書で展開された所説を整理する。議論の要点をまとめる。 【事前学習　2 時間】グルーチーの所説を整理する。 【事後学習　2 時間】授業の議論を基に、再度グルーチーの所説を検討する。
第２８回	グルーチーの所説の整理・検討　その２	2 年間にわたるグルーチーの原書で展開された所説を整理する。議論の要点をまとめる。 【事前学習　2 時間】グルーチーの所説を整理する。 【事後学習　2 時間】授業の議論を基に、再度グルーチーの所説を検討する。
第２９回	「卒論作成」の準備：その１　「卒論」作成の技法を説明する。	卒論の仮テーマと卒論作成の技法を学習する。 【事前学習　3 時間】卒論テーマを報告できるように準備する。卒論作成の技法についての参考文献を研究しておく。 【事後学習　3 時間】授業を踏まえ、卒論内容の見直しを行う。卒論作成の技法・文献取集のやり方を修得する。
第３０回	「卒論作成」の準備：その２　「卒論」の仮テーマを報告する。	卒論の仮テーマ　これまでのゼミでの学習成果に基づき、「卒業論文」のテーマを検討する。 【事前学習　3 時間】「卒論テーマ」を作成する。 【事後学習　3 時間】「ゼミ論」と「卒論企画書」の準備をすすめる。

授業形式
受講生の報告を基にして、全員で問題点を摘出し、検討・議論する。これをもって授業のフィードバックとする。質問等は、当該授業時ないし次回の授業時に対応する。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
０%	４０%	１０%	５０%	０%	１００%

評価の特記事項
受講生は、毎時間、報告をします。その報告に基づく議論への参加度を「講義態度」として、評価します。学年末には、「ゼミ論」と「卒論企画書」を提出します。これが「レポート」評価となります。「小テスト」とは、最初の 4 回までの「理解度確認テスト」のことです。

テキスト
Gruchy, Allan G., Modern Economic Thougtht: The American Cinribution, Augustus M. Kelley・Pubulishers, New York, 1967.
参考文献
ベルナール・シャバンス著、宇仁宏幸他訳『入門　制度経済学』ナカニシヤ出版、2007 年。 ヴェブレン著、村井章子訳『有閑階級の理論』ちくま学芸文庫、2016 年。 コモンズ著、中原孝幸訳制度経済学　上巻』ナカニシヤ出版、2015 年。 その他、必要な参考文献は、授業時に随時指示する。
オフィスアワー
質問等は、メールでお願いします。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
4 年次の「卒論」作成を目指して、ゼミの学習を進めてください。「卒論作成」についての参考文献を研究しましょう。「専門研究(一)・（二）」での学習・研究を基にして、「卒論」を構想しましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	35
担当教員	鶴田　大輔	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水４	単位区分	選
講義室	3123	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本科目では，企業金融論の基本的な考え方を理解したうえで，日本や海外の企業金融や関連する問題について自ら考える能力を身に着けることを目標とする。本科目を受講することで，学生が理論的な考え方に基づいて，国内外の企業の金融活動の動きや関連する問題の本質を理解できるようになる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では企業の資金調達方法と企業活動や企業価値の関係など，企業金融に関する理論を学んだ上で，日本の金融に関する問題を考えてる。新聞紙上では企業の投資・融資計画，企業の業績，株式の公開，敵対的買収，企業の倒産など，企業金融に関する記事が多く掲載されている。また，中小・ベンチャー企業の金融支援の問題，社債市場の整備，証券化の促進など，企業金融に関する政策的な問題も大きな話題になっている。これらの企業活動や政策的な課題を我々はどのように考えればよいのだろうか？教員や受講生同士の議論や研究を通じて，どのような問

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	前期イントロダクション、分担決め	授業の進め方について説明したうえで，輪読箇所の担当決めを行う。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う文献のイントロダクションを読む。 【事後学習】2 時間 自分の担当箇所を確認し，内容を理解する。
第 2 回	企業金融や関連する分野の論文の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 3 回	企業金融や関連する分野の論文の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 4 回	企業金融や関連する分野の論文の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 5 回	企業金融や関連する分野の論文の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 6 回	企業金融や関連する分野の論文の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 7 回	企業金融や関連する分野の論文の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 8 回	経済や金融に関する問題についてグループの報告	興味を持った経済や金融に関する問題についてについて報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 9 回	経済や金融に関する問題についてグループの報告	興味を持った経済や金融に関する問題についてについて報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。

		【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 10 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 11 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 12 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 13 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 14 回	経済や金融に関する問題についてグループの報告	前回の興味に基づき編成されたクループで経済や金融に関する問題について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 15 回	経済や金融に関する問題についてグループの報告	前回の興味に基づき編成されたクループで経済や金融に関する問題について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 16 回	後期イントロダクション、分担決め	授業の進め方について説明したうえで，輪読箇所の担当決めを行う。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う文献のイントロダクションを読む。 【事後学習】2 時間 自分の担当箇所を確認し，内容を理解する。
第 17 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 18 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み，予習を行う。

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 19 回	論文大会に提出する論文執筆の準備	グループで作成する論文執筆のための相談を行い，論文執筆を進める。 【事前学習】2 時間 論文執筆を行い，担当箇所の問題点を抽出する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，論文執筆を行う。
第 20 回	論文大会に提出する論文執筆の準備	グループで作成する論文執筆のための相談を行い，論文執筆を進める。 【事前学習】2 時間 論文執筆を行い，担当箇所の問題点を抽出する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，論文執筆を行う。
第 21 回	論文大会に提出する論文執筆の準備	グループで作成する論文執筆のための相談を行い，論文執筆を進める。 【事前学習】2 時間 論文執筆を行い，担当箇所の問題点を抽出する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，論文執筆を行う。
第 22 回	論文大会に提出する論文執筆の準備	グループで作成する論文執筆のための相談を行い，論文執筆を進める。 【事前学習】2 時間 論文執筆を行い，担当箇所の問題点を抽出する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ，論文執筆を行う。
第 23 回	経済や金融に関する問題についてグループの報告	クループで経済や金融に関する問題について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 24 回	経済や金融に関する問題についてグループの報告	クループで経済や金融に関する問題について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 25 回	他大学のゼミとの討論	他大学とクループで経済や金融に関する問題について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 26 回	他大学のゼミとの討論	他大学とクループで経済や金融に関する問題について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 27 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

第 28 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 29 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 30 回	四年生の卒論作成に向けた相談	前回までの報告を踏まえ，今後の課題や進め方について相談する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

授業形式
少人数の講義であるため，適宜質疑応答などを行い，必要な討論をしながら授業を進める。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					

テキスト
参加者と相談の上決定する。
参考文献
参加者と相談の上決定する。
オフィスアワー
火曜日 15：00-16：00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	36
担当教員	手塚　広一郎	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火４	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します． １．文献調査を通して，様々な課題を認識し，それらを整理する能力 ２．プレゼンテーションを通して，自分の考えを人に伝える能力 ３．質疑応答を通して，相手の考えを理解する能力 対応 DP および CP：５，６，７，８
授業概要（教育目的）
本講義では，ゼミナールにおける調査，プレゼンテーション，および質疑を通して，自らの考えを整理し，それらを伝え，互いに共有することができるようになることを目標とします．とくに，この専門研究（二）では，①産業や企業の調査を深化させること，②調査に際して様々な文献を読みこなすこと，③これらの分析をもとに自らの卒業論文の準備ができること，の３つができるようになることを目指します．

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	通年にわたる講義のガイダンスを行う. 【事前学習】2 時間 昨年度の学修内容を簡単に確認しておくこと. 【事後学習】2 時間 ガイダンスの内容をよく復習しておくこと.
第 2 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 3 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 4 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 5 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 6 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 7 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく.

		プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 8 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 9 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 10 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 11 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 12 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 13 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.

第 14 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 15 回	これまでの小括	これまでの内容を小括する. 【事前学習】2 時間 これまでのプレゼン内容を一通り見直し，疑問点などを再度見つけておく. 【事後学習】2 時間 ゼミナール参加者の質疑をもとにして，報告内容を再度見直し，内容の理解を深める.
第 16 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 17 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 18 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 19 回	グループワークおよび報告と討論	産業や企業をピックアップしたうえで，グループで調査し，その内容を報告し，討論する. 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく. プレゼンテーションの資料を作成する. 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションの内容を見直し，今後の課題を検討する. 他グループのプレゼンテーションや資料等により当該産業の理解を深める.
第 20 回	卒業論文中間報告会への参画	4 年生の卒業論文中間報告会に参画し，質疑を行う. 【事前学習】2 時間 これまでの卒業論文のテーマを確認し，疑問点を抽出しておく. 【事後学習】2 時間 4 年生の卒業論文の報告から，自らの卒業論文のテーマを検討する. プレゼンテーションや資料等により報告内容の理解を深める.

第 21 回	卒業論文中間報告会への参画	4 年生の卒業論文中間報告会に参画し，質疑を行う. 【事前学習】2 時間 これまでの卒業論文のテーマを確認し，疑問点を抽出しておく. 【事後学習】2 時間 4 年生の卒業論文の報告から，自らの卒業論文のテーマを検討する. プレゼンテーションや資料等により報告内容の理解を深める.
第 22 回	卒業論文報告会への参画	4 年生の卒業論文中間報告会に参画し，質疑を行う. 【事前学習】2 時間 これまでの卒業論文のテーマを確認し，疑問点を抽出しておく. 【事後学習】2 時間 4 年生の卒業論文の報告から，自らの卒業論文のテーマを検討する. プレゼンテーションや資料等により報告内容の理解を深める.
第 23 回	卒業論文に向けたテーマの報告	各個人で卒業論文に向けたテーマ及びその概要を報告する. 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマ（仮テーマ）を設定したうえで，研究概要の報告のための資料を作成する. 【事後学習】2 時間 質疑の中で得られたコメントをもとに研究テーマや研究の方法を見直す. 卒業論文の準備を進める.
第 24 回	卒業論文に向けたテーマの報告	各個人で卒業論文に向けたテーマ及びその概要を報告する. 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマ（仮テーマ）を設定したうえで，研究概要の報告のための資料を作成する. 【事後学習】2 時間 質疑の中で得られたコメントをもとに研究テーマや研究の方法を見直す. 卒業論文の準備を進める.
第 25 回	卒業論文に向けたテーマの報告	各個人で卒業論文に向けたテーマ及びその概要を報告する. 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマ（仮テーマ）を設定したうえで，研究概要の報告のための資料を作成する. 【事後学習】2 時間 質疑の中で得られたコメントをもとに研究テーマや研究の方法を見直す. 卒業論文の準備を進める.
第 26 回	卒業論文に向けたテーマの報告	各個人で卒業論文に向けたテーマ及びその概要を報告する. 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマ（仮テーマ）を設定したうえで，研究概要の報告のための資料を作成する. 【事後学習】2 時間 質疑の中で得られたコメントをもとに研究テーマや研究の方法を見直す. 卒業論文の準備を進める.
第 27 回	卒業論文に向けたテーマの報告	各個人で卒業論文に向けたテーマ及びその概要を報告する. 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマ（仮テーマ）を設定したうえで，研究概要の報告のための資料を作成する. 【事後学習】2 時間 質疑の中で得られたコメントをもとに研究テーマや研究の方法を見直す. 卒業論文の準備を進める.
第 28 回	卒業論文に向けたテーマの報告	各個人で卒業論文に向けたテーマ及びその概要を報告する. 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマ（仮テーマ）を設定したうえで，研究概要の報告のための資料を作成する. 【事後学習】2 時間

		質疑の中で得られたコメントをもとに研究テーマや研究の方法を見直す. 卒業論文の準備を進める.
第 29 回	卒業論文に向けたテーマの報告	各個人で卒業論文に向けたテーマ及びその概要を報告する. 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマ（仮テーマ）を設定したうえで，研究概要の報告のための資料を作成する. 【事後学習】2 時間 質疑の中で得られたコメントをもとに研究テーマや研究の方法を見直す. 卒業論文の準備を進める.
第 30 回	授業の総括と振り返り	これまでのを内容振り返る. 【事前学習】2 時間 これまでの自らの報告などの内容を見直す. 【事後学習】2 時間 これらの振り返りを通して，卒業論文の準備を進める.

授業形式
授業形式は③部分対面型で実施します. 授業内容のフィードバックはゼミ生間およびゼミ生と教員間の質疑によって実施します. その他にも，適宜メール等で質問などを受け付けます.

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	1
評価の特記事項					
特になし.					

テキスト
特になし.
参考文献
適宜指定します.
オフィスアワー
月曜日１３：００～１４：３０　必ず事前にメールなどでアポを取るようにしてください.
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻は厳禁です．遅刻や欠席は必ず事前に連絡するようにしてください. ゼミでは報告者以外は，必ず少なくとも 1 度は質問してください.
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	37
担当教員	寺沢　幹雄	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金２	単位区分	選
講義室	7091	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 1．人工知能手法の基礎的な概念とアルゴリズムを理解できる。 2．人工知能の研究について説明できる。 3．プログラミングのスキルを修得できる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6, 7, 8
授業概要（教育目的）
コンピューターを利用して，限られた資金，時間，人材の制約における最適解を得るための手法を追求します。応用分野は，市場分析，経営戦略立案，景気予測をはじめとして多岐にわたります。機械学習や深層学習などの人工知能分野での代表的な手法を学び，人工知能関係の最新の研究成果に触れるとともに，プログラミングスキルや基本的アルゴリズムを身につけてもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	Python プログラミング学習	教科書第 1 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 1 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 1 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 2 回	Python プログラミング学習	教科書第 1 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 1 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 1 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 3 回	Python プログラミング学習	教科書第 2 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 2 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 2 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 4 回	Python プログラミング学習	教科書第 2 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 2 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 2 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 5 回	Python プログラミング学習	教科書第 3 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 3 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 3 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 6 回	Python プログラミング学習	教科書第 3 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 3 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 3 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 7 回	Python プログラミング学習	教科書第 4 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 4 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 4 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 8 回	Python プログラミング学習	教科書第 4 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 4 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 4 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 9 回	Python プログラミング学習	Python プログラミング学習 教科書第 5 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 5 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 5 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 10 回	Python プログラミング学習	教科書第 5 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 5 章後半をあらかじめ読んでおくこと。

		【事後学習】2 時間 教科書第 5 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 11 回	Python プログラミング学習	教科書第 6 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 6 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 6 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 12 回	Python プログラミング学習	教科書第 6 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 6 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 6 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 13 回	Python プログラミング学習	教科書第 7 章前半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 7 章前半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 7 章前半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 14 回	Python プログラミング学習	教科書第 7 章後半について学習する。 【事前学習】2 時間 教科書第 7 章後半をあらかじめ読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 教科書第 7 章後半の例題，応用を実際にプログラミングすること。
第 15 回	Python プログラミングの応用	Python プログラミングを利用した応用について学習する。 【事前学習】2 時間 前期の内容をよく復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 応用プログラミングを実践すること。
第 16 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 17 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 18 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 19 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 20 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。

第 21 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 22 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 23 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 24 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 25 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 26 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 27 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 28 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 29 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。
第 30 回	人工知能関連論文の文献調査	卒論に関係する人工知能関連論文を読み，内容をまとめる。 【事前学習】2 時間 卒論に関係する人工知能関連論文を調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 文献の要点と課題をまとめること。

授業形式

授業形態は「①同時双方向型」および「③部対面型」とする。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	1
評価の特記事項					
特になし					

テキスト
クジラ飛行机，『情報基礎と情報処理(第 4 版)』，マイナビ，2018 年，2,310 円(税抜). 梅津，中野，『Python と実データで遊んで学ぶデータ分析講座』，C&R 研究所，2019 年，2,930 円(税抜).
参考文献
授業の中で適宜紹介する。
オフィスアワー
原則として EcoLink のメッセージで問い合わせること。 必要に応じてテレビ会議等でも対応する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
グループワークや実習が中心なで，周囲に迷惑をかけないために，無断での欠席や遅刻は厳禁とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	39
担当教員	豊福　建太	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3135	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
金融や日本経済について現在問題になっている事柄について経済学的に考察することができるようになる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
さまざまな金融や日本経済における問題に関する文献を輪読し s、ゼミ生同士で意見を交換し合いながらどのような解決策があるのかを議論しあい、日本経済に対する経済学的な視野を獲得することを目的とします。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミでの発表の概要を説明します。
第 2 回	パワーポイントの使い方	パワーポイントの使い方を演習します。
第 3 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 4 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 5 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 6 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 7 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 8 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 9 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 10 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 11 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 12 回	日本経済に関する論文の輪読	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。

	指定された文献の内容を順番に報告する	事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 13 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 14 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 15 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 16 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 17 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 18 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 19 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 20 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 21 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 22 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポー

		ト作成時に注意するべきことをまとめる
第 23 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 24 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 25 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 26 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 27 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 28 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 29 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる
第 30 回	日本経済に関する論文の輪読 指定された文献の内容を順番に報告する	事前学習　2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 事後学習　2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる

授業形式

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%

評価の特記事項

テキスト
適宜指定する。
参考文献
オフィスアワー
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	40
担当教員	中川　雅之	実務経験のある教員による授業科目	○
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金４	単位区分	選
講義室	3083	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．経済学的な考え方を理解し、経済学とはどのような学問なのかを説明することができる。 ２．公共部門の役割を理解し、経済学の立場から適切な評価、企画立案をすることができる。 ３．地域が抱える具体的な問題に関して、他人と協力して解決策を探し、ディスカッション、プレゼンテーションを通して他人を説得することができる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では，経済学の考え方を基に、中央政府や地方政府の機能を専門書の輪読を通じて理解します。さらに、まちづくり、地域活性化の様々な取り組みについて事例研究を進めます。そのような基礎の上に、全国の公共政策系のゼミが参加する学生政策コンペである「公共政策フォーラム」に参加します。その過程で、毎年選定されるモデル都市の地域活性化の政策提案を、学生同士のディスカッション、プレゼンテーションを通じて作り上げることで、都市、地域が抱える問題点を発見し、それに対して問題解決の提案を行う力を身に着けてもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 前期の輪読の役割分担、スケジュールについて決定する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておく
第 2 回	「農業政策」（第 1 章）の輪読 1	農業の規制緩和を通じた地域活性化について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の該当部分を，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必 ず提出すること。
第 3 回	「農業政策」（第 1 章）の輪読 2	農業の規制緩和を通じた地域活性化について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の該当部分を，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必 ず提出すること。
第 4 回	「観光政策」（第 3 章）の輪読 1	観光を通じた地域活性化について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の該当部分を，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必 ず提出すること。
第 5 回	「観光政策」（第 3 章）の輪読 2	観光を通じた地域活性化について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の該当部分を，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必 ず提出すること。
第 6 回	「高齢化への対応策」（第 4 章）の輪読 1	地域における高齢化問題への対応について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の該当部分を，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必 ず提出すること。
第 7 回	「高齢化への対応策」（第 4 章）の輪読 2	地域における高齢化問題への対応について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の該当部分を，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必

		ず提出すること。
第 8 回	「少子化対策」（第 5 章）の輪読 1	地域における少子化問題への対応について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の該当部分を，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必 ず提出すること。
第 9 回	「少子化対策」（第 5 章）の輪読 2	地域における少子化問題への対応について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の該当部分を，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必 ず提出すること。
第 10 回	「地方財政制度」（第 6 章）の輪読 1	地方財政制度の問題について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の該当部分を，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必 ず提出すること。
第 11 回	「地方財政制度」（第 6 章）の輪読 2	地方財政制度の問題について考える。 【事前学習】2 時間 教科書の該当部分を，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業時に提示した課題に取り組み，期限までに必 ず提出すること。
第 12 回	公共政策フォーラムのモデル都市研究 1	全国のゼミの政策コンペである公共政策フォーラムの、毎年選ばれる政策提言対象都市の研究を進める。 【事前学習】2 時間 モデル都市の HP などで情報を集めておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，政策提案のアイディアを練ること。
第 13 回	公共政策フォーラムのモデル都市研究 1	全国のゼミの政策コンペである公共政策フォーラムの、毎年選ばれる政策提言対象都市の研究を進める。 【事前学習】2 時間 モデル都市の HP などで情報を集めておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，政策提案のアイディアを練ること。
第 14 回	政策に関するフリーディスカッション 1	全国のゼミの政策コンペである公共政策フォーラムの、毎年選ばれる政策提言についてフリーディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 前の授業で明らかされたモデル都市の問題点を整理すること。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，政策提案のアイディアを練ること。
第 15 回	政策に関するフリーディスカッション 2	全国のゼミの政策コンペである公共政策フォーラムの、毎年選ばれる政策提言についてフリーディスカッションを行う。その上で、夏休みのインタビュー、データ分析などの役割分担、スケジュールをつめること。 【事前学習】2 時間 前の授業で明らかされたモデル都市の問題点を整理すること。

		【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，政策提案のアイディアを練ること。
第 16 回	夏休み期間中に作成した各班の公共政策フォーラム用論文のまとめと議論	夏休み中に各班で作業した論文をとりまとめて、その内容についてディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 事前に配布した論文をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションで指摘された問題点について改善策を検討する。
第 17 回	公共政策フォーラム用論文の議論（続き）とプレゼン用資料作成、プレゼンの担当割り当て	公共政策フォーラム提出用の内容についてディスカッションを行う。また、プレゼンに向けた諸準備を行う。 【事前学習】2 時間 事前に配布した論文をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションで指摘された問題点について改善策を検討する。プレゼンの役割分担に従って諸準備を開始する。
第 18 回	公共政策フォーラム用論文の議論の仕上げ	公共政策フォーラム提出用の内容についてディスカッションを行う。また、プレゼンに向けた諸準備を行う。 【事前学習】2 時間 事前に配布した論文をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションで指摘された問題点について改善策を検討する。プレゼンの役割分担に従って諸準備を開始する。
第 19 回	公共政策フォーラム用プレゼン資料の進捗確認と議論	公共政策フォーラムプレゼン用資料の検討を行う。 【事前学習】2 時間 事前に配布したプレゼン用資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションで指摘された問題点について改善策を検討する。
第 20 回	公共政策フォーラム用プレゼンの仕上げ	公共政策フォーラムプレゼン用資料の検討を行う。 【事前学習】2 時間 事前に配布したプレゼン用資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションで指摘された問題点について改善策を検討する。
第 21 回	公共政策フォーラムプレゼン動画のリハーサルと録画	公共政策フォーラムプレゼン用資料の検討を行う。 【事前学習】2 時間 事前に配布したプレゼン用資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションで指摘された問題点について改善策を検討する。
第 22 回	プレ卒論レポート（卒論の準備のためのレポート）の作成手順等の説明と発表スケジュールの割り当て	プレ卒論レポートの役割、内容について説明する。 スケジュールについて決定する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておく
第 23 回	プレ卒論レポートのテーマ選定の個別指導	研究課題の設定が出来るようになる。 【事前学習】2 時間 研究課題候補に関する資料を読む。 【事後学習】2 時間 個別指導を基に研究課題を検討する
第 24 回	プレ卒論レポートのテーマに関する発表	レポートのテーマについて報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。

		【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 25 回	プレ卒論レポートの進捗状況確認と個別指導	レポートの進捗状況について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 プレ卒論レポートについて要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 26 回	プレ卒論レポートの中間発表と個別指導 1	レポートの中間発表を行い，討論する。 【事前学習】2 時間 プレ卒論レポートについて要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 27 回	プレ卒論レポートの中間発表と個別指導 2	レポートの中間発表を行い，討論する。 【事前学習】2 時間 プレ卒論レポートについて要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 28 回	プレ卒論レポートの最終発表 1	レポートの最終発表を行い，討論する。 【事前学習】2 時間 プレ卒論レポートについて要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 29 回	プレ卒論レポートの最終発表 2	レポートの最終発表を行い，討論する。 【事前学習】2 時間 プレ卒論レポートについて要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 30 回	プレ卒論レポートの最終発表 3	レポートの最終発表を行い，討論する。 【事前学習】2 時間 プレ卒論レポートについて要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

授業形式
・授業形態は「②オンデマンド型」と対面型を併用する、ハイブリッド型とする。 ・質問等のフィードバックは，講義内で行う。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付ける。 ・学生のプレゼンテーションと学生間のディスカッションを基本とする。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	1
評価の特記事項					

テキスト
「地方創生のための構造改革」（八田達夫・NIRA 総合研究開発機構）（時事通信社）2000 円
参考文献
授業内に指示する。
オフィスアワー
火曜日１５：００～１６：００。事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	41
担当教員	中村　靖彦	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水４	単位区分	選
講義室	3132	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．日常的に使用する経済用語の意味を理解し，説明できる。 ２．私たちの身近にあるさまざまな問題を経済学的な視点から捉えることで，新聞やニュースなどの社会・経済問題を理解できる。 ３．経済学的な考え方を理解し，経済学とはどのような学問なのかを説明できる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では，市場，景気，経済成長，失業，貨幣，金融，為替レートなど，日常的に使用する経済用語について学びます。また，就職，結婚，子育て，教育，医療・福祉，交通，観光など，私たちの身近な問題を経済学的な視点から分析します。これによって，経済学とはどのような学問なのかを理解してもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 2 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 3 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 4 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 5 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 6 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 7 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 8 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 9 回	ミクロ経済学関連の本につ	指定した文献の内容を順番に報告する。

	いて輪読/報告	【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 10 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 11 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 12 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 13 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 14 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 15 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 16 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 17 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポ

		ート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 18 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 19 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 20 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 21 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 22 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 23 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 24 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 25 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 26 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 27 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 28 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 29 回	ミクロ経済学関連の本について輪読/報告	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 30 回	確認と解説	授業を通して学んだことの確認（60 分）および解説（30 分）を行う。

授業形式
・授業形態は「②オンデマンド型」とする。 ・質問等のフィードバックは，講義内で行う。 ・質問等は Gmail からも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	90%	0%	10%	0%	1
評価の特記事項					
授業内で提示した課題はすべて提出すること。					

テキスト
授業内で指定する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
メールでアポをとること。なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻，私語など他の学生の迷惑がかかる行為は厳禁とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	42
担当教員	西山　朗	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水４	単位区分	選
講義室	7062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この授業では、ゼミのテーマ「グローバル貧困削減の経済学」に関する基礎知識と基礎的考え方を身につけることを目標とします。 また、以下の能力を高めることを目指します。 １．論理的思考能力 ２．論理的分析能力 ３．論理的説明能力 ４．論理的文章作成能力 ５．エビデンス（証拠・根拠）に基づいて議論する能力（ディスカッション力） ６．プレゼンテーション力 ７．コミュニケーション能力 対応 DP 及び CP：5,6,7,8
授業概要（教育目的）
「どうすれば、世界の貧困を削減することができるのか？」 この授業（3 年生西山ゼミ）では、基礎を大切にしながら、ゼミのテーマ「グローバル貧困削減の経済学」に関する基礎知識と基礎的考え方を習得します。 また、世界の貧困削減に関するさまざまな事柄（学校に通えない子供たち、女性に対する暴力、ジェンダー不平等、所得格差、フェアトレードなど）について議論してゆきます。 国連 SDGs（持続可能な開発目標）についても、掘り下げて考えてゆきます。国連 SDGs の合計 17 の開発目標のうち、1 番目の最も重要な開発目標が「貧

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	概要説明と教科書説明①	以下を行う オンライン授業　履修環境の確認① Zoom の基本的使い方① 概要説明（ルール、今学期の方針など） 教科書についての補足説明① 輪読発表の担当者　決定 Zoom プレゼン課題　担当者　決定 【事前学習】2 時間 教科書前半を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 2 回	概要説明と教科書説明②	以下を行う オンライン授業　履修環境の確認② Zoom の基本的使い方② 教科書についての補足説明② 自己紹介 【事前学習】2 時間 教科書前半を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 3 回	卒業論文の考え方	『経済論文の作法』第 1 章～第 5 章（第 2 章は除く）を学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 4 回	Zoom 上での PowerPoint を用いたプレゼンテーションの実践①	「フェアトレードをどのように評価すべきか」についてディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションとディスカッションの準備を行う 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 5 回	Zoom 上での PowerPoint を用いたプレゼンテーションの実践②	「ジェンダー不平等（女性への暴力、女性の社会的地位に関する問題など） をどのように理解すべきか」についてディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションとディスカッションの準備を行う 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 6 回	第 1 章　輪読発表	第 1 章「開発途上国の経済発展」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 7 回	第 6 章　輪読発表	第 6 章「国際貿易・海外直接投資」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。

第 8 回	第９章　輪読発表	第９章「社会・経済制度」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 9 回	第１０章　輪読発表	第１０章「経済発展の政治経済学」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 10 回	第１１章　輪読発表	第１１章「農村開発」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 11 回	第１２章　輪読発表 経済成長論の基礎（コピー）　輪読発表	第１２章「農村金融」および「経済成長論の基礎」について輪読とディスカッションを通じて学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 12 回	「個人研究テーマの絞り方」（教員による説明）	「個人研究テーマの絞り方」について学ぶ。 『経済論文の作法』第１章と第３章について学ぶ。 【事前学習】2 時間 上記に教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 13 回	（4 年生の）卒業論文進捗状況報告から学ぶ	（4 年生の）卒業論文 進捗状況報告から学ぶ 【事前学習】2 時間 卒業論文についてイメージする 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 14 回	個人研究テーマ発表	個人研究テーマ発表を行う 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、自身の研究テーマを再検討する
第 15 回	「ゼミの学習内容」と「夏休みの過ごし方」	「ゼミの学習内容」と「夏休みの過ごし方」についてディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 発表とディスカッションの準備を行う 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 16 回	後期の概要説明と教科書説明	後期の教科書についての補足説明を通じて、教科書内容のポイントを学ぶ 【事前学習】2 時間 教科書前半を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 17 回	教科書についての補足説明	教科書についての補足説明を通じて、教科書内容のポイントを学ぶ 【事前学習】2 時間 教科書前半を読んでおくこと 【事後学習】2 時間

		授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 18 回	卒業論文の書き方	卒業論文の書き方について学ぶ 【事前学習】2 時間 卒業論文についてイメージする 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 19 回	個人研究 進捗状況 報告 1 － 1	個人研究の進捗状況を発表する 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、自身の研究を修正する
第 20 回	個人研究 進捗状況 報告 1 － 2	個人研究の進捗状況を発表する 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、自身の研究を修正する
第 21 回	（4 年生の）卒業論文 進捗状況報告から学ぶ	（4 年生の）卒業論文 進捗状況報告から学ぶ 【事前学習】2 時間 卒業論文についてイメージする 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、考えをまとめる
第 22 回	山本の教科書第 1 章 輪読発表	山本第 1 章に基づき、分析手法と解釈の仕方について学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 23 回	山本の教科書第 2 章 輪読発表	山本第 2 章に基づき、分析手法と解釈の仕方について学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 24 回	山本の教科書第 3 章 輪読発表	山本第 3 章に基づき、分析手法と解釈の仕方について学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 25 回	石村の教科書第 1 2 章 輪読発表	石村第 12 章に基づき、分析手法と解釈の仕方について学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 26 回	石村の教科書第 1 3 章 輪読発表	石村第 13 章に基づき、分析手法と解釈の仕方について学ぶ 【事前学習】2 時間 上記の教科書の章を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 27 回	卒業論文の書き方の説明	卒業論文の書き方と学期末レポートの書き方を学ぶ 【事前学習】2 時間 卒業論文についてイメージしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。
第 28 回	個人研究 進捗状況 報告	個人研究の進捗状況を発表する

	２－１	【事前学習】2 時間 発表の準備を行う 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、自身の研究を修正する
第 29 回	個人研究 進捗状況 報告 ２－２	個人研究の進捗状況を発表する 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、自身の研究を修正する
第 30 回	今年度のゼミでの学習内容を振り返る	今年度のゼミでの学習内容を振り返り、考えをまとめる 【事前学習】2 時間 発表とディスカッションの準備を行う 【事後学習】2 時間 授業内容に基づき、教科書を復習しておくこと。

授業形式
Zoom を用いた同時双方向型のオンライン授業を行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
山本勲『実証分析のための計量経済学：正しい手法と結果の読み方』、中央経済社、2015 年。 石村貞夫・石村光資郎『SPSS による統計処理の手順』（第 7 版）、東京図書、2013 年。 小浜裕久・木村福成『経済論文の作法：勉強の仕方・レポートの書き方』（第 3 版）、日本評論社、2011 年。
参考文献
オフィスアワー
履修学生と協議して決定する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	43
担当教員	西脇　暢子	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月４	単位区分	選
講義室	7063	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．経営組織の基礎を理解し，説明できる。 ２．新聞やニュースなどの経営にかかわる問題を理解し、自分なりにどのような解決策が可能かを考える力をつける。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6, 7, 8
授業概要（教育目的）
企業と経営にかかわる問題は絶対的な正解がないのが特徴である。経営の現場でも、トップと従業員は、何が正解かわからない様々な課題に毎日直面し、それに対してベストと思われる解を試行錯誤しながら出している。それをふまえて、経営組織にかかわる諸問題や緒現象を理解しながら、テキスト輪読、討論、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、考える力の習得をめざす。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	テキスト 1 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 2 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 3 回	テキスト 1 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 4 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 5 回	テキスト 2 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 6 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 7 回	テキスト 2 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 8 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 9 回	テキスト 3 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読

		指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 10 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 11 回	テキスト 3 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 12 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 13 回	テキスト 4 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 14 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 15 回	前期の総括	前期の内容のまとめ、疑問点の洗い出しを行い、学習内容について振り返る。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 16 回	テキスト 5 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 17 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間

		議論した内容と問題点を整理する。
第 18 回	テキスト 5 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 19 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 20 回	テキスト 6 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 21 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 22 回	テキスト 6 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 23 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 24 回	テキスト 7 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 25 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 26 回	テキスト 7 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 27 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 28 回	テキスト 8 章の輪読	テキストの該当箇所を輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 29 回	テキストの内容をふまえた討論とグループワーク	サブゼミの課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。
第 30 回	後期の総括	後期の内容のまとめ、疑問点の洗い出しを行い、学習内容について振り返る。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 議論した内容と問題点を整理する。

授業形式
オンデマンド形式とする。テキストの輪読と討論の組み合わせを基本に、毎回学生からの疑問に答える形で進行する。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	1

評価の特記事項
主体性とチャレンジを評価する。与えられた課題をこなすだけでなく、自分で課題を発見、提案し、ゼミに対して貢献した人には高い評価を出します。

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
必要に応じて指示する。
オフィスアワー
事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールガイドの注意事項を厳守すること。上述の特記事項をよくよみ、ゼミに取り組んでください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	44
担当教員	根本　志保子	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3083	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します． １．経済学的な考え方を理解し，経済学および環境経済学とはどのような学問なのかを説明できる． ２．環境経済論の最新テーマについて、自ら調査し、論理的にそれらへの解決方法を導き出すことができる． ３．２で得られた知見を、正しい日本語で説明・発表したり、質疑応答に対して自由に答えたりすることができる． 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
環境問題を経済学的に検討するため，環境経済学のテキストを学びます． さらに個別の環境問題のトピックスについてグループ研究を進め，他校とのゼミ交流会で発表，他大学とも交流します． 問題の立て方，論理の進め方，データや文献資料の使い方，アンケートやインタビューの方法，パワーポイント発表などについても指導します．

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクションと論文の書き方	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意について説明する 論文の書き方について講義する 【事前学習】2 時間　シラバスと事前配布の資料を読んでおくこと 【事後学習】2 時間　論文の書き方の資料を復習する
第 2 回	共同研究のテーマについての話し合い（１）	共同研究のテーマについて話し合う 【事前学習】2 時間　共同研究のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間　話し合いに基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 3 回	共同研究のテーマについての話し合い（２）	共同研究のテーマについてグループに分かれて話し合う 【事前学習】2 時間　共同研究のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間　各グループにて調査を開始すること
第 4 回	環境経済論テキスト（１）	環境経済論のテキストを復習する 【事前学習】2 時間　指定されたテキストの問題の回答を用意すること 【事後学習】2 時間　授業内容をよく復習し，次回用の回答を用意すること
第 5 回	環境経済論テキスト（２）	環境経済論のテキストを復習する 【事前学習】2 時間　指定されたテキストの問題の回答を用意すること 【事後学習】2 時間　授業内容をよく復習し，次回用の回答を用意すること
第 6 回	共同研究テーマ発表と討論（１）	共同研究のテーマ発表をし、討論する 【事前学習】2 時間　共同研究のテーマを各班で説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間　討論に基づいて調査をブラッシュアップすること
第 7 回	引用の仕方・図表の書き方（１）	レポート・論文を書くための正しい引用の仕方と図表の書き方を学ぶ 【事前学習】2 時間　引用の仕方・図表の書き方の資料を読み、準備すること 【事後学習】2 時間　授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 8 回	引用の仕方・図表の書き方（２）	レポート・論文を書くための正しい引用の仕方と図表の書き方を学ぶ 【事前学習】2 時間　引用の仕方・図表の書き方の資料を読み、準備すること 【事後学習】2 時間　授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 9 回	共同研究テーマ発表と討論（２）	共同研究のテーマ発表をし、討論する 【事前学習】2 時間　共同研究のテーマを各班で説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間　討論に基づいて調査をブラッシュアップすること
第 10 回	環境経済論テキスト（３）	環境経済論のテキストを復習する 【事前学習】2 時間　指定されたテキストの問題の回答を用意すること 【事後学習】2 時間　授業内容をよく復習し，次回用の回答を用意すること
第 11 回	環境経済論テキスト（４）	環境経済論のテキストを復習する 【事前学習】2 時間　指定されたテキストの問題の回答を用意すること 【事後学習】2 時間　授業内容をよく復習すること
第 12 回	共同研究テーマ発表と討論（３）	共同研究のテーマ発表をし、討論する 【事前学習】2 時間　共同研究のテーマを各班で説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間　討論に基づいて調査をブラッシュアップすること
第 13 回	フィールドワーク、アンケート、インタビューの方法（１）	文献購読とレジメに基づき、論点を話し合う練習をする 【事前学習】2 時間　環境経済論の専門書に基づきレジメを作成すること 【事後学習】2 時間　授業内容をよく復習し，次週用のレジメを作成すること
第 14 回	フィールドワーク、アンケート、インタビューの方法（２）	夏合宿にて現場から環境問題を考えるため、調査の候補地や方法について話し合う 【事前学習】2 時間　調査したい事項や場所について調べてくること 【事後学習】2 時間　調査した内容のまとめかたについて復習すること
第 15 回	前期のまとめ	前期のまとめ 【事前学習】2 時間　前期学んだ内容についてまとめてくること

		【事後学習】2 時間　夏休みと後期に向けての準備をすること
第 16 回	共同研究テーマ発表と討論（４）	共同研究のテーマ発表をし、討論する 【事前学習】2 時間　共同研究のテーマを各班で説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間　討論に基づいて調査をブラッシュアップすること
第 17 回	共同研究テーマ発表と討論（５）	共同研究のテーマ発表をし、討論する 【事前学習】2 時間　共同研究のテーマを各班で説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間　討論に基づいて調査をブラッシュアップすること
第 18 回	共同研究テーマ発表と討論（６）	共同研究のテーマ発表をし、討論する 【事前学習】2 時間　共同研究のテーマを各班で説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間　討論に基づいて調査をブラッシュアップすること
第 19 回	論文の書き方の復習と文章・様式の修正	論文への書き出しの確認と文章・様式の修正を行なう 【事前学習】2 時間　中間発表用の論文を完成させてくること 【事後学習】2 時間　授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 20 回	パワーポイントの作成とプレゼンテーションの練習（１）	パワーポイント作成のポイントとプレゼンテーションのアドバイスをする 【事前学習】2 時間　中間発表用のパワーポイントを作成してくること 【事後学習】2 時間　授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 21 回	中間発表大会	共同研究の中間発表大会を行ない、発表と質疑応答の練習をする 【事前学習】2 時間　プレゼンテーションの練習をしてくること 【事後学習】2 時間　質疑応答で得られたことをまとめること
第 22 回	共同研究テーマ発表と討論（７）	共同研究のテーマ発表をし、討論する 【事前学習】2 時間　共同研究のテーマを各班で説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間　討論に基づいて調査をブラッシュアップすること
第 23 回	共同研究テーマ発表と討論（８）	共同研究のテーマ発表をし、討論する 【事前学習】2 時間　共同研究のテーマを各班で説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間　討論に基づいて調査をブラッシュアップすること
第 24 回	論文の書き方の復習と文章・様式の修正	論文を書くための正しい引用の仕方と図表の書き方を復習し、文章を校正する 【事前学習】2 時間　引用の仕方・図表の書き方の資料を読み、準備すること 【事後学習】2 時間　授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 25 回	パワーポイントの作成とプレゼンテーションの練習（２）	パワーポイントでのプレゼンテーションの練習をする 【事前学習】2 時間　発表大会用のパワーポイントを作成してくること 【事後学習】2 時間　授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 26 回	他大学との発表大会のリハーサル	パワーポイントでのプレゼンテーションと質疑応答の練習をする 【事前学習】2 時間　発表大会用のパワーポイントを作成してくること 【事後学習】2 時間　授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 27 回	環境経済論の最新テーマを学ぶ（１）	環境経済論の最新テーマについて、質疑応答と討論を行なう 【事前学習】2 時間　資料を読んで質問を考えてくること 【事後学習】2 時間　最新テーマについて学んだことを復習すること
第 28 回	環境経済論の最新テーマを学ぶ（２）	環境経済論の最新テーマについて、質疑応答と討論を行なう 【事前学習】2 時間　資料を読んで質問を考えてくること 【事後学習】2 時間　最新テーマについて学んだことを復習すること
第 29 回	環境経済論の最新テーマを学ぶ（３）	環境経済論の最新テーマについて、質疑応答と討論を行なう 【事前学習】2 時間　資料を読んで質問を考えてくること 【事後学習】2 時間　最新テーマについて学んだことを復習すること
第 30 回	後期のまとめ	後期のまとめ 【事前学習】2 時間　後期学んだ内容についてまとめてくること 【事後学習】2 時間　春休みの課題と４年次に向けての準備をすること

授業形式
①同時双方向型および③部分対面型とします.

・質問等のフィードバックは，講義内で行います.

・質問等は Gmail からも受け付けます.

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%

評価の特記事項
授業内で提示した課題はすべて提出すること. 評価は共同研究の成果，共同研究への参加度，ゼミ活動での貢献や授業時間内での発言などで総合評価します.

テキスト
一方井誠治（2018）『コア・テキスト　環境経済学』新世社，ほか.
参考文献
授業時に指示します。
オフィスアワー
火曜日１２：１０～１２：５５、１４：２５～16：１０ 事前に授業後またはメールでアポをとること.　なお，メールアドレスは，授業時に指示します.
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
年に 1 回，2 年～4 年生合同で合宿を行います．合宿では現地見学やインタビュー，自然体験やボランティアなどを行ない，環境問題の現実を実地で学びます. 11～12 月に中央大学・法政大学の環境経済学ゼミとのインゼミ発表会に参加します. 授業期間はゼミの課題で忙しくなりますが，ゼミ生自らが行なうゼミ運営や合宿の企画，積極的な発言や議論，グループでの共同作業と貢献を通じて，社会でも必要となる日本語スキル，論理力，コミュニケーション能力も身につけてください．無断欠席は禁止します.
授業用 URL
参考 URL 1
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/seminar/nemotoshihoko/
参考 URL2
https://twitter.com/n_kankyoukeizai

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	45
担当教員	野口　翔平	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火 2	単位区分	選
講義室	3122	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
専門研究（二）では、専門研究（一）よりも専門的な知識を身につけることを目指す。また、各自が会計学に関する問題を設定し、それを解決するための資料を集め、分析できるようになることを目指す。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では、企業会計に関する専門知識と歴史を通して会計の機能について学修する。また、各自が問題設定し、それに関する文献や資料の集め方について説明する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容や進め方を説明する。 【事前学習】2 時間 【事後学習】2 時間
第 2 回	企業会計を学ぶ	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 3 回	企業会計の役割	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 4 回	企業会計の仕組み	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 5 回	資本と利益の情報	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 6 回	収益認識のルール	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 7 回	費用の認識と分配	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 8 回	負債の認識と測定	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 9 回	純資産の開示と測定	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 10 回	企業結合の会計情報	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 11 回	日本の会計制度改革	指定した文献の内容を順番に報告する。

		【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 12 回	複式簿記のルーツを探る	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 13 回	複式簿記の誕生	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 14 回	複式簿記の完成	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 15 回	世界最初の簿記書とその後の進化	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 16 回	会計学の誕生	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 17 回	キャッシュ・フロー計算書	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 18 回	会計の本来の役割	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 19 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 20 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 21 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。

		【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 22 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 23 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 24 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 25 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 26 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 27 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 28 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 29 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 30 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。

授業形式
授業形態は、同時双方向型とする。 質問等のフィードバックは、講義内で行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%

評価の特記事項
授業内で、レポートの作成と報告を行うこと。

テキスト
斎藤静樹『企業会計入門ー考えて学ぶー【補訂版】』有斐閣，2016，1980 円（税込） 渡邉泉『会計学の誕生ー複式簿記が変えた世界』岩波書店，2017，858 円（税込）
参考文献
授業時に提示する。
オフィスアワー
水曜日 13：00～14：00。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻などの他の学生の迷惑がかかる行為は厳禁とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	46
担当教員	橋本　英俊	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3105	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
専門研究(二)では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．卒業論文の目次を作成することができる。 ２．目次の内容に沿って適切な資料を収集することができる。 ３．目次の内容に沿って分析を進めることができる。 ４．具体的な卒業論文の執筆方法を身につけることができる。 ５．目次の内容に関連し，プレゼンテーション資料を作成して，報告することができる。 ６．プレゼンテーションに伴う質疑応答を通じて，ディスカッション能力を高めることができる。 ７．自分自身のテーマについて深く思考することができる。 ８．各ゼミ生のテーマに関連して深い知識を得ることができる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
専門研究(二)では，前期において，卒業論文の目次の書き方を学び，各ゼミ生が自分自身のテーマについて卒業論文の目次を作成してもらいます。具体的には，先ず，卒業論文の目次に求められる形式などを学んだ上で，その後は各ゼミ生が作成した目次を報告してもらうとともに，担当教員および他のゼミ生とのディスカッションを通じて，最終的にはそれぞれのゼミ生が自分自身で設定したテーマについて，論理的に一貫した卒業論文の目次を完成させます。加えて，その後は，目次の内容に関連したプレゼンテーションならびに質疑応答を重ねることにより

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	専門研究(二)イントロダクション	専門研究(二)の年間スケジュールについて確認する。 【事前学習】2 時間 専門研究（一）で取り組んだ内容について，十分に振り返り，確認を行う。 【事後学習】2 時間 自分自身の卒業論文の目次の構成について検討する。
第 2 回	卒業論文目次の書き方	卒業論文の目次を作成するにあたって注意すべき点，形式等の要件について講義する。 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマおよび研究アプローチを振り返り，専門研究（一）で取り組んだ内容について確認した上で，自分自身の目次案について検討する。 【事後学習】2 時間 卒業論文目次の書き方についての講義を受けたうえで，自分自身の目次案に照らし合わせ，十分に検討し，修正等を加える。
第 3 回	前期第 1 回目卒業論文目次の検討（1）	各ゼミ生が事前に作成した卒業論文目次を報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，より良い目次となるよう修正すべき点を洗い出し検討を加える。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文目次案に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文目次にどのように活かすことができるか検討する。
第 4 回	前期第 1 回目卒業論文目次の検討（2）	各ゼミ生が事前に作成した卒業論文目次を報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，より良い目次となるよう修正すべき点を洗い出し検討を加える。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文目次案に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文目次にどのように活かすことができるか検討する。
第 5 回	前期第 1 回目卒業論文目次の検討（3）	各ゼミ生が事前に作成した卒業論文目次を報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，より良い目次となるよう修正すべき点を洗い出し検討を加える。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文目次案に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文目次にどのように活かすことができるか検討する。
第 6 回	前期第 2 回目卒業論文目次の検討（1）	前期第 1 回目の卒業論文目次についてのプレゼンテーションを踏まえたうえで，修正された卒業論文目次を報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，より良い目次となるよう修正すべき点を洗い出し検討を加えた上で，目次を完成させる。 【事前学習】2 時間

		事前にアップロードされた発表者の卒業論文目次案に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文目次にどのように活かすことが
第 7 回	前期第 2 回目卒業論文目次の検討（2）	前期第 1 回目の卒業論文目次についてのプレゼンテーションを踏まえたうえで，修正された卒業論文目次を報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，より良い目次となるよう修正すべき点を洗い出し検討を加えた上で，目次を完成させる。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文目次案に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文目次にどのように活かすことが
第 8 回	前期第 2 回目卒業論文目次の検討（3）	前期第 1 回目の卒業論文目次についてのプレゼンテーションを踏まえたうえで，修正された卒業論文目次を報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，より良い目次となるよう修正すべき点を洗い出し検討を加えた上で，目次を完成させる。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文目次案に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文目次にどのように活かすことが
第 9 回	卒業論文目次の振り返りおよび前期第 1 回目プレゼンテーションの確認	各ゼミ生が完成させた卒業論文目次をお互いに確認する。合わせて，各ゼミ生の卒業論文目次に照らし合わせて，前期第 1 回目のプレゼンテーション報告の方向性について確認する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文目次に目をとおし，内容について十分に確認する。 【事後学習】2 時間 自分自身の卒業論文目次を十分に確認した上で，前期第 1 回目のプレゼンテーションの内容を検討する。
第 10 回	前期第 1 回目プレゼンテーション（1）	卒業論文目次に照らし合わせて作成された前期第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，今後の研究の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼンテーションにどのように活かすことができるか検討する。
第 11 回	前期第 1 回目プレゼンテーション（2）	卒業論文目次に照らし合わせて作成された前期第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，今後の研究の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，

		自分自身の研究やプレゼンテーションにどのように活かすことができるか検討する。
第 12 回	前期第 1 回目プレゼンテーション（3）	卒業論文目次に照らし合わせて作成された前期第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，今後の研究の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼンテーションにどのように活かすことができるか検討する。
第 13 回	前期第 1 回目プレゼンテーション（4）	卒業論文目次に照らし合わせて作成された前期第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，今後の研究の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼンテーションにどのように活かすことができるか検討する。
第 14 回	前期第 1 回目プレゼンテーション（5）	卒業論文目次に照らし合わせて作成された前期第 1 回目のプレゼンテーションについて報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，今後の研究の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者のプレゼンテーション資料に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者のプレゼンテーション報告や資料，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の研究やプレゼンテーションにどのように活かすことができるか検討する。
第 15 回	前期第 1 回目プレゼンテーション振り返りおよび後期の内容についての確認	これまでのゼミ生による前期第 1 回目のプレゼンテーションを振り返り，お互いのテーマに関する知識や，研究方法，およびプレゼンテーション技術等についてシェアすべき点をディスカッションを通じて検討する。合わせて，後期の内容について確認を行う。 【事前学習】2 時間 これまでのゼミ生による前期第 1 回目のプレゼンテーションを振り返り，ゼミ生の間でシェアすべき点等について検討する。 【事後学習】2 時間 これまでのゼミ生による前期第 1 回目のプレゼンテーションから，自分の研究に応用できる点を検討し，後期の内容について見通しを
第 16 回	卒業論文原稿の執筆についての注意点等の確認	卒業論文原稿を執筆するにあたって注意すべき点，技術面でのポイント，および形式等の要件について講義する。 【事前学習】2 時間 夏季休暇期間中に作成した卒業論文原稿（一部分）について十分に確認する。 【事後学習】2 時間 卒業論文の執筆方法に関する講義を受けたうえで，自分自身の卒業論文原稿（一部分）に照らし合わせ，十分に検討した上で，修正等を加える。
第 17 回	後期第 1 回目卒業論文原稿（一部分）の検討	各ゼミ生が事前に作成した卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践

	（1）	的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすことができるか検討する。
第 18 回	後期第 1 回目卒業論文原稿（一部分）の検討 （2）	各ゼミ生が事前に作成した卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすことができるか検討する。
第 19 回	後期第 1 回目卒業論文原稿（一部分）の検討 （3）	各ゼミ生が事前に作成した卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすことができるか検討する。
第 20 回	後期第 1 回目卒業論文原稿（一部分）の検討 （4）	各ゼミ生が事前に作成した卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすことができるか検討する。
第 21 回	後期第 1 回目卒業論文原稿（一部分）の検討 （5）	各ゼミ生が事前に作成した卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすことができるか検

		討する。
第 22 回	後期第 1 回目卒業論文原稿（一部分）の検討（６）	各ゼミ生が事前に作成した卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすことができるか検討する。
第 23 回	後期第 1 回目卒業論文原稿（一部分）の検討についての振り返りおよび後期第 2 回目卒業論文原稿（一部分）の検討についての確認	これまでのゼミ生による後期第 1 回目卒業論文原稿（一部分）の検討について振り返り，卒業論文執筆に関わる技術的ポイントをはじめ，お互いのテーマに関する知識や，研究方法，およびプレゼンテーション技術等についてシェアすべき点をディスカッションを通じて検討する。合わせて各ゼミ生の後期第 2 回目卒業論文原稿（一部分）の検討に関する方向性について確認する。 【事前学習】2 時間 これまでのゼミ生による後期第 1 回目卒業論文原稿（一部分）の検討について振り返り，ゼミ生の間でシェアすべき点等について検討する。 【事後学習】2 時間
第 24 回	後期第 2 回目卒業論文原稿（一部分）の検討（１）	後期第 1 回目の卒業論文原稿（一部分）の検討を経て，修正加筆された卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすこと
第 25 回	後期第 2 回目卒業論文原稿（一部分）の検討（２）	後期第 1 回目の卒業論文原稿（一部分）の検討を経て，修正加筆された卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすこと
第 26 回	後期第 2 回目卒業論文原稿（一部分）の検討（３）	後期第 1 回目の卒業論文原稿（一部分）の検討を経て，修正加筆された卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすこと

第 27 回	後期第２回目卒業論文原稿（一部分）の検討（４）	後期第１回目の卒業論文原稿（一部分）の検討を経て，修正加筆された卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】２時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】２時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすこと
第 28 回	後期第２回目卒業論文原稿（一部分）の検討（５）	後期第１回目の卒業論文原稿（一部分）の検討を経て，修正加筆された卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】２時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】２時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすこと
第 29 回	後期第２回目卒業論文原稿（一部分）の検討（６）	後期第１回目の卒業論文原稿（一部分）の検討を経て，修正加筆された卒業論文原稿（一部分）について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，実践的な観点からより良い原稿を執筆するための技術面等のポイントを共有する。 【事前学習】２時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿（一部分）に目をとおし，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】２時間 発表者の卒業論文目次案やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文の原稿にどのように活かすこと
第 30 回	後期第２回目卒業論文原稿（一部分）の検討についての振り返りおよび卒業論文への確認	これまでのゼミ生による後期第２回目卒業論文原稿（一部分）の検討について振り返り，卒業論文執筆に関わる技術的なポイントをはじめ，お互いのテーマに関する知識や，研究方法，およびプレゼンテーション技術等についてシェアすべき点をディスカッションを通じて検討する。合わせて，卒業論文での内容を確認し，見通しを共有する。 【事前学習】２時間 これまでのゼミ生による後期第２回目卒業論文原稿（一部分）の検討について振り返り，ゼミ生の間でシェアすべき点等について検討する。 【事後学習】２時間 これまでのゼミ生による後期第２回

授業形式
・授業形態は「①同時双方向型」とする。 ・質問等のフィードバックは，ゼミの時間内で行う。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%

評価の特記事項
特になし。

テキスト
特になし。
参考文献
ゼミの時間内で指示する。
オフィスアワー
ゼミの時間内で指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
積極的な姿勢でゼミに参加してくれることを望みます。 無断欠席は一切認めません。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	47
担当教員	挽　直治	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月 5	単位区分	選
講義室	3115	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
財務会計論に関する重要な論点について，発表者の報告資料に基づいて議論を展開していく。具体的にはわが国の会計制度の法体系を比較・考察すること，企業業績等に関するディスクロージャーの正確な分析により，企業行動の実態を把握できること，国内外の基準設定機関である ASBJ，IASB，FASB 等の公式見解およびその動向を注視することがあげられる。自らの考えをまとめ報告資料を作成するとともに質疑応答ができること，発表者に報告内容についての適切な質問ができることを目標とします。 対応 DP 及び CP:5,6,7,8
授業概要（教育目的）
会計は事業の言語(language of business)として捉えることができる。経済社会での「言語」を読解するために，財務諸表作成プロセスにおける会計処理およびディスクロージャー制度の理解を深め，有価証券報告書，決算短信，IR を適切に利用できることより，企業の会計行動に関する実態の把握を行えることを目的とする。報告者には会計のダイナミズムを実感できるよう最新の事例も随時取り上げることが求められる。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス エコリンク、Google Classroom を利用して、資料を提供します。授業実施形態について説明を行います。あらかじめ講義日までに Google Meet と Zoom の準備をしてください。	専門研究(二)の到達目標についてのガイダンスを行う。 【事前学習】2 時間　シラバスの記載内容を確認すること。 【事後学習】2 時間　到達目標に向けての準備を進めておくこと。
第 2 回	発表することの重要性を知る(1)	発表するうえで注意しなければならないことを学ぶ。 【事前学習】2 時間　発表することの意義について考えてみよう。 【事後学習】2 時間　会計の知識の到達度を確認すること。
第 3 回	発表することの重要性を知る(2)	発表する題目をどのような問題意識から選択したかを考えよう。 【事前学習】2 時間　会計のトピックスを選択すること。 【事後学習】2 時間　会計がなぜ必要であるかを整理すること。
第 4 回	参考文献の利用法	参考文献の正確な引用法を理解する。 【事前学習】2 時間　OPAC を利用してみよう。 【事後学習】2 時間　参考文献を渉猟する意義について整理すること。
第 5 回	企業情報の入手：ディスクロージャー制度について：報告と質疑応答	法定ディスクロージャーの概要と現状を分析する。 【事前学習】2 時間　業績評価を行う企業の有価証券報告書を用意し、利益への変動要因を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間　関心のある企業の IR を調べてみよう。
第 6 回	ディスクロージャー制度の変革：IR と業績予測：報告と質疑応答	なぜ企業に関するディスクロージャー制度は拡充されてきたのか，その背景を踏まえ有価証券報告書を利用して企業のディスクロージャー制度を分析検討する。 【事前学習】2 時間　予め指定企業の決算短信を用意し、有価証券報告書との異同を確認しておくこと。 【事後学習】2 時間　各企業の IR の異同を調べてみよう。
第 7 回	非公開会社の情報の特質：報告と質疑応答	非公開会社と会計情報 【事前学習】2 時間　非公開会社の具体例を調べておくこと。 【事後学習】2 時間　公開会社と非公開会社の異同について整理すること。
第 8 回	キャッシュフロー計算書に関する資料を輪読：報告と質疑応答	キャッシュフロー計算書から何を解読することが可能か，キャッシュフローと企業業績の評価について議論する。 【事前学習】2 時間　関心のある企業のキャッシュフローの状況を調べておくこと。 【事後学習】2 時間　キャッシュフロー計算書のフォームを正確に理解しているか確認すること。
第 9 回	キャッシュフロー経営に関する資料：報告と質疑応答	キャッシュフロー経営について議論する。 【事前学習】2 時間　予め配布資料の課題を遂行しておくこと。 【事後学習】2 時間　検討課題について，復習をすること。
第 10 回	会計利益の伸縮性に関する資料：報告と質疑応答	費用の期間配分について，棚卸資産，有形・無形固定資産，繰延資産の各手続を整理し議論する。 【事前学習】2 時間　予め配布資料を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間　検討課題について，復習をすること。
第 11 回	会計利益の伸縮性と会計政策に関する資料：報告と質疑応答	会計政策とは何かを最新の事例を題材として議論する。 【事前学習】2 時間　予め企業業績に影響するいくつかの要因を考察してみよう。 【事後学習】2 時間　取り上げた会計政策について，自身の考えをまとめること。
第 12 回	2020 年 3 月期の企業業	2020 年 3 月期の決算内容に基づき、企業業績の分析を行う。

	績に関して議論：報告と質疑応答	【事前学習】2 時間　主な収益性分析に関する指標をテキストの終章を読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間　収益予測の分析を行ってみよう。
第 13 回	2020年 3 月期の企業業績予想に関して議論：報告と質疑応答	2020 年 3 月期の業績予想に基づき、業界分析を行う。 【事前学習】2 時間　主な収益性・安全性分析に関する指標をテキストの終章を読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間　業界の経済環境に関して復習すること。
第 14 回	前期の内容に関してのまとめ：報告と質疑応答	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。 【事前学習】2 時間　テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間　質疑応答した内容を加筆修正すること。
第 15 回	前期の内容に関してのまとめ：報告と質疑応答	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。 【事前学習】2 時間　テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間　質疑応答した内容を加筆修正すること。
第 16 回	ガイダンス	夏季休暇中の成果について発表する。また後期の検討課題についてのガイダンスを行う。 【事前学習】2 時間　夏季休暇中の活動成果についてまとめておくこと。 【事後学習】2 時間　発表の題目をいくつか見つけておくこと。
第 17 回	発表題目と問題意識を発表	発表題目と問題意識について資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表題目に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 18 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 19 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 20 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 21 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 22 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 23 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 24 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 25 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 26 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 27 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 28 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間　発表に係る資料を作成しておくこと。

		【事後学習】2 時間　問題意識に関して整理すること。
第 29 回	後期の内容に関してのまとめ：報告と質疑応答	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。 【事前学習】2 時間　テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間　質疑応答した内容を加筆修正する
第 30 回	後期の内容に関してのまとめ：報告と質疑応答	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。 【事前学習】2 時間　テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間　質疑応答した内容を加筆修正すること。

授業形式
授業形式は「①同時双方向型」とする。 発表資料は Google Classroom、エコリンク・Web Class を利用して提供する。なお、(後期の)状況に応じては「③部分対面型」を導入することもある。 予め発表資料、参考文献を熟読し問題意識をもって，出講することが望ましい。なお，受講生はさまざまな問いかけに回答することが求められる。質問等のフィードバックは翌週行う。学生生活・ゼミナール活動に関して留意すべき事項を随時連絡する。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0％	0％	0％	100%	0%	100%

評価の特記事項
積極的に質疑応答した学生に対しては，加点評価する。

テキスト
伊藤邦雄『新・現代会計入門(第４版)』日本経済新聞出版社，4,070 円(税込). 伊藤邦雄『企業価値経営』日本経済新聞出版社，4,620 円(税込).
参考文献
伊藤邦雄『会計制度のダイナミズム』岩波書店，7,260 円(税込). 今福愛志『企業統治の会計学』中央経済社，3,960 円(税込). 中央経済社編『新版会計法規集(第１２版)』中央経済社，2,640 円(税込).
オフィスアワー
2020 年度はエコリンク・Web Class を利用して、質問に回答します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
議論する内容は広範囲にわたるため、着実に会計基準の把握，有価証券報告書の読解を蓄積していくことが望まれる。 前期講義日までにエコリンク Web Class および Google　Classroom,Zoom を利用できるようにしてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	48
担当教員	廣野　桂子	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3102	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
廣野ゼミ（３年生）では，以下の能力を身につけることを目指します。 ①　　企業の戦略を学ぶ ②　　プレゼンテーションの力を身につける ③　　分析力と企画力を見につける 対応 DP 及び CP　5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
廣野ゼミでは，ゼミ生が社会人になってから役に立つ企業戦略や経済学，プレゼンテーションの方法を扱います。 ３年生は、個別発表で企業を研究する力とプレゼンテーションのスキルをさらに高め、グループワークで発想する力と企画力およびグループで１つの案を作る力を身につけていただきます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	1)講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。(2)自己紹介の方法を学び，ゼミ全体での自己紹介を行う。 [事前学習] 2 時間 Ecolink のシラバスをよく読んでおくこと。 [事後学習] 2 時間 授業内容をよく復習する。
第 2 回	新製品・サービスについてのグループワーク(1)	(1)グループのメンバーを決める。 (2)グループリーダーを決める。 (3)新製品・サービスの案を考える。 [事前学習] 2 時間 新製品・サービスの案を考える。 [事後学習] 2 時間 新製品・サービスの案を再度考える。
第 3 回	気になる企業についての研究報告とディスカッション(1)	(1) 5 フォース分析を用いて，企業の研究を行い，報告する。報告するパワーポイント資料に自分のアイディアを入れる。 (2)ディスカッションを円滑に行えるようにする。 [事前学習] 2 時間 分析した内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意するべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 4 回	気になる企業についての研究報告とディスカッション(2)	(1) 5 フォース分析を用いて，企業の研究を行い，報告する。報告するパワーポイント資料に自分のアイディアを入れる。 (2)ディスカッションを円滑に行えるようにする。 [事前学習] 2 時間 分析した内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意するべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 5 回	気になる企業についての研究報告とディスカッション(3)	(1) 5 フォース分析を用いて，企業の研究を行い，報告する。報告するパワーポイント資料に自分のアイディアを入れる。 (2)ディスカッションを円滑に行えるようにする。 [事前学習] 2 時間 分析した内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意するべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 6 回	気になる企業についての研究報告とディスカッション(4)	(1) 5 フォース分析を用いて，企業の研究を行い，報告する。報告するパワーポイント資料に自分のアイディアを入れる。 (2)ディスカッションを円滑に行えるようにする。 [事前学習] 2 時間 分析した内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表時に注意するべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 7 回	新製品・サービスについてのグループワーク(2)	新製品・サービスの案を出して、討論する。 [事前学習] 2 時間 新製品・サービスの案を考える。 [事後学習] 2 時間 新製品・サービスの案を再度考える。
第 8 回	気になる企業についての研究報告とディスカッション(5)	(1) 5 フォース分析を用いて，企業の研究を行い，報告する。報告するパワーポイント資料に自分のアイディアを入れる。 (2)ディスカッションを円滑に行えるようにする。

		[事前学習]２時間 分析した内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習]２時間 発表時に注意するべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第９回	気になる企業についての研究報告とディスカッション(6)	(1)５フォース分析を用いて，企業の研究を行い，報告する。報告するパワーポイント資料に自分のアイディアを入れる。 (2)ディスカッションを円滑に行えるようにする。 [事前学習]２時間 分析した内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習]２時間 発表時に注意するべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 10 回	気になる企業についての研究報告とディスカッション(7)	(1)５フォース分析を用いて，企業の研究を行い，報告する。報告するパワーポイント資料に自分のアイディアを入れる。 (2)ディスカッションを円滑に行えるようにする。 [事前学習]２時間 分析した内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習]２時間 発表時に注意するべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 11 回	新製品・サービスについてのグループワーク(3)	新製品・サービスの案を出して、討論し、改善点を考える。 [事前学習]２時間 新製品・サービスの案を考える。 [事後学習]２時間 新製品・サービスの案の改善策を考える。
第 12 回	気になる企業についての研究報告とディスカッション(8)	(1)５フォース分析を用いて，企業の研究を行い，報告する。報告するパワーポイント資料に自分のアイディアを入れる。 (2)ディスカッションを円滑に行えるようにする。 [事前学習]２時間 分析した内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習]２時間 発表時に注意するべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 13 回	新製品・サービスについてのグループワーク(4)	新製品・サービスの案を出して、討論し、改善点を考える。 [事前学習]２時間 新製品・サービスの案を考える。 [事後学習]２時間 新製品・サービスの案の改善策を考える。
第 14 回	気になる企業についての研究報告とディスカッション(9)	(1)５フォース分析を用いて，企業の研究を行い，報告する。報告するパワーポイント資料に自分のアイディアを入れる。 (2)ディスカッションを円滑に行えるようにする。 [事前学習]２時間 分析した内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習]２時間 発表時に注意するべき点をまとめる。資料などにより理解を深める。
第 15 回	新製品・サービスについてのグループワーク(5)	新製品・サービスの案を出して、討論し、改善点を考える。 [事前学習]２時間 新製品・サービスの案を考える。 [事後学習]２時間 新製品・サービスの案の改善策を考える。
第 16 回	グループワークの中間発表(1)	新製品・サービスのグループワークの中間報告を行う。 [事前学習]２時間 グループワークの発表内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習]２時間 発表内容についての課題を整理し，改善点を考える。

第 17 回	グループワークの中間発表(2)	新製品・サービスのグループワークの中間報告を行う。 [事前学習] 2 時間 グループワークの発表内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表内容についての課題を整理し，改善点を考える。
第 18 回	新製品・サービスについてのグループワーク(6)	新製品・サービスのグループワークの中間発表の内容の改善点を議論する。 [事前学習] 2 時間 グループワークの中間発表の内容の改善点を考える。 [事後学習] 2 時間 議論から出た課題を整理し，改善策を考える。
第 19 回	テキストの輪読（1）	テキストの内容を順番に報告する。 [事前学習] 2 時間 自分が報告する内容を読み，パワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点などから，自分の発表時に注意するべき点をまとめる。
第 20 回	新製品・サービスについてのグループワーク(7)	新製品・サービスのグループワークの中間発表の内容の改善点を議論する。 [事前学習] 2 時間 グループワークの中間発表の内容の改善点を考える。 [事後学習] 2 時間 議論から出た課題を整理し，改善策を考える。
第 21 回	新製品・サービスについてのグループワーク(8)	新製品・サービスのグループワークの中間発表の内容の改善点を議論する。 [事前学習] 2 時間 グループワークの中間発表の内容の改善点を考える。 [事後学習] 2 時間 議論から出た課題を整理し，改善策を考える。
第 22 回	テキストの輪読（２）	テキストの内容を順番に報告する。 [事前学習] 2 時間 自分が報告する内容を読み，パワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点などから，自分の発表時に注意するべき点をまとめる。
第 23 回	新製品・サービスについてのグループワーク(9)	新製品・サービスのグループワークの最終発表の内容のまとめを行う。 [事前学習] 2 時間 グループワークの発表の内容をどのようにまとめたらよいかを考えてくる。 [事後学習] 2 時間 議論から出た課題を整理し，最終報告に向けたまとめを行う。
第 24 回	グループワークの最終報告	新製品・サービスのグループワークの最終報告を行う。 [事前学習] 2 時間 グループワークの発表内容をパワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 発表内容についての課題を整理する。
第 25 回	テキストの輪読（3）	テキストの内容を順番に報告する。 [事前学習] 2 時間 自分が報告する内容を読み，パワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点などから，自分の発表時に注意するべき点をまとめる。
第 26 回	卒業論文発表会	廣野ゼミ４年生が報告する卒業論文発表会に出席して，卒業論文についての知見を得る。 [事前学習] 2 時間 ゼミの「卒業論文作成の手引き」などから，卒業論文についての知識を得る。

		[事後学習] 2 時間 自分の卒業論文のテーマを考える。
第 27 回	テキストの輪読（4）	テキストの内容を順番に報告する。 [事前学習] 2 時間 自分が報告する内容を読み，パワーポイント資料にまとめる。 [事後学習] 2 時間 自分や他の人が報告して修正された点などから，自分の発表時に注意するべき点をまとめる。
第 28 回	卒業論文についての説明	廣野ゼミの「卒業論文の手引き」にそって，卒業論文の書き方について説明する。 [事前学習] 2 時間 ゼミの「卒業論文作成の手引き」を読む。 [事後学習] 2 時間 自分の卒業論文のテーマを考える。
第 29 回	卒業論文のテーマの発表 (1)	卒業論文の仮テーマを発表する。 [事前学習] 2 時間 卒業論文のテーマを考える。 [事後学習] 2 時間 発表内容について修正された点から，卒業論文のテーマを修正する。
第 30 回	卒業論文のテーマの発表 (2)	卒業論文の仮テーマを発表する。 [事前学習] 2 時間 卒業論文のテーマを考える。 [事後学習] 2 時間 発表内容について修正された点から，卒業論文のテーマを修正する。

授業形式
部分対面型とする。 質問等のフィードバックは，講義内で行う。 質問等はメールでも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	40%	0%	60%	0%	100%

評価の特記事項
無断で欠席する場合は減点されます。

テキスト
沼上幹,『分かりやすいマーケティング戦略』. 有斐閣, 2000 年, 1900 円（税抜）.
参考文献
特になし
オフィスアワー
授業時ないしメールでアポイントメントを取ってもらい，随時行う。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
○ゼミには必ず出席し，遅刻をしないで下さい。 ○ゼミの活動に参加して下さい。 ○ゼミで役割分担したことは，責任をもって行って下さい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	49
担当教員	藤野　雅史	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月４	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
管理会計論は，英語で Management Accounting というように，Management（経営）と Accounting（会計）という 2 つの側面をもっています。どちかだけを勉強しても，管理会計論を学習したとはいえません。管理会計論は会計学の一分野とされることから，どちらかというと会計に重点があると理解されがちですが，それは間違っています。そこで，このゼミでは，経営とは何か，ということをいつも考えながら管理会計論を学習していくことにします。ところが，経営とは何かということは非常に難しい問題です。優れた経営者は「経営学を勉強した」から成功したのではなく，社会，生活，人生のなかから経営のセンスを身につけたとさえいわれることがあります。したがって，管理会計論を学習することはあくまでも手段であり，最終的なねらいは，自ら問題を明らかにし，自分の頭で考え，自ら解決策を見つけることであり，そのために必要な論理的な思考を身につけることにあります。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
やや抽象度の高い専門的な文献を検討し，レジュメの作成・報告を行う。 管理会計論における理論と現実の企業経営の問題を結びつけながら，それぞれの学問分野の理解を深める。 5, 6, 7, 8

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション①	メンバー紹介，テキストの使い方，レジュメの作成方法，スケジュールについて説明する。 【事前学習】2 時間 テキストを入手し読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 企業分析の対象となる企業を選定し，必要なデータを確認すること。
第 2 回	企業分析の準備	企業分析に必要なデータ，財務分析の計算シートについて説明する。 【事前学習】2 時間 必要なデータや計算シートを確認しておく。 【事後学習】2 時間 企業分析の対象となる企業について収集したデータをグループで確認すること。
第 3 回	バランスト・スコアカード	バランスト・スコアカードに関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み，レジュメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 4 回	利益計画	利益計画に関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み，レジュメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 5 回	バランスト・スコアカードを適用した戦略分析	企業分析の対象企業について，バランスト・スコアカードを用いて戦略分析を行う。 【事前学習】2 時間 バランスト・スコアカードについて復習しておく。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備する。
第 6 回	戦略分析のプレゼンテーション①	選定した企業の戦略分析に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 7 回	戦略分析のプレゼンテーション②	選定した企業の戦略分析に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 8 回	管理会計を活用する社会や組織①	管理会計を活用する社会や組織についての研究テーマを選定する。 【事前学習】2 時間 管理会計を活用する社会や組織について調べておく。 【事後学習】2 時間 研究テーマに関する参考文献を収集する。
第 9 回	管理会計を活用する社会や組織②	管理会計を活用する社会や組織についての研究テーマを絞り込んでいく。 【事前学習】2 時間 管理会計を活用する社会や組織について調べておく。 【事後学習】2 時間 研究テーマに関する参考文献を収集する。
第 10 回	管理会計を活用する社会	管理会計を活用する社会や組織に関するプレゼンテーションを行う。

	や組織に関するプレゼンテーション①	【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 11 回	バランスト・スコアカード	バランスト・スコアカードに関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み，レジュメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 12 回	原価企画	原価企画に関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み，レジュメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 13 回	アメーバ経営	アメーバ経営に関連するトピックについてグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読み，レジュメを作成すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。
第 14 回	管理会計を活用する社会や組織に関するプレゼンテーション②	管理会計を活用する社会や組織に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 15 回	前期のまとめ	日本的管理会計システムについて話し合う。 【事前学習】2 時間 前期に使用したテキストを読み返しておく。 【事後学習】2 時間 管理会計の役立ちについて参考になる文献を収集する。
第 16 回	イントロダクション②	クラス内での役割分担やスケジュールについて説明する。 【事前学習】2 時間 前期までに進めた研究内容について振り返り，整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 管理会計の役立ちに関する研究テーマをグループで話し合うこと。
第 17 回	管理会計を活用する社会や組織のケーススタディ①	研究テーマに関連するケースを探索する。 【事前学習】2 時間 管理会計を活用する社会や組織について調べておく。 【事後学習】2 時間 ケーススタディに関する参考文献を収集する。
第 18 回	管理会計を活用する社会や組織のケーススタディ②	研究テーマに関連するケースを選定する。 【事前学習】2 時間 管理会計を活用する社会や組織について調べておく。 【事後学習】2 時間 ケーススタディに関する参考文献を収集する。
第 19 回	管理会計を活用する社会や組織に関するプレゼンテーション②	管理会計を活用する社会や組織に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 20 回	管理会計を活用する社会や組織のケーススタディ③	選定したケースについてフィールドワークを行う。 【事前学習】2 時間 選定したケースについて調べておく。

		【事後学習】2 時間 フィールドワークから得られたデータを整理する。
第 21 回	管理会計を活用する社会や組織のケーススタディ④	選定したケースについてフィールドワークを行う。 【事前学習】2 時間 選定したケースについて調べておく。 【事後学習】2 時間 フィールドワークから得られたデータを整理する。
第 22 回	管理会計を活用する社会や組織のケーススタディ⑤	選定したケースについてフィールドワークを行う。 【事前学習】2 時間 選定したケースについて調べておく。 【事後学習】2 時間 フィールドワークから得られたデータを整理する。
第 23 回	管理会計を活用する社会や組織に関するプレゼンテーション②	管理会計を活用する社会や組織に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 24 回	管理会計を活用する社会や組織に関する考察①	これまでに収集した参考文献やフィールドデータから研究テーマに関する考察を行う。 【事前学習】 参考文献やフィールドデータを確認する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備する。
第 25 回	管理会計を活用する社会や組織に関する考察②	これまでに収集した参考文献やフィールドデータから研究テーマに関する考察を行う。 【事前学習】 参考文献やフィールドデータを確認する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備する。
第 26 回	管理会計を活用する社会や組織に関する考察③	これまでに収集した参考文献やフィールドデータから研究テーマに関する考察を行う。 【事前学習】 参考文献やフィールドデータを確認する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションを準備する。
第 27 回	管理会計の役立ちに関する一年間の研究成果発表①	一年間の研究成果に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 28 回	管理会計の役立ちに関する一年間の研究成果発表②	一年間の研究成果に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 29 回	管理会計の役立ちに関する一年間の研究成果発表③	一年間の研究成果に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックについてグループ内で検討すること。
第 30 回	後期のまとめ	卒業論文の研究テーマについて話し合う。 【事前学習】2 時間

		後期に使用したテキストを読み返しておく。 【事後学習】2 時間 卒業論文の研究テーマについて参考になる文献を収集する。

授業形式
・授業形態は「③部分対面型」とする。 ・質問等のフィードバックは，授業内で行う。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付ける。 ・基本的にアクティブ・ラーニングによって進める。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	60%	40%	100%
評価の特記事項					
その他はレジュメやプレゼンテーションによる評価とする。					

テキスト
尾畑裕・挽文子編著『日商 原価計算初級 テキスト』中央経済社，2018 年，1,300 円（税抜）。 谷武幸『エッセンシャル管理会計（第 3 版）』中央経済社，2013 年，2,800 円（税抜）。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
月曜日 16:20～18:00。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
レジュメの提出やプレゼンテーションが評価対象になりますが，何よりも重要なのはゼミ活動への積極的な参加です。無断欠席やマナー違反は退ゼミの対象とします。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	50
担当教員	古川　裕康	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金４	単位区分	選
講義室	3073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本演習では以下の能力を身につけることを目指します。 １．世界の現状を理解し，説明することができる。 ２．論理的・批判的に物事を思考することができる。 ３．問題の所在を発見し，各人なりの解決策を提示することができる。 ４．世の中に遍在する未解決の課題解決や，自らの新しい能力開発について積極的に挑戦することができる。 ５．受講生や指導教員との間で円滑なコミュニケーションを取り，建設的に議論ができる。 ６．リーダーシップとは何かを理解し，協働しながらチームで成果を出すことができる。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本演習では，グローバル・マーケティングについて専門的に学びます。またこの専門知識を学習しながら，各人の挑戦力，説得力も養成します。グローバル・マーケティングに関するケースやテキストを用いながら専門知識の基礎的な部分を学習するだけでなく，研究活動を通して各自の理解を深めてもらいます。研究活動は「今までに無いものを考える」事の連続となります。ただしこれを考えるためには，これまでに実施されてきた数々の最新研究とその課題を徹底的に理解しておく必要があります。研究活動を通して，受講生は社会に貢献するだけでなく，自身

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	半期のスケジュールと準備の必要な部分の確認。 【事前学習】2 時間 受講前に指定された図書を再度読み，内容を改めて復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 準備の始められる部分について進めておくこと。
第 2 回	研究進捗報告 1	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 3 回	研究進捗報告 2	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 4 回	テキスト輪読 1	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に，基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 5 回	テキスト輪読 2	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に，基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 6 回	テキスト輪読 3	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に，基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 7 回	テキスト輪読 4	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に，基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 8 回	研究進捗報告 3	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 9 回	研究進捗報告 4	研究の進捗報告を実施する。

		【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 10 回	テキスト輪読 5	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に，基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 11 回	テキスト輪読 6	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に，基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 12 回	テキスト輪読 7	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に，基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 13 回	テキスト輪読 8	グローバル・マーケティング論に関するテキストを基に，基礎的な専門知識を養成する。 【事前学習】2 時間 テキストの当該部分について理解しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内で解決した疑問点についてまとめておくこと。解決しなかった部分についてもそのままにしないこと。
第 14 回	研究進捗報告 5	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 15 回	研究進捗報告 6	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 16 回	研究進捗報告 7	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 17 回	研究進捗報告 8	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】2 時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。

第 18 回	研究進捗報告９	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】２時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】２時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 19 回	研究進捗報告１０	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】２時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】２時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 20 回	研究進捗報告１１	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】２時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】２時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 21 回	研究進捗報告１２	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】２時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】２時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 22 回	研究進捗報告１３	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】２時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】２時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 23 回	研究進捗報告１４	研究の進捗報告を実施する。 【事前学習】２時間以上 各グループでの研究を進捗させておくこと。 【事後学習】２時間 指摘された研究の課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 24 回	研究プレゼンテーションの練習１	研究のプレゼンテーションについて練習する。 【事前学習】２時間以上 各グループでプレゼンテーションを練習しておくこと。 【事後学習】２時間 指摘された課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 25 回	研究プレゼンテーションの練習２	研究のプレゼンテーションについて練習する。 【事前学習】２時間以上 各グループでプレゼンテーションを練習しておくこと。 【事後学習】２時間 指摘された課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 26 回	研究プレゼンテーションの練習３	研究のプレゼンテーションについて練習する。 【事前学習】２時間以上 各グループでプレゼンテーションを練習しておくこと。 【事後学習】２時間 指摘された課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 27 回	研究プレゼンテーションの練習４	研究のプレゼンテーションについて練習する。 【事前学習】２時間以上 各グループでプレゼンテーションを練習しておくこと。 【事後学習】２時間 指摘された課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 28 回	研究プレゼンテーションの練習５	研究のプレゼンテーションについて練習する。 【事前学習】２時間以上

		各グループでプレゼンテーションを練習しておくこと。 【事後学習】2 時間 指摘された課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 29 回	研究の総括と振り返り 1	ここまでの研究内容について各グループは振り返りをし，全体に共有する。 【事前学習】2 時間 各グループのこれまでの活動（反省点）をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 残された課題にどのように対応するのか検討し対応すること。
第 30 回	研究の総括と振り返り 2	ここまでの研究内容について各グループは振り返りをし，全体に共有する。 【事前学習】2 時間 各グループのこれまでの活動（反省点）をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 残された課題にどのように対応するのか検討し対応すること。

授業形式
授業形態はゼミ生と相談の上決定する。質問等のフィードバックは，講義内またはメールにて行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					
定められた期限までに，課題を全て提出すること。					

テキスト
受講者の関心によって検討・決定する。
参考文献
講義時に指示する。
オフィスアワー
水曜日　15:00～16:00。事前に授業後またはメールでアポイントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
積極的な「挑戦」があなたの可能性を拡げます。古川ゼミでは，ゼミ活動やプライベート問わず，様々ことに挑戦してもらいます。挑戦には失敗がつきものですが，その失敗はあなたの糧になるでしょう。それ故，ゼミ生には多くの失敗経験をしてもらいます。その一方で，古川ゼミでは挑戦しなかった行為は悪とみなします。失敗は成功するまで繰り返すことです。つまり継続性が大事なのです。一度決めたことは最後までやり切ること（決して投げ出さないこと）。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	51
担当教員	古庄　修	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，企業の情報開示（ディスクロージャー）をめぐる様々な現代的課題を取り上げ，財務会計論の観点から考察します。 前期は，会計学のすべての領域を網羅したテキストに基づいて，最新の動向にも触れながら基本的な会計知識を得ることを目標とします。また，後期は財務会計論の領域について，次年度の卒業論文の製作に向けてより高度な理論を学習し，現代財務会計の論点と課題が理解できるようになることを目指します。 対応 DP 及び CP：5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
私が担当する専門研究は，「財務報告論」の枠組みの中で，いま注目されている ESG（環境・社会・ガバナンス）情報や，SDGs（持続可能な開発目標）に係る企業の取り組みと関連づけた「統合報告」の展開まで視野に入れた研究をすべての学年に共通して行います。 財務会計の視点から現代企業の経営の在り方を結び付けた議論を行うために，3 年生を対象とした本講義において，前期は財務会計を中心に，広く会計学の領域についても解説するとともに，後期には税理士試験および公認会計士試験の範囲も想定して，絶えず国際会計基準（IFRS）をめ

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の内容，進め方，評価方法および履修上の注意点について説明します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 2 回	企業活動と会計	企業活動と財務会計および管理会計とのつながり，財務報告制度と監査等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 3 回	會計の機能と制度会計の枠組み	會計の役割及び諸機能を制度会計の枠組みと関連づけて解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 4 回	伝統的会計の枠組み	伝統的会計を支える諸概念と整合的な収益費用観および当該伝統的会計の問題点等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 5 回	現代会計の枠組み	現代会計の枠組みとしての概念フレームワークの役割とその体系，および収益費用観と資産負債観の相違点等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 6 回	貸借対照表	貸借対処表の区分と様式，貸借対照表を基礎とした分析の方法，純資産簿価と株式価格の関係等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。

第 7 回	損益計算書・包括利益計算書	損益計算書・包括利益計算書の区分と様式，損益計算書を基礎とした分析の方法，価値関連性分析等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 8 回	資産の会計	資産の会計全体を網羅してその要点を解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 9 回	負債・持分の会計	負債と持分の会計全体を網羅してその要点を解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 10 回	損益の会計	収益認識および損益計算をめぐる主要な論点を解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 11 回	コーポレート・ガバナンスと会計監査	コーポレート・ガバナンスをめぐる動向を踏まえて，内部統制および会計監査の主な領域について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 12 回	グローバル管理会計	管理会計の意義と体系を踏まえて，グローバル化の進展に伴う管理会計の課題等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 13 回	グローバル財務会計（1）	会計基準の国際的統一の意義を踏まえて，日本における IFRS への対応等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 14 回	グローバル財務会計（2）	日本企業の会計基準の選択および IFRS に準拠した財務諸表の読み方等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 15 回	前期の総括	各授業において提出した要約を踏まえて，前期に学んだことを振り返るとともに，補足的・追加的な解説を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，指定した期日までに提出すること。
第 16 回	前期の復習と後期の授業内容の概説	前期の講義内容を改めて振り返るとともに，後期は，新たに会計とファイナンスの領域つにいてその基本を学習するため，そのガイダンスとして会計学の体系とファイナンスとの関係について概説します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 17 回	会計とは何か	会計の本質を理解するために，会計のプロセスおよび会計の意味の変化等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 18 回	会計の機能	会計の機能を意思決定支援機能および契約支援機能等を含めたより詳細な分類に基づいて解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 19 回	会計のルール	社会的ルールとしての会計ルールの必要性と国際基準も視野に入れた設定プロセスにおける考え方等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。

第 20 回	会計の制度性	企業会計と法制度との関係について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 21 回	会計の基礎概念	会計公準，企業会計原則および概念フレームワークについて解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 22 回	会計の仕組み	貸借対照表と損益計算書の相互関係について解説し，質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 23 回	利益計算の考え方	財産法と損益法，資本維持と利益計算および静態論と動態論等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 24 回	発生主義会計	発生主義の原則，収益および費用の認識基準について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 25 回	配分と評価	配分と評価に係る其々の理論的な考え方を比較検討しながら解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 26 回	キャッシュ・フロー計算書	キャッシュ・フロー計算書について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出する

		こと。
第 27 回	資産負債アプローチと収益費用アプローチ	資産負債アプローチと収益費用アプローチという２つの会計観および包括利益と純利益について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 28 回	資産・負債の認識と測定	割引現在価値の考え方に基づき，リース会計，退職給付会計および，資産除去債務会計について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 29 回	純資産の会計	純資産の部の表示区分と構成項目および株主資本の区分の考え方等について解説し，質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて，プレゼンテーション担当者は事前の準備を行い，その他の学生は討議のための質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，次回授業時までに提出すること。
第 30 回	後期の総括	各授業において提出した要約を踏まえて，後期に学んだことを振り返るとともに，補足的・追加的な解説を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，その内容を要約して，指定した期日までに提出すること。

授業形式
各講義内容の解説と受講生によるプレゼンテーションを基礎とした討議を組み合わせて授業を進めていきます。 実施形態については，事前にスケジュールを設定し，Zoom 等も用いながら部分対面型で行います。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	25%	0%	50%	25%	100%

評価の特記事項
出席点（授業への参画度）を基礎として，毎回の授業の要約（25%）およびプレゼンテーション（25%）を総合的に評価します。

テキスト
開講時に指示します。
参考文献
開講時に指示します。
オフィスアワー
月曜日 12 時 15 分から 12 時 55 分までとします。事前のアポイントを要します。 なお，メールアドレスは初回事業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
受講生にはあまり負担がかからないように配慮しつつ，プレゼンテーションおよび質疑応答の準備を行ってもらいます。 言うまでもありませんが，出席点（授業への参画度）にも関係しますので，無断欠席がないようにお願いします。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	52
担当教員	松倉　力也	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月４	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．経済や社会において、人口が影響する事象を理解し，説明できる。 ２．私たちの身近にあるさまざまな問題を人口と経済学的な視点から捉えることで，新聞やニュースなどの社会・経済問題を理解できる。 ３．人口は将来予測ができる変数であるので、経済や社会が今後どうなるかと予測し、説明できる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5、6．7、　8
授業概要（教育目的）
本講義では，私たちの身近にある社会を人口と経済を本格的に学修する準備として，基本的な統計学、経済学について解説します。また，人口は就職，結婚，子育て，教育，医療・福祉，交通，観光など，私たちの身近な問題に密接に関係していますので、人口と経済・社会の関係をどのように科学的な視点から分析するかを理解し、実際にフィールドでデータを収集し、それを加工し、理論的に検証という実証分析の基礎を身につけてもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。身近な問題を人口と経済的な視点から捉える。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 2 回	人口と経済の関係について	人口と経済に関する簡単な問題を提示し、皆に討議してもらう。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 3 回	指定テキスト A の輪読 1	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 4 回	指定テキスト A の輪読 2	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 5 回	指定テキスト A の輪読 3	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 6 回	指定テキスト A の輪読 4	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 7 回	指定テキスト A の輪読 5	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 8 回	指定テキスト A の輪読 6	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告す

		る。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 9 回	指定テキスト A の総括	発表された文献の内容を総括。 展開された議論に関して、身近なことに応用できないかを議論するとともに、関連するちがう研究を紹介。 【事前学習】2 時間 事前に送付する資料をを読む。 【事後学習】2 時間 講義で示された文献以外にも、関連研究を自分で探してみる。
第 10 回	指定テキスト B の輪読 1	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 11 回	指定テキスト B の輪読 2	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 12 回	指定テキスト B の輪読 3	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 13 回	指定テキスト B の輪読 4	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 14 回	指定テキスト B の輪読 5	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 15 回	指定テキスト B の輪読 6	指定した文献の内容を順番（一回に発表するのは 1 ～ 3 人）に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第 16 回	指定テキスト B の総括 7	発表された文献の内容を総括。 展開された議論に関して、身近なことに応用できないかを議論するとともに、関連するちがう研究を紹介。 【事前学習】2 時間 事前に送付する資料をを読む。 【事後学習】2 時間 講義で示された文献以外にも、関連研究を自分で探してみる。
第 17 回	指定テキスト輪読レポートの総括	これまで発表された文献 A と B 以外の人口と経済に関する文献のレビューを行い、人口と経済に関連する問題等の紹介を行う。 展開された議論に関して、身近なことに応用できないかを議論するとともに、関連するちがう研究を紹介。 【事前学習】2 時間 事前に送付する資料をを読む。 【事後学習】2 時間 講義で示された文献以外にも、関連研究を自分で探してみる。
第 18 回	グループワークの実践 1	これまでに学んだ理論とデータの分析方法を実践で行う。 グループに分かれて研究課題を設定し、研究計画をまとめる。 研究テーマとその仮説を検証するデータの集計方法、分析方法などを計画する。 研究計画はこちらで、レビューして、研究内容や方法論ついてコメントする。 【事前学習】2 時間 事前にある程度の問題を自分たちでいくつか挙げておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時間で計画が完成できないので、各グループで集合して、計画を完成させること
第 19 回	グループワークの実践 2	完成した研究計画の発表を行う。 各グループに分かれて研究課題を選択した背景、目的、検定する仮説、分析方法、データの収集方法を発表する。 【事前学習】2 時間 事前に発表資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表からのフィードバックを考慮して、新たな研究計画をリバイスすること。
第 20 回	グループワークの実践 3	学生は研究計画から各自の作業およびグループ内で討議を行う。 実際の作業に関して起きた問題や、分析方法などについてはコンサルタントをする。 【事前学習】2 時間 事前に研究資料の収集や分析をすること。 【事後学習】2 時間 グループ内で研究の進捗状況を理解し、さらに研究資料の収集およびデータの分析を行う。
第 21 回	グループワークの実践 4	学生は研究計画から各自の作業およびグループ内で討議を行い、研究結果を発表するための資料を作成する。 実際の作業に関して起きた問題や、分析方法などについてはコンサルタントを行う。 【事前学習】2 時間 事前に研究資料の収集や分析をすること。 【事後学習】2 時間 グループ内で研究の進捗状況を理解し、さらに研究資料の収集およびデータの分析や研究発表用の資料を作成する。

第 22 回	グループワークの研究結果の報告 1	各研究グループによる研究発表を行う。 【事前学習】2 時間 事前に発表用資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表へのコメントを加味し、研究レポートの作成を行う。
第 23 回	グループワークの研究結果の報告 2	各研究グループによる研究発表を行う。 【事前学習】2 時間 事前に発表用資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表へのコメントを加味し、研究レポートの作成を行う。
第 24 回	個人研究 1　研究課題の選定	個人で研究課題を設定し、研究計画をまとめる。 研究テーマとその仮説を検証するデータの集計方法、分析方法などを計画する。 実際にデータをフィールドで集計するための計画を具体的な時刻可能性に関してコメントする。 【事前学習】2 時間 事前にある程度の問題を自分でいくつか挙げておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時間で計画が完成できないので、計画を完成させること
第 25 回	個人研究 2　研究課題の発表 1	完成した研究計画の発表を行う。 研究課題を選択した背景、目的、検定する仮説、分析方法、データの収集方法を発表する。 【事前学習】2 時間 事前に発表資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表からのフィードバックを考慮して、新たな研究計画をリバイスすること。
第 26 回	個人研究 3　研究課題の発表 2	完成した研究計画の発表を行う。 研究課題を選択した背景、目的、検定する仮説、分析方法、データの収集方法を発表する。 【事前学習】2 時間 事前に発表資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表からのフィードバックを考慮して、新たな研究計画をリバイスすること。
第 27 回	個人研究 4　 個人研究	学生は研究計画から各自の作業およびを行う。 実際の作業に関して起きた問題や、分析方法などについてはコンサルタントとを行う。 【事前学習】2 時間 事前に研究資料の収集や分析をすること。 【事後学習】2 時間 グループ内で研究の進捗状況を理解し、さらに研究資料の収集およびデータの分析を行う。
第 28 回	個人研究 4　個人研究発表 1	完成した研究計画の発表を行う。 研究課題を選択した背景、目的、検定する仮説、分析方法、データの収集方法を発表する。 【事前学習】2 時間 事前に発表資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表からのフィードバックを考慮して、新たな研究計画をリバイスすること。
第 29 回	個人研究 5　個人研究発表 2	完成した研究計画の発表を行う。 研究課題を選択した背景、目的、検定する仮説、分析方法、データの収集方法を発表する。 【事前学習】2 時間

		事前に発表資料を作成すること。 【事後学習】2 時間 発表からのフィードバックを考慮して、新たな研究計画をリバイスすること。
第 30 回	個人研究の総括	個人の研究成果についてのコメントおよび、年間を通して講義の振り返りと、来年以降の講義の説明および、春休みにすべき課題について各個人別に説明する。 【事前学習】2 時間 事前に配布した資料をチェックしておくこと。 【事後学習】2 時間 総括のコメントを理解し、来年度に向けての準備や春の課題についての予定をたてておくこと。

授業形式
授業形態は「①同時双方向型」とする。 質問等のフィードバックは，講義内で行う。 質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けるし、個別の質問も講義時間以外で受け付ける。 ゼミの講義なので、講義をきくのではなく、全員が講義に参加し、何かをつくりだすようなワークショップ型の講義形態。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30	0%	50	20	100

評価の特記事項
講義の参加し、自分の考えを積極的に述べていただきたい。その講義参画度は、講義に出席するだけでなく、どれだけ自分の意見を述べるかで評価する。講義に出席しても何も話さなければ、欠席と同等である。

テキスト
テキストに関しては、講義前に用意して皆に配布または指示する。
参考文献
John Ermisch,　An Economic Analysis of the Family, 2003. Ronald Lee and Andrew Mason, Population Aging and the Generational Economy: A Global Perspective, 2013.
オフィスアワー
火曜日　１５：００～１６：００。事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
毎週参画してください。何かあるときは事前に連絡をすること。 何か分からないことがあれば、積極的に質問することも身に着けてください。 あなたたちの専門科目になります。自分が興味を持ったことに躊躇しないように、どんどん知的欲求を広げてください。
授業用 URL
https://classroom.google.com/c/MzEyNjcxNzUyMjY1?cjc=ylc2wuv
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	53
担当教員	松本　純	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月４	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．学術的文献を講読することで，豊かな教養・知識を習得する。 ２．複数の学術的文献を読みこなすことで，分析力・批判的思考力を習得する。 ３．とりわけ歴史的文献を講読することで，経済・経営の歴史的文脈を解き明かし，現在の諸問題の解決策等を見出す。 対応 DP および CP: 5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義は，経営史を対象とします。諸外国そして日本の経営を歴史的に理解して自身の知恵とするには，インターネットの情報に頼るより，経営史に関する専門書を深く読むことが必要となります。普段触れることのない経営史関連の学術的文献を読み込むことによって，経営史の専門知識を身につけ，歴史的価値観を育んでもらいます。 具体的には，個人の研究テーマを設定し，そのテーマに基づいた複数の文献を講読してもらいます。最終的には，個人による論文の執筆に取り掛かってもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 シラバスを熟読し，概要について把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を十分理解しておくこと。
第 2 回	研究テーマの設定	個人の研究テーマを設定する。 【事前学習】2 時間 個人の研究テーマを設定し，そのテーマに基づいた参考文献リストを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 3 回	研究テーマの設定	個人の研究テーマを設定する。 【事前学習】2 時間 個人の研究テーマを設定し，そのテーマに基づいた参考文献リストを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 4 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 5 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 6 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 7 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 8 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。

第 9 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 10 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 11 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 12 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 13 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 14 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 15 回	文献の講読	参考文献のうち 1 冊を選択し，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 16 回	論文の構成を考える	論文の構成を考え，目次を作成する。 【事前学習】2 時間 複数の参考文献から得た情報を分析し，論文の目次を作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 17 回	論文の構成を考える	論文の構成を考え，目次を作成する。 【事前学習】2 時間 複数の参考文献から得た情報を分析し，論文の目次を作成する。 【事後学習】2 時間

		教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 18 回	論文の構成を考える	論文の構成を考え，目次を作成する。 【事前学習】2 時間 複数の参考文献から得た情報を分析し，論文の目次を作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 19 回	論文の構成を考える	論文の構成を考え，目次を作成する。 【事前学習】2 時間 複数の参考文献から得た情報を分析し，論文の目次を作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 20 回	論文の構成を考える	論文の構成を考え，目次を作成する。 【事前学習】2 時間 複数の参考文献から得た情報を分析し，論文の目次を作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 21 回	論文の執筆	論文の執筆に取り掛かり，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容を考え，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 22 回	論文の執筆	論文の執筆に取り掛かり，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容を考え，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 23 回	論文の執筆	論文の執筆に取り掛かり，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容を考え，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 24 回	論文の執筆	論文の執筆に取り掛かり，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容を考え，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 25 回	論文の執筆	論文の執筆に取り掛かり，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容を考え，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 26 回	論文の執筆	論文の執筆に取り掛かり，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間

		報告内容を考え，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 27 回	論文の執筆	論文の執筆に取り掛かり，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容を考え，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 28 回	論文の執筆	論文の執筆に取り掛かり，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容を考え，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 29 回	論文の執筆	論文の執筆に取り掛かり，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容を考え，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。
第 30 回	論文の執筆	論文の執筆に取り掛かり，その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容を考え，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，注意するべきことをまとめる。

授業形式
授業形態は，「②オンデマンド型」とする。 質問等のフィードバックは，オンライン（EcoLink もしくは Gmail 経由）もしくは講義内（Zoom ミーティング経由）で随時行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%

評価の特記事項
授業内で提示した課題は，すべて提出すること。提出物の完成度・授業への参画度などにより，総合評価する。

テキスト
特になし。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
受講生との相談により，日時を決める。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
しかるべき理由もなく課題の提出などを怠る受講生については，単位を与えないこととする。 歴史的文献の講読を続ける授業であるため，なるべく普段から歴史に関心を持つようにすること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	54
担当教員	丸田　利昌	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月４	単位区分	選
講義室	3113	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．英語で書かれた経済学・ゲーム理論の文献を読めるようになる。 ２．英語で書かれた経済学・ゲーム理論の文献をまとめ，その内容を他者に説明できるようになる．特に，論理的な説明を与えることができるようになることを目指す。ここで「説明」とは，聴衆の前に登壇して説明する，いわゆる「プレゼンテーション」である。 ３．他者のプレゼンテーションをよく理解し，その上で適切な質問・コメントをできるようになる。 対応 DP 及び CP:5,6,7,8
授業概要（教育目的）
英語で書かれた経済学・ゲーム理論の文献を厳しく読み込みます。「厳しく」とは，経済学・ゲーム理論の論理においても，英文の読解においても，「流すことなく」読むということです。各学生は，割当てられた部分をプレゼンテーションファイル（ex.，パワーポイント）にまとめ，報告します。聴衆となる学生は，できる限り多くの質問を発するよう努めます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義内容・形式・評価などについて，教員による説明．その後，教科書序章を教員が講義する。 【事前学習】教科書序章を通読しよう。（２時間） 【事後学習】教科書序章を通読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認しよう。（２時間）
第 2 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 3 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 4 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 5 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 6 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 7 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 8 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 9 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告

		予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 10 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 11 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 12 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 13 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 14 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 15 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 16 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 17 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）

第 18 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 19 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 20 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 21 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 22 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 23 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 24 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 25 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 26 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間）

		【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 27 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 28 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 29 回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第 30 回	まとめ	輪読の結果得られた事柄をまとめる。皆で議論する。 【事前学習】どの主題が特に興味深いものであったかを振り返る。また，自分の担当箇所については，その内容を復習する。（２時間） 【事後学習】卒業論文へ向けて，ゲーム理論をどのような形で使用するかを考察する。（２時間）

授業形式
①同時双方向型で行う。質問のフィードバックは講義内で行う。質問等は Googleclass room や Gmail からも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
３回連続，または通算５回の無断欠席があった場合は，不合格。					

テキスト
Game Theory, 2nd Edition, Bonnanno, G., http://faculty.econ.ucdavis.edu/faculty/bonanno/GT_Book.html
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
火曜 16：30～17：30。または事前のアポイントメントの上，随時。オンラインでも可。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
https://classroom.google.com/c/MjM2MDQzNDczNzYw
参考 URL１
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	55
担当教員	三井　泉	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火４	単位区分	選
講義室	3113	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
１．「経営学」(特に戦略論と組織論）の基礎的概念を学び、それを実践的に活用するためのスキルを学習する。 ２．専門的テキストの理解に基づき、それを用いてケースを分析するための方法を学習する。 ３．上記に基づいて、全員の前で効果的プレゼンテーションを行い、深いディスカッションするスキルを学習する。 ４．グループワークによって、特定課題に関するより広い資料収集や理論的枠組みの精緻化を行えるようにする。 ５．特定課題についてのレポート作成し提出する。卒業研究につなげられるよう、論理的思考力を学習する。 対応 DP および CP:5,6,7,8
授業概要（教育目的）
１．専門研究Ｉで行った学習を踏まえて、経営学の中でも「経営戦略」「組織とリーダーシップ」について学ぶ。 ２．上記テーマの基本文献を正確に理解する力をつける。 ３．上記の理論的枠組みを用いて、実際の企業のケース分析を行い、問題発見と解決の提示ができるようにする。 ４．専門研究Ｉで学んだディスカッションスキルをさらに磨き、多様な意見を組み合わせながら一定の結論を導くトレーニングを行う。 ５．各自が卒業研究に結び付けられるような、問題発見や問題設定の能力を鍛える。 対応 DP および CP:5,6,7,8

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション 企業の環境変化への対応とは	経営戦略論へのウォーミングアップとして、企業環境の変化とその対応について、事例を紹介しながら説明し、ディスカッションを行う。テキスト：伊丹・加護野著『ゼミナール経営学入門』日本経済新報社の紹介と分担。 事後学習 2 時間:上記テキストの序章を読む。
第 2 回	テキスト第 1 章「戦略とは何か」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 1 章を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 1 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 1 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 3 回	第 1 章のディスカッション	第 1 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 4 回	第 2 章「競争のための差別化」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 2 章を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 2 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 2 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 5 回	第 2 章のディスカッション	第 2 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 6 回	第 3 章「競争優位とビジネスシステム」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 3 章を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 3 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 3 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 7 回	第 3 章のディスカッション	第 3 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 8 回	第 4 章「多角化と事業ポートフォリオ」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 4 章を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 4 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 4 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 9 回	第 4 章のディスカッション	第 4 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 10 回	第 5 章「企業構造の再編成」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 5 章を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 5 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 5 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 11 回	第 5 章のディスカッション	第 5 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 12 回	企業の戦略分析① グループ A による戦略分析	グループごとに具体的な企業を 1 社選び、資料収集を行った上で、11 回目までに学んだ理論枠組みに基づいて分析し、発表し討論を行う。 事前学習 2 時間：事前に配布されたレジュメや資料をよく読んでおく。 事後学習 2 時間：発表と討論の内容を踏まえ、戦略分析について再考する。
第 13 回	企業の戦略分析② グループ B による戦略分析	グループごとに具体的な企業を 1 社選び、資料収集を行った上で、11 回目までに学んだ理論枠組みに基づいて分析し、発表し討論を行う。 事前学習 2 時間：事前に配布されたレジュメや資料をよく読んでおく。 事後学習 2 時間：発表と討論の内容を踏まえ、戦略分析について再考する。

第 14 回	企業の戦略分析③ グループ C による戦略分析	グループごとに具体的な企業を 1 社選び、資料収集を行った上で、11 回目までに学んだ理論枠組みに基づいて分析し、発表し討論を行う。 事前学習 2 時間：事前に配布されたレジュメや資料をよく読んでおく。 事後学習 2 時間：発表と討論の内容を踏まえ、戦略分析について再考する。
第 15 回	企業の戦略分析④ グループ D による戦略分析 ①～④までのまとめディスカッション	グループごとに具体的な企業を 1 社選び、資料収集を行った上で、11 回目までに学んだ理論枠組みに基づいて分析し、発表し討論を行う。 事前学習 2 時間：事前に配布されたレジュメや資料をよく読んでおく。 事後学習 2 時間：発表と討論の内容を踏まえ、戦略分析について再考する。
第 16 回	イントロダクション 「経営組織」とは何か	身の回りの「組織」の事例から、自分自身の組織体験を振り返り、組織の役割についてディスカッションする。 事前学習 2 時間：テキスト第Ⅱ部「組織のマネジメント」を熟読する。 事後学習 2 時間：自分自身の今までの組織体験を振り返り整理する。
第 17 回	第 9 章「組織と個人，組織の働きかけ」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 9 章を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 9 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 9 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 18 回	第 9 章のディスカッション	第 9 章について、報告者が設定したディスカッションポイントに対して、事前に収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 19 回	第 10 章「組織構造」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 10 章を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 9 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 9 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 20 回	第 10 章のディスカッション	収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 21 回	第 11 章「インセンティブシステム」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 11 章を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 9 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 9 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 22 回	第 11 章のディスカッション	収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 23 回	第 12 章「計画とコントロール：プロセスとシステム」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 12 章を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 9 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 9 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 24 回	第 12 章のディスカッション	収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 25 回	第 13 章「経営理念と組織文化」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 13 章を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 9 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 9 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 26 回	第 13 章のディスカッション	収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 27 回	第 14 章「リーダーシップ」 グループ報告と質疑応答	テキスト第 14 章を担当グループが報告し、それに対する質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：第 9 章をよく読み、わからないところは調べておく。 事後学習 2 時間：第 9 章の内容を振り返り、問題点を解決する。
第 28 回	第 14 章のディスカッション	収集した事例などを交えながら全体でディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：ディスカッションポイントの意見をまとめておく。 事後学習 2 時間：話し合われた内容を整理し、自分の意見を振り返る。
第 29 回	経営組織のケーススタディ	具体的な企業のケースを通じて、経営組織の問題を把握し、今まで学んでき

		た理論的フレームワークで分析し、ディスカッションする。 事前学習 2 時間：事前に配布されたケースを熟読する。これまでに学んだ組織の理論を復習しておく。 事後学習 2 時間：ディスカッションを振り返り、ケース分析を行う。
第 30 回	経営組織論のまとめと「自分自身の組織体験ケース」の執筆	後期に学んだ理論を振り返り、「経営組織とは何か」についてディスカッションを行う。それを踏まえて、自分自身の組織体験に基づく「ケース」を執筆する。 事前学習 2 時間：今までに学んだ理論とケースの総復習をする。 事後学習 3 時間：自分自身の組織体験を振り返り、ケースにまとめる。

授業形式
講義形式は③の部分対面型とする。（新型コロナウィルスの感染状況により、①②も取り入れる）

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	60%	10%	100%
評価の特記事項					
経営学（マネジメント）のゼミなので、ゼミ運営（サブゼミ、合宿、大会参加等を含む）への参加状況も評価する。					

テキスト
i 伊丹敬之、加護野忠男著『ゼミナール経営学入門』第 3 版、日本経済新聞社、1989 年. その他、適宜指示する。
参考文献
適宜指示する。
オフィスアワー
基本的に、ゼミ開講日の 18：00 以降。事前予約の上で実施。それ以外の日程も調整可能。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミは、教員から教えてもらうのみならず、個人個人の学習や積極的な参加により、その成果に大きな違いが生じる。 従って、全員が毎回の課題遂行のみならず、事前学習と事後学習をしっかりと行なった上で、参加することが望まれる。 また、毎日企業や経営に関する情報に敏感になってほしいと願っている。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	56
担当教員	三井　秀俊	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火４	単位区分	選
講義室	7073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では,以下の能力を身につけることを目指します。 1．株式・債券・外国為替相場等のリスク資産価格評価の分析手法を理解し，説明できる。 2．金融データ分析で利用される統計・計量分析手法を理解し，説明できる。 3．統計学や計量経済学で学んだ計量分析手法が，どのように金融分析に応用されるかを理解し，かつ実践できる。 対応 DP 及び CP5,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では，株式，債券，為替レート，投資信託，金融派生商品（デリバティブズ）などの資産価格に関して理論・実証研究を行ないます。資産価格の理論・実証研究は，金融業界（銀行・証券・保険・不動産）の実務家や個人投資家の間でも不可欠なものとなっています。そのため，現実の資産価格がどのように決まるかを，実際のデータを用いて検証できるように研究を進めていきます。また，資産価格分析のみならず，理論経済学，統計・計量経済学等についても理解が深まるように研究を進めていきます。同時に，現実の株式投資を実感してもらうため、株

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	トレーディング入門	トレーディングについての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 2 回	個人の心理	個人の心理についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 3 回	集団の心理	集団の心理についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 4 回	古典的チャート分析	古典的チャート分析についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 5 回	コンピュータを使ったテクニカル分析	コンピュータを使ったテクニカル分析についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 6 回	出来高と時間	出来高と時間についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 7 回	マーケット全般の指標	マーケット全般の指標についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。

第 8 回	オシレーター系指標	オシレーター系指標についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 9 回	トレーディングシステム	トレーディングシステムについての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 10 回	実践的なトレーディングの詳細	実践的なトレーディングの詳細についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 11 回	上場投資信託	上場投資信託についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 12 回	先物・オプション	先物・オプションについての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 13 回	外国為替証拠品取引	外国為替証拠品取引についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 14 回	リスク管理	リスク管理についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 15 回	トレードの適正な記録管理	トレードの適正な記録管理についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 16 回	株式ゲーム（1）	株式ゲームの内容について理解する。 株式ゲームのルール・手順について説明する。 投資銘柄の選択を行なう。 【事前学習】2 時間 手引の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 手引きの該当箇所と資料を基にして授業内容を要約する。
第 17 回	グループワークの実践（1）	投資手法・投資戦略についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資手法・投資戦略について調べておく。 【事後学習】2 時間 グループワークの内容ををよく復習し，まとめておく。
第 18 回	グループワークの実践（2）	投資手法・投資戦略についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資手法・投資戦略について調べておく。 【事後学習】2 時間 グループワークの内容ををよく復習し，まとめておく。
第 19 回	株式ゲーム（2）	株式ゲームの上手くいっている要因と失敗している要因についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資対象銘柄の株価の動きとポートフォリオ評価の確認を行なう。 【事後学習】2 時間 改善点と今後の投資戦略の考えをまとめる。
第 20 回	グループワークの実践（3）	投資手法・投資戦略についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資手法・投資戦略について調べておく。 【事後学習】2 時間 グループワークの内容ををよく復習し，まとめておく。
第 21 回	グループワークの実践（4）	投資手法・投資戦略についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資手法・投資戦略について調べておく。 【事後学習】2 時間 グループワークの内容ををよく復習し，まとめておく。
第 22 回	株式ゲーム（3）	株式ゲームの上手くいっている要因と失敗している要因についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資対象銘柄の株価の動きとポートフォリオ評価の確認を行なう。 【事後学習】2 時間 改善点と今後の投資戦略の考えをまとめる。
第 23 回	データ分析（1）	基本的な統計分析に関して復習を行なう。また，金融データ分析への応用に関して解説を行なう。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，予めよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出たきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 24 回	データ分析（2）	最小 2 乗法（単回帰分析）関して復習を行なう。また，金融データ分析

		への応用に関して解説を行なう。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，予めよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出たきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 25 回	株式ゲーム (4)	株式ゲームの上手くいっている要因と失敗している要因についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資対象銘柄の株価の動きとポートフォリオ評価の確認を行なう。 【事後学習】2 時間 改善点と今後の投資戦略の考えをまとめる。
第 26 回	データ分析 (3)	マーケット・モデルに関して解説を行なう。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，予めよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出たきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 27 回	データ分析 (4)	これまでのデータ分析の授業内容に関して、実際の金融データを使用して演習を行なう。 【事前学習】2 時間 データ分析(1)～データ分析(3)の授業内容を復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 各自で興味のある金融データを用いて実証分析を行なう。
第 28 回	株式ゲーム (5)	株式ゲームの上手くいっている要因と失敗している要因についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 投資対象銘柄の株価の動きとポートフォリオ評価の確認を行なう。 【事後学習】2 時間 改善点と今後の投資戦略の考えをまとめる。
第 29 回	研究報告会 (1)	株式ゲームのパフォーマンス評価・成果についてプレテーションを行なう。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーション資料を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーション資料を基にして授業内容を要約する。
第 30 回	研究報告会 (2)	データ分析の研究成果についてプレテーションを行なう。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーション資料を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーション資料を基にして授業内容を要約する。

授業形式
・授業形態は「①同時双方向型」とします。 ・Google Meet で実施致します。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
	20%		60%	20%	100%

評価の特記事項
積極的に発言・質問をして下さい。グループ・ワークでも積極的に参加するようにして下さい。プレゼンテーションの仕方・内容も評価対象となります。

テキスト
アレクサンダー・エルダー『ザ・トレーディング』, FPO, 4800 円＋税.
参考文献
若林公子『金融市場のための統計学』, 金融財政事情研究会,2400 円＋税. 山本拓・竹内明香『入門 計量経済学 －Excel による実証分析へのガイド』, 新世社, 2500 円＋税.
オフィスアワー
火曜日, 5 限, 16：20－17:50. 事前にメールでアポイントをとること。 メールアドレスは, 授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
予習・復習を必ずすること。授業中のノートの取り方など工夫して下さい。授業中に配布する資料などは、きちんと整理して下さい。また, できる限りテキストだけでなく参考文献にも目を通すようにして下さい.
授業用 URL
https://www.jpx.co.jp/
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	57
担当教員	南　雅一郎	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月 5	単位区分	選
講義室	3132	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本演習（ゼミナール）では、以下の能力を身につけることを目指します。 １　経済用語の意味を理解し、実際に起こっている経済事象を理論的に説明できることを目指します。 ２　経済問題について経済学の視点から分析し、まとめることができることを目指します。 ３　自身の考えを明確に提示し、その上で他の意見を尊重しつつ、建設的なディスカッションができることを目指します。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本演習（ゼミナール）では指定されたテキストを輪読し、まとめ、発表し、質疑応答並びにディスカッションを行ってもらうことで、国際経済・国際金融に関する基本的な枠組みを理解してもらうと同時に、時事的なテーマについて各学生個人またはグループに発表してもらい、質疑及びディスカッションを行ってもらうことで、現代経済社会及び国際経済システムの中で実際に起こっている事柄についての理解を深めてもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「外国為替市場 review」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 2 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「外国資産の需要と供給の均衡」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 3 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「金利、期待形成、均衡為替レート」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 4 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「先物為替レートと金利」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 5 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「貨幣、金利、為替レート」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 6 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「短期の貨幣需給と為替レート」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 7 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「長期の貨幣、物価水準、為替レート」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 8 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「一物一価と購買力平価」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 9 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「購買力平価の問題点と長期為替レートの一般モデル」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 10 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく

	答「短期の算出と為替レート」	【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 11 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「オープン経済の短期均衡：DD 曲線と AA 曲線」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 12 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「マクロ経済政策と経常収支」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 13 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「貿易フローの段階的調整とＪカーブ効果」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 14 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「マーシャル＝ラーナー条件と弾性値の実証分析」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 15 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「固定為替レートと為替介入」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 16 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「管理フロート、不胎化介入、金本位制」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 17 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「不完全代替のもとでの為替市場の均衡」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 18 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「国際通貨システムの歴史：金本位制」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 19 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「国際通貨システムの歴史：ブレトンウッズ体制」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 20 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「ブレトンウッズ体制下のアメリカ経済と対外不均衡」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。

第 21 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「変動為替レートへの移行とマクロ経済の相互依存」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 22 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「国際政策協調の成功と失敗」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 23 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「金融グローバリズムと金融危機」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 24 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「国際金融市場におけるリスク分散と資本配分」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 25 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「最適通貨圏の理論」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 26 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「最適通貨とユーロの経験」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 27 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「発展途上国の成長と危機」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 28 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「東アジアの奇跡とアジア通貨危機」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 29 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「世界の金融アーキテクチャ再編」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。
第 30 回	①経済記事の要約とディスカッション ②テキストの輪読と質疑応答「国際金融システム、外国為替市場、オープンマクロ経済：review」	【事前学習】2 時間 発表担当者は新聞記事のまとめ、テキストの要約とパワポを作成しておく。他の学生はテキストを読み、アップされた記事と要約を見ておく 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、検討しておく。

授業形式
授業形式は zoom もしくは Google Meet によるオンラインの①同時双方向型とする。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%

評価の特記事項
授業内で指示された課題についてはすべて提出すること。レポート点は担当する発表を含む。参画度点にはゼミ中のディスカッションに対する姿勢や発言等に対する評価が含まれる。

テキスト
P.R.クルーグマン/M．オブストフェルド/M.J.メリッツ『国際経済　理論と政策（上）貿易編』丸善出版、2017 年、4000 円（税抜） P.R.クルーグマン/M．オブストフェルド/M.J.メリッツ『国際経済　理論と政策（上）金融編』丸善出版、2017 年、5000 円（税抜）
参考文献
授業中に適時支持する。
オフィスアワー
当該授業時間の前の休み時間もしくは事前にアポイント（メール）をとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻、発表者の無断欠席は、他の学生への迷惑となるので厳禁とする。テキストの学習は論文作成の基礎となるのでしっかりと授業内で学習することはもちろん、予習・復習に努めること。
授業用 URL
https://classroom.google.com/c/NzE2MzAxODUxNDla
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	58
担当教員	宮里　尚三	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火４	単位区分	選
講義室	3132	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミでは，社会保障や分配問題，社会福祉などを扱っていきます。それらの問題を深く理解し自らの思考で政策的含意を導きだし議論を行うためには，理論的思考と実証的な考察が必要となります。ここでは主に経済学的（特に公共経済学的）なアプローチから理解を深めていきます。具体的には次のような内容を予定しています。 １．我が国の年金，医療，分配問題のおかれている現状を把握し，それらの分野の問題点を考察します。 ２．世代間格差，所得分配，社会福祉と家族，リスクシェアリングなどと関連させながら社会保障政策，分配政策，社会福祉政策について理解を深めていきます。 ３．実際のデータや実証分析，定量分析の結果を丁寧に検討し，少子高齢社会に対応した，社会保障システム，社会福祉システムを考察していきます。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
「専門研究㈠」： 基本的な文献や資料を用いて「社会保障」，「分配問題」，「社会福祉」などについての基礎知識を身につけます。その知識を活用して特定のテーマについて検討，議論を行います。 「専門研究㈡」：「専門研究㈠」で身につけた知識を応用して，各自がより興味のあるテーマを見つけ出し研究を深めていく作業を行います。また同時にゼミ生の間での議論を行います。 「卒 業 論 文」：各人の問題意識にしたがって卒業論文をまとめます。 ゼミ生による発表，グループスタディー，ディスカッションという形式を中心

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	年間のスケジュール確認	年間のスケジュール確認
第 2 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 3 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 4 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 5 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 6 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 7 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 8 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 9 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 10 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 11 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 12 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 13 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 14 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 15 回	テキストの輪読	グループに分けて、それぞれテキストを輪読
第 16 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 17 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 18 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 19 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 20 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 21 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 22 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 23 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 24 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 25 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 26 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 27 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 28 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 29 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆
第 30 回	グループでの論文執筆	対外的な論文報告会のための論文執筆

授業形式
ゼミ生による発表，グループスタディー，ディスカッションという形式を中心に進めていきます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%

評価の特記事項

テキスト
最初のゼミの時に決めます。
参考文献
オフィスアワー
月曜 3 限
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
やる気のある方、歓迎です。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	59
担当教員	宮地　忠幸	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水５	単位区分	選
講義室	3122	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
経済地理学的視点に基づいて、論理的かつ実証的な研究を進める。その成果を的確に口頭発表するとともにゼミの論集にまとめることができる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
班ごとに設定したテーマに基づいて、主体的に先行研究を検討し、統計や資料を収集するとともに、現地での調査等を行い、研究成果を発表するとともに論文を作成する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	1 年間の授業計画を説明するとともに、発表の順番を決定する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 自分自身で取り組みたい研究テーマを検討する。
第 2 回	テーマの検討と提出	年間研究のテーマを検討し、提出する。 【事前学習】2 時間 テーマを検討するとともに、年間研究の班構成を決定する。 【事後学習】2 時間 研究対象地域の検討を始める。
第 3 回	研究方法の検討	班ごとに研究方法を検討する 【事前学習】2 時間 テーマに相応しい研究方法を検討する。 【事後学習】2 時間 先行研究を読み進める。
第 4 回	研究対象地域の検討 1	研究対象地域の候補を出し合う 【事前学習】2 時間 研究対象地域の候補地を検討する。 【事後学習】2 時間 研究対象地域の候補地一覧から、班ごとに希望順位を検討する。
第 5 回	研究対象地域の検討 2	研究対象地域を決定し、最終的な研究テーマと方法を検討する。 【事前学習】2 時間 研究対象地域の候補地の検討を進めるとともに、研究テーマと方法を考えておく。 【事後学習】2 時間 先行研究を収集し、読み始める。
第 6 回	先行研究の検討と発表 1	複数の先行研究を読み込み、その成果と課題について検討する。発表者は発表資料を用意し、発表する。発表者以外は、発表者へ建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 先行研究を読み込み、発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考にして、研究の方向性を再考する。
第 7 回	先行研究の検討と発表 2	複数の先行研究を読み込み、その成果と課題について検討する。発表者は発表資料を用意し、発表する。発表者以外は、発表者へ建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 先行研究を読み込み、発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考にして、研究の方向性を再考する。
第 8 回	先行研究の検討と発表 3	複数の先行研究を読み込み、その成果と課題について検討する。発表者は発表資料を用意し、発表する。発表者以外は、発表者へ建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 先行研究を読み込み、発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考にして、研究の方向性を再考する。
第 9 回	先行研究の検討と発表 4	複数の先行研究を読み込み、その成果と課題について検討する。発表者は発表資料を用意し、発表する。発表者以外は、発表者へ建設的なコメント

		を述べる。 【事前学習】2 時間 先行研究を読み込み、発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考にして、研究の方向性を再考する。
第 10 回	統計および資料の分析と発表 1	統計や資料を収集したうえで、研究テーマや研究対象地域に関する分析を進める。発表者はその結果を発表する。発表者以外は、発表者へ建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 統計や資料を収集し分析を進める。発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考にして、データ等の分析を再度行う。
第 11 回	統計および資料の分析と発表 2	統計や資料を収集したうえで、研究テーマや研究対象地域に関する分析を進める。発表者はその結果を発表する。発表者以外は、発表者へ建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 統計や資料を収集し分析を進める。発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考にして、データ等の分析を再度行う。
第 12 回	統計および資料の分析と発表 3	統計や資料を収集したうえで、研究テーマや研究対象地域に関する分析を進める。発表者はその結果を発表する。発表者以外は、発表者へ建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 統計や資料を収集し分析を進める。発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考にして、データ等の分析を再度行う。
第 13 回	統計および資料の分析と発表 4	統計や資料を収集したうえで、研究テーマや研究対象地域に関する分析を進める。発表者はその結果を発表する。発表者以外は、発表者へ建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 統計や資料を収集し分析を進める。発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考にして、データ等の分析を再度行う。
第 14 回	現地調査の準備 1	現地調査へ向けて、聞き取り調査項目やアンケート調査票の作成、景観調査などの内容について検討する。 【事前学習】2 時間 研究方法に応じて、現地調査先と調査方法などを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考にして、現地調査の準備を進める。
第 15 回	現地調査の準備 2	現地調査へ向けて、聞き取り調査票やアンケート調査票の内容、景観調査などの内容について確定させる。 【事前学習】2 時間 研究方法に応じて、聞き取り調査票やアンケート調査票等を再度考えてくる。 【事後学習】2 時間 現地調査のスケジュールを確認し、そこまでの準備内容を確認する。
第 16 回	現地調査の内容確認	現地調査結果について、班のメンバーでフィールドノートのメモや「実習ノート」から確認し、情報を共有する。 【事前学習】2 時間 現地調査結果を確認し、フィールドノートのメモを「実習ノート」へ清書（整理）しておく。 【事後学習】2 時間

		共有された情報に基づいて、研究のまとめの方向性を考えておく。
第 17 回	学会発表、ゼミ論集の原稿作成へ向けた準備（１） 章構成の検討	学会発表やゼミ論集の原稿作成へ向けて、章構成を検討する。 【事前学習】2 時間 先行研究も参考にしながら、章構成を考えておく。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考に、章構成を班ごとに再度検討する。
第 18 回	学会発表、ゼミ論集の原稿作成へ向けた準備（２） 役割分担の検討	再検討した章構成に基づいて、役割分担を検討する。 【事前学習】2 時間 章構成を班のメンバーで再度検討する。 【事後学習】2 時間 役割分担に基づいて、図表の作成などを進める。
第 19 回	現地調査結果を踏まえた発表１	現地調査（オンライン調査を含む）結果に基づいて、収集したデータの分析結果を発表する。発表者以外は建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 現地調査結果を整理し、図表等にまとめ、分析を進める。発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考に、分析を深める。
第 20 回	現地調査結果を踏まえた発表２	現地調査（オンライン調査を含む）結果に基づいて、収集したデータの分析結果を発表する。発表者以外は建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 現地調査結果を整理し、図表等にまとめ、分析を進める。発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考に、分析を深める。
第 21 回	現地調査結果を踏まえた発表３	現地調査（オンライン調査を含む）結果に基づいて、収集したデータの分析結果を発表する。発表者以外は建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 現地調査結果を整理し、図表等にまとめ、分析を進める。発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考に、分析を深める。
第 22 回	現地調査結果を踏まえた発表４	現地調査（オンライン調査を含む）結果に基づいて、収集したデータの分析結果を発表する。発表者以外は建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 現地調査結果を整理し、図表等にまとめ、分析を進める。発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考に、分析を深める。
第 23 回	学会発表の予行練習１	学会発表へ向けて、指定された時間に収まるように PowerPoint と発表原稿を作成し、発表する。発表者以外は建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 論理的に説明できているかを検討する。発表者は発表資料を用意する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考に、発表内容を再検討する。
第 24 回	学会発表の予行練習２	学会発表へ向けて、指定された時間に収まるように PowerPoint と発表原稿を作成し、発表する。発表者以外は建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 論理的に説明できているかを検討する。発表者は発表資料を用意する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考に、発表内容を再検討する。
第 25 回	学会発表の予行練習３	学会発表へ向けて、指定された時間に収まるように PowerPoint と発表原

		稿を作成し、発表する。発表者以外は建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 論理的に説明できているかを検討する。発表者は発表資料を用意する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考に、発表内容を再検討する。
第 26 回	学会発表の予行練習 4	学会発表へ向けて、指定された時間に収まるように PowerPoint と発表原稿を作成し、発表する。発表者以外は建設的なコメントを述べる。 【事前学習】2 時間 論理的に説明できているかを検討する。発表者は発表資料を用意する。 【事後学習】2 時間 ゼミ時のコメントを参考に、発表内容を再検討する。
第 27 回	学会発表の振り返り	学会発表について、個人、グループで振り返りを行う。 【事前学習】2 時間 学会発表の準備から発表の内容、他の発表について振り返っておく。 【事後学習】2 時間 発表でよかった点、反省点を踏まえて、ゼミ論集の原稿作成へ向けた修正の方向を考える。
第 28 回	ゼミ論集の原稿作成	ゼミ論集の原稿作成へ向けて、班ごとに章構成を改めて検討する。 【事前学習】2 時間 章構成を再度検討してくる。 【事後学習】2 時間 再検討された章構成に基づいて、原稿を執筆する。
第 29 回	ゼミ論集の原稿作成	ゼミ論集の原稿を、書式の統一を含めて推敲する。 【事前学習】2 時間 原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 原稿を推敲し、修正する。
第 30 回	ゼミ論集の原稿提出	ゼミ論集の原稿を最終チェックし、提出する。 【事前学習】2 時間 原稿を執筆する（完成させる）。 【事後学習】2 時間 一年間のゼミの活動を振り返る。

授業形式
・授業形式は「③部分対面型（対面＋オンライン（同時双方向型））」で行う。 ・質問や相談は、メールでも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%

評価の特記事項
ゼミでの発表内容や他のグループへのコメントの内容、学会発表の内容、ゼミ論集の原稿の内容から総合的に評価する。

テキスト
特定のテキストは使用しない
参考文献
適宜紹介する
オフィスアワー
水曜日 2 時限目を原則とするが、適宜相談に応じる。事前にメールでアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・計画的かつ着実に作業を進めてもらいたい。 ・グループで年間研究を行うため、コミュニケーションを丁寧にとりながら、研究を深めていくことを期待したい。 ・無断欠席や遅刻は認めない。欠席する場合は、事前に連絡すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	60
担当教員	村上　英吾	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火 5	単位区分	選
講義室	3083	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
ゼミでの学習を通じて，以下の能力を身につけることを目指す。 １．文献を的確に理解し，その内容を他者に説明できる。 ２．得られる情報を基に論理的な思考，批判的な思考をすることができる。 ３．客観的な資料に基づき，社会・経済問題の原因や背景を分析し，解決策を提案できる。 ４．他者の意見を聴いて理解し，自分の考えを伝えることができる。 対応 DP 及び CP:5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本ゼミは，人々の働き方／働かされ方に関する諸問題を研究することを課題とする。 日本の職場をめぐる状況は，働く人々にとって厳しいものになっている。このような状況が，なぜ，どのような形で生じているのか，また，変化の方向を変え，働きやすい職場をつくるにはどうしたら良いのかという点を考察する。また，労働問題を理解するためには，経済問題に対する幅広い知識が必要であるため，労働問題だけにとどまらず，経済問題全般に関して議論する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 2 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 3 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 4 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 5 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 6 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 7 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 8 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 9 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 10 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間

		授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 11 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 12 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 13 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 14 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 15 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 16 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 17 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 18 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 19 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 20 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 21 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定

		【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 22 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 23 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 24 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 25 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 26 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 27 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 28 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 29 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。
第 30 回	文献購読	内容は受講者と相談の上設定 【事前学習】2 時間 テキストを読んでおく。報告者は報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業中に討論したことを踏まえて、教科書の内容について復習する。

授業形式
①同時双方向型（オンライン）

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	1
評価の特記事項					
初回授業時に指示する					

テキスト
石畑良太郎・牧野富夫・伍賀一道『よくわかる社会政策』ミネルヴァ書房
参考文献
授業内に指示する
オフィスアワー
質問等には適宜対応する。事前にメールでアポイントを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
受け身になるのではなく、積極的に取り組むこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	61
担当教員	村上　直樹	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水 5	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
米国に代って中国の国際的な影響力がますます高まっています。同じ「漢字文明圏」に属する日本にとって中国の復活・台頭は本来、歓迎すべきことのはずです。もし、現状で必ずしもそうなっていないとしたら、それは中国について（そして、おそらくは米国についても）まだよく知らないからかもしれません。という訳で、本ゼミでは中国に関してとくにその経済面を中心に理解を深めることを目的とします。ここで理解を深めるとは実際の姿を詳しく知るだけではなく、その背景にある要因を探ることを意味します。 対応 DP 及び CP：5,6,7,8
授業概要（教育目的）
共通のテキストを輪読し、グループワーク等を通じて、上記、学習目標を達成できるよう努める。とくに、履修者の自主性を重んじる。学習成果をレポートにまとめ、その内容を発表できる能力を身に着けることを目指す。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義内容等の説明
第 2 回	東アジア経済の変化	テキスト①第序章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト①第序章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト①第序章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 3 回	大学の起業家育成	テキスト①第 1 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト①第 1 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト①第 1 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 4 回	「シリコンバレー志向型政策」の展開	テキスト①第 2 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト①第 2 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト①第 2 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 5 回	ベンチャーキャピタル	テキスト①第 3 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト①第 3 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト①第 3 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 6 回	コワーキングスペース（１）	テキスト①第 4 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト①第 4 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト①第 4 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 7 回	コワーキングスペース（２）	テキスト①第 4 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト①第 4 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト①第 4 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 8 回	大学のスタートアップ支援	テキスト①第 5 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト①第 5 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト①第 5 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 9 回	オープンソースとマスイノベーション	テキスト①第 6 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト①第 6 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト①第 6 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 10 回	シェリング・エコノミー	テキスト①第 7 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト①第 7 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト①第 7 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 11 回	起業を通じたイノベーションの今後	テキスト①第 8 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト①第 8 章を読んでくることが望ましい。

		【事後学習】2 時間 テキスト①第 8 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 12 回	China’s Rapid Growth and Evolving Economy（1）	テキスト②第 1 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 1 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 1 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 13 回	China’s Rapid Growth and Evolving Economy（2）	テキスト②第 1 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 1 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 1 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 14 回	The Need for New Drivers of Growth	テキスト②第 2 章を輪読する 【事前学習】2 時間 テキスト②第 2 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 2 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 15 回	前期のまとめ	前期の講義で学んだことをまとめる。
第 16 回	The Productivity Challenge（1）	テキスト②第 3 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 3 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 3 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 17 回	The Productivity Challenge（2）	テキスト②第 3 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 3 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 3 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 18 回	Reshaping Industrial Policies and Supporting Market Competition（1）	テキスト②第 4 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 4 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 4 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 19 回	Reshaping Industrial Policies and Supporting Market Competition（2）	テキスト②第 4 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 4 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 4 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 20 回	Promoting Innovation and the Digital Economy（1）	テキスト②第 5 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 5 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 5 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 21 回	Promoting Innovation and the Digital Economy（2）	テキスト②第 5 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 5 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 5 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 22 回	Building Human Capital（1）	テキスト②第 6 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 6 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間

		テキスト②第 6 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 23 回	Building Human Capital（２）	テキスト②第 6 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 6 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 6 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 24 回	Allocating Resources Efficiently（１）	テキスト②第 7 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 7 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 7 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 25 回	Allocating Resources Efficiently（２）	テキスト②第 7 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 7 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 7 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 26 回	Leveraging Regional Development and Integration（１）	テキスト②第 8 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 8 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 8 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 27 回	Leveraging Regional Development and Integration（２）	テキスト②第 8 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 8 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 8 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 28 回	Promoting International Competitiveness and Economic Grobalization	テキスト②第 9 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 9 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 9 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 29 回	Governing the Next Transfomation	テキスト②第 10 章を輪読する。 【事前学習】2 時間 テキスト②第 10 章を読んでくることが望ましい。 【事後学習】2 時間 テキスト②第 10 章に係る講義内容を復習することが望ましい。
第 30 回	後期のまとめ	後期の講義で学んだことをまとめる。

授業形式
・授業形態は「③部分対面型」とする。 ・講義内容に係る質問のフィードバックは、原則として講義内で行う。 ・講義内容に係る質問は EcoLink または Gmail からも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	%	50%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
①木村公一朗(編)『東アジアのイノベーション―企業成長を支え、起業を生む〈エコシステム〉―』作品社、2019 年、2400 円＋税。 ②World Bank (2019) Innovative China (https://openknowledge.worldbank.org/handle/10986/32351)
参考文献
講義中に適宜紹介する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
あらかじめ,テキストを読んでくることが望ましい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	62
担当教員	村田　直樹	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3134	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
専門研究（二）では、専門研究（一）よりも専門的な知識を身につけることを目指す。また、各自が会計学に関する問題を設定し、それを解決するための資料を集め、分析できるようになることを目指す。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では、企業会計に関する専門知識と歴史を通して会計の機能について学修する。また、各自が問題設定し、それに関する文献や資料の集め方について説明する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容や進め方を説明する。 【事前学習】2 時間 【事後学習】2 時間
第 2 回	企業会計を学ぶ	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 3 回	企業会計の役割	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 4 回	企業会計の仕組み	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 5 回	資本と利益の情報	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 6 回	収益認識のルール	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 7 回	費用の認識と分配	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 8 回	負債の認識と測定	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 9 回	純資産の開示と測定	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 10 回	企業結合の会計情報	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 11 回	日本の会計制度改革	指定した文献の内容を順番に報告する。

		【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 12 回	複式簿記のルーツを探る	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 13 回	複式簿記の誕生	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 14 回	複式簿記の完成	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 15 回	世界最初の簿記書とその後の進化	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 16 回	会計学の誕生	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 17 回	キャッシュ・フロー計算書	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 18 回	会計の本来の役割	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を読み、疑問点を抽出しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 19 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 20 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 21 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。

		【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 22 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 23 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 24 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 25 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 26 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 27 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 28 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 29 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。
第 30 回	各自の研究課題の検討	各自の研究課題について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 各自の課題をまとめること。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深めること。

授業形式
授業形態は、同時双方向型とする。 質問等のフィードバックは、講義内で行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
授業内で、レポートの作成と報告を行うこと。					

テキスト
斎藤静樹『企業会計入門ー考えて学ぶー【補訂版】』有斐閣，2016，1980 円（税込）
渡邉泉『会計学の誕生ー複式簿記が変えた世界』岩波書店，2017，858 円（税込）
参考文献
授業時に提示する。
オフィスアワー
水曜日 13：00～14：00。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻などの他の学生の迷惑がかかる行為は厳禁とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究（二）	クラス	
担当教員	山﨑　福壽	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目（専門ゼミ）
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	3135	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，以下の能力を身につけることを目指します。 １．経済学的な考え方を理解し、経済学とはどのような学問なのかを説明することができる。 ２．公共部門の役割を理解し、経済学の立場から適切な評価、企画立案をすることができる。 ３．地域が抱える具体的な問題に関して、他人と協力して解決策を探し、ディスカッション、プレゼンテーションを通して他人を説得することができる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5,6,7.8
授業概要（教育目的）
法や規制が資源配分や所得分配に及ぼす影響について，経済学的な観点から分析するための手法を学ぶ。法律のあり方が，企業や個人の行動にどのような影響を及ぼすかについて考察したうえで，市場的な解決と法や規制による解決を比較検討する。 借地借家法についての議論や，日照権を含む土地利用規制のあり方，環境問題を解決するための司法的解決のあり方，企業再生のための法律の持つ意義，規制改革のあり方，知的財産権の保護のあり方等の具体的なテーマについても法と経済学の観点から考えて見たい。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第　1回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 前期の輪読のスケジュールと担当者の割り当てを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと
第　2回	指定した文献の輪読①	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第　3回	グループワークの実践①	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第　4回	指定した文献の輪読②	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第　5回	グループワークの実践②	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第　6回	指定した文献の輪読②	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第　7回	グループワークの実践②	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間

		前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第　8回	指定した文献の輪読③	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第　9回	グループワークの実践③	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第１０回	指定した文献の輪読④	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第１１回	グループワークの実践④	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第１２回	指定した文献の輪読⑤	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第１３回	グループワークの実践⑤	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第１４回	指定した文献の輪読⑥	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第１５回	グループワークの実践⑦	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第１６回	指定した文献の輪読⑧	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第１７回	グループワークの実践⑧	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第１８回	指定した文献の輪読⑨	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第１９回	グループワークの実践⑨	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第２０回	指定した文献の輪読⑩	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第２１回	グループワークの実践⑩	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。

第２２回	指定した文献の輪読⑪	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第２３回	グループワークの実践⑪	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第２４回	指定した文献の輪読⑫	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第２５回	グループワークの実践⑫	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第２６回	指定した文献の輪読⑬	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第２７回	グループワークの実践⑬	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第２８回	指定した文献の輪読⑭	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意するべきことをまとめる。
第２９回	グループワークの実践⑭	前回実施内容についてグループワークをする。

		【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第３０回	全体のまとめ	全体のまとめ・１年間の振り返り 【事前学習】4 時間 これまでの内容を振り返っておく。

授業形式
・質問等のフィードバックは，講義内で行う。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付ける。 ・学生によるプレゼンテーション、ディスカッションを基本とする。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
０％	０％	０％	０％	１００％	１００％
評価の特記事項					
授業時の報告・グループワークによる。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL１
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	63
担当教員	山下　雄司	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
１．自らの関心に即して文献や資料を探し、読解、比較判断することができる。 ２．二元論に陥らず、事象を多角的に観察することができる。 ３．社会経済を構成する多様な分野に対する視野を広げることができる。 対応 DP・CP ⇒ 5，6，7，8
授業概要（教育目的）
当ゼミでの学習の目的は、各自の個人テーマの研究を通じて、現在の経済構造や社会が歴史的にどのように形成されたのかを明らかにすることです。と同時に、どのような問題・困難・機能不全に直面しているのかを明らかにし、目先の安易な解決策にとらわれず、多様かつ長期的な視野を持ち、社会と自分の関係＝自らの進路と向かい合うことを目標にしています。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ゼミの進め方に関するガイダンス	年間スケジュール、作業ルーチン、議事録作成について解説する。 【事前学習】2 時間 ゼミ用 SNS の使い方に慣れておく。 【事後学習】2 時間 ゼミ用 SNS の使い方に慣れておく。
第 2 回	新書紹介報告の実践①	関心のあるテーマの新書を選定し紹介する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 3 回	新書紹介報告の実践②	関心のあるテーマの新書を選定し紹介する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 4 回	新書紹介報告の実践③	関心のあるテーマの新書を選定し紹介する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 5 回	グループ報告の実践①	指定文献を用いたグループ報告と雑誌記事報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 6 回	グループ報告の実践②	指定文献を用いたグループ報告と雑誌記事報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 7 回	グループ報告の実践③	指定文献を用いたグループ報告と雑誌記事報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 8 回	個人報告の展開①	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 9 回	個人報告の展開②	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 10 回	個人報告の展開③	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間

		資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 11 回	個人報告の展開④	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 12 回	個人報告の展開⑤	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 13 回	個人報告の展開⑥	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 14 回	個人報告の展開⑦	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 15 回	前期のまとめ	夏合宿での報告についての説明、グループ分け。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 関心のある分野の文献を探しておく。
第 16 回	専門書紹介報告の実践①	関心のあるテーマの専門書を選定し紹介する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 17 回	専門書紹介報告の実践②	関心のあるテーマの専門書を選定し紹介する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 18 回	専門書紹介報告の実践③	関心のあるテーマの専門書を選定し紹介する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読んでおく。 【事後学習】2 時間 指摘や訂正点を自分の報告に活かす。
第 19 回	個人報告の展開⑧	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 20 回	個人報告の展開⑨	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 21 回	個人報告の展開⑩	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。

		【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 22 回	ゼミ説明会・入室試験の運営方法について	どのような学生に入室してほしいか、またその選抜方法について議論する。 【事前学習】2 時間 自分の入室試験を踏まえ、改善点を考えておく。 【事後学習】2 時間 ゼミ説明会での役割を考える。
第 23 回	個人報告の展開⑪	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 24 回	個人報告の展開⑫	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 25 回	個人報告の展開⑬	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 26 回	個人報告の展開⑭	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 27 回	個人報告の展開⑮	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 28 回	個人報告の展開⑯	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 29 回	個人報告の展開⑰	報告を行い、訂正・改善点を明らかにする。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされたファイルを読み、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 資料を読み、理解を深め、自分の報告に活かす。
第 30 回	後期のまとめー卒業論文へー	卒業論文について説明する。 【事前学習】2 時間 過去事例をゼミ用 SNS で読んでおく。 【事後学習】2 時間 卒業論文で触れたい点をキーワードにしておく。

授業形式

オンデマンド型講義として進める（コロナの感染拡大のため）。 質問や疑問はゼミ用 SNS を通じていつでも可能です。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0	0%	70	30	100
評価の特記事項					
雑誌記事報告、グループ報告、個人報告によって判断する。					

テキスト
決まったテキストはありません。 グループ報告用として毎年入室した学生の関心に合わせて読みやすいものを選定しています。
参考文献
各自の研究テーマによって異なる。
オフィスアワー
水曜日 3 限
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミで使用する各種ファイル、過去の事例はゼミ用の SNS に保存されている、また一切の連絡も同 SNS を用いて行う。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	64
担当教員	山田　仁志	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水４	単位区分	選
講義室	7064	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，経営財務論の考え方を理解し，それに基づいた研究の方法について習得し，日本企業の行動を分析し，その行動の特徴を把握すること目的とする。具体的には，以下の能力の習得を目指す。 1．経営財務論の視点から企業行動を分析し，その特徴を説明できる。 2．データの収集と分析，レポートや報告資料の作成など研究に必要な基礎知識を身につけ，実践できる。 3．報告・ディスカッション・グループワーク等を通じて，建設的な議論を行い，協働して研究を進めることができる。 対応 DP および CP: 5，6，7，8
授業概要（教育目的）
専門研究（二）では，企業経営における資金の流れに焦点をあて，企業の財務行動を分析し，理解することを目的としている。具体的には，企業の決算データや株価データを用いてその行動の特徴について分析を行い，財務の視点から企業経営について考える。そのため，会計情報や株価等を使った企業価値評価の手法や統計的な手法について学び，企業のデータを使った分析を行う。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	学習内容およびスケジュールの確認	この演習の内容，スケジュール，実施方法などについて説明する。基礎知識として，企業価値評価とはどのような学問分野なのかを解説する。 【事前学習】2 時間 教科書を入手し，内容を確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 2 回	ROA と ROIC	ROA(昨年度の学習)と ROIC(今年度の学習)の違いを把握する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 自分の担当分野を確認する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 3 回	データの収集と作成①	ROIC による分析に必要なデータを集め，整理する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 4 回	データの収集と作成②	ROIC による分析に必要なデータを集め，整理する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 5 回	ROIC の計算とその分解①	ＲＯＩＣを計算し，その分解を行い，その結果をグラフにまとめる。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 6 回	ROIC の計算とその分解②	ＲＯＩＣを計算し，その分解を行い，その結果をグラフにまとめる。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 7 回	レポートの作成①	これまでの分析内容を整理し，レポートの作成を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 8 回	レポートの作成②	これまでの分析内容を整理し，レポートの作成を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 9 回	レポート作成のまとめ	レポート作成内容を確認し，レポートを完成させる。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間

		授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 10 回	株価と企業価値評価	株価を使った企業価値評価の手法の基礎を学ぶ。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 11 回	PER と PBR	PER と PBR について学習する。担当企業の数値について考える。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 12 回	資本コスト	資本コストの計算方法を復習し，担当企業の資本コストを計算する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 13 回	株価を使った企業価値評価の演習①	担当企業について，株価を使った企業価値評価の演習を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。テキストの該当箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 14 回	株価を使った企業価値評価の演習②	担当企業について，株価を使った企業価値評価の演習を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 15 回	前期の学習内容の振り返り	前期の学習内容の振り返りを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 16 回	後期の学習内容・スケジュールの確認	後期の学習内容およびスケジュールを確認する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 17 回	ビジネスゲーム①	企業経営と決算書の関係を理解するため，ビジネスゲームを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 18 回	ビジネスゲーム②	企業経営と決算書の関係を理解するため，ビジネスゲームを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 19 回	企業間比較研究①	前期で調べた ROIC，株価を使った企業価値評価を踏まえた企業間比較を行う。

		【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 20 回	企業間比較研究②	前期で調べた ROIC，株価を使った企業価値評価を踏まえた企業間比較を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 21 回	企業間比較研究③	前期で調べた ROIC，株価を使った企業価値評価を踏まえた企業間比較を行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 22 回	企業間比較研究の報告①	前期で調べた ROIC，株価を使った企業価値評価を踏まえた企業間比較の研究結果を報告する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 23 回	企業間比較研究の報告②	前期で調べた ROIC，株価を使った企業価値評価を踏まえた企業間比較の研究結果を報告する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 24 回	企業間比較研究の報告③	前期で調べた ROIC，株価を使った企業価値評価を踏まえた企業間比較の研究結果を報告する。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 25 回	統計学に基づくデータ分析①	統計的手法を使ったデータ分析の基礎を学ぶ。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 26 回	統計学に基づくデータ分析②	基礎統計量について学ぶ。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 27 回	統計学に基づくデータ分析②	統計的な検定について学ぶ。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 28 回	統計学に基づくデータ分析③	単回帰分析について学ぶ。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。

		【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 29 回	統計学に基づくデータ分析 ④	単回帰分析の検定について学ぶ。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし，よく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。
第 30 回	学習内容の復習	これまで学習した内容を整理し，振り返る。 【事前学習】2 時間 後期の学習内容の総復習を行う。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。授業アンケートで振り返りを行う。

授業形式
・授業形態は，「③部分対面型」とする。 ・授業内容への質問等は EcoLink または Gmail から受け付ける。 ・質問への回答は，メール等で随時または翌週の授業で行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	60%	20%	100%

評価の特記事項
授業への参画度，発表，レポートなどから総合的に評価する。

テキスト
砂川伸幸著［2017］『コーポレートファイナンス入門第 2 版』日本経済新聞社 田 中慎一・保田隆明著[2019]『コーポレートファイナンス 戦略と実践』ダイヤモンド社
参考文献
中野誠著［2016］『戦略的コーポレートファイナンス』日本経済新聞社 砂川伸幸他著[2013]『経営戦略とコーポレートファイナンス』日本経済新聞社 リチャード・ブリ―リー他著[2014］『コーポレートファイナンス第 10 版』日経 BP 社 宮川壽夫著［2016］『企業価値の神秘』中央経済社
オフィスアワー
Zoom による質問も受け付ける。その場合は，事前にメール等で連絡をすること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
データ分析のときなど PC が必要になるので，あらかじめ用意すること。授業でわからなかったことなどがあれば，遠慮なく質問してほしい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	65
担当教員	行武　憲史	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金４	単位区分	選
講義室	7073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では，専門研究（一），専門研究（二），卒業論文を通じて，統計学リテラシーを身につけ計量経済学を社会に出で活用できる能力を取得することを目的とします。そのために，専門研究（二）では，専門研究（一）を踏まえ，以下のような能力を身につける。 1.身の回りにある様々な事象から課題を発見する。 2.課題解決のための先行研究のまとめや適切な分析手法の選択ができるようななる。 3.サーベイに基づいたディスカッションができるようになる。 対応 DP 及び CP：5,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では，3 年間で統計学的な数値の意味を理解できる統計リテラシーと，データ分析を通じた経済学的な考察力を身に着けることを目的とします。そのため，2 年度では社会的な課題の設定および課題解決のためのアプローチをする方法を学ぶとともに，根拠に基づく論理的思考を身につけるためグループディスカッションを行う。 また，補助的な知識を身につけるため，引き続き数学，統計学，計量経済学等について，授業外でも学習していきます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 配布資料を，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 2 回	各自の研究テーマを検討する 1	各自の研究テーマの方向性を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で自主研究の方向性を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 3 回	各自の研究テーマを検討する 2	各自の研究テーマの方向性を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で自主研究の方向性を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 4 回	各自の研究テーマを検討する 3	各自の研究テーマの方向性を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で自主研究の方向性を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 5 回	各自の研究テーマを検討する 4	各自の研究テーマの方向性を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で自主研究の方向性を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 6 回	先行研究の収集 1	Google スカラーや大学のデータベースを活用して先行研究を収集し整理して報告する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題との関連性を検討する。
第 7 回	先行研究の収集 2	Google スカラーや大学のデータベースを活用して先行研究を収集し整理して報告する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題との関連性を検討する。
第 8 回	先行研究の収集 3	Google スカラーや大学のデータベースを活用して先行研究を収集し整理して報告する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題との関連性を検討する。
第 9 回	先行研究の収集 4	Google スカラーや大学のデータベースを活用して先行研究を収集し整理して報告する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間

		研究課題との関連性を検討する。
第 10 回	研究方法の学習 1	先行研究に基づき，分析の理論的背景・研究方法について学習する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究方法についての理解を深める。
第 11 回	研究方法の学習 2	先行研究に基づき，分析の理論的背景・研究方法について学習する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究方法についての理解を深める。
第 12 回	研究方法の学習 3	先行研究に基づき，分析の理論的背景・研究方法について学習する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究方法についての理解を深める。
第 13 回	研究方法の学習 4	先行研究に基づき，分析の理論的背景・研究方法について学習する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究方法についての理解を深める。
第 14 回	前期の総括 1	各自調査した先行研究および研究方法に基づき，研究の見通しについて報告する。 【事前学習】2 時間 各自は他報告者の報告を再検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 15 回	前期の総括 2	各自調査した先行研究および研究方法に基づき，研究の見通しについて報告する。 【事前学習】2 時間 各自は他報告者の報告を再検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 16 回	討論テーマの検討 1	討論会に向けてテーマの検討・選別を行う。 【事前学習】2 時間 各自関心のあるテーマについての資料収集。 【事後学習】2 時間 議論をもとに引き続き関連情報の収集。
第 17 回	討論テーマの検討 2	討論会に向けてテーマの検討・選別を行う。 【事前学習】2 時間 各自関心のあるテーマについての資料収集。 【事後学習】2 時間 議論をもとに引き続き関連情報の収集。
第 18 回	討論テーマの評価軸の検討 1	選別したテーマについて，班ごとに議論の評価軸を検討する。 【事前学習】2 時間 選別したテーマについての資料収集。 【事後学習】2 時間 議論をもとに引き続き関連情報の収集。
第 19 回	討論テーマの評価軸の検討 2	選別したテーマについて，班ごとに議論の評価軸を検討する。 【事前学習】2 時間 選別したテーマについての資料収集。 【事後学習】2 時間 議論をもとに引き続き関連情報の収集。
第 20 回	討論ための情報収集 1	班ごとに，評価軸に基づき先行研究や新聞記事など収集した情報に基づき論点を整理する。 【事前学習】2 時間 選別したテーマについての資料収集。 【事後学習】2 時間 議論をもとに引き続き関連情報の収集。
第 21 回	討論ための情報収集 2	班ごとに，評価軸に基づき先行研究や新聞記事など収集した情報に基づき論点を整理する。 【事前学習】2 時間 選別したテーマについての資料収集。

		【事後学習】2 時間 議論をもとに引き続き関連情報の収集。
第 22 回	討論ための情報収集 3	班ごとに，評価軸に基づき先行研究や新聞記事など収集した情報に基づきディベートのための資料を作成する。 【事前学習】2 時間 選別したテーマについての資料収集。 【事後学習】2 時間 議論をもとに引き続き関連情報の収集。
第 23 回	ディベート 1	与えられた評価軸に基づき，ディベートを行う。 【事前学習】2 時間 ディベートのための資料作成。 【事後学習】2 時間 ディベートを踏まえ改善点の整理。
第 24 回	ディベート 2	与えられた評価軸に基づき，ディベートを行う。 【事前学習】2 時間 ディベートのための資料作成。 【事後学習】2 時間 ディベートを踏まえ改善点の整理。
第 25 回	ディベートについてのまとめ	ディベートを踏まえ，各自レポートを報告する。 【事前学習】2 時間 発表資料の作成。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生の意見を踏まえ理解を深める。
第 26 回	自主研究に向けての展望 1	卒業論文に向け，各自の研究の理論的背景と先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間 各自の研究の報告の準備 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 27 回	自主研究に向けての展望 2	卒業論文に向け，各自の研究の理論的背景と先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間 各自の研究の報告の準備 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 28 回	自主研究に向けての展望 3	卒業論文に向け，各自の研究の理論的背景と先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間 各自の研究の報告の準備 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 29 回	自主研究に向けての展望 4	卒業論文に向け，各自の研究の理論的背景と先行事例を報告する。 【事前学習】2 時間 各自の研究の報告の準備 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 30 回	総括	各自で卒業論文に向けた大まかな方針の決定を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容を準備する。 【事後学習】2 時間 各自フィードバックを受け論文作成の準備を行う。

授業形式
本講義は，③部分対面型（対面授業と双方向授業の併用）で授業を行う。講義と演習を行う。 なお，必要に応じて講義のレジメ・資料を Ecolink にアップロードする。 報告に関してのフィードバックは授業中に行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	95%	5%	100%

評価の特記事項
積極的な発言を望みます。

テキスト
参考文献
山本拓（1994)『計量経済学』新世社。 西山慶彦，新谷元嗣，川口大司，奥井亮（2019)『計量経済学』有斐閣。 Wooldridge (2019) "Introductory Econometrics: A Modern Approach 7e," South-Western Pub.
オフィスアワー
火曜 13 時－15 時 水曜 11 時-14 時 30 分 事前に必ずアポイントを取ること。 連絡先は，初回授業時にお知らせします。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
データの統計・計量分析を行うことが必須なので，数学的思考やパソコン操作を嫌がらない学生が望ましい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	66
担当教員	吉田　博之	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水２	単位区分	選
講義室	3132	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
このゼミナールでは，以下の能力を身につけることを目標としている。 （1）マクロ経済学の基本的用語の意味を理解し，日本経済について論理的に説明できるようになる。 （2）マスメディアや政府が提供する経済情報を主体的に収集し，科学的な分析ができるようになる。 （3）マクロ経済学に限らず，多くの分野を学ぶことにより幅広い知識を自律的に探求できるようになる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
このゼミナールでは，経済理論の一分野であるマクロ経済学を学ぶことにより，現実の経済体系や社会構造に関する理解・知見を深めるように努める。例えば，IS-LM 分析を用いることにより，財政政策や金融政策の効果を知ることができる。また，このような知識を前提にして，バブル経済崩壊以後の超低金利政策の意義や不況における経済政策のありかたなどを検討する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ゼミに関するガイダンス	ゼミの内容，ゼミの形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 テキストに目を通しておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 2 回	日本経済の現状（GDP・経済成長）に関するグループワークの実践：グループ A による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 3 回	日本経済の現状（県民所得・産業構造）に関するグループワークの実践：グループ A による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 4 回	景気の見方（月例経済報告・日銀短観）に関するグループワークの実践：グループ B による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 5 回	景気の見方（景気動向指数・鉱工業生産）に関するグループワークの実践：グループ B による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 6 回	財政・金融（国家予算・国債）に関するグループワークの実践：グループ C による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 7 回	財政・金融（金利・マネーサプライ）に関するグループワークの実践：グループ C による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 8 回	国民生活（個人消費・貯	【事前学習】2 時間

	蓄）に関するグループワークの実践：グループ A による発表	全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 9 回	国民生活（租税負担率・年金）に関するグループワークの実践：グループ A による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 10 回	物価（消費者物価・企業物価）に関するグループワークの実践：グループ B による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 11 回	物価（原油価格・地価）に関するグループワークの実践：グループ B による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 12 回	雇用・賃金（労働生産性・労働時間）に関するグループワークの実践：グループ C による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 13 回	雇用・賃金（失業率・賃金）に関するグループワークの実践：グループ C による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 14 回	国際貿易（国際収支・輸出入）に関するグループワークの実践：グループ A による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 15 回	通貨（為替レート・外貨準備）に関するグループワークの実践：グループ A による発表	【事前学習】2 時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。

		【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 16 回	後期ゼミに関するガイダンス	前期ゼミの内容，ゼミの形式を振り返り，後期ゼミの進行などについて議論を実施する。 【事前学習】2 時間 各自が前期ゼミの振り返りを行い，それを A4 用紙 1 枚程度にまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 17 回	経済時事レポートの発表，並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は，事前に発表資料を作成しておくこと。なお，経済時事レポートには，テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 18 回	経済時事レポートの発表，並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は，事前に発表資料を作成しておくこと。なお，経済時事レポートには，テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 19 回	経済時事レポートの発表，並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は，事前に発表資料を作成しておくこと。なお，経済時事レポートには，テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 20 回	経済時事レポートの発表，並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は，事前に発表資料を作成しておくこと。なお，経済時事レポートには，テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 21 回	経済時事レポートの発表，並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は，事前に発表資料を作成しておくこと。なお，経済時事レポートには，テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 22 回	経済時事レポートの発表，	【事前学習】2 時間

	並びに参加者による議論	発表担当者は，事前に発表資料を作成しておくこと。なお，経済時事レポートには，テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 23 回	経済時事レポートの発表，並びに参加者による議論	【事前学習】2 時間 発表担当者は，事前に発表資料を作成しておくこと。なお，経済時事レポートには，テーマ・選定理由・記事の要約・記事に関する分析・記事に関する補足説明・記事に関する経済指標グラフの作成という 6 点すべてについて十分な準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。
第 24 回	ディベート（1）：テーマ選定（広く一般社会について考える）	【事前学習】2 時間 テーマ選定のために，各自が複数の案を準備しておく。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し，当回の話題について熟考・検討すること。
第 25 回	ディベート（1）：グループごとの準備	【事前学習】2 時間 マスコミ資料や政府資料などから，選定されたテーマに沿った材料を収集しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し，当回の話題について熟考・検討すること。
第 26 回	ディベート（1）：実践	【事前学習】2 時間 選定されたテーマについて，ディベートのための資料を事前に作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し，当回の話題について熟考・検討すること。
第 27 回	ディベート（2）：テーマ選定（マクロ経済学的知見を重視する）	【事前学習】2 時間 テーマ選定のために，各自が複数の案を準備しておく。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し，当回の話題について熟考・検討すること。
第 28 回	ディベート（2）：グループごとの準備	【事前学習】2 時間 マスコミ資料や政府資料などから，選定されたテーマに沿った材料を収集しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し，当回の話題について熟考・検討すること。
第 29 回	ディベート（2）：実践	【事前学習】2 時間 選定されたテーマについて，ディベートのための資料を事前に作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自がゼミの内容を復習し，当回の話題について熟考・検討すること。
第 30 回	1 年間の学修のまとめとその省察	【事前学習】2 時間 1 年間を通じて学んだことの確認とその省察を行うので，事前に発表資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 各自が復習し，当回のキーワードと現実社会の接点について各自が熟考・検討しておくこと。

授業形式

・原則として，（1）同時双方向型の授業形態を実施するが，社会的情勢などを考慮しつつ，（3）部分対面型の授業形態を実施することも計画している。この点については，受講生の事情を十分考慮し，決定する。
・質問等は原則的に講義中に受け付け，そのフィードバックは講義内で行う。学問的な疑問を受講生で共有することは教育上極めて有益であるから，講義中の質問を歓迎する。もちろん，メールなどでの質問も受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	60%	10%	1

評価の特記事項
授業内で提示した課題はすべて提出すること。

テキスト
鈴木正俊（2006）『経済データの読み方』新版　岩波書店
参考文献
授業時に適宜，指示する。
オフィスアワー
原則として，月曜日 13:00～14:00 とする。有意義な時間とするための準備が必要であるから，メールで事前の予約を取っておくことが望ましい。 なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・ゼミナールは大学生活において最も重要な位置を占める。事前学習に力を注ぎ，真摯な態度で参加すること。 ・特段の理由なしに無断欠席や 2 回連続の遅刻は厳重に禁止する。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	67
担当教員	米澤　聡士	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	土 1	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールは、国際経営論の学習を通じて、以下の能力を身につけることを目的とする。 １）国際経営の仕組みを理解し、ビジネスの現場でその知識を活用する力。 ２）学習した知識を用いて、ロジカルに発想する力。 ３）ビジネスの現場で、適切にコミュニケーションをとる力。 対応 DP 及び CP　5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本ゼミナールの授業は、主に国際経営の仕組みを説明するための理論学習と、知識をもとに発想するバーチャルな戦略立案とで構成される。 いずれも、数名ずつのチームを編成し、グループワークを中心に学習を進める。各チームは、所定のテーマについて文献・資料を収集し、発表資料をまとめた上で、授業時にプレゼンテーションを行う。それに対して、受講生全員で質疑応答やディスカッションを行う形を基本とする。なお、課外学習として参加するインターンシップの準備も含めて指導する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についての説明を行う。 【事前学習】1 時間 国際経営論のテキストを予習する。 【事後学習】1 時間 グループごとに発表テーマの確認を行う。
第 2 回	文献・資料収集の方法	前期に実施する理論学習の発表、準備の手順、文献・資料収集の方法を説明する。 【事前学習】1 時間 各自の発表テーマに関する文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 チームごとに文献・資料収集の手順を確認し、メンバーの役割等を決定する。
第 3 回	プレゼンテーションの方法	プレゼンテーションの方法について説明する。 【事前学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。
第 4 回	グループワーク（１）	チームごとに収集した文献・資料を共有し、内容を整理する。 【事前学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、必要な文献・資料を収集する。
第 5 回	グループワーク（２）	チームごとに収集した文献・資料を共有し、内容を整理する。 【事前学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、必要な文献・資料を収集する。
第 6 回	グループワーク（３）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとに資料・文献を収集する。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーション時に配布するレジュメを作成する。
第 7 回	グループワーク（４）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとにレジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、レジュメを修正する。 プレゼンテーション時に使用する Powerpoint を作成する。
第 8 回	グループワーク（５）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとに Powerpoint を作成する。 【事後学習】 授業でのフィードバックを踏まえ、Powerpoint を修正する。
第 9 回	プレゼンテーション（１）理論学習	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 10 回	プレゼンテーション（２）理	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。

	論学習	【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 11 回	プレゼンテーション（３）理論学習	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 12 回	プレゼンテーション（４）理論学習	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 13 回	プレゼンテーション（５）理論学習	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 14 回	プレゼンテーション（６）理論学習	チームごとに割り当てられたテーマについてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 15 回	前期総括	前期の学習内容を整理し、フィードバックする。 【事前学習】1 時間 前期の授業内容を整理する。 【事後学習】1 時間 前期の学習成果を確認し、問題意識を整理する。
第 16 回	戦略立案の指導	後期の戦略立案の進め方について説明する。 【事前学習】2 時間 戦略立案の対象となる候補企業を選択する。 【事後学習】1 時間 チームごとに候補企業の選定を行う。
第 17 回	グループワーク（１）	チームごとに収集した文献・資料を共有し、内容を整理する。 【事前学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、必要な文献・資料を収集する。
第 18 回	グループワーク（２）	チームごとに収集した文献・資料を共有し、内容を整理する。 【事前学習】2 時間 チームごとに必要な文献・資料を収集する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、必要な文献・資料を収集する。
第 19 回	グループワーク（３）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとに資料・文献を収集する。

		【事後学習】2 時間 プレゼンテーション時に配布するレジュメを作成する。
第 20 回	グループワーク（４）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとにレジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、レジュメを修正する。 プレゼンテーション時に使用する Powerpoint を作成する。
第 21 回	グループワーク（５）	チームごとに発表内容の構成をまとめる。 【事前学習】2 時間 チームごとに Powerpoint を作成する。 【事後学習】 授業でのフィードバックを踏まえ、Powerpoint を修正する。
第 22 回	プレゼンテーション（１）戦略立案	チームごとに立案した戦略についてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 23 回	プレゼンテーション（２）戦略立案	チームごとに立案した戦略についてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 24 回	プレゼンテーション（３）戦略立案	チームごとに立案した戦略についてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 25 回	プレゼンテーション（４）戦略立案	チームごとに立案した戦略についてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 26 回	プレゼンテーション（５）戦略立案	チームごとに立案した戦略についてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 27 回	プレゼンテーション（６）戦略立案	チームごとに立案した戦略についてプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 発表チームはプレゼンテーションの準備。 他の受講生は事前に配布されるレジュメを読む。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックを踏まえ、問題意識を整理する。
第 28 回	インターンシップ準備（１）	インターンシップへのエントリーに関する指導を行う。 【事前学習】2 時間 各自の興味・関心のある企業を選択し、エントリー先企業の候補を整理す

		る。 【事後学習】2 時間 エントリーシートの書き方、自己 PR、志望動機等を整理する。
第 29 回	インターンシップ準備（２）	インターンシップ実習における注意点の説明を行う。 【事前学習】2 時間 インターン実習希望先企業にエントリーする。 【事後学習】2 時間 インターンシップ実習に必要な準備を行う。
第 30 回	後期総括	1 年間のゼミナール活動を整理する。 【事前学習】2 時間 1 年間のゼミナール活動を整理する。 【事後学習】2 時間 ゼミナール活動から得られた学習成果、問題意識を整理する。

授業形式
授業は「対面型」を原則とする。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によって、「部分対面型」もしくは「同時双方向型」に変更する場合がある。 質問やフィードバックは授業内で行うが、学習内容や学習方法等に関する質問は、Gmail でも受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%

評価の特記事項
プレゼンテーションの内容だけでなく、質問やディスカッションなど授業への参画度も評価の対象とする。

テキスト
授業内で指示する。
参考文献
授業内で指示する。
オフィスアワー
火曜日 10 時 40 分～12 時。希望者は事前に Gmail でアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
十分な予習・復習を行い、常に問題意識をもって授業に臨むこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	68
担当教員	リ ケ	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	A35b	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
The focus of this course is to help students to study and understand the intermediate level economics more explicitly and vividly through English learning materials. The corresponding DP and CP Numbers: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
This course will facilitate and enforce students’ understanding and knowledge over the intermediate level analytical framework on economics. In particular, it will improve and urge the students’ knowledge and ability to express and explain economic theori

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	Course introduction and Information for students Overviewing of the course	Explanation about the course contents, the learning materials, grading, and participation. Self-introduction of the instructor and students. Prior learning (2 hours): briefly read the lecture-notes for the whole semester; Subsequent learning (2 hours): r
第 2 回	Economics and Managerial Decision Making	Define managerial economics and discuss briefly its relationship to microeconomics and other related fields of study such as finance, marketing, and statistics. Cite and compare the important types of decisions that managers must make concerning the alloc
第 3 回	Studies on the Firm and its Goals I	Understand the reasons for the existence of firms and the meaning of transaction costs. Explain the economic goals of the firm and optimal decision making. Describe the 'principal-agent' problem. Distinguish between "profit maximization" and the "maximiza
第 4 回	Studies on the Firm and its Goals II	Understand the reasons for the existence of firms and the meaning of transaction costs. Explain the economic goals of the firm and optimal decision making. Describe the 'principal-agent' problem. Distinguish between "profit maximization" and the "maximiza
第 5 回	Studies on Supply and Demand I	Define supply, demand, and equilibrium price. List and provide specific examples of the non-price determinants of supply and demand. Distinguish between the short-run rationing function and long-run guiding function of price. Illustrate how the concepts o
第 6 回	Studies on Supply and Demand II	Define supply, demand, and equilibrium price. List and provide specific examples of the non-price determinants of supply and demand. Distinguish between the short-run rationing function and long-run guiding function of price. Illustrate how the concepts o
第 7 回	Analysis on Demand Elasticity I	Define and measure elasticity. Apply the concepts of price elasticity, cross-elasticity, and income elasticity. Understand the determinants of elasticity.　Show how elasticity affects revenue. Prior learning (2 hours): read and summarize last lecture-n
第 8 回	Analysis on Demand Elasticity II	Define and measure elasticity. Apply the concepts of price elasticity, cross-elasticity, and income elasticity. Understand the determinants of elasticity.　Show how elasticity affects revenue. Prior learning (2 hours): read and summarize last lecture
第 9 回	Market Demand Estimation and Forecasting I	Understand the importance of forecasting in business. Know how to specify and interpret a regression model. Describe the major forecasting techniques used in business and their limitations. Explain basic smoothing methods of forecasting, such as the movin
第 10 回	Market Demand Estimation and Forecasting II	Understand the importance of forecasting in business. Know how to specify and interpret a regression model. Describe the major forecasting techniques used in business and their

		limitations. Explain basic smoothing methods of forecasting, such as the movin
第 11 回	Studies on the Theory and Estimation of Production I	Define the production function. Distinguish between the short-run and long-run production functions. Explain the “law of diminishing returns” and how it relates to the Three Stages of Production. Define the Three Stages of Production and explain why a rat
第 12 回	Studies on the Theory and Estimation of Production II	Define the production function. Distinguish between the short-run and long-run production functions. Explain the “law of diminishing returns” and how it relates to the Three Stages of Production. Define the Three Stages of Production and explain why a rat
第 13 回	Studies on the Theory and Estimation of Cost I	Define the cost function and the difference between the short and long run. Distinguish between economic cost and accounting cost. Explain how the concept of relevant cost is used in economic analysis. Define total, variable, average and fixed cost. Expla
第 14 回	Studies on the Theory and Estimation of Cost II	Define the cost function and the difference between the short and long run. Distinguish between economic cost and accounting cost. Explain how the concept of relevant cost is used in economic analysis. Define total, variable, average and fixed cost. Expla
第 15 回	Analysis on Pricing and Output Decisions: Perfect Competition and Monopoly I	Describe and provide examples of the four market structures. Compare the degree of price competition among the four market types. Explain why the P=MC rule leads firms to the optimal level of production in competitive markets. Explain how the MR=MC rule h
第 16 回	Analysis on Pricing and Output Decisions: Perfect Competition and Monopoly II	Describe and provide examples of the four market structures. Compare the degree of price competition among the four market types. Explain why the P=MC rule leads firms to the optimal level of production in competitive markets. Explain how the MR=MC rule h
第 17 回	Analysis on Pricing and Output Decisions: Monopolistic Competition and Oligopoly I	Cite the main differences between monopolistic competition and oligopoly. Describe the role that mutual interdependence plays in setting prices in oligopolistic markets. Illustrate price rigidity using the “kinked demand curve”. Elaborate on how non-price
第 18 回	Analysis on Pricing and Output Decisions: Monopolistic Competition and Oligopoly II	Cite the main differences between monopolistic competition and oligopoly. Describe the role that mutual interdependence plays in setting prices in oligopolistic markets. Illustrate price rigidity using the “kinked demand curve”. Elaborate on how non-price
第 19 回	Studies on Special Pricing Policies I	Analyze cartel pricing. Illustrate price leadership. Understand price discrimination, and its effects. Distinguish between marginal pricing and “cost-plus” pricing. Discuss the various types of multiproduct pricing. Explain the meaning of “transfer pricin
第 20 回	Studies on Special Pricing Policies II	Analyze cartel pricing. Illustrate price leadership. Understand price discrimination, and its effects. Distinguish between marginal pricing and “cost-plus” pricing. Discuss the various types of multiproduct pricing. Explain the meaning of “transfer pricin

第 21 回	Game Theory and Asymmetric Information I	Define game theory and explain how it helps better understand mutually interdependent management decisions. Explain the game called Prisoners' Dilemma and its application to business. Explain the difference between cooperative and non-cooperative games. S
第 22 回	Game Theory and Asymmetric Information II	Define game theory and explain how it helps better understand mutually interdependent management decisions. Explain the game called Prisoners' Dilemma and its application to business. Explain the difference between cooperative and non-cooperative games. S
第 23 回	Analysis of Capital Budgeting and Risk I	Identify the types of capital budgeting decisions. Calculate net present value and internal rate of return and distinguish the uses of each measure. Explain the cost of capital and capital rationing. Define risk and uncertainty. Describe and calculate var
第 24 回	Analysis of Capital Budgeting and Risk II	Identify the types of capital budgeting decisions. Calculate net present value and internal rate of return and distinguish the uses of each measure. Explain the cost of capital and capital rationing. Define risk and uncertainty. Describe and calculate var
第 25 回	Studies on the Multinational Corporation and Globalization I	Understand how supply and demand are affected in different countries around the world. Define the exchange rate and identify several methods of hedging. Understand multinational capital budgeting and explain how it differs from capital budgeting of a dome
第 26 回	Studies on the Multinational Corporation and Globalization II	Understand how supply and demand are affected in different countries around the world. Define the exchange rate and identify several methods of hedging. Understand multinational capital budgeting and explain how it differs from capital budgeting of a dome
第 27 回	Studies on the Government and Industry I	Cite the major functions of government in a market economy. Understand the meaning of market externalities and the reasoning of the Coase theorem. Understand the causes and consequences of the 2007–2009 financial crisis. Explain why firms merge and why, i
第 28 回	Studies on the Government and Industry II	Cite the major functions of government in a market economy. Understand the meaning of market externalities and the reasoning of the Coase theorem. Understand the causes and consequences of the 2007–2009 financial crisis. Explain why firms merge and why, i
第 29 回	The Global Soft Drink Industry: A Case Study in Managerial Economics	Describe the market structure of the food and beverage industry. Cite the main trends affecting this industry. Describe the issues facing the industry. Explain how strategy should be incorporated for Global Foods. Prior learning (2 hours): read and sum
第 30 回	Course Review	Review the Main Content.

授業形式
This course will be conducted by bilateral On-Line Classes through Google Meet or Zoom. It consists of lectures and in-class discussions. Students are expected to read the assigned lecture-notes prior to the classes, ask questions, present ideas, and writ

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
50%	30%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
In-class presentation and report will be highly appreciated toward course evaluation.					

テキスト
Paul G. Keat , Philip K. Young　and Steve Erfle (2014), Managerial Economics (7th edition), Pearson, ISBN-10: 0133020266.
参考文献
Certain Specified. References and Reading Materials may be Distributed to the Class if Necessary.
オフィスアワー
Students are welcomed to talk and discuss the relevant course issues through emails and/or Google Classroom prior to the office hours: Wednesday 15:00 to 17:00 pm, or under appointments.
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
The contents and schedule of the course can be modified responding to interests of the students.　Participants should be able to read and understand English well, and should have good interest and knowledge of Economics.
授業用 URL
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/
参考 URL 1
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/
参考 URL2
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	69
担当教員	陸　亦群	実務経験のある教員による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	水５	単位区分	選
講義室	3112	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この講義は，新興国の経済発展に焦点を当て，経済開発の歴史的推移，経済開発の基礎的な理論および開発戦略についての基礎知識を習得し，経済開発諸問題に関する分析手法を身に付けることを目指したい。この講義を通じて，新興国の開発問題に常に関心を払うことができ，開発問題の起源と展開について，そして経済開発の諸理論について説明できるようになり，発展途上国が抱える様々な問題への対策を述べることができるようになる。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義は，主に国際貿易・国際分業と経済開発の基礎理論を土台にして，歴史・理論・現状の側面から経済開発の課題を抽出し，そして課題解決の方策を検討する問題解決力を養うことを目的とする。この講義を通じて，私たちの暮らしに密接な関わりのある経済開発の現状を勉強して課題を浮き彫りにし，冷静な頭脳と暖かい心をもってどのような解決策が考えられるかを探求していく。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	開発戦略の展開(1)	グループ学習。開発戦略の展開，について学び，1990 年代後半以降のポスト雁行形態のキ新たなキャッチアッププロセスの出現と新しい成長拠点の形成について考える。 【事前学習】2 時間 テキスト第 5 章(第 1 節と第 2 節)を読み，報告資料を作成すること。EcoLink から資料をダウンロードし，講義資料を参照し，輸入代替から輸出志向への開発戦略の転換，雁行形態型経済発展，フラグメンテーション型分業といったポイントを把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，授業中に出てきたキーワードを説明できる
第 2 回	開発戦略の展開(2)	グループ学習。開発戦略の主要なアプローチと，政府から市場への開発戦略のパラダイムシフト，市場補完アプローチ，ダイナミックキャッチアップについて学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 5 章（第 3 節）を読み，報告資料を作成すること。国際分業関係の深化，市場原理の浸透と開発戦略のパラダイムシフトについて調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，企業生産活動のグローバル化，新しい成長拠点と新たなキャッチアッププロセスについて説明できるようにしておくこと。
第 3 回	経済発展と人口問題(1)	グループ学習。人口問題の現状認識とそれに基づく問題点の浮き彫りを基礎として，人口政策のあるべき姿について学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 6 章(第 1 節と第 2 節)を読み，報告資料を作成すること。世界の人口規模とその趨勢，人口急増の意味について把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，人口転換，人口爆発，人口ボーナス，都市期待所得，インフォーマルセクターといったキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 4 回	経済発展と人口問題(2)	グループ学習。農村・都市間人口移動，インフォーマルセクターの発生と都市・農村間労働移動モデルについて学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 6 章(第 3 節)を読み，報告資料を作成すること。世界の人口規模とその趨勢，人口急増の意味について把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，都市・農村間格差，都市期待所得，インフォーマルセクターといったキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 5 回	発展途上国における人口爆発と雇用吸収戦略	グループディスカッション。経済開発戦略の展開と発展途上国特有の人口問題を踏まえて，人口爆発と雇用吸収戦略のあり方についてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 第 1 回から第 4 回までの各回の資料をよく読み，ディスカッションに備え，ポイントとキーワードを押さえて発言の要点を事前に準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り，リアクションペーパーを書くこと。
第 6 回	貧困撲滅の手段としてのフェアトレードの可能性(1)	グループワーク。フェアトレードとは何であり，それが求められる背景には何があるか。フェアトレードへの取り組みを具体的に調べて，その実態を明らかにする。フェアトレードは貧困撲滅に寄与するかどうか検討する。 【事前学習】2 時間

		インターネットを活用し統計資料を参照して，フェアトレードに関する基本知識を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をよく復習すること。報告テーマを決め，それに沿って題材を準備すること。
第 7 回	貧困撲滅の手段としてのフェアトレードの可能性(2)	グループワーク。フェアトレードが求められるのはなぜか，それは発展途上国の貧困撲滅にどのような効果があるのか検討する。 【事前学習】2 時間 貧困撲滅の手段としてのフェアトレードの課題とその可能性について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り，十分に文献等を調べ，報告テーマに沿って発表資料(スライド)を作成すること。
第 8 回	貧困撲滅の手段としてのフェアトレードの可能性(3)	グループ報告と討論の実践。貧困撲滅の手段としてのフェアトレードの可能性についての研究報告(プレゼンテーション)および質疑応答(ディスカッション)を行う。 【事前学習】2 時間 報告者が事前に提出したプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り，リアクションペーパーを書くこと。
第 9 回	経済発展における BOP ビジネスの役割(1)	グループワーク。BOP ビジネスの実態を明らかにする。BOP ビジネスは経済発展を促進するかどうか検討する。 【事前学習】2 時間 BOP ビジネスの定義，それが注目を集めている背景，BOP ビジネスの取り組みなどを具体的に調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をよく復習しておくこと。報告テーマを決め，それに沿って題材を準備すること。
第 10 回	経済発展における BOP ビジネスの役割(2)	グループワーク。インドシナ半島に広がる CLMV 諸国の経済発展の現状と課題及び可能性について，メコン地域開発を踏まえて検討する。 【事前学習】2 時間 BOP ビジネスの取り組みと直面する課題について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 BOP ビジネスの可能性と経済発展に果たす役割について把握しておくこと。報告テーマに沿って発表資料を作成すること。
第 11 回	経済発展における BOP ビジネスの役割(3)	グループ報告と討論の実践。経済発展における BOP ビジネスの役割についての研究報告(プレゼンテーション)および質疑応答(ディスカッション)を行う。 【事前学習】2 時間 報告者が事前に提出したプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り，リアクションペーパーを書くこと。
第 12 回	単純労働として発展途上国の労働者を受け入れることの是非(1)	グループワーク。なぜ発展途上国の労働者は外国で働くことを好むのか，それによってどのようなメリットやデメリットが生じるのか明らかにする。これらを踏まえて，外国単純労働者の派遣ないし受け入れの是非を検討する。 【事前学習】2 時間 インターネットを活用して，外国で働く発展途上国からの単純労働者の実態を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をよく復習しておくこと。報告テーマを決め，それに沿って題材を準備すること。
第 13 回	単純労働として発展途上国の労働者を受け入れるこ	グループワーク。先進国等が発展途上国から単純労働者を受け入れることは好ましいことかどうか検討し，受け入れ側の立場，企業の合理化行動から

	との是非(2)	【事前学習】2 時間 受け入れ制度や企業の受け入れ実態について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 経済学的視点から単純労働の受け入れ，低賃金労働を説明できるようにしておくこと。報告テーマに沿って発表資料を作成すること。
第 14 回	単純労働として発展途上国の労働者を受け入れることの是非(3)	グループ報告と討論の実践。ASEAN（東南アジア諸国連合）の成立と展開についての研究報告(プレゼンテーション)および質疑応答(ディスカッション)を行う。 【事前学習】2 時間 報告者が事前に提出したプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り，リアクションペーパーを書くこと。
第 15 回	中間まとめ	人，雇用という視点から開発戦略，人口問題，そして開発課題についてまとめる。 【事前学習】2 時間 テキスト第 5 章と第 6 章，そして各回の資料に目を通すこと。 【事後学習】2 時間 講義全体の内容をよく復習し，教材を熟読した上で，これまで各回の授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 16 回	経済発展と農村問題(1)	グループ学習。農業の実態および農村における課題，そして農村政策はどのようなものかについて学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 7 章(第 1 節と第 2 節)を読み，報告資料を作成すること。インターネットを活用し統計資料を参照して，農村問題の実態について把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 講義資料の内容をよく復習し，講義資料に示されたポイントを押さえた上で，授業中に出てきたキーワードと農村の課題を説明できるようにしておくこと。
第 17 回	経済発展と農村問題(2)	グループ学習。農村における貧困の原因と農村開発の必要性，そして今後の農村開発政策の在り方について学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 7 章(第 3 節)を読んでおくこと。農業の実態および農村における課題，そして農村政策はどのようなものかを調べておくこと。 【事後学習】2 時間 講義資料の内容をよく復習し，講義資料に示されたポイントを押さえた上で，授業中に出てきたキーワードと農村の課題を説明できるようにしておくこと。
第 18 回	経済発展と都市問題(1)	グループ学習。都市問題の現状認識とそれに基づく問題点の浮き彫りを基礎として，都市政策のあるべき姿について学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 8 章を読み，報告資料を作成すること。都市化はいかなるスピードで進み，その結果として発展途上国の都市ではどのような課題が発生しているのか，都市化の原因はどこにあるのかについて把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，都市問題の発生および都市化の原因について説明できるようにしておくこと。
第 19 回	経済発展と都市問題(2)	グループ学習。企業の立地選択と産業集積，都市化政策と企業誘致の問題，都市化政策を中心とした政策目標と課題についてについて学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 8 章を読み，報告資料を作成すること。産業集積と内生的産業発展，新たな成長拠点の形成，都市化の経済と雇用吸収について予習し

		ておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードと経済活動グローバル化時代の都市化政策のあるべき姿について説明できるようにしておくこと。
第 20 回	グローバル化時代の開発戦略と都市化政策	グループディスカッション。人口爆発と雇用吸収のグループディスカッション(第 5 回)を踏まえて，農村問題を意識し，グローバル化時代の開発戦略と都市化政策についてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 第 16 回から第 19 回までの各回の資料をよく読み，ディスカッションに備え，ポイントとキーワードを押さえて発言の要点を事前に準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り，リアクションペーパーを書くこと。
第 21 回	貧困撲滅にマイクロ・クレジット(零細金融)は有効か(1)	グループワーク。マイクロ・クレジットはなぜ求められるのか，また，その実績と課題を浮き彫りにした上で，マイクロ・クレジットの可能性について考える。 【事前学習】2 時間 マイクロ・クレジットとは何か，農村開発と SDGs について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。報告テーマを決め，それに沿って題材を準備すること。
第 22 回	貧困撲滅にマイクロ・クレジット(零細金融)は有効か(2)	グループワーク。開発経済学の視点から貧困層にマイクロ・クレジットを与えることで，彼から貧困状態から脱却することはできるかどうか検討する。 【事前学習】2 時間 マイクロ・クレジットの実態，グラミン銀行の取り組みについて調べておくこと。 【事後学習】2 時間 農村開発の必要性を理解し，グラミン銀行の意義，貧困撲滅に対する貢献を説明できるようにしておくこと。報告テーマに沿って発表資料を作成すること。
第 23 回	貧困撲滅にマイクロ・クレジット(零細金融)は有効か(3)	グループ報告と討論の実践。貧困撲滅にマイクロ・クレジット(零細金融)は有効かについての研究報告(プレゼンテーション)および質疑応答(ディスカッション)を行う。 【事前学習】2 時間 報告者が事前に提出したプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り，リアクションペーパーを書くこと。
第 24 回	経済発展における多国籍企業の役割(1)	グループワーク。多国籍企業の活動あるいは FDI の受け入れは発展途上国の経済発展に必要不可欠かどうか検討する。 【事前学習】2 時間 発展途上国に多国籍企業はどれ程展開しているか，FDI はどの程度行われているかについて調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。報告テーマを決め，それに沿って題材を準備すること。
第 25 回	経済発展における多国籍企業の役割(2)	グループワーク。多国籍企業や民間外国直接投資(FDI)による民間企業活動は発展途上国の経済発展にいかなる効果があるか検討する。 【事前学習】2 時間 多国籍企業あるいは FDI は発展途上国の経済活動にどのように関わってきたかについて調べ，メリットとデメリットについて調べておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り，十分に文献等を調べ，報告テーマに沿って発表資料(スライド)を作成すること。
第 26 回	経済発展における多国籍企業の役割(3)	グループ報告と討論の実践。経済発展における多国籍企業の役割についての研究報告(プレゼンテーション)および質疑応答(ディスカッション)を行う。

		【事前学習】2 時間 報告者が事前に提出したプレゼン資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り，リアクションペーパーを書くこと。
第 27 回	国際貿易の拡大とアジアの経済発展(1)	グループ学習。アジア諸国における国際貿易の拡大，東アジアの域内貿易の特徴と分業関係の深化について学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 9 章（第 1 節と第 2 節）を読み，報告資料を作成すること。EcoLink から資料をダウンロードし，講義資料を参照し，ポイントを把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，アジア諸国における産業内分業の進展を説明できるようにしておくこと。
第 28 回	国際貿易の拡大とアジアの経済発展(2)	グループ学習。国際分業関係における生産工程間分業(細分化分業)の定着とアジア経済のアジア化の特徴について学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 9 章（第 3 節と第 4 節）を読み，報告資料を作成すること。EcoLink から資料をダウンロードし，講義資料を参照し，ポイントを把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で，雁行形態，細分化分業の特徴，GVCs といったキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 29 回	経済発展と開発援助	グループ学習。開発援助はなぜ行うのか，これまでの開発援助の実績と特徴，そして経済発展における開発援助の意義について学ぶ。 【事前学習】2 時間 テキスト第 10 章を読み，報告資料を作成すること。日本はかつて援助を受けていたが，ある時点を境に援助を供与する側に転換し，今や主要援助供与国となった。日本の ODA の特徴と実績，そして日本の ODA が抱えている問題点について調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，開発援助の課題と持続可能な開発目標(SDGs)について説明できるようにしておくこと。
第 30 回	まとめー東アジアの経験と日本の役割	日本はかつて援助を受けていたが，ある時点を境に援助を供与する側に転換し，今や主要援助供与国となった。アジアとりわけ東アジアの経験は一般的に適用できるか，また途上国の経済開発に日本がどのように関わっていくかについて，全体ディスカッション行い，持続可能な開発目標に向けて，私たち個々人がどのように取り組むかを考える。 【事前学習】2 時間 講義全体の内容をよく復習し，教材を熟読した上で，これまで各回の授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り，リ

授業形式
授業形態は「③部分対面型」とする。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	60%	40%	1

評価の特記事項
評価方法のその他は，提出物の内容（プレゼンテーション資料も含む）などを評価するものである。

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
毎週火曜日 11:50～12:50 の間，研究室にて行う（8 号館受付で所定の手続きをとること）。必ず事前にアポイントを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
地道な努力で学力を定着させることがポイントとなる。 必ず毎回の授業に出席すること。十分な予習・復習に努めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門研究(二)	クラス	70
担当教員	渡邉　修士	実務経験のある教員による授業科目	○
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火４	単位区分	選
講義室	7071	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
今日の経済において金融の果たす役割は極めて大きく、貨幣や証券等の金融資産を明示的に組み込んだマクロ経済の理解が求められる。マクロモデルの中における貨幣を含む金融の果たす役割について詳しく考えながら、今日のマクロ経済と金融の関係について理論的側面からより深い理解の獲得を目指す。マクロ経済学の基礎に立脚して、貨幣の役割、量的緩和政策等今日の金融政策の効果や問題点、金融政策についての基礎的な説明が出来るようにする。また，日米の経済統計データに基づき、今日のマクロ経済と金融政策の関連を説明出来るようになることを目指す。議論に積極的に参加し、論理的に主張を展開する能力の獲得を目指す。 対応ＤＰ及びＣＰ：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
ファイナンシャル・エコノミクスの講義に準拠しながら，通常の授業では説明しきれない重要な諸問題について，議論を通じて掘り下げて学習する．前期は、貨幣需給，動学的最適化問題の解説を通してマクロ・金融理論の基礎を全員で議論する。その上で，量的緩和に代表される今日の金融政策の効果や問題点を評価し，金融理論を再検討する。後期は、FRB や日銀による、政策金利や monetary base の調整を通した金融政策の効果と問題点についてデータを見ながら詳細に検証し、今日の金融政策の問題点について深い洞察に到達すべく議論を行う

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション ： ゼミで Financial Economics を学ぶことの動機付け 今日のマクロ経済における金融の重要性とその問題点について解説する	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 ： 授業内容の復習
第 2 回	貨幣理論の基礎（1）：貨幣需要（1）経済における貨幣の役割，貨幣需要について解説する	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 ： 授業内容の復習
第 3 回	貨幣理論の基礎（2）：貨幣供給（1）経済における貨幣供給について解説する	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 ： 授業内容の復習
第 4 回	貨幣理論の基礎（3）：貨幣供給（2）経済における貨幣供給について解説する	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 ： 授業内容の復習
第 5 回	貨幣理論の基礎（4）：信用創造 今日の経済における信用創造の意味について解説する	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 ： 授業内容の復習
第 6 回	貨幣理論の基礎（5）：量的緩和と信用創造 量的緩和政策の理論と現実のギャップについて解説する	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 ： 授業内容の復習
第 7 回	今日の金融政策（1）金融危機後の金融緩和政策について検討する	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 ： 授業内容の復習
第 8 回	今日の金融政策（2）金融危機後の金融緩和政策について検討する	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 ： 授業内容の復習
第 9 回	動学的最適化問題（1）動学的最適化問題について解説する	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 ： 授業内容の復習
第 10 回	動学的最適化問題（2）： 消費と貯蓄 Life cycle 仮説について説明し，金融の観点から消費と貯蓄の意味について解説する	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 ： 授業内容の復習
第 11 回	動学的最適化問題（3）： 消費と貯蓄 Life cycle 仮説について説明し，金融の観点から消費と貯蓄の意味について解説する	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】 2 時間 ： 授業内容の復習
第 12 回	量的緩和と総需要・物価（1）ディスインフレーション下	【事前学習】 2 時間 ： Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備

	での量的緩和政策と総需要・物価の関係について解説する	【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 13 回	量的緩和と総需要・物価 (2) ディスインフレーション下での量的緩和政策と総需要・物価の関係について解説する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 14 回	量的緩和と総需要・物価 (3) ディスインフレーション下での量的緩和政策と総需要・物価の関係について解説する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 15 回	総括　これまでの議論を総括する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 16 回	イントロダクション　：　マクロ経済と金融政策　今日のマクロ経済と金融政策の関係について解説する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 17 回	政策金利による経済の制御 (1) Svensson モデル Svensson モデルを通して、動学的最適化問題としての金融政策について解説する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 18 回	政策金利による経済の制御 (2) Svensson モデル Svensson モデルを通して、今日の金融政策の目標と制御について解説する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 19 回	政策金利による経済の制御 (3) Fed の金融政策の評価　Svensson モデルを念頭に、2000 年以前の Fed の金融政策を概観する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 20 回	政策金利による経済の制御 (4) Fed の金融政策の評価 Svensson モデルを念頭に、バブル崩壊以前の Fed の金融緩和政策を概観する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 21 回	政策金利による経済の制御 (5) Fed の金融政策の評価 Svensson モデルを念頭に、Fed の金融政策を概観する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 22 回	量的緩和による経済の制御 (1)　Svensson モデルの	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備

	拡張　Svensson モデルを拡張し、量的緩和の目標と制御について解説する	【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 23 回	量的緩和による経済の制御 (2)　Fed の金融政策の評価　金融システム維持という観点から Fed の QE1 について概観する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 24 回	量的緩和による経済の制御 (3)　Fed の金融政策の評価　住宅バブル崩壊対策という観点から Fed の QE1　について概観する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 25 回	量的緩和による経済の制御 (4)　Fed の金融政策の評価 Fed の QE2・3 について概観する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 26 回	量的緩和による経済の制御 (5)　Fed の金融政策の評価 Fed の QE2・3 の効果について概観する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 27 回	量的緩和による経済の制御 (6)　Fed の金融政策の評価 Fed の QE2・3 の効果について概観する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 28 回	量的緩和による経済の制御 (7) 今日の経済構造の変化と量的緩和政策の問題点を解説する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 29 回	量的緩和による経済の制御 (8) 今日の経済構造の変化と量的緩和政策の問題点を解説する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習
第 30 回	総括　これまでの議論を総括する	【事前学習】　2 時間　：　Classroom からの配布資料の予習．教科書報告者は説明資料作成，新聞記事報告者は報告内容準備 【事後学習】　2 時間　：　授業内容の復習

授業形式
Zoom によるオンライン・リアルタイム授業　①同時双方向型

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%

評価の特記事項
積極的発言・質問を重視する

テキスト
特になし．講義資料は全て Classroom から download できるようにしておく
参考文献
経済学とファイナンス 大村 敬一 、 池尾 和人、 須田 美矢子、 浅子 和美著 東洋経済新報社
オフィスアワー
木曜日 9：00-11：00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミのレベルは高いので、欠席するとその後の理解は困難になる。経済学は学習の積み重ねによって初めて理解が可能となる。授業に真面目に出席し理解に努めること。
授業用 URL
http://www.eco.nihon-u.ac.jp/
参考 URL 1
参考 URL2